

ちば

平成 28 年度

第 53 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 29 年 5 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度からは年2回実施しており、今回は平成28年度第2回目の調査で、県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に、昨年11月から12月にかけて、郵送法で実施しました。

具体的内容としては、「県政全般に関する意識」、「県民の文化芸術活動」、「医療」、「環境保全に関する取組」、「道路整備」、「県民の治安に対する意識と警察に求めること」、「心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)」、「ワーク・ライフ・バランス」、「都市農業」、「男女共同参画社会の形成促進」の10項目について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成29年5月

千葉県総合企画部長 遠山 誠一

目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	11
1 県政全般に関する意識調査	13
(1) 防災に関する意識	13
(2) 暮らしの安全・安心に関する意識	19
(3) 医療・福祉・健康づくりに関する意識	23
(4) 文化・スポーツ振興に関する意識	29
(5) 環境問題に関する意識	32
(6) 子育てや教育に関する意識	36
(7) 千葉県の魅力づくりに関する意識	44
(8) 商工業や農林水産業の活性化に関する意識	50
(9) 県の基盤づくりに関する意識	57
2 県民の文化芸術活動に関する調査について	62
(1) この1年間に県内でふれた文化芸術	62
(2) 文化芸術にふれた場所	64
(3) 文化芸術にふれた回数	66
(4) この1年間に県内の文化芸術にふれなかった理由	68
(5) 地域の文化的環境に必要なこと	70
3 医療について	73
(1) 県内の医療の満足度	73
(2) 県内の医療で不満な点	75
(3) 今後、県に力を入れて欲しい医療	77
4 環境保全に関する取組について	80
(1) 普段の生活で行っている環境保全の取組	80
(2) 環境保全に関する講演やセミナー、 環境ボランティア活動の参加状況	87
5 道路整備について	90
(1) 主な道路の利用目的	90
(2) 県内の道路状況の満足度	92
(3) 道路整備をしていく上での優先課題	94

6	県民の治安に対する意識と警察に求めることについて-----	97
	(1) 居住地域における最近の犯罪発生状況 -----	97
	(2) 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪 -----	99
	(3) 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪 -----	101
	(4) 安全で安心できる生活を守るために必要なこと -----	103
7	心肺蘇生法及びA E D (自動体外式除細動器) について -----	106
	(1) 胸骨圧迫 (心臓マッサージ) や人工呼吸ができるか -----	106
	(2) 胸骨圧迫 (心臓マッサージ) や人工呼吸ができないと思う理由 -----	108
	(3) AED (自動体外式除細動器) の認知・使用経験 -----	110
	(4) AED (自動体外式除細動器) を使用できるか -----	112
	(5) AED (自動体外式除細動器) を使用できないと思う理由 -----	114
	(6) 応急手当の講習を希望する場所 -----	116
8	ワーク・ライフ・バランスについて-----	119
	(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度 -----	119
	(2) ワーク・ライフ・バランスの実現度 -----	121
	(3) ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 -----	123
	(4) 女性活躍推進法の認知度 -----	139
	(5) 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なこと -----	141
9	都市農業について-----	144
	(1) 農作業体験の有無 -----	144
	(2) 農作業体験の内容 -----	146
	(3) 千葉県に農地を残したいと思うか -----	148
	(4) 千葉県の農業・農地に期待する機能や役割 -----	150
	(5) 農地を守るために行いたい支援 -----	152
	(6) 行政が農地を保全するために必要な対策 -----	154
10	男女共同参画社会の形成促進について-----	157
	(1) 男女共同参画社会の実現のために今後行政が力を入れるべき取組 --	157
	(2) 男女共同参画センターで充実させるべき事業 -----	159
11	自由回答 -----	162
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	168

調 査 の 概 要

1 . 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2 . 調査の項目

県政の主要課題

県政全般に関する意識調査
県民の文化芸術活動に関する調査について
医療について
環境保全に関する取組について
道路整備について
県民の治安に対する意識と警察に求めることについて
心肺蘇生法及びA E D（自動体外式除細動器）について
ワーク・ライフ・バランスについて
都市農業について
男女共同参画社会の形成促進について

3 . 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
(2) 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
(3) 標本数 3,000 人
(4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送法（郵送配付 - 郵送回収）
(6) 調査時期 平成 28 年 11 月 24 日～平成 28 年 12 月 14 日

4 . 調査機関

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

5 . 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,364件
	有効回収数 (C)	1,363件
	無効回収数	1件
回収率	(B / A)	45.47%
有効回収率	(C / A)	45.43%

標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満 18 歳以上の男女個人
 標 本 数 : 3,000 人
 地 点 数 : 市 部 193 地点
 郡 部 7 地点
 計 200 地点
 抽 出 法 : 層化二段無作為抽出法

[層 化]

1 . 県内を、次の 11 地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
千葉地域	千葉市、市原市
葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
香取地域	香取市、香取郡
海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
長生地域	茂原市、長生郡
夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2 . 各地域内においては、
 さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
 平成28年 4 月 1 日現在市制施行の
 地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満 18 歳以上の人口（平成 28 年 4 月 1 日現在の推定数）に対して、3,000 の標本数を比例配分した。

[抽 出]

1 . 平成 22 年国勢調査時に設定された調査区を、第 1 次抽出単位となる調査単位として使用した。

2 . 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right] \text{を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。}$$

3 . 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成 22 年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

4 . 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
千葉地域	1,050,155 600 40	0 0 0	1,050,155 600 40
葛南地域	1,373,804 780 52	0 0 0	1,373,804 780 52
東葛飾地域	1,245,928 705 47	0 0 0	1,245,928 705 47
印旛地域	572,555 330 22	37,179 15 1	609,734 345 23
香取地域	69,452 45 3	31,566 15 1	101,018 60 4
海匝地域	147,770 75 5	0 0 0	147,770 75 5
山武地域	141,724 75 5	42,916 30 2	184,640 105 7
長生地域	78,552 45 3	54,240 30 2	132,792 75 5
夷隅地域	52,012 30 2	15,618 15 1	67,630 45 3
安房地域	107,095 60 4	7,521 0 0	114,616 60 4
君津地域	279,565 150 10	0 0 0	279,565 150 10
計	5,118,612 2,895 193	189,040 105 7	5,307,652 3,000 200

（注）上段は満 18 歳以上の人口（平成 28 年 4 月 1 日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
千葉地域	千葉市中央区新田町	15	千葉地域 葛南地域	市原市椎津	15
	千葉市中央区千葉寺町	15		市原市藪 / 下矢田	15
	千葉市中央区松波3丁目 / 松波4丁目	15		市原市堀越 / 市場	15
	千葉市中央区松ヶ丘町	15		市川市南八幡3丁目	15
	千葉市中央区今井町	15		市川市平田1丁目	15
	千葉市中央区若草1丁目	15		市川市鬼高2丁目	15
	千葉市中央区新宿2丁目	15		市川市新田3丁目	15
	千葉市花見川区花園3丁目 / 4丁目	15		市川市東菅野5丁目	15
	千葉市花見川区幕張町1丁目	15		市川市高谷2丁目	15
	千葉市花見川区宮野木台1丁目	15		市川市市川3丁目	15
	千葉市花見川区天戸町	15		市川市大野町1丁目	15
	千葉市花見川区花見川	15		市川市妙典1丁目	15
	千葉市花見川区こてはし台2丁目	15		市川市大野町3丁目	15
	千葉市稲毛区轟町5丁目	15		市川市本行徳	15
	千葉市稲毛区小仲台2丁目	15		市川市幸1丁目	15
	千葉市稲毛区千草台2丁目	15		市川市伊勢宿	15
	千葉市稲毛区小仲台9丁目	15		市川市欠真間1丁目	15
	千葉市稲毛区小深町	15		市川市相之川4丁目	15
	千葉市若葉区都賀2丁目	15		市川市八幡3丁目	15
	千葉市若葉区加曽利町	15		船橋市本町3丁目	15
	千葉市若葉区都賀の台3丁目	15		船橋市東船橋5丁目	15
	千葉市若葉区千城台南2丁目	15		船橋市栄町1丁目	15
	千葉市若葉区源町	15		船橋市本中山6丁目	15
	千葉市緑区平山町	15		船橋市西船2丁目	15
	千葉市緑区大高町 / 高津戸町	15		船橋市北本町2丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野3丁目	15		船橋市上山町3丁目	15
	千葉市美浜区真砂2丁目	15		船橋市藤原2丁目	15
	千葉市美浜区幕張西3丁目	15		船橋市金杉6丁目	15
	千葉市美浜区高洲3丁目	15		船橋市八木が谷3丁目	15
	千葉市美浜区幸町2丁目	15		船橋市松が丘5丁目	15
	市原市国分寺台中央3丁目	15		船橋市新高根4丁目	15
	市原市海土有木	15		船橋市高根台7丁目	15
	市原市辰巳台西2丁目	15		船橋市習志野台8丁目	15
	市原市姉崎	15		船橋市飯山満町3丁目	15
	市原市五井	15		船橋市薬円台5丁目	15
	市原市東五所	15		船橋市田喜野井1丁目	15
	市原市ちはら台南2丁目	15		船橋市前原西2丁目	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
葛南地域	船橋市北本町2丁目	15	東葛飾地域	野田市清水	15
	習志野市袖ヶ浦2丁目	15		野田市尾崎	15
	習志野市香澄6丁目	15		野田市山崎	15
	習志野市谷津7丁目	15		柏市富里1丁目	15
	習志野市新栄1丁目	15		柏市あけぼの1丁目	15
	習志野市実籾2丁目	15		柏市弥生町	15
	八千代市萱田町	15		柏市南柏2丁目	15
	八千代市ゆりのき台1丁目	15		柏市高田	15
	八千代市上高野	15		柏市根戸 / 松ヶ崎 / 柏堀之内新田	15
	八千代市大和田	15		柏市南逆井6丁目	15
	八千代市八千代台南2丁目	15		柏市光ヶ丘団地	15
	八千代市大和田新田	15		柏市今谷上町	15
	浦安市当代島2丁目	15		柏市大室	15
	浦安市海楽1丁目	15		柏市塚崎	15
	浦安市堀江5丁目	15		柏市大井	15
	浦安市富岡3丁目	15		流山市向小金3丁目	15
	浦安市明海3丁目	15		流山市南流山2丁目	15
	浦安市高洲5丁目	15		流山市東初石2丁目	15
東葛飾地域	松戸市野菊野	15		流山市駒木台	15
	松戸市樋野口	15		流山市前ヶ崎	15
	松戸市上本郷	15		我孫子市船戸1丁目	15
	松戸市二十世紀が丘美野里町 / 松戸	15		我孫子市南青山	15
	松戸市上矢切	15		我孫子市湖北台7丁目	15
	松戸市上本郷	15		我孫子市台田3丁目	15
	松戸市金ヶ作	15		鎌ヶ谷市東道野辺2丁目	15
	松戸市日暮7丁目	15		鎌ヶ谷市東初富3丁目	15
	松戸市西馬橋2丁目	15		鎌ヶ谷市くぬぎ山4丁目	15
	松戸市新松戸1丁目	15		鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7丁目	15
	松戸市小金きよしヶ丘3丁目	15	印旛地域	成田市幸町	15
	松戸市八ヶ崎4丁目	15		成田市美郷台2丁目	15
	松戸市松飛台	15		成田市寺台	15
	松戸市中金杉2丁目	15		成田市本三里塚	15
	松戸市六高台8丁目	15		成田市新田	15
	松戸市上本郷	15		佐倉市宮前2丁目	15
	松戸市平賀	15		佐倉市江原 / 江原新田 / 角来	15
	野田市大殿井	15		佐倉市臼井	15
	野田市桜台	15		佐倉市井野	15

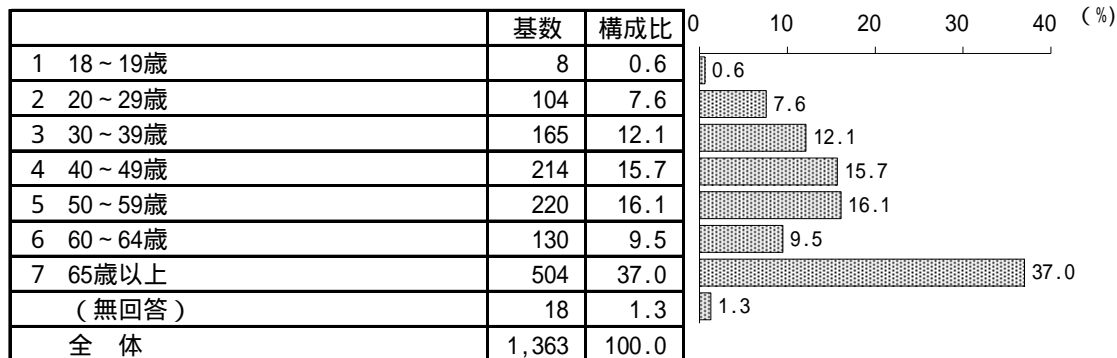
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
印旛地域	佐倉市西志津5丁目	15	長生地域	茂原市早野	15
	四街道市和良比	15		茂原市内長谷	15
	四街道市大日	15		茂原市六ツ野／谷本	15
	四街道市鷹の台4丁目	15		長生郡一宮町東浪見	15
	八街市八街ろ	15		長生郡白子町五井	15
	八街市勢田	15	夷隅地域	勝浦市川津／川津北	15
	印西市大森	15		いすみ市大原	15
	印西市木刈4丁目	15		夷隅郡大多喜町堀切／市川／中野／三条	15
	印西市木刈7丁目	15	安房地域	館山市北条／長須賀／上野原	15
	白井市富士	15		館山市笠名	15
	白井市七次台1丁目	15		鴨川市江美内遠野／東江見／西江見	15
	富里市七栄	15		南房総市白浜町白浜	15
	富里市中沢	15	君津地域	木更津市清川1丁目	15
	印旛郡栄町安食台6丁目	15		木更津市東太田4丁目	15
香取地域	香取市佐原水／岩ヶ崎台	15		木更津市高柳／中里	15
	香取市野田	15		木更津市請西南3丁目	15
	香取市府馬	15		君津市空師4丁目	15
	香取郡神崎町立野／成城台	15		君津市八重原	15
海匝地域	銚子市外川町4丁目／外川台町	15		君津市黄和田畑	15
	銚子市四日市場町	15		富津市大堀2丁目	15
	旭市神宮寺	15		袖ヶ浦市神納	15
	旭市南堀之内	15		袖ヶ浦市下泉	15
	匝瑳市吉崎	15			
山武地域	東金市二又	15			
	東金市日吉台1丁目	15			
	山武市日向台	15			
	大網白里市みやこ野2丁目	15			
	大網白里市細草	15			
	山武郡芝山町新井田	15			
	山武郡横芝光町栗山	15			

回答者の属性

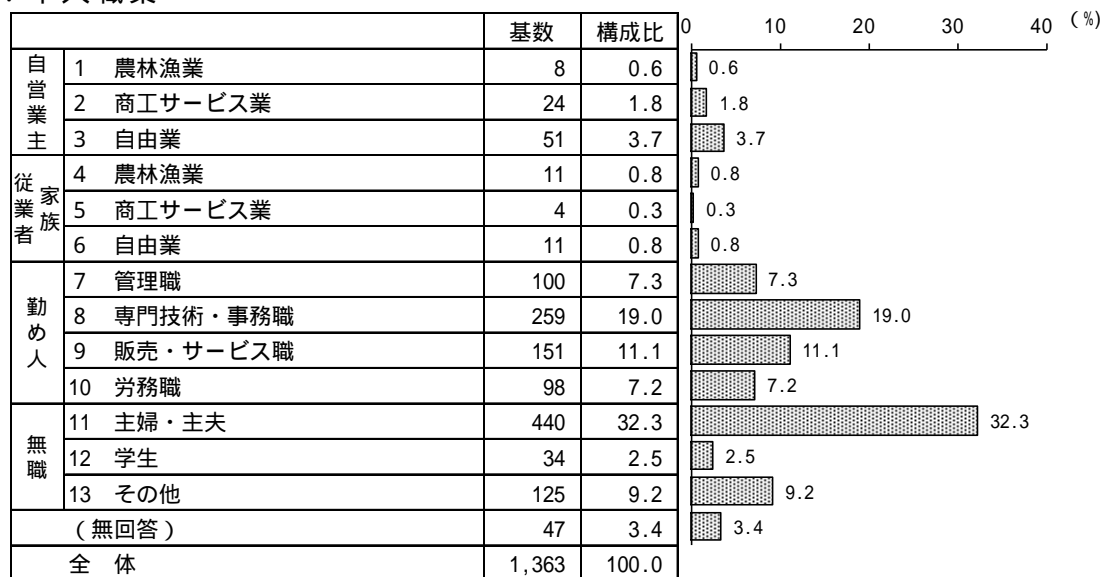
1. 性

	基数	構成比	
1 男性	601	44.1	44.1
2 女性	743	54.5	54.5
(無回答)	19	1.4	1.4
全 体	1,363	100.0	

2. 年 代



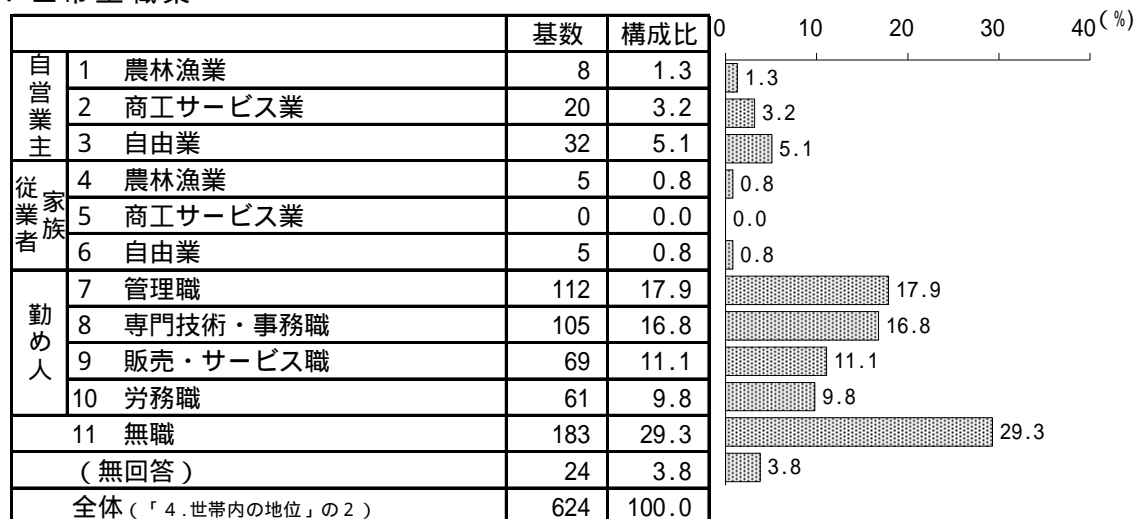
3. 本人職業



4. 世帯内の地位



5. 世帯主職業



6. 未婚

	基数	構成比	
1 未婚	279	20.5	20.5
2 既婚（配偶者有）	878	64.4	64.4
3 既婚（配偶者離死別）	145	10.6	10.6
（無回答）	61	4.5	4.5
全 体	1,363	100.0	

7. 子どもの人数

	基数	構成比	
1 1人	204	15.0	15.0
2 2人	543	39.8	39.8
3 3人	182	13.4	13.4
4 4人	15	1.1	1.1
5 5人以上	9	0.7	0.7
6 子どもはいない	349	25.6	25.6
（無回答）	61	4.5	4.5
全 体	1,363	100.0	

8. 子どもの成長段階

1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

	基数	構成比	
1 0～2歳の子ども	54	5.7	5.7
2 3歳以上の未就学の子ども	69	7.2	7.2
3 小学校・中学校在学中の子ども	151	15.8	15.8
4 高校在学中の子ども	72	7.6	7.6
5 短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	17	1.8	1.8
6 大学・大学院在学中の子ども	70	7.3	7.3
7 学校を終えた未婚の子ども	262	27.5	27.5
8 結婚した子ども	107	11.2	11.2
9 同居している子どもはいない	255	26.8	26.8
（無回答）	86	9.0	9.0
全体（上記「子どもの人数」の1から5の計）	953	-	

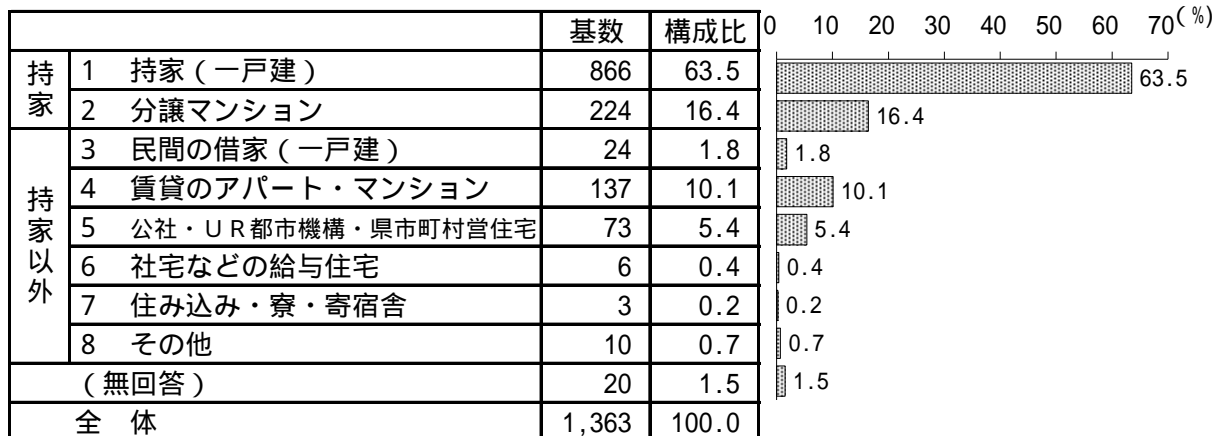
9. 家族構成

	基数	構成比	
1 単身	150	11.0	11.0
2 夫婦のみ	370	27.1	27.1
3 二世帯世帯（親と子）	647	47.5	47.5
4 三世帯世帯（親と子と孫）	100	7.3	7.3
5 その他	26	1.9	1.9
（無回答）	70	5.1	5.1
全 体	1,363	100.0	

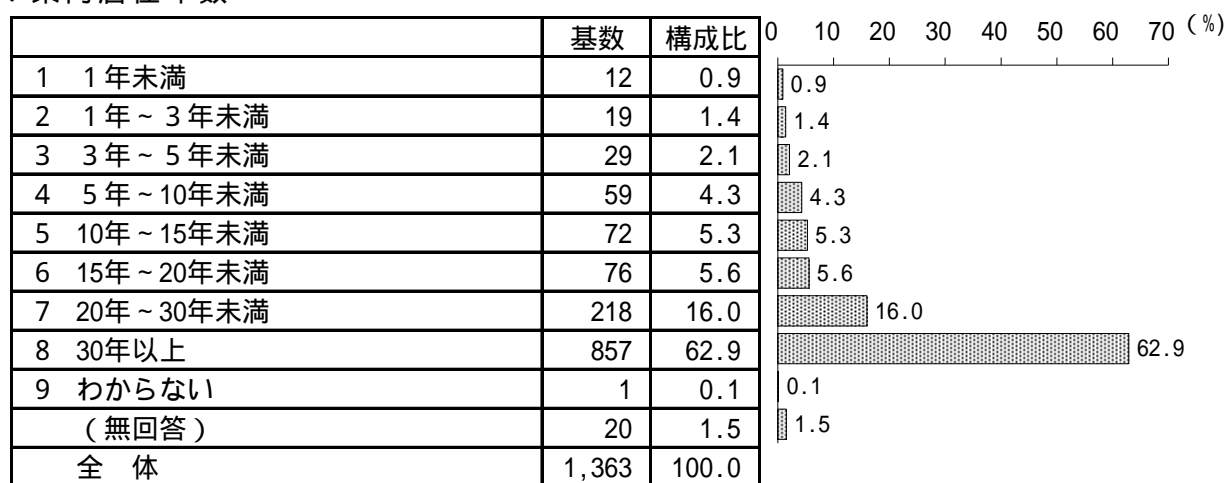
10. 高齢者の同居の有無

	基数	構成比	
1 いる（対象者本人を含む）	755	55.4	55.4
2 いない	578	42.4	42.4
（無回答）	30	2.2	2.2
全 体	1,363	100.0	

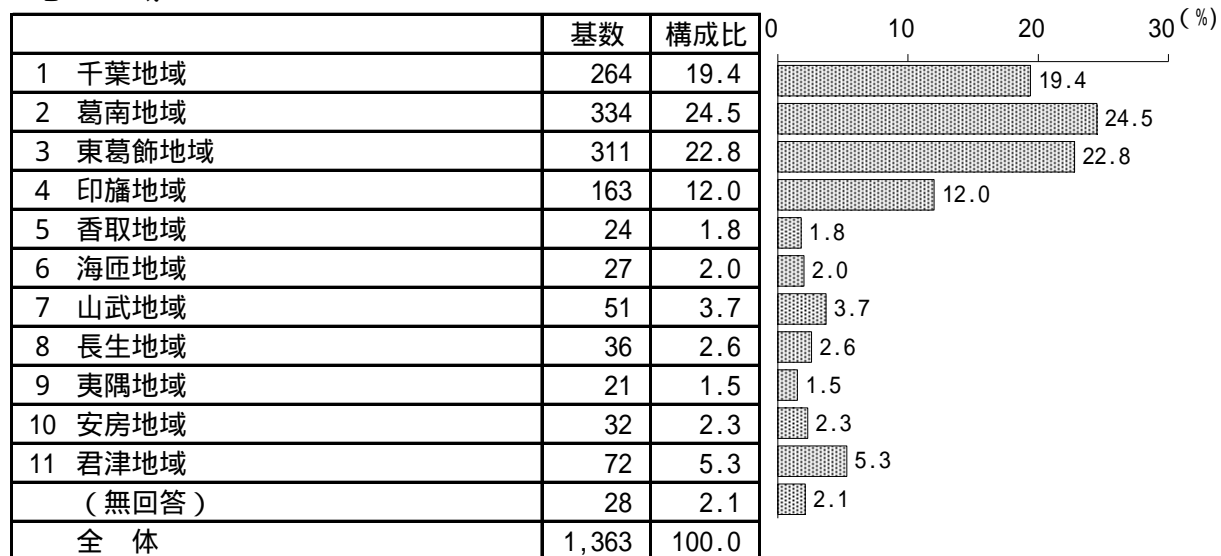
11. 住 宅



12. 県内居住年数



13. 地 域



(報告書の見方)

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が 100%にならないことがある。また、複数の合計の比率を算出した際に、単純合計と異なる数値になることがある。
- (2) 基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は件数を 100%として算出した。
- (3) 1 人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。
- (4) 地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (5) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。ただし、信頼度を 95%とする。

$$b = \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P (1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P) 基数 (n)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総 数	1,363 人	± 2.30%	± 3.06%	± 3.51%	± 3.75%	± 3.83%
千葉地域	264	± 5.22%	± 6.96%	± 7.98%	± 8.53%	± 8.70%
葛南地域	334	± 4.64%	± 6.19%	± 7.09%	± 7.58%	± 7.74%
東葛飾地域	311	± 4.81%	± 6.41%	± 7.35%	± 7.86%	± 8.02%
印旛地域	163	± 6.65%	± 8.86%	± 10.15%	± 10.85%	± 11.08%
香取地域	24	± 17.32%	± 23.09%	± 26.45%	± 28.28%	± 28.86%
海匝地域	27	± 16.33%	± 21.77%	± 24.94%	± 26.66%	± 27.21%
山武地域	51	± 11.88%	± 15.84%	± 18.15%	± 19.40%	± 19.80%
長生地域	36	± 14.14%	± 18.85%	± 21.60%	± 23.09%	± 23.57%
夷隅地域	21	± 18.51%	± 24.68%	± 28.28%	± 30.23%	± 30.86%
安房地域	32	± 15.00%	± 20.00%	± 22.91%	± 24.49%	± 25.00%
君津地域	72	± 10.00%	± 13.33%	± 15.27%	± 16.33%	± 16.66%
男 性	601	± 3.46%	± 4.61%	± 5.29%	± 5.65%	± 5.77%
女 性	743	± 3.11%	± 4.15%	± 4.75%	± 5.08%	± 5.19%

調 査 の 結 果

調査結果の解説

1 県政全般に関する意識調査

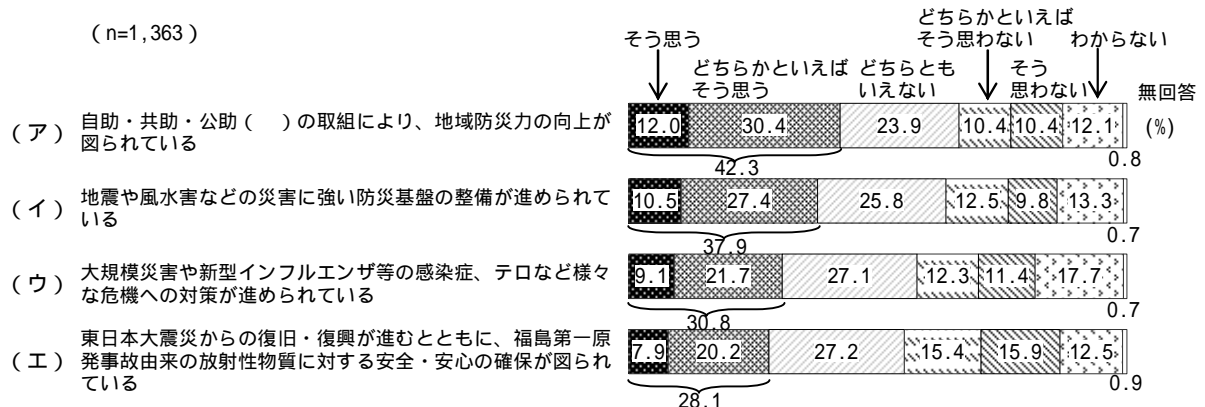
（１）防災に関する意識

『自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている』が４割を超えている

問１ あなたは、防災に関する次の項目についてどう思いますか。（ はそれぞれ１つ）

（ ）自助・共助・公助…「自助」とは、日頃から家庭で災害に備えるなど、自らの身の安全を自らが守ること、「共助」とは、地域で共に備え、助け合うこと、「公助」とは、消防・警察や自治体による救助や支援のこと。

<図表１－１> 防災に関する意識



防災に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」(42.3%) が４割を超えており、「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」(37.9%) が約４割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている」(31.3%) が、『そう思う計』(28.1%) を上回っている。(図表１－１)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域” (61.9%) で６割を超えて高くなっている。(図表１－２－１)

「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」の『そう思う計』は、“海匝地域” (55.6%) で５割台半ばと高くなっている。(図表１－２－２)

「(ウ) 大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている」の『そう思う計』は、“香取地域” (41.7%) で４割を超え、“印旛地域” (39.9%) で約４割と高くなっている。(図表１－２－３)

「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域” (38.1%) で約４割と高くなっている。(図表１－２－４)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

【性・年代別】

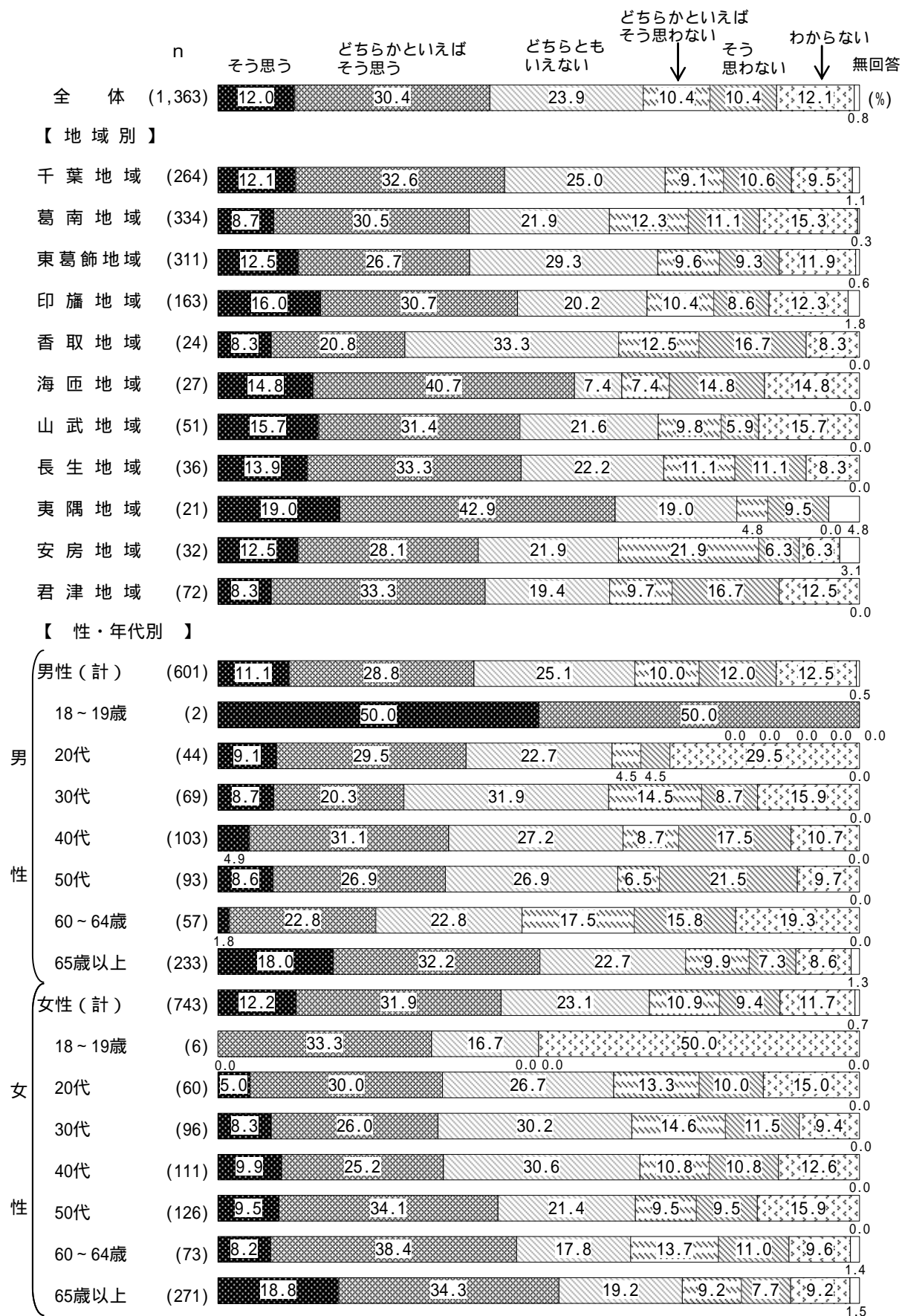
性・年代別にみると、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上（50.2%）で5割、女性の65歳以上（53.1%）で5割台半ばと高くなっている。（図表1 - 2 - 1）

「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上（50.2%）で5割と高くなっている。（図表1 - 2 - 2）

「(ウ) 大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上（46.8%）で4割台半ばと高くなっている。（図表1 - 2 - 3）

「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている」の『そう思わない計』は、男性の30代（42.0%）、男性の40代（42.7%）で4割を超えており、男性の50代（44.1%）で4割台半ばと高くなっている。（図表1 - 2 - 4）

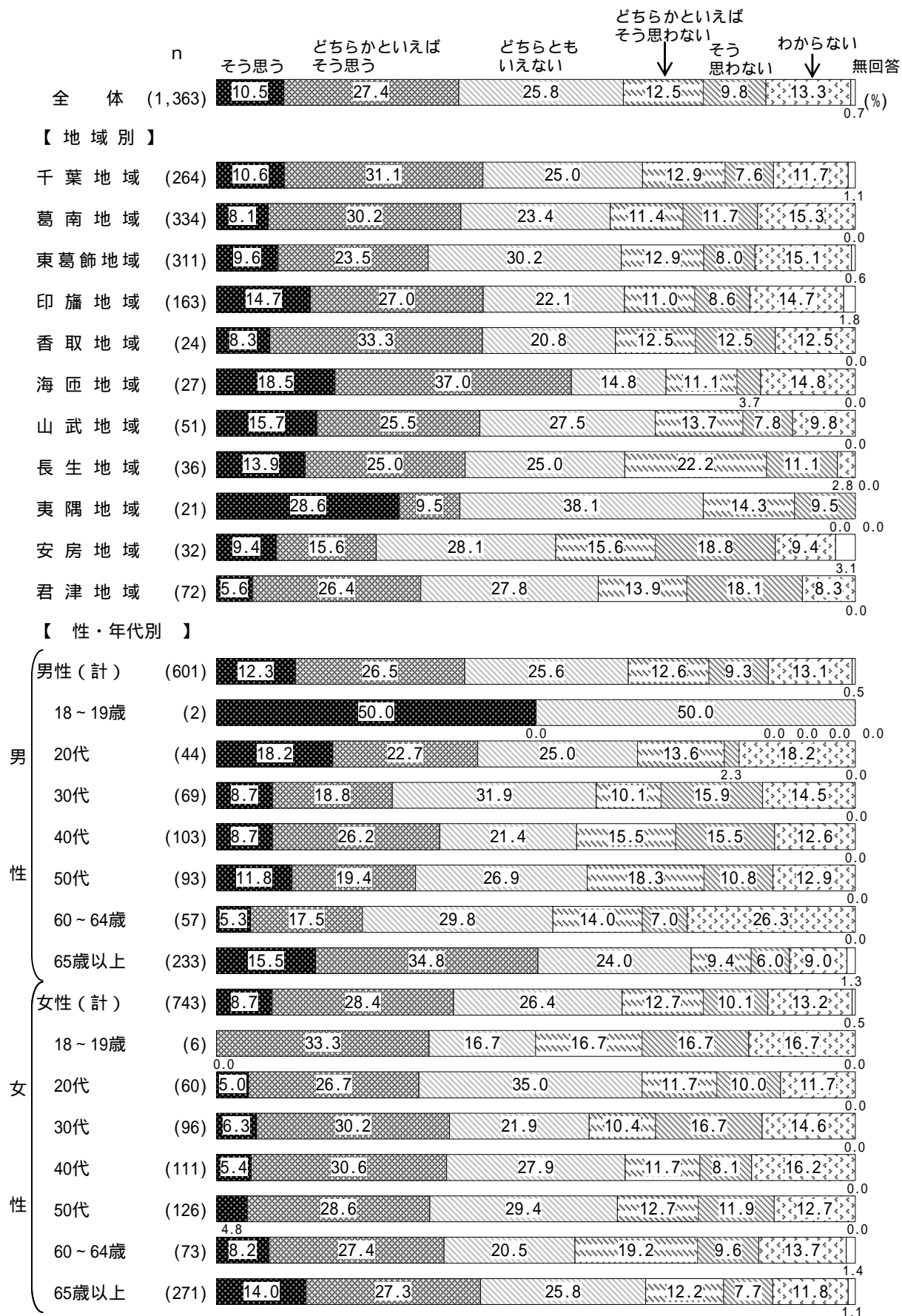
＜図表 1 - 2 - 1＞防災に関する意識／地域別、性・年代別
（ア）自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

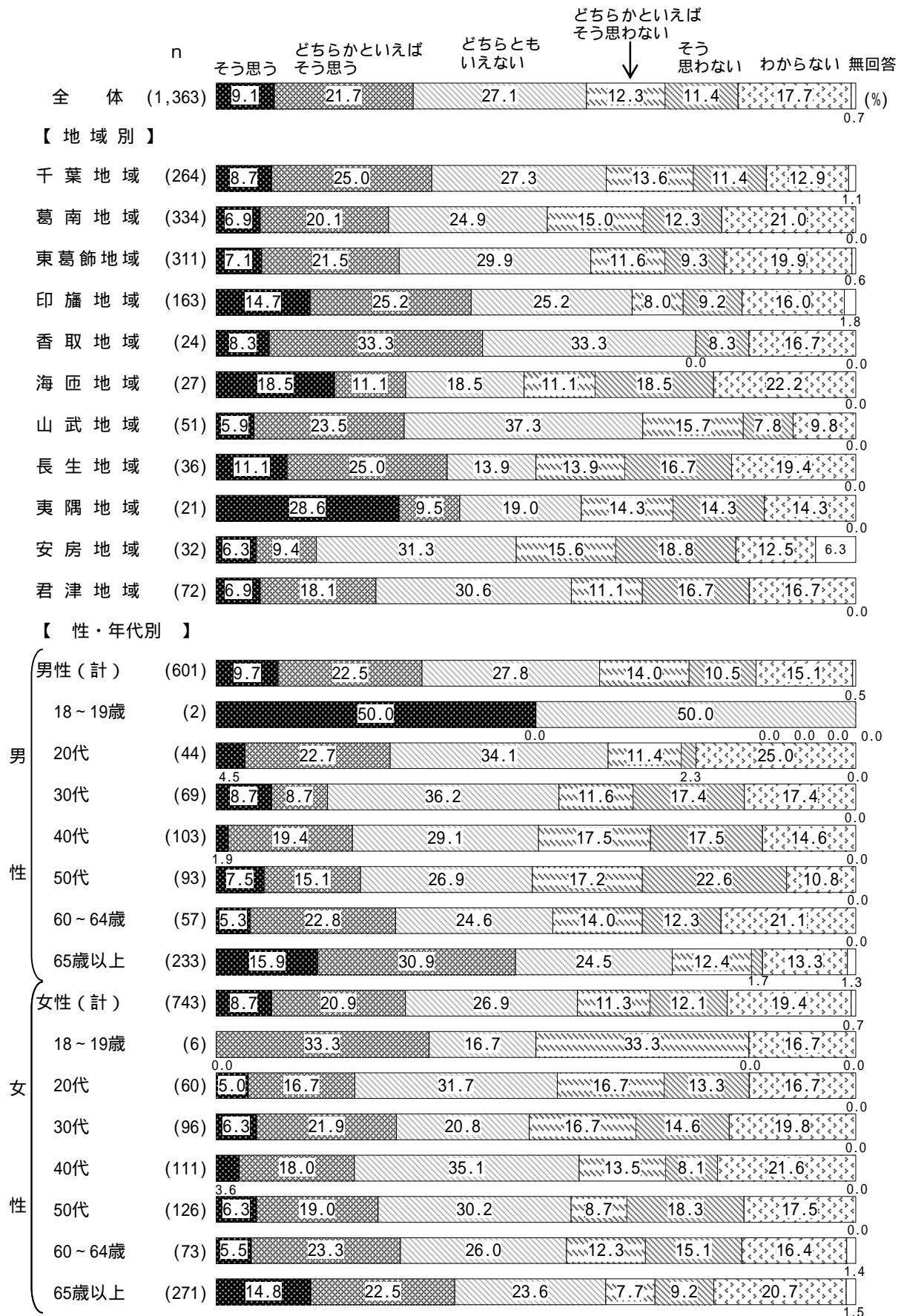
< 図表 1 - 2 - 2 > 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別

（イ）地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている



<図表 1 - 2 - 3> 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別

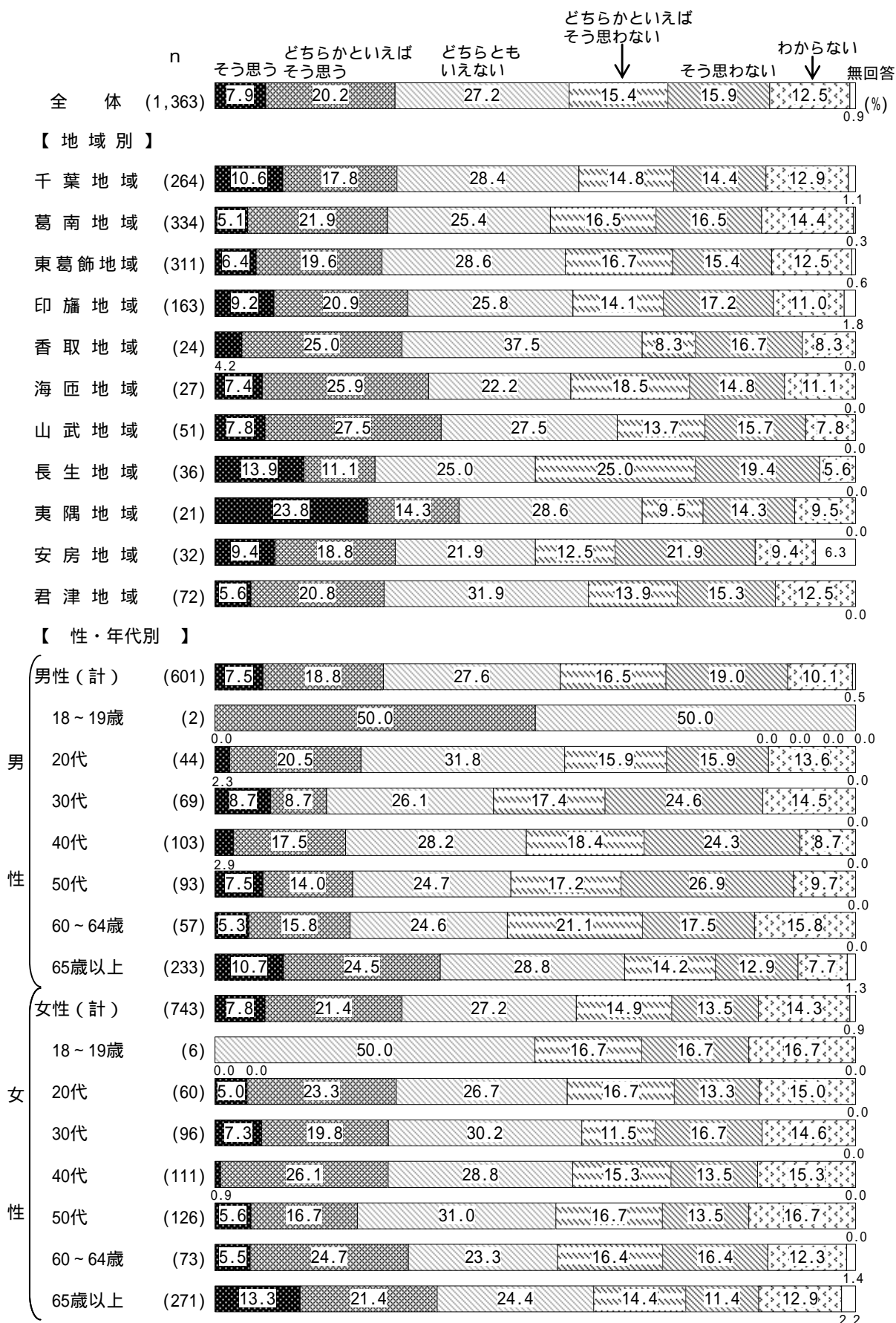
(ウ) 大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 2 - 4> 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別

（エ）東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている



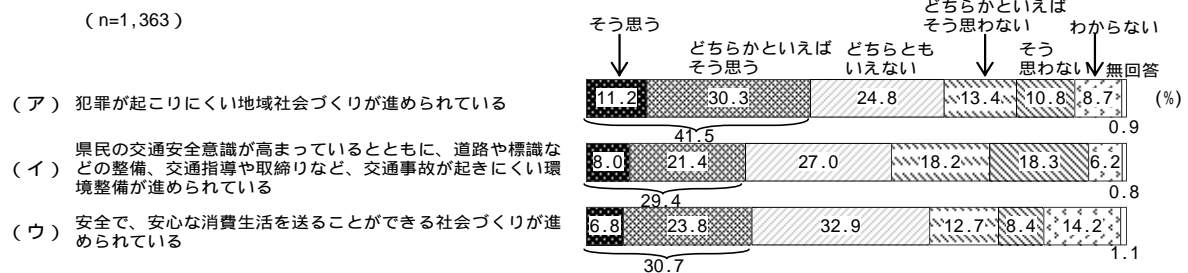
（２）暮らしの安全・安心に関する意識

『犯罪が起こりにくい地域社会づくりが進められている』が４割を超えている

問２ あなたは、暮らしの安全・安心に関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ１つ）

<図表１－３> 暮らしの安全・安心に関する意識



暮らしの安全・安心に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 犯罪が起こりにくい地域社会づくりが進められている」(41.5%) が４割を超えており、「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」(30.7%) が３割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」(36.5%) が、『そう思う計』(29.4%) を上回っている。(図表１－３)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 犯罪が起こりにくい地域社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(47.7%) で約５割と高くなっている。(図表１－４－１)

「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」の『そう思わない計』は、“君津地域”(43.1%) で４割台半ば、“葛南地域”(41.6%) で４割を超えて高くなっている。(図表１－４－２)

「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(52.4%) で５割を超えて高くなっている。(図表１－４－３)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 犯罪が起こりにくい地域社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上(54.1%) で５割台半ば、女性の65歳以上(51.3%) で５割を超えて高くなっている。(図表１－４－１)

「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」の『そう思わない計』は、男性の30代(49.3%) 女性の60～64歳(49.3%) で約５割と高くなっている。(図表１－４－２)

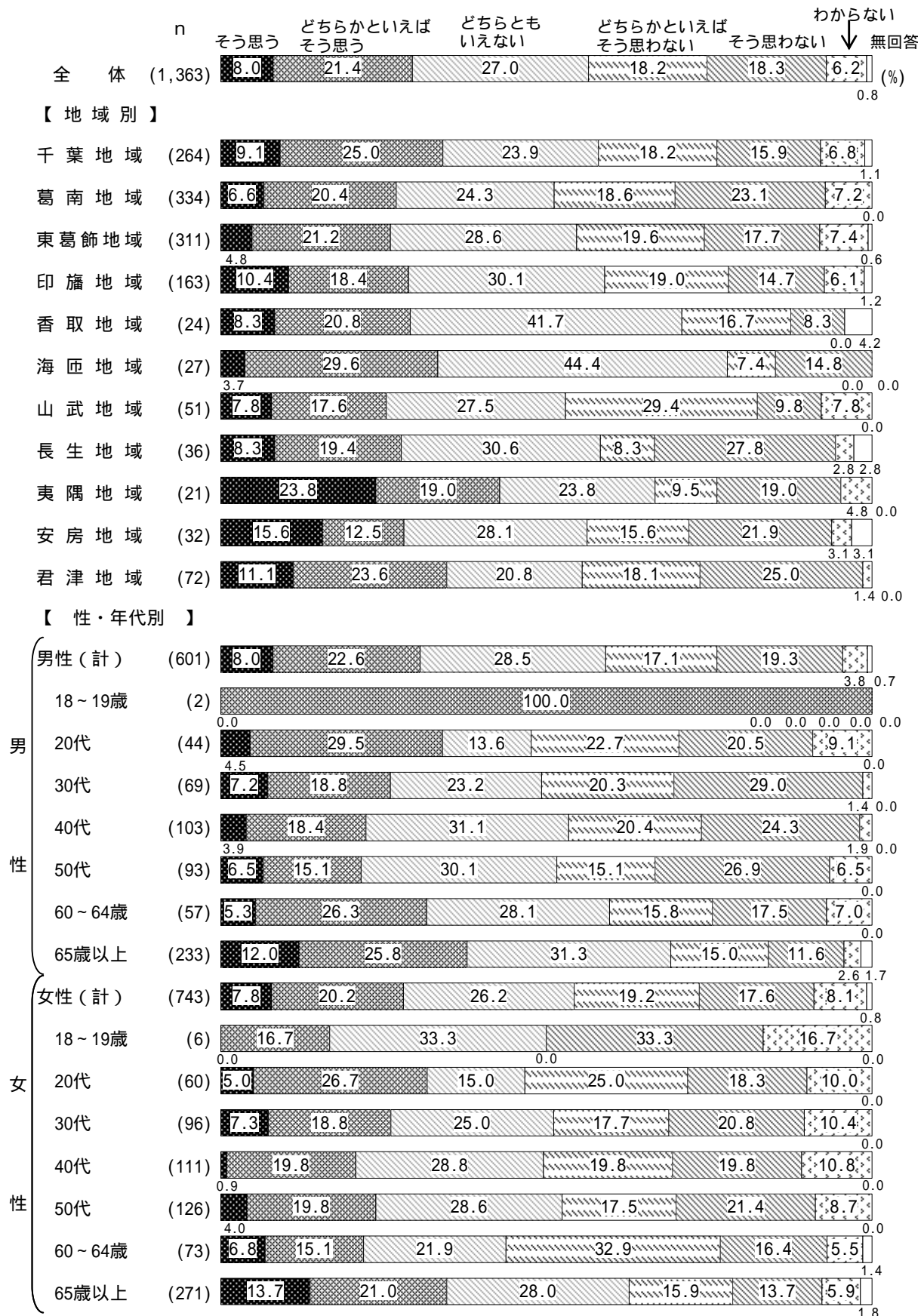
「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の50代(35.5%) で３割台半ばと高くなっている。(図表１－４－３)

＜図表１－４－１＞暮らしの安全・安心に関する意識／地域別、性・年代別
（ア）犯罪が起きにくい地域社会づくりが進められている



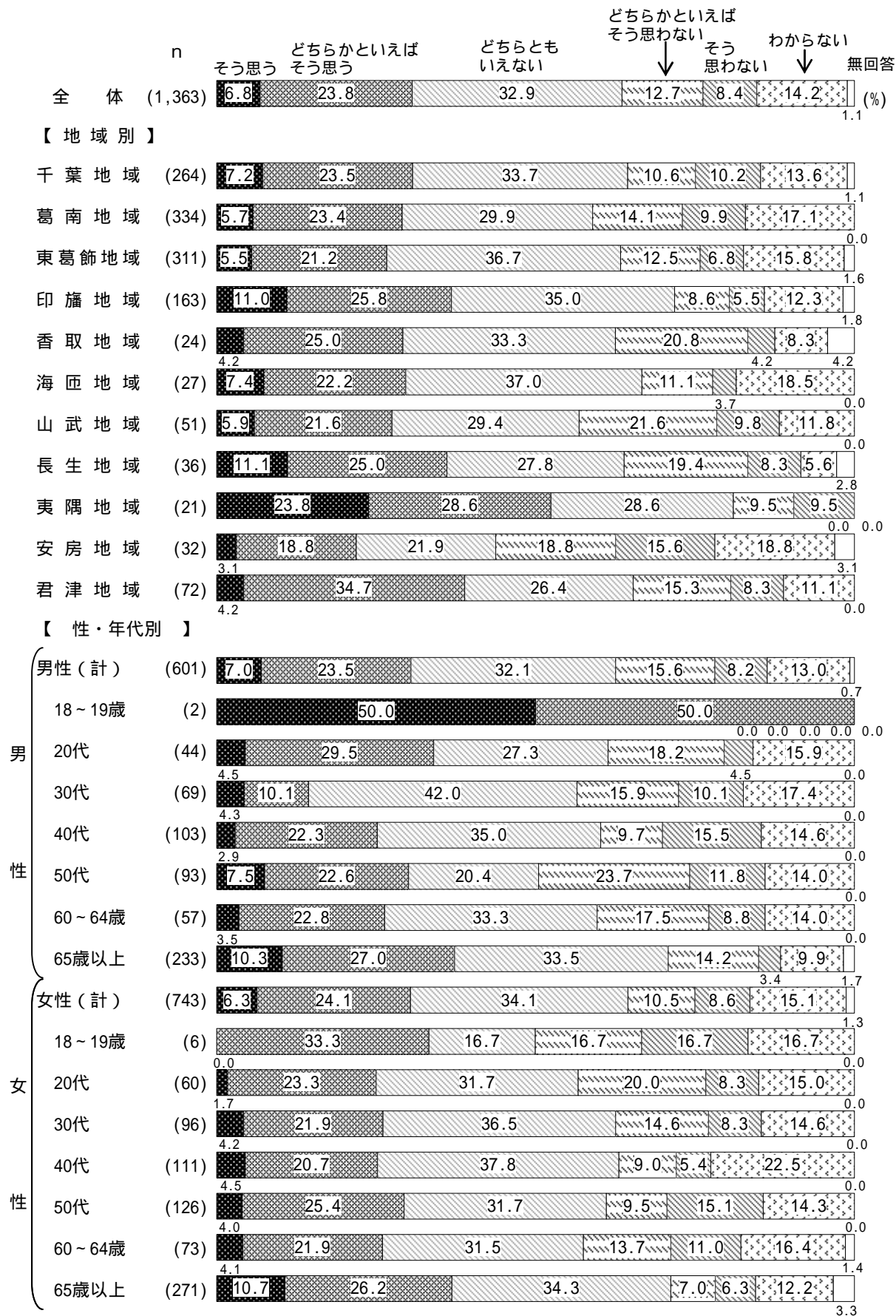
<図表 1 - 4 - 2> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別

（イ）県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 4 - 3> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別
(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている



（３）医療・福祉・健康づくりに関する意識

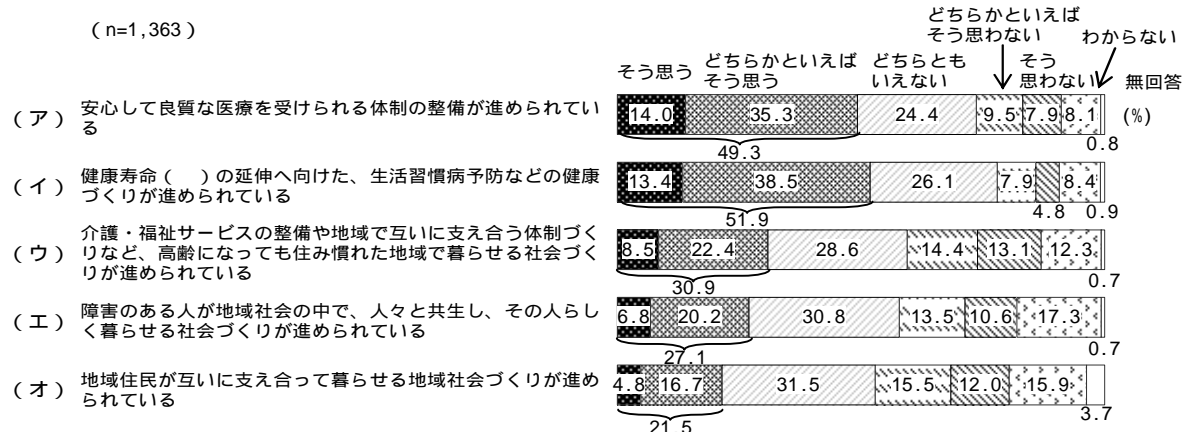
『健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている』が５割を超えている

問３ あなたは、医療・福祉・健康づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

（ ）はそれぞれ１つ）

（ ）健康寿命…一生のうち、健康で支障なく日常生活を送れる期間のこと。

<図表１－５>医療・福祉・健康づくりに関する意識



医療・福祉・健康づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」(51.9%)が５割を超えており、「(ア)安心して良質な医療を受けられる体制の整備が進められている」(49.3%)が約５割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(オ)地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている」(27.4%)が、『そう思う計』(21.5%)を上回っている。(図表１－５)

【地域別】

地域別にみると、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(61.9%)で６割を超えて高くなっている。(図表１－６－２)

「(ウ)介護・福祉サービスの整備や地域で互いに支え合う体制づくりなど、高齢になっても住み慣れた地域で暮らせる社会づくりが進められている」の『そう思わない計』は、“山武地域”(43.1%)、“安房地域”(43.8%)で４割台半ばと高くなっている。(図表１－６－３)

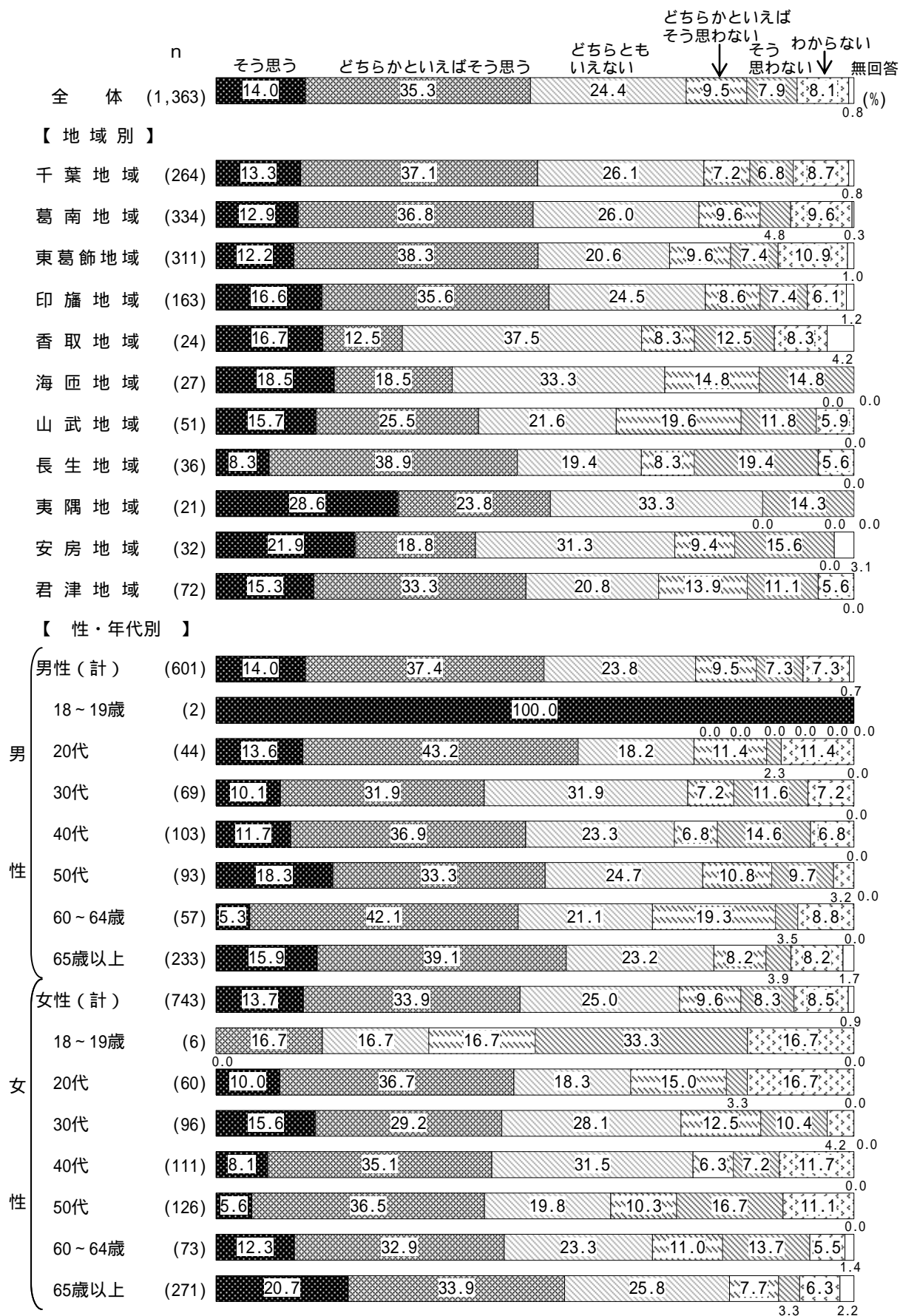
【性・年代別】

性・年代別にみると、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上(61.8%)で６割を超え、女性の65歳以上(66.1%)で６割台半ばと高くなっている。(図表１－６－２)

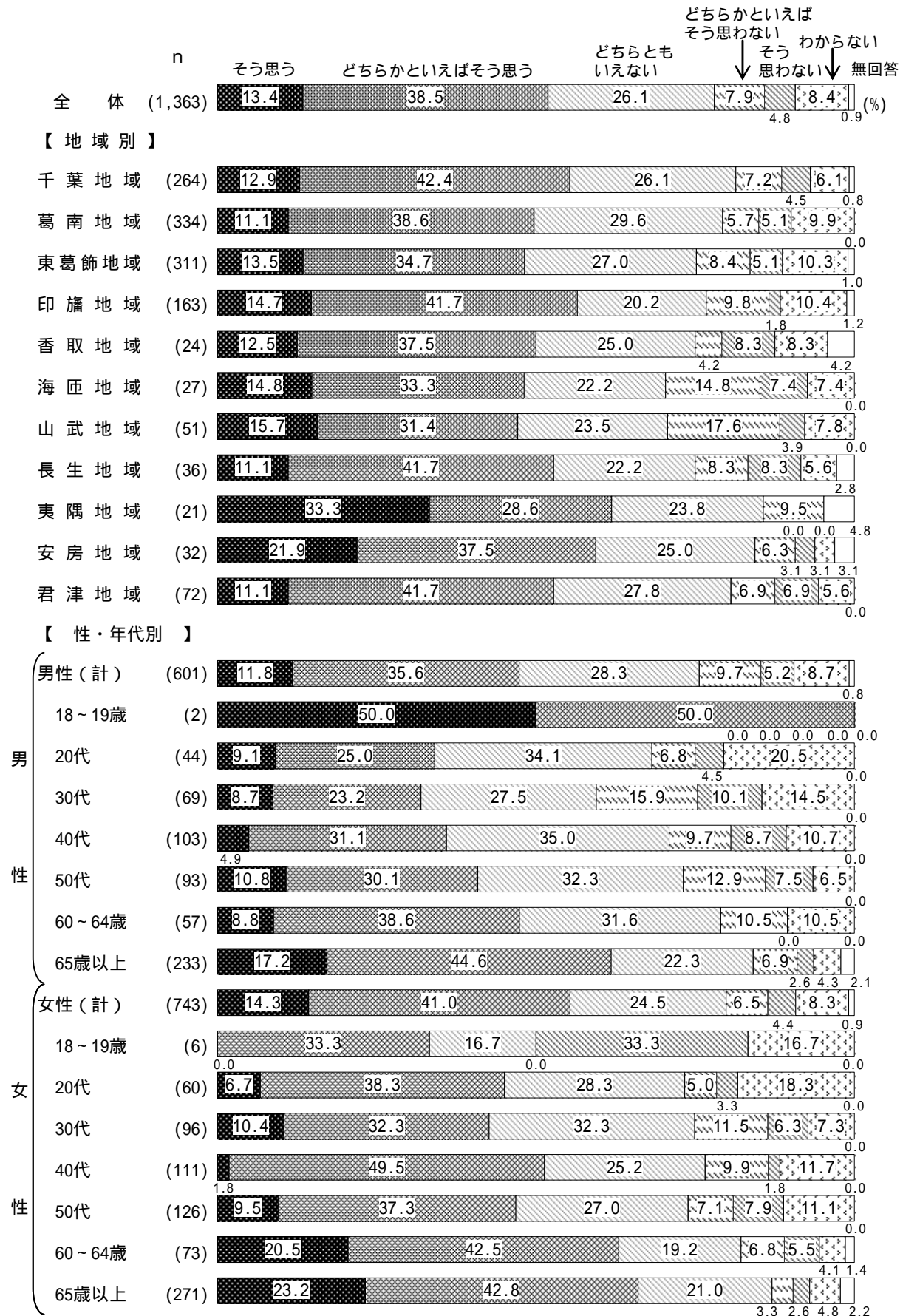
「(オ)地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の50代(45.2%)で４割台半ばと高くなっている。(図表１－６－５)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 6 - 1> 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ア) 安心して良質な医療を受けられる体制の整備が進められている



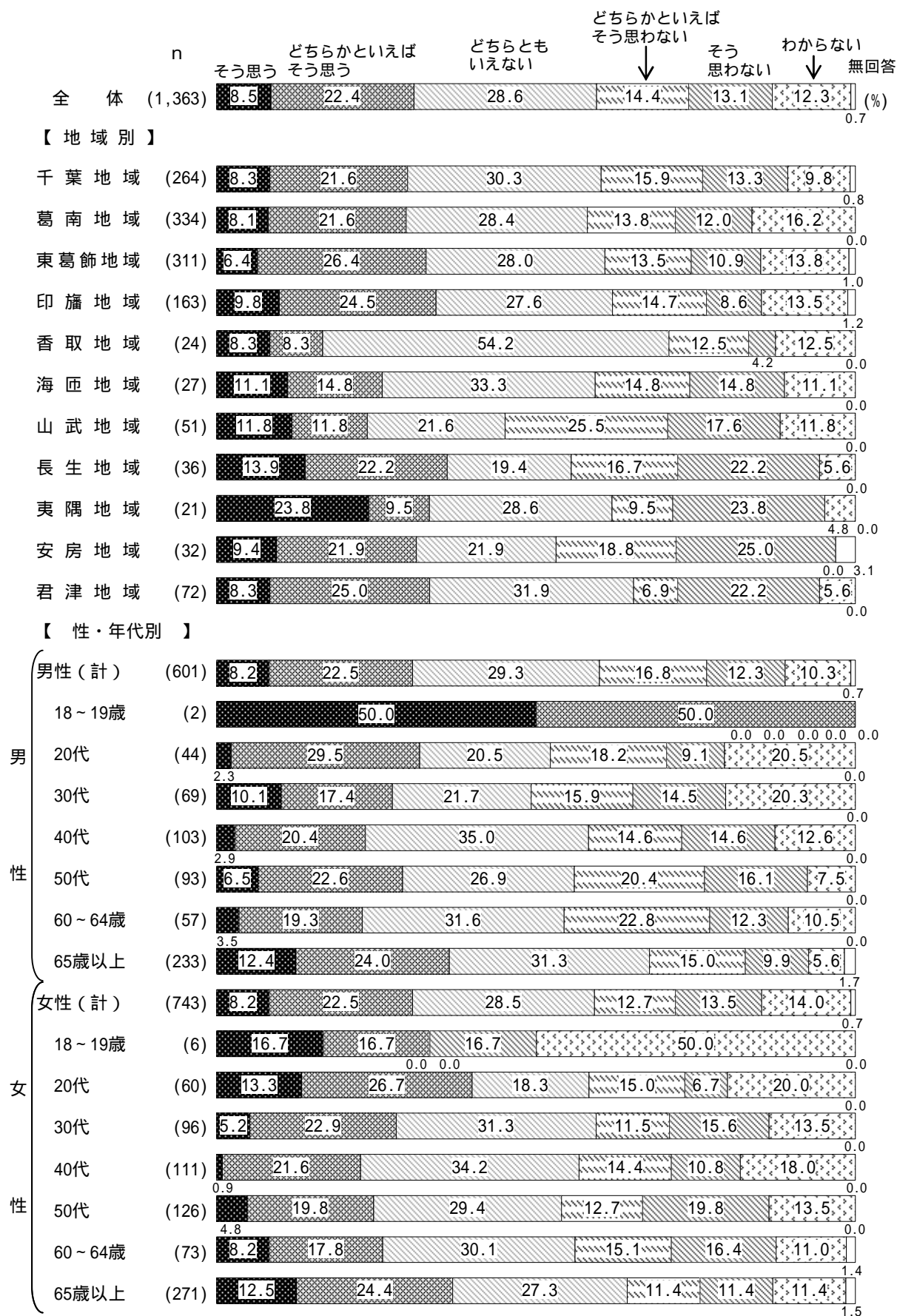
<図表 1 - 6 - 2> 医療・福祉・健康づくりに関する意識／地域別、性・年代別
 （イ）健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

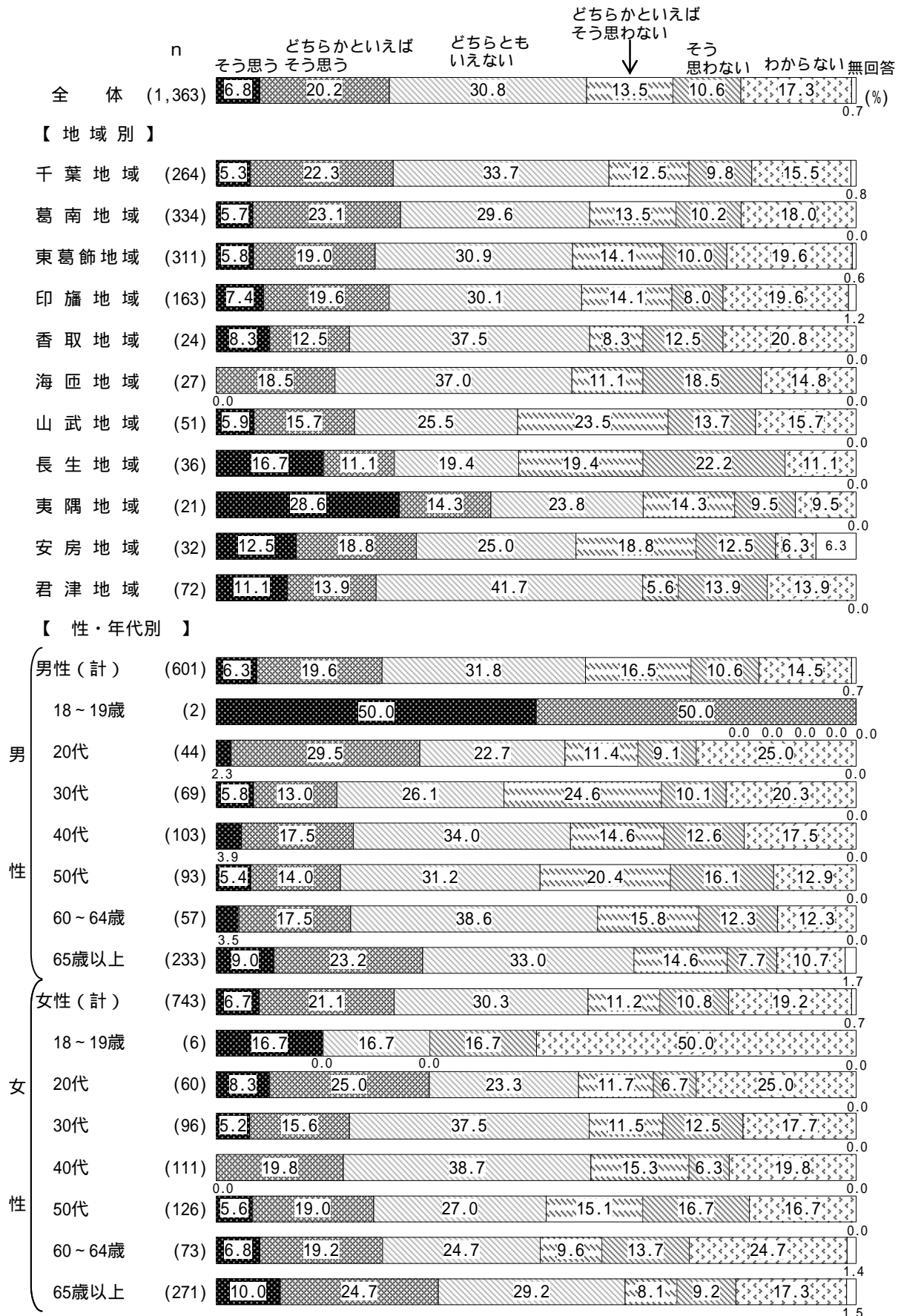
<図表 1 - 6 - 3> 医療・福祉・健康づくりに関する意識／地域別、性・年代別

（ウ）介護・福祉サービスの整備や地域で互いに支え合う体制づくりなど、高齢になっても
住み慣れた地域で暮らせる社会づくりが進められている



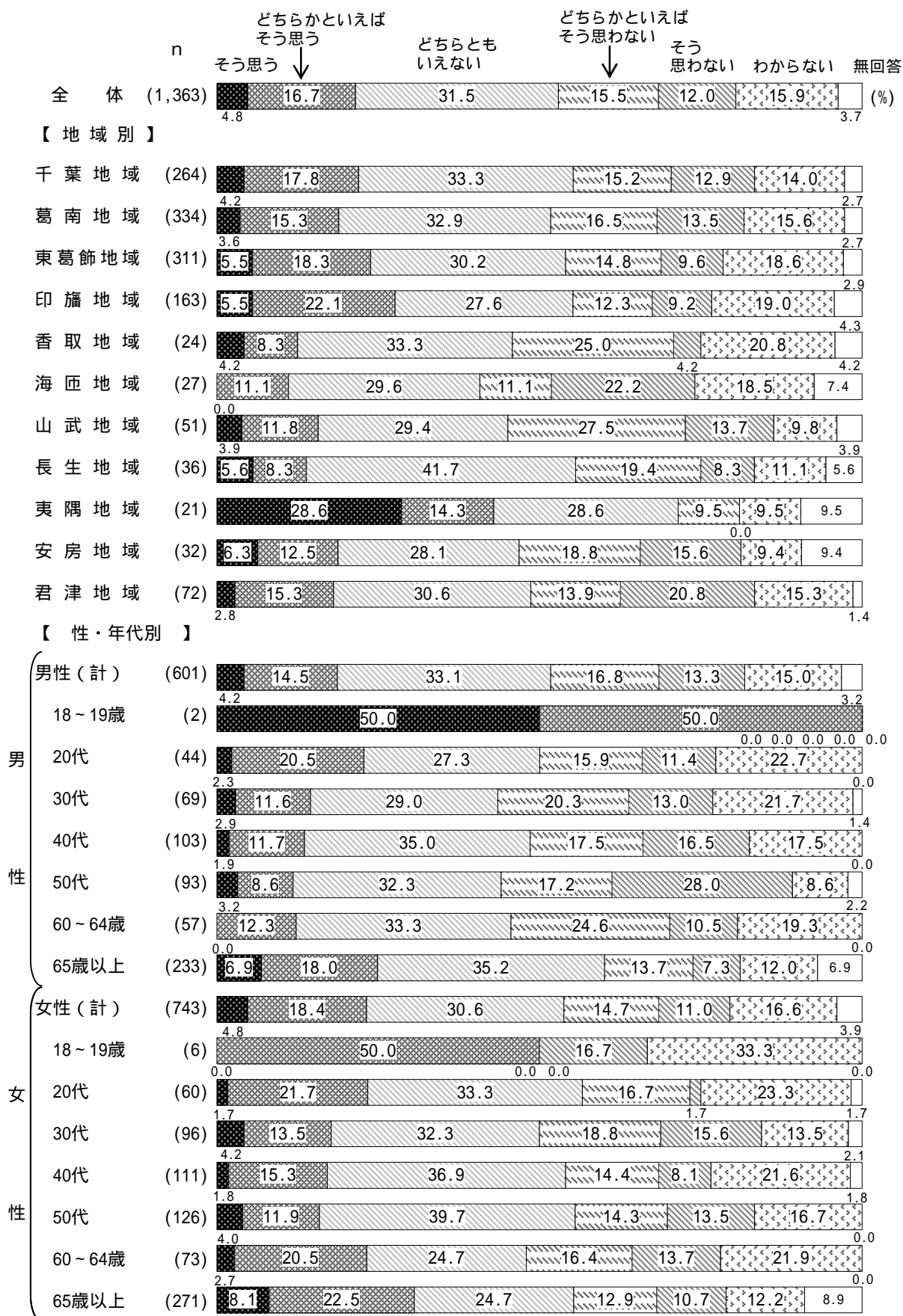
<図表 1 - 6 - 4> 医療・福祉・健康づくりに関する意識／地域別、性・年代別

(エ) 障害のある人が地域社会の中で、人々と共生し、その人らしく暮らせる社会づくりが進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 6 - 5> 医療・福祉・健康づくりに関する意識／地域別、性・年代別
（オ） 地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている



（４）文化・スポーツ振興に関する意識

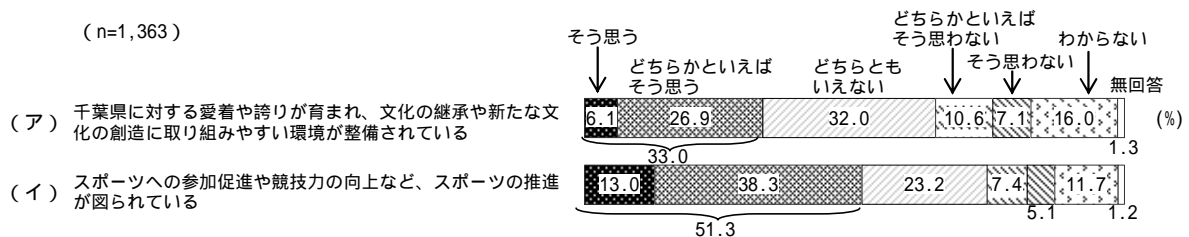
『スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている』が５割を超えている

問４ あなたは、文化・スポーツ振興に関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ１つ）

<図表１－７>文化・スポーツ振興に関する意識

（n=1,363）



文化・スポーツ振興に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」(51.3%) が５割を超えており、「(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが育まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」(33.0%) が３割台半ばとなっている。

（図表１－７）

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが育まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」の『そう思う計』は、“夷隅地域” (52.4%) で５割を超えて高くなっている。（図表１－８－１）

「(イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」の『そう思う計』は、“印旛地域” (57.1%) で約６割と高くなっている。（図表１－８－２）

【性・年代別】

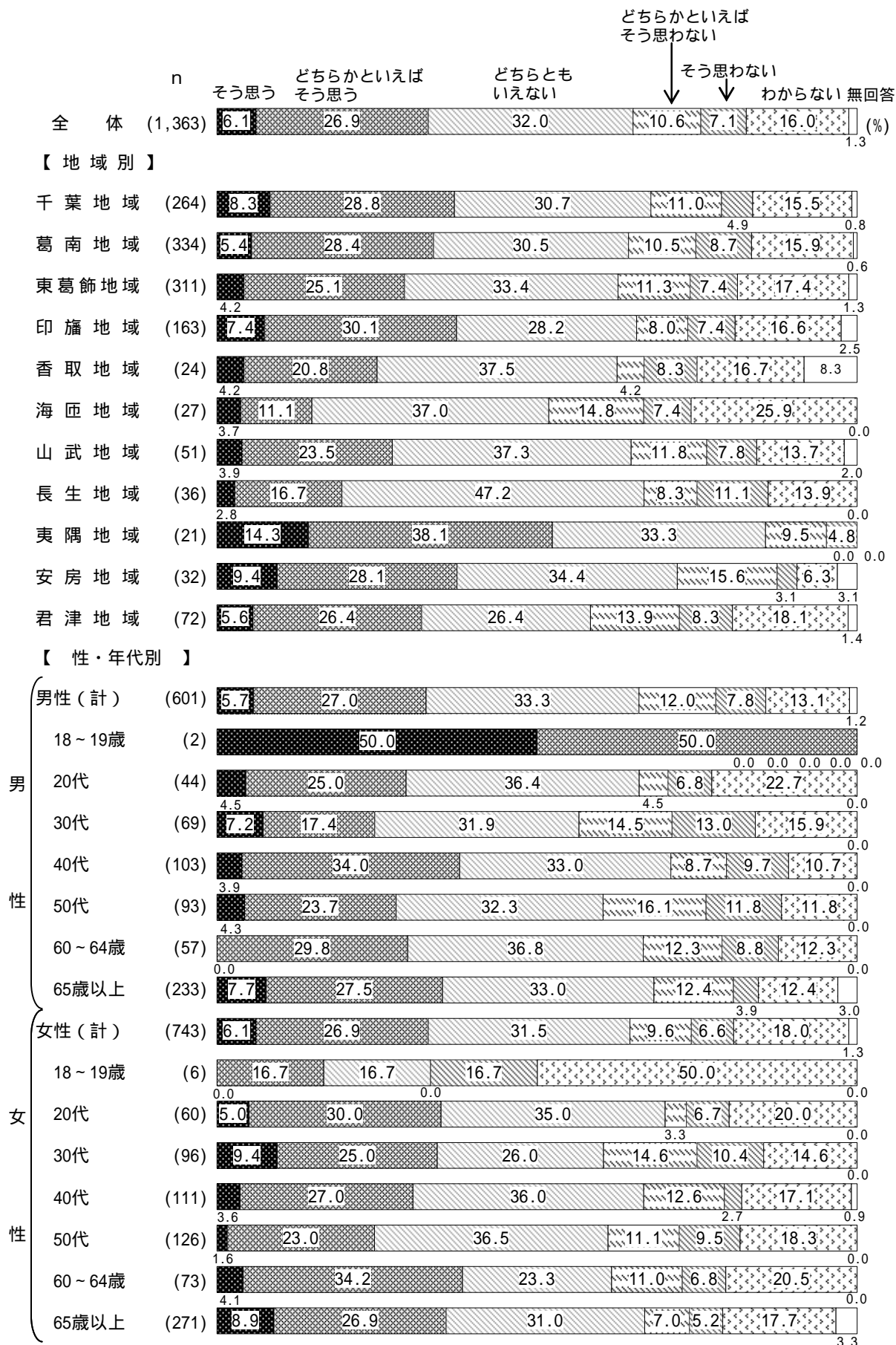
性・年代別にみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが育まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」の男性の30代 (27.5%)、男性の50代 (28.0%) で約３割と高くなっている。（図表１－８－１）

「(イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」の『そう思う計』は、男性の40代 (62.1%) で６割を超えて高くなっている。（図表１－８－２）

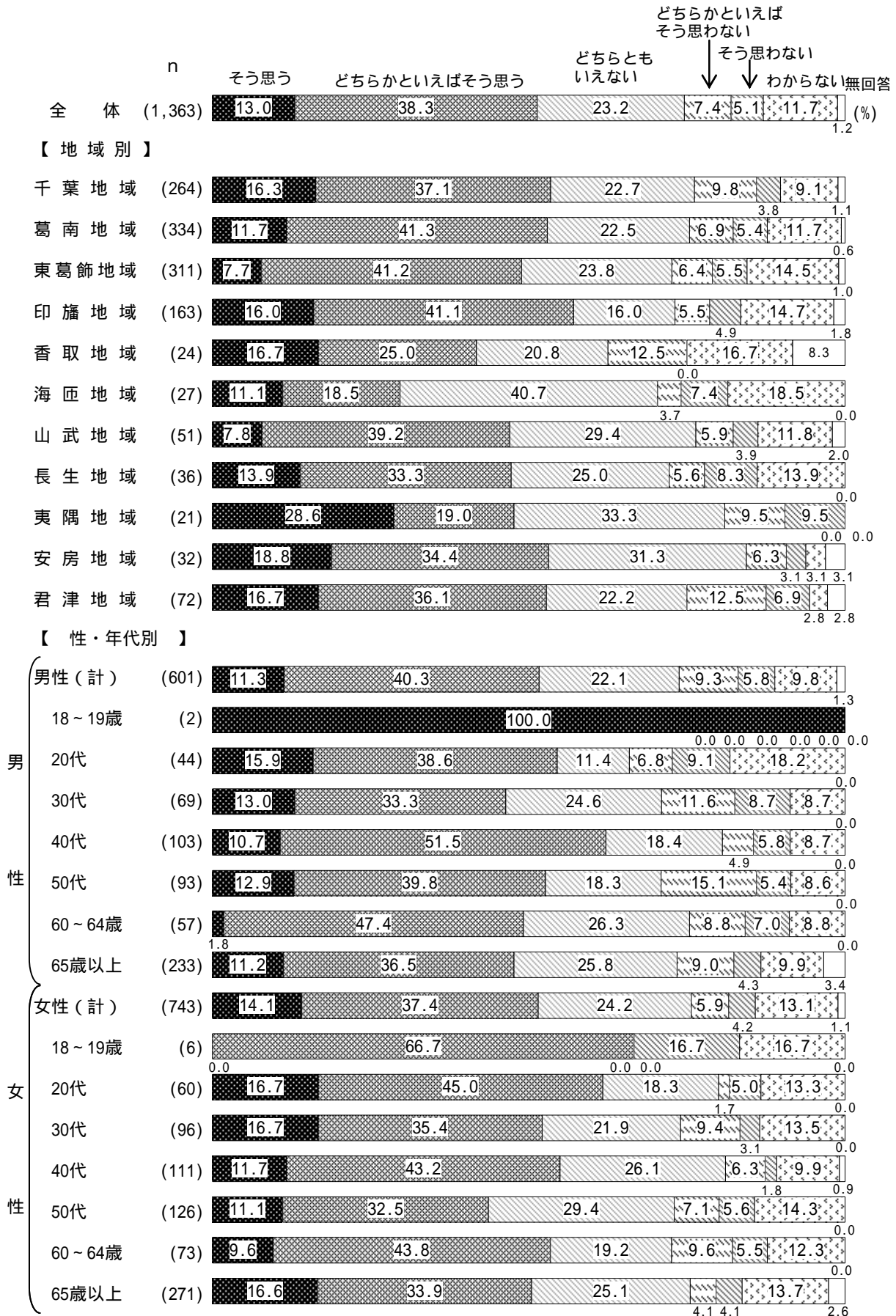
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 8 - 1>文化・スポーツ振興に関する意識 / 地域別、性・年代別

（ア）千葉県に対する愛着や誇りが育まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている



<図表 1 - 8 - 2>文化・スポーツ振興に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている

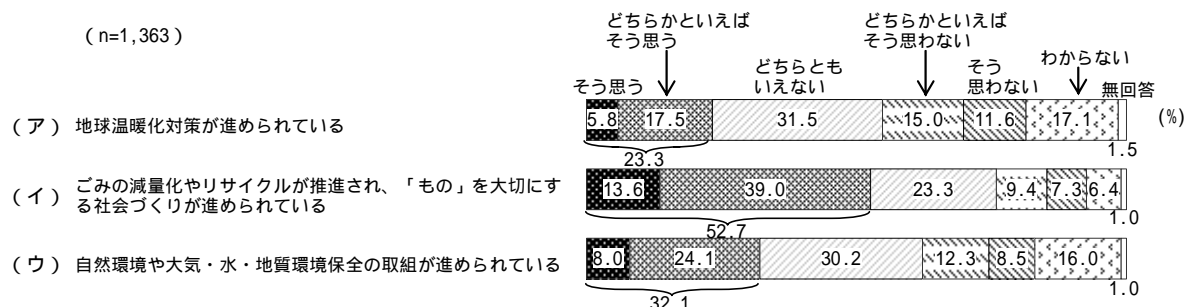


（５）環境問題に関する意識

『ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている」が 5 割を超えている

問 5 あなたは、環境問題に関する次の項目についてどう思いますか。（ はそれぞれ 1 つ）

<図表 1 - 9> 環境問題に関する意識



環境問題に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ) ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている」(52.7%) が 5 割を超えており、「(ウ) 自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」(32.1%) が 3 割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア) 地球温暖化対策が進められている」(26.6%) が『そう思う計』(23.3%) を上回っている。

(図表 1 - 9)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 地球温暖化対策が進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(57.1%) で約 6 割と高くなっている。(図表 1 - 10 - 1)

「(イ) ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、“印旛地域”(60.1%) で 6 割、“千葉地域”(59.5%) で約 6 割と高くなっている。(図表 1 - 10 - 2)

「(ウ) 自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」の『そう思う計』は、“山武地域”(17.6%) で約 2 割、“香取地域”(16.7%) で 1 割台半ばと低くなっている。

(図表 1 - 10 - 3)

【性・年代別】

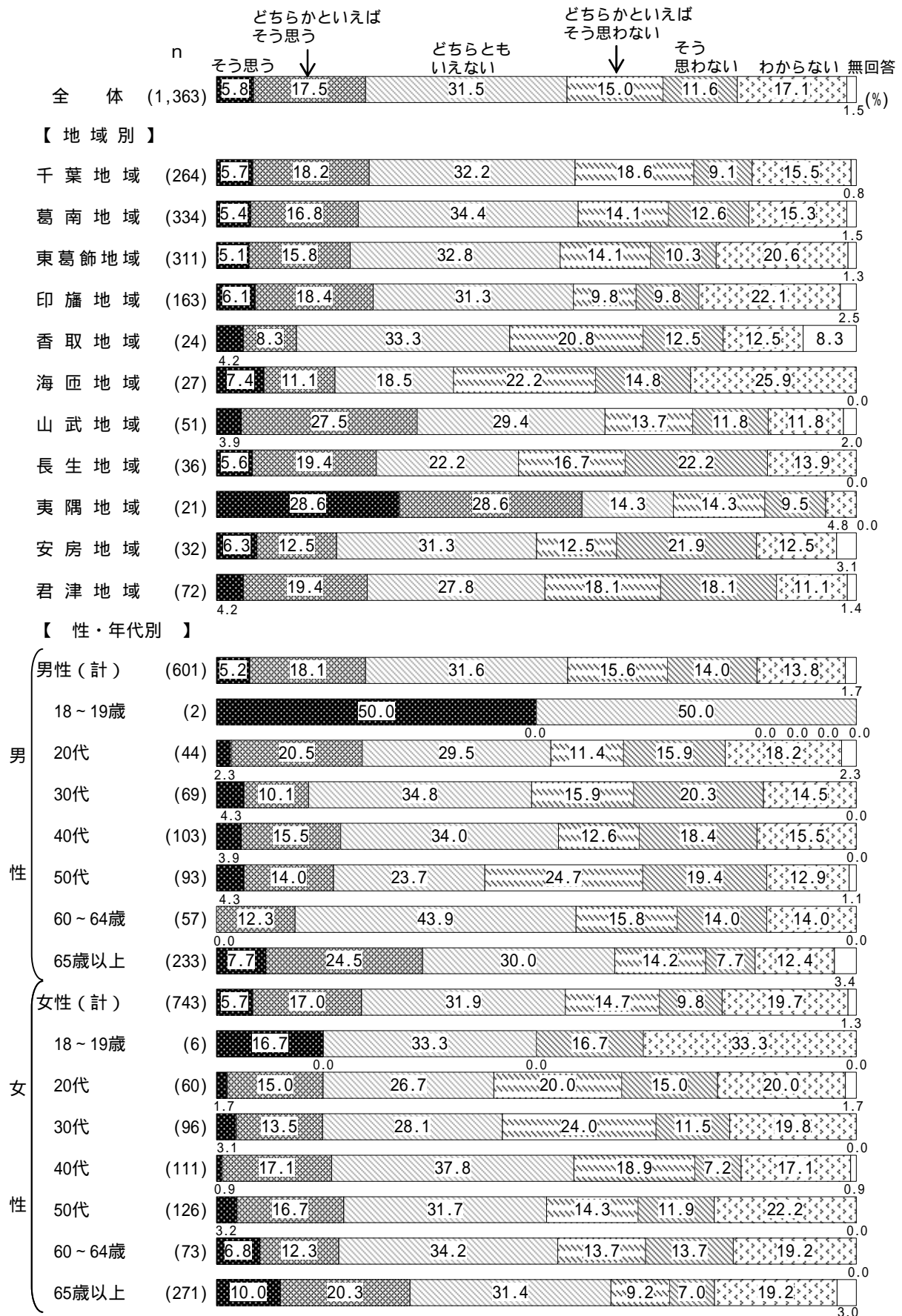
性・年代別にみると、「(ア) 地球温暖化対策が進められている」の『そう思わない計』は、男性の 50 代(44.1%) で 4 割台半ば、女性の 20 代(35.0%)、30 代(35.4%) で 3 割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 10 - 1)

「(イ) ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、女性の 60～64 歳(64.4%)、女性の 65 歳以上(63.8%) で 6 割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 10 - 2)

「(ウ) 自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」の『そう思う計』は、女性の 65 歳以上(42.8%) で 4 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 10 - 3)

<図表 1 - 10 - 1> 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別

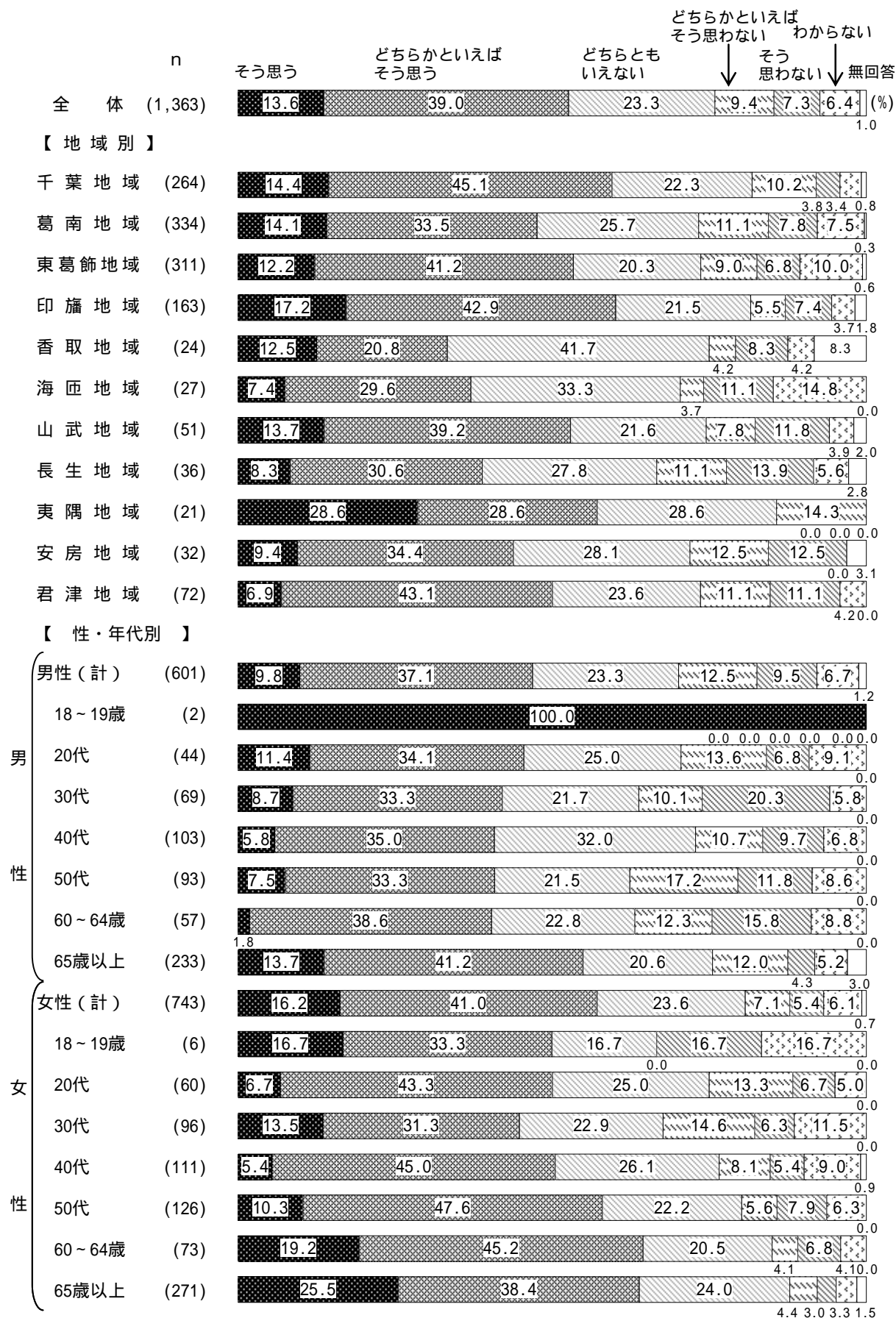
（ア）地球温暖化対策が進められている



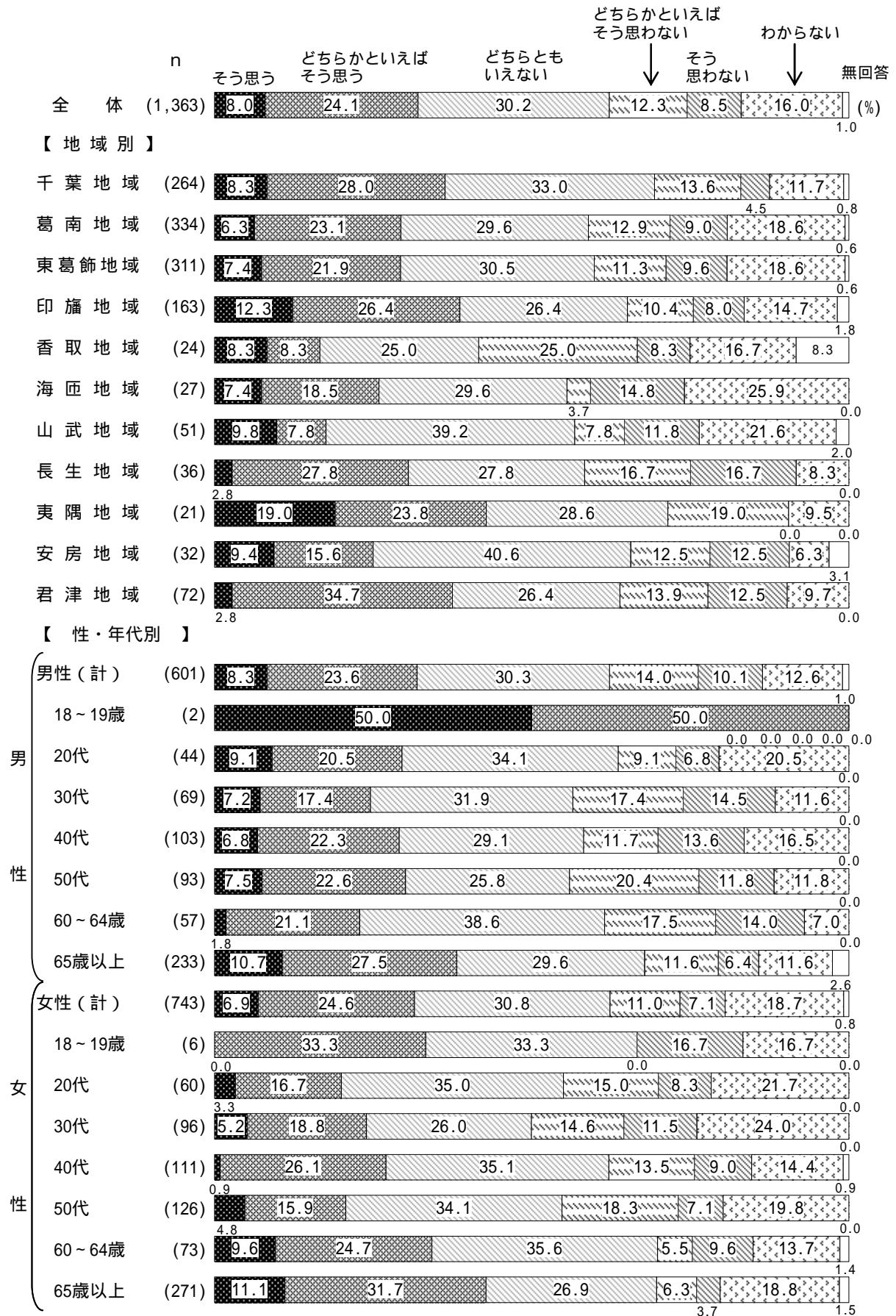
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 10 - 2> 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別

（イ）ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている



<図表 1 - 10 - 3> 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている

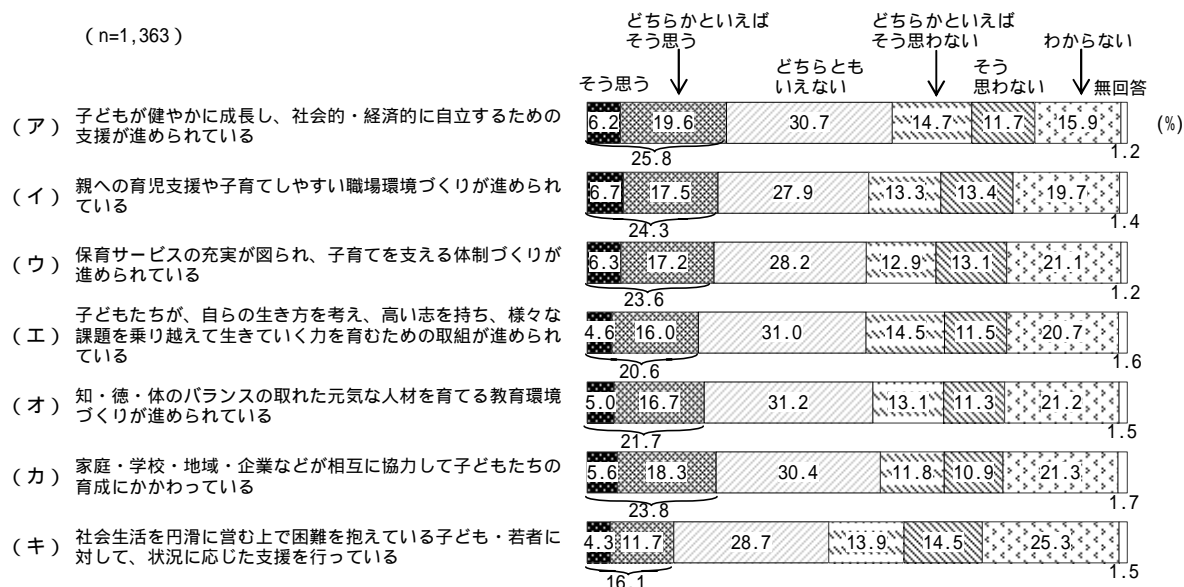


（６）子育てや教育に関する意識

『子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている』が２割台半ば

問６ あなたは、子育てや教育に関する次の項目についてどう思いますか。（ はそれぞれ１つ）

<図表１－１１> 子育てや教育に関する意識



子育てや教育に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている」(25.8%)、「(イ) 親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」(24.3%)、「(カ) 家庭・学校・地域・企業などが相互に協力して子どもたちの育成にかかわっている」(23.8%)、「(ウ) 保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている」(23.6%) が２割台半ばとなっている。(図表１－１１)

【地域別】

地域別にみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(イ) 親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」は、“安房地域”(37.5%)で約４割、“君津地域”(34.7%)で約３割台半ばと高くなっている。(図表１－１２－２)

「(オ) 知・徳・体のバランスの取れた元気な人材を育てる教育環境づくりが進められている」の『そう思う計』は、“長生地域”(33.3%)で３割台半ばと高くなっている。(図表１－１２－５)

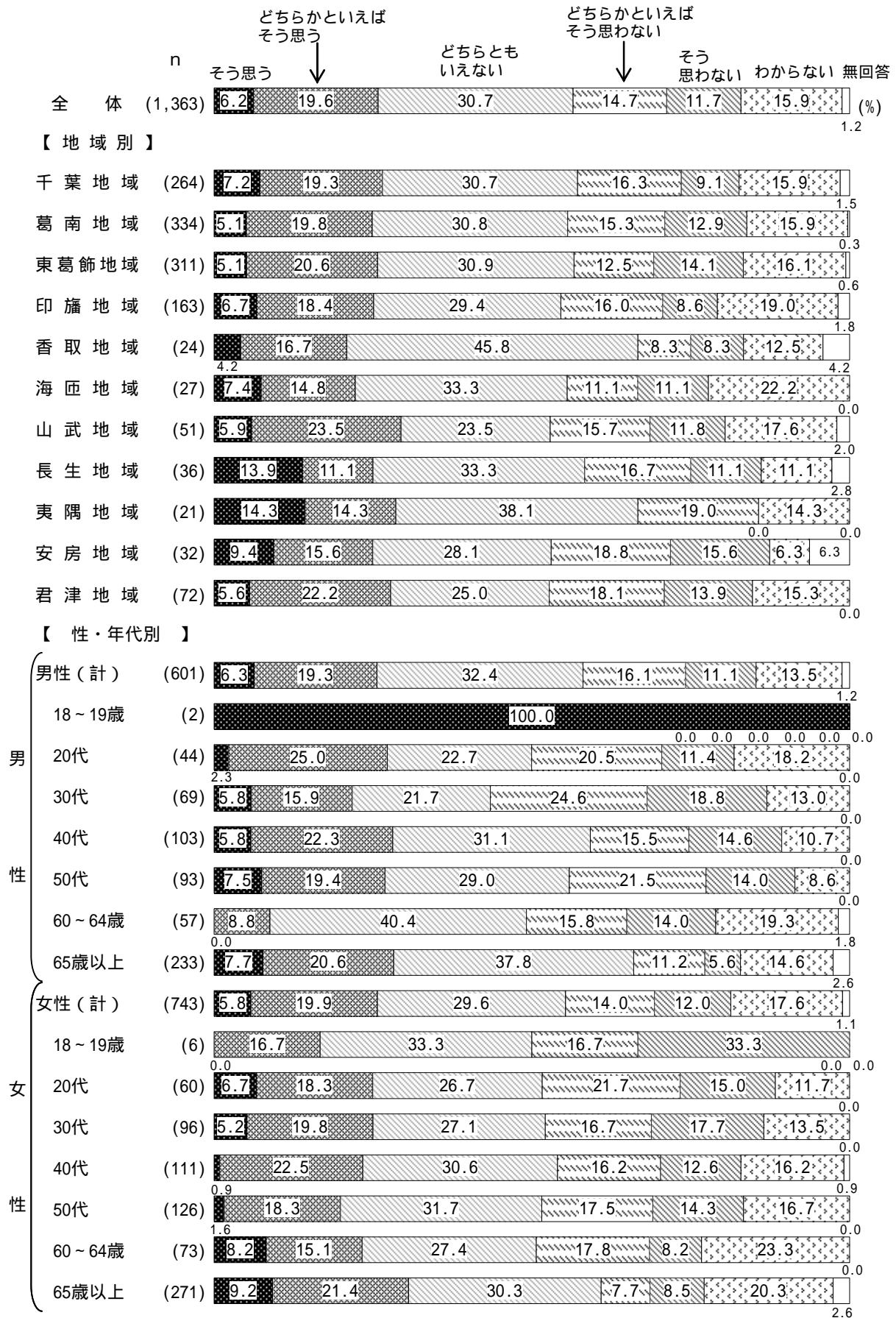
【性・年代別】

性・年代別にみると、「(イ) 親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の３０代(40.6%)、男性の４０代(40.8%)で４割、男性の５０代(36.6%)で３割台半ば、女性の３０代(38.5%)で約４割と高くなっている。(図表１－１２－２)

「(ウ) 保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の３０代(42.0%)で４割を超え、男性の５０代(35.5%)で３割台半ば、女性の３０代(37.5%)で約４割と高くなっている。(図表１－１２－３)

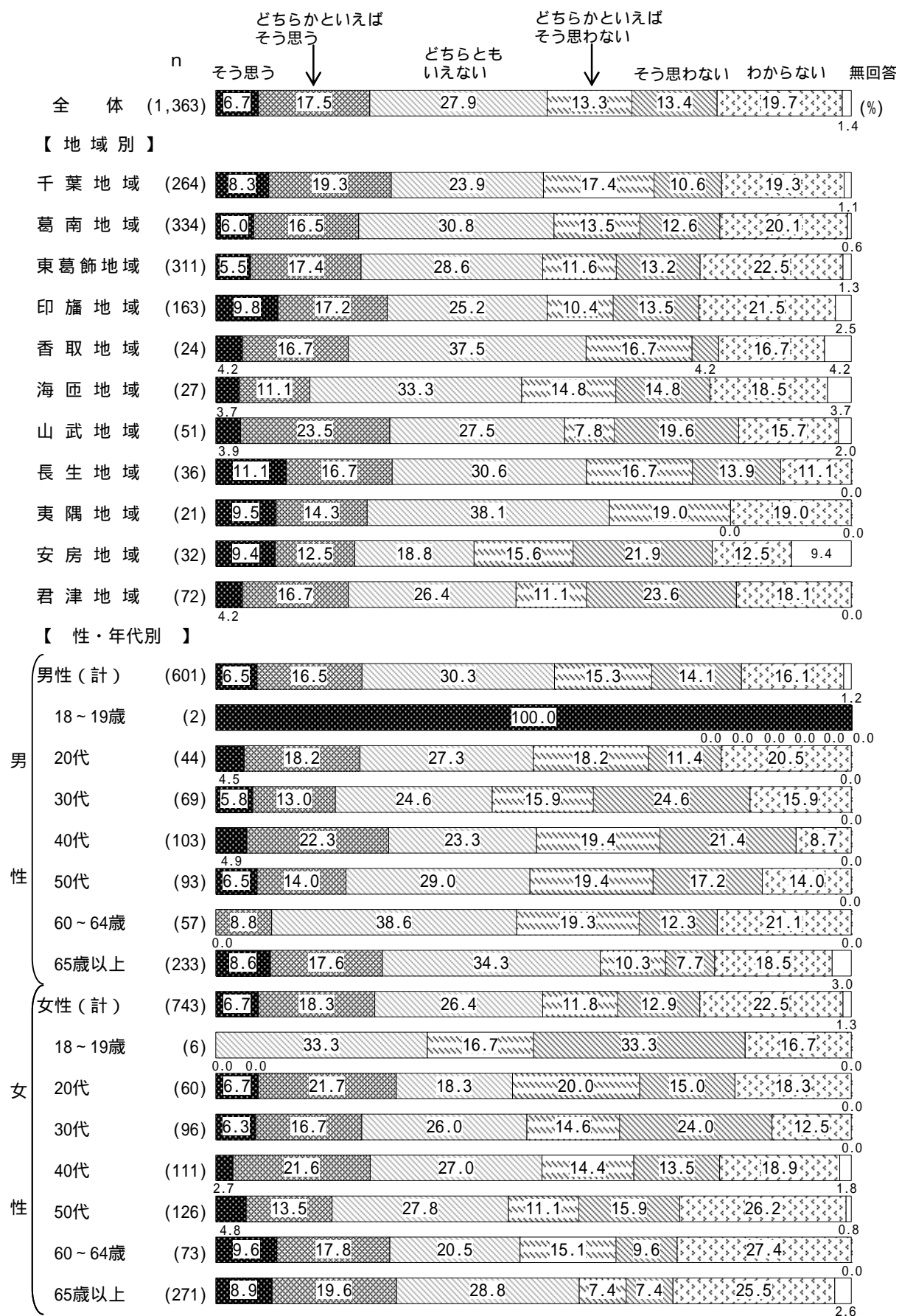
<図表 1 - 12 - 1> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

（ア）子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている

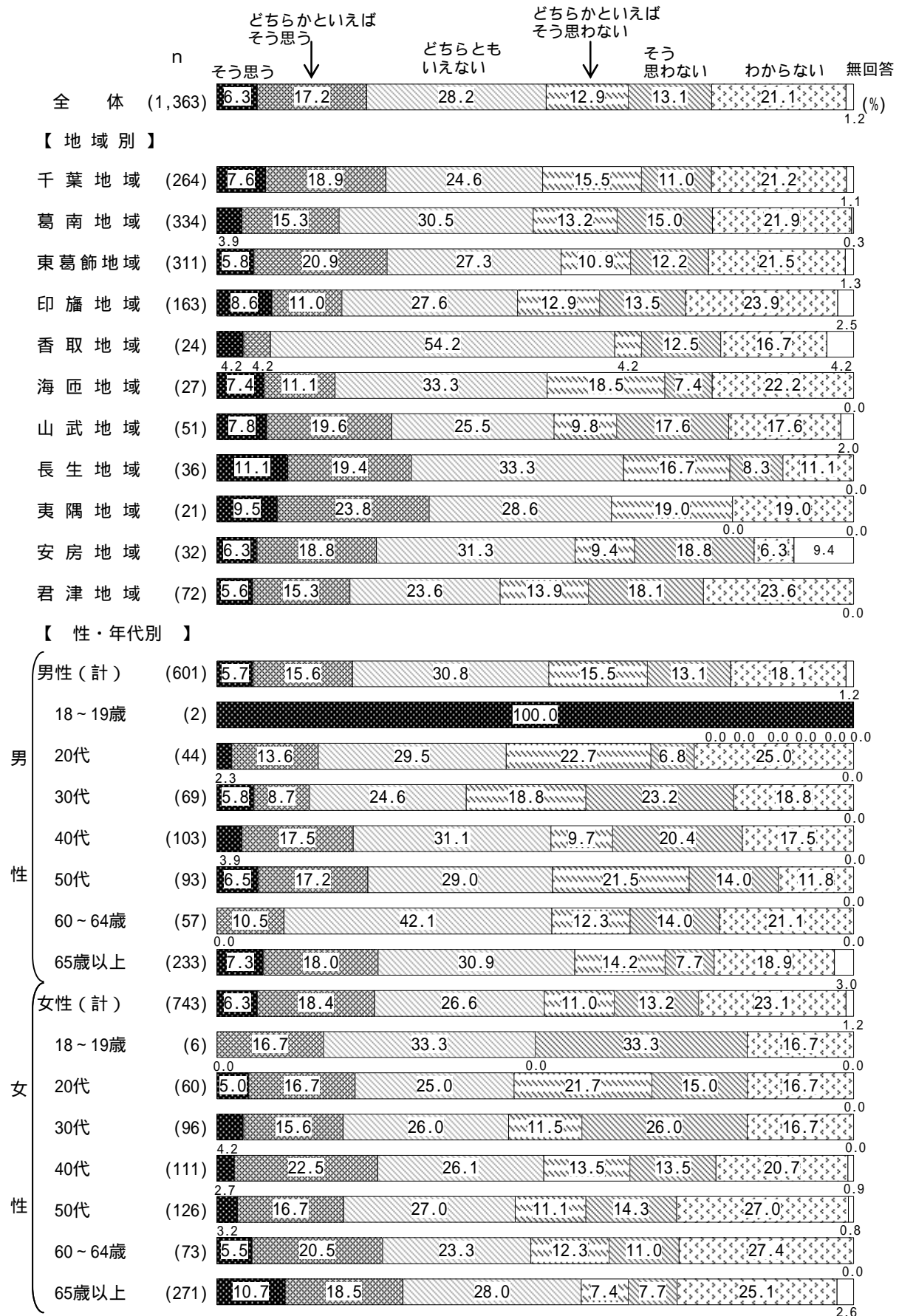


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 12 - 2> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別
(イ) 親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている



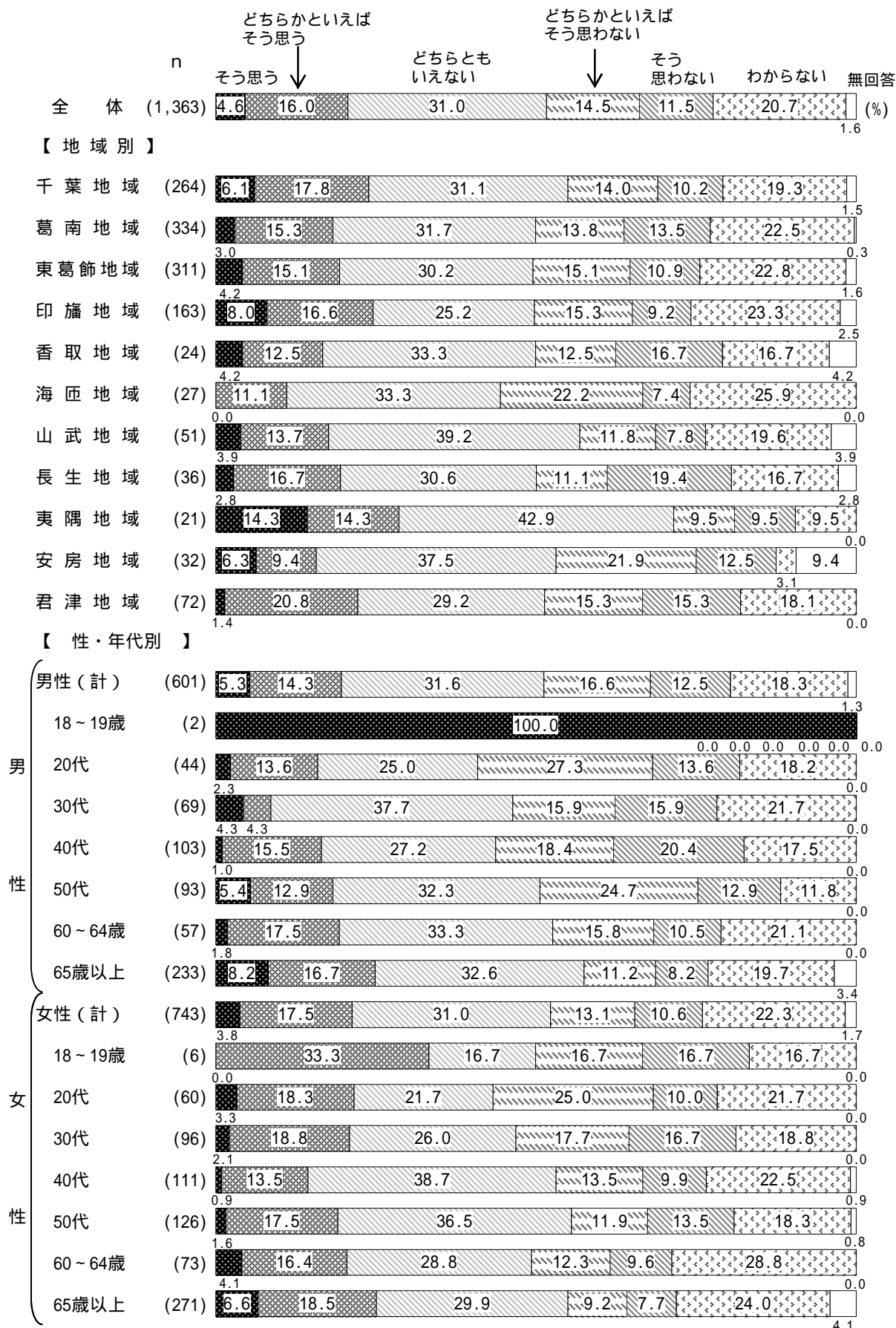
<図表 1 - 12 - 3> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

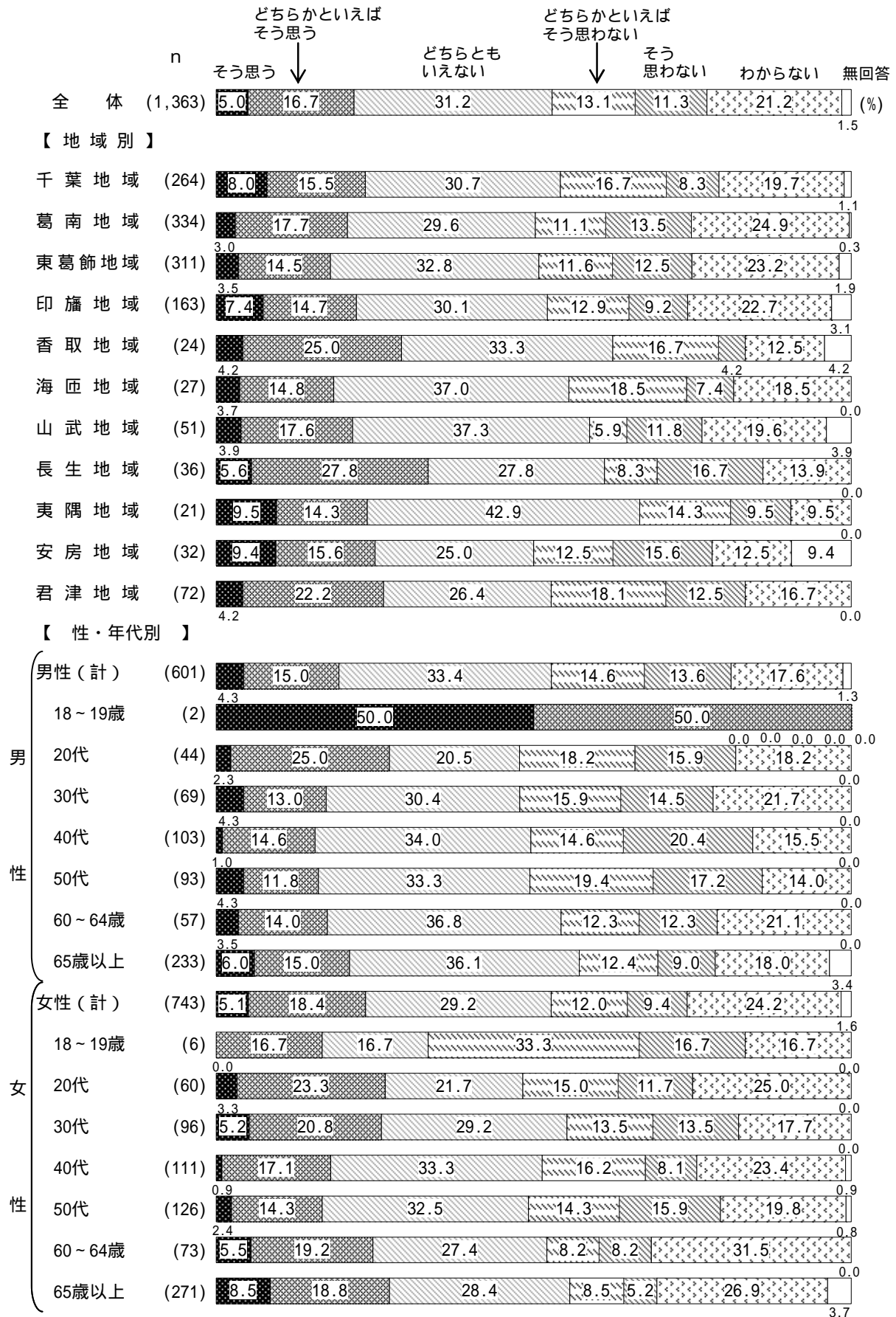
<図表 1 - 12 - 4> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

（エ）子どもたちが、自らの生き方を考え、高い志を持ち、様々な課題を乗り越えて生きていく力を育むための取組が進められている



<図表 1 - 12 - 5> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

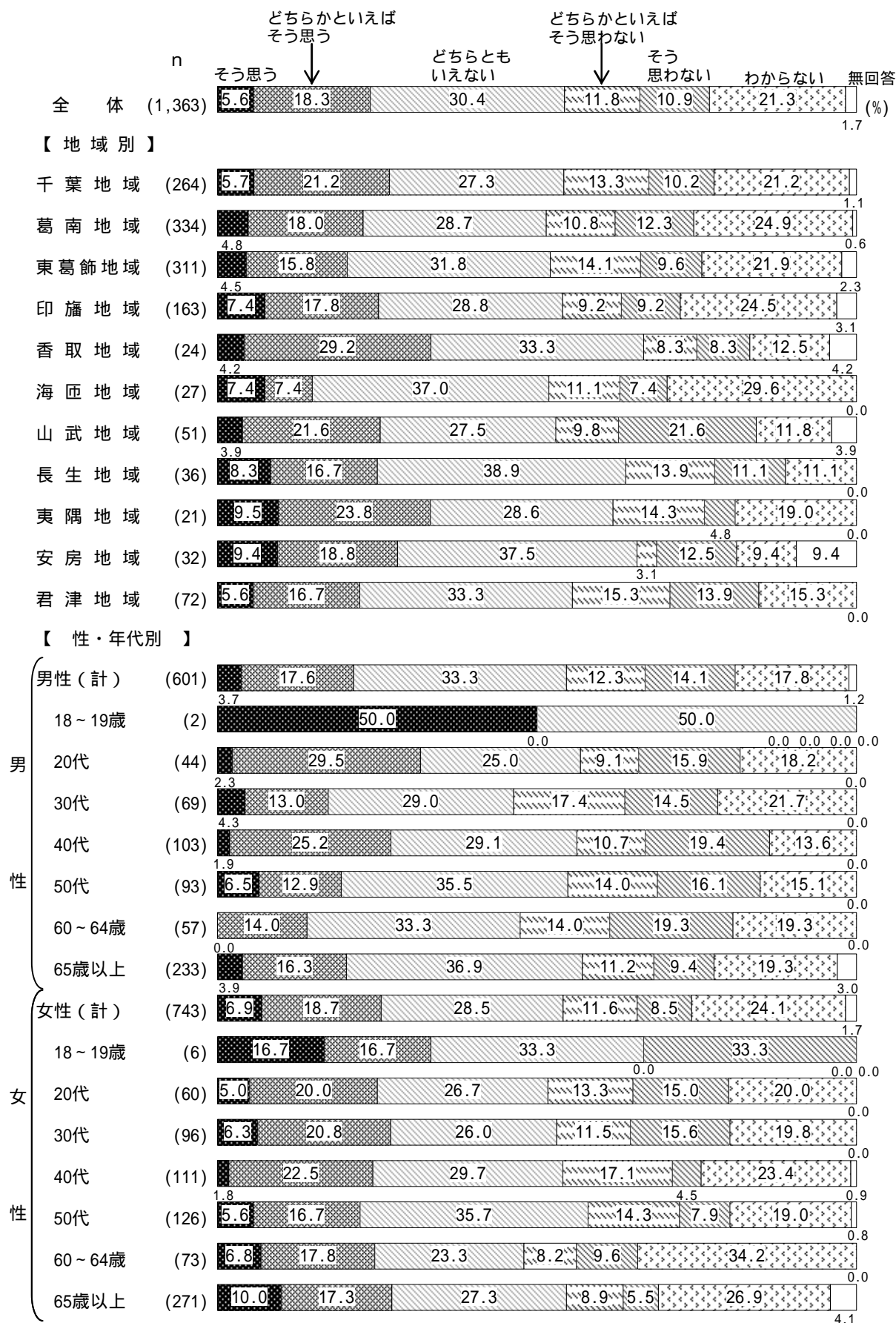
（オ）知・徳・体のバランスの取れた元気な人材を育てる教育環境づくりが進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

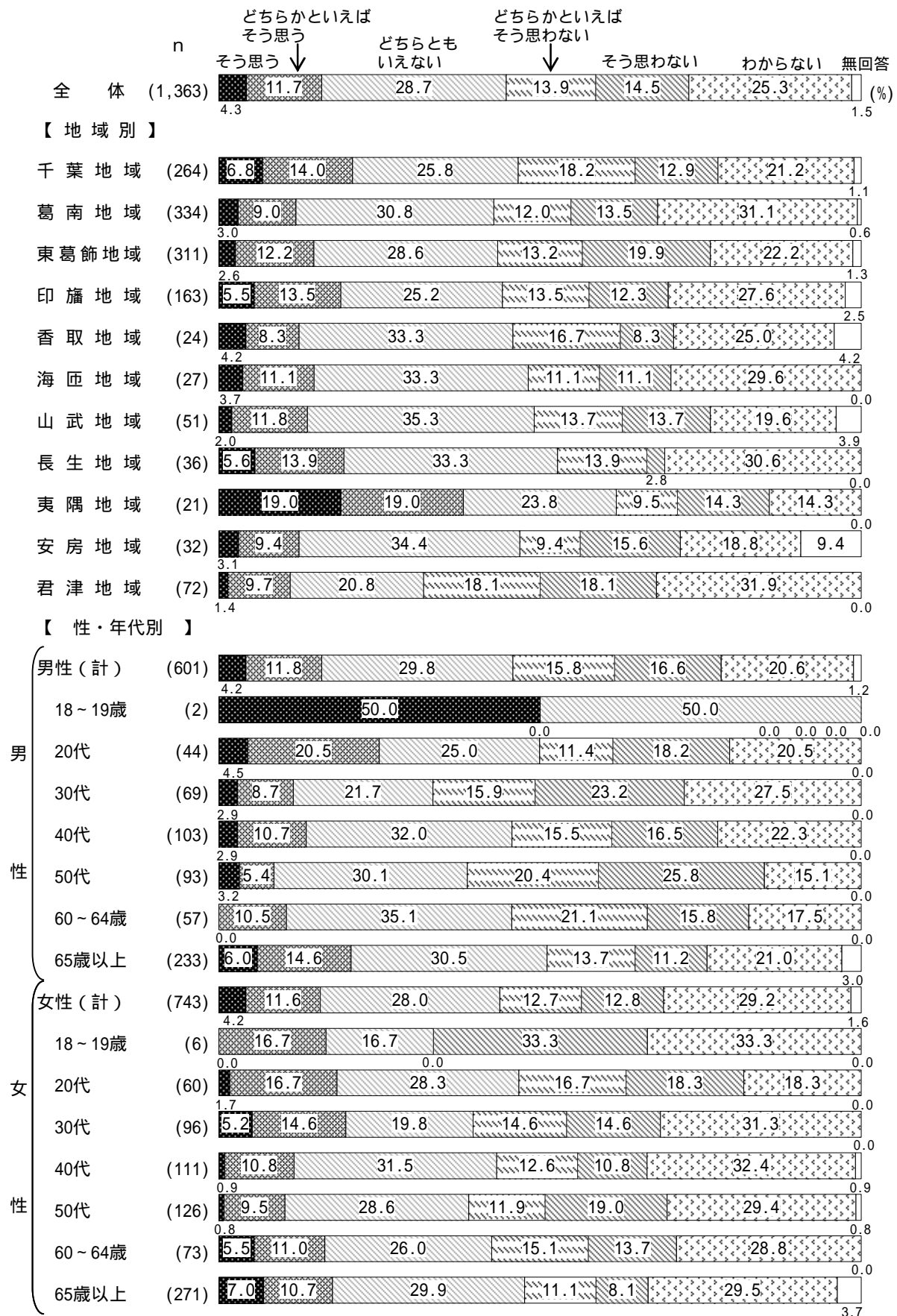
<図表 1 - 12 - 6> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

（カ）家庭・学校・地域・企業などが相互に協力して子どもたちの育成にかかわっている



<図表 1 - 12 - 7> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

(キ) 社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者に対して、状況に応じた支援を行っている



（ 7 ） 千葉県の魅力づくりに関する意識

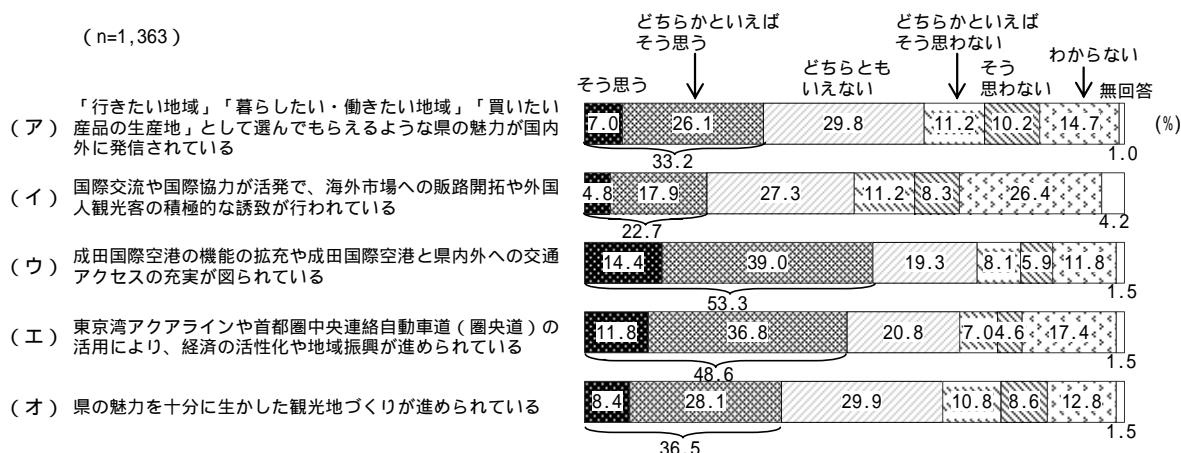
『成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている』
が 5 割台半ば

問 7 あなたは、千葉県の魅力づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ 1 つ ）

< 図表 1 - 13 > 千葉県の魅力づくりに関する意識

（ n=1,363 ）



千葉県の魅力づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ウ)成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている」(53.3%)が5割台半ば、「(エ)東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている」(48.6%)が約5割となっている。（図表 1 - 13）

【地域別】

地域別にみると、「(ウ)成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(61.9%)で6割を超え、“山武地域”(60.8%)で6割と高くなっている。（図表 1 - 14 - 3）

「(エ)東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている」の『そう思う計』は、“君津地域”(72.2%)で7割を超えて高くなっている。（図表 1 - 14 - 4）

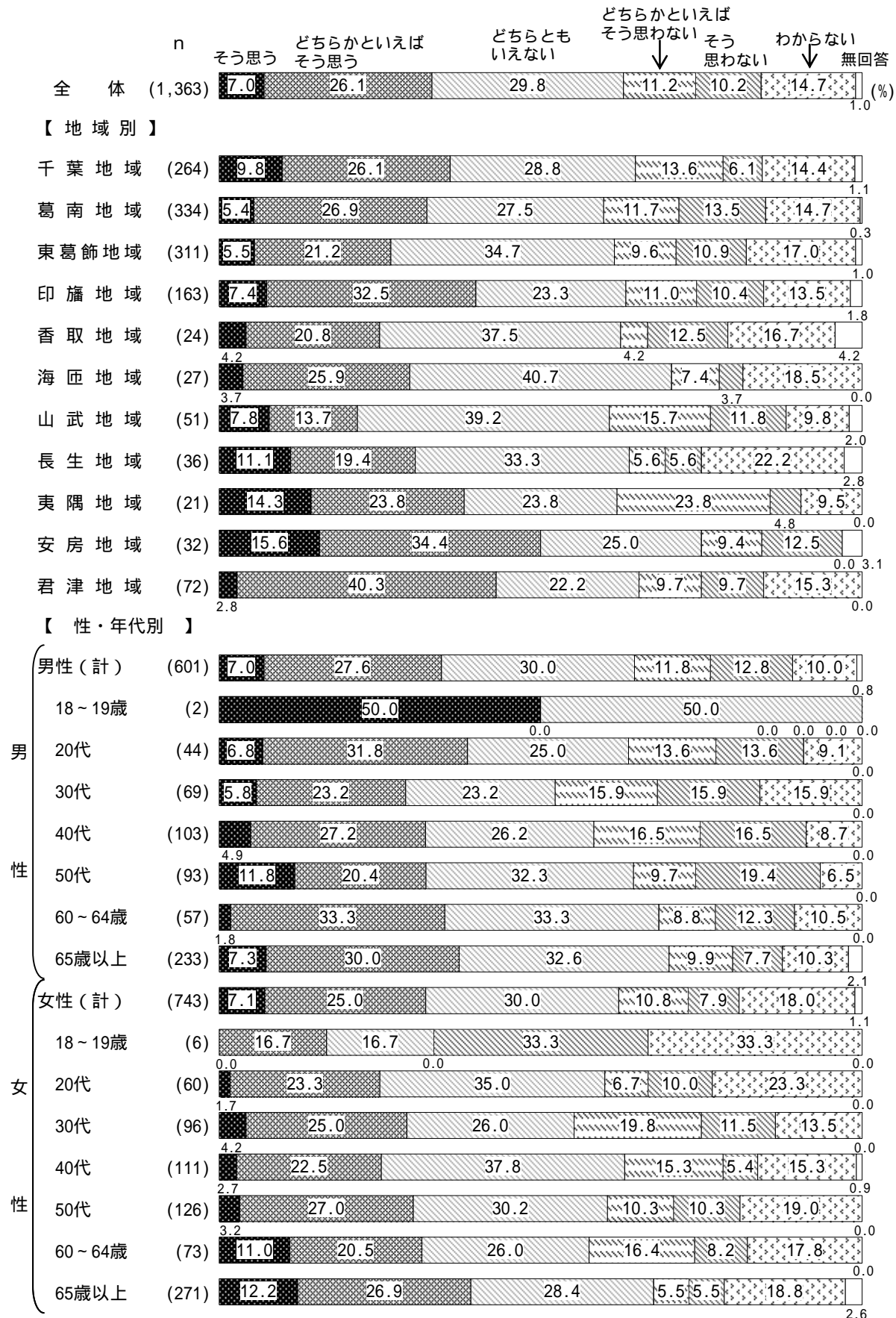
「(オ)県の魅力を十分に生かした観光地づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(52.4%)で5割を超えて高くなっている。（図表 1 - 14 - 5）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア)「行きたい地域」「暮らしたい・働きたい地域」「買いたい製品の生産地」として選んでもらえるような県の魅力が国内外に発信されている」の男性の40代(33.0%)で3割台半ば、男性の30代(31.9%)、女性の30代(31.3%)で3割を超えて高くなっている。（図表 1 - 14 - 1）

<図表 1 - 14 - 1> 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

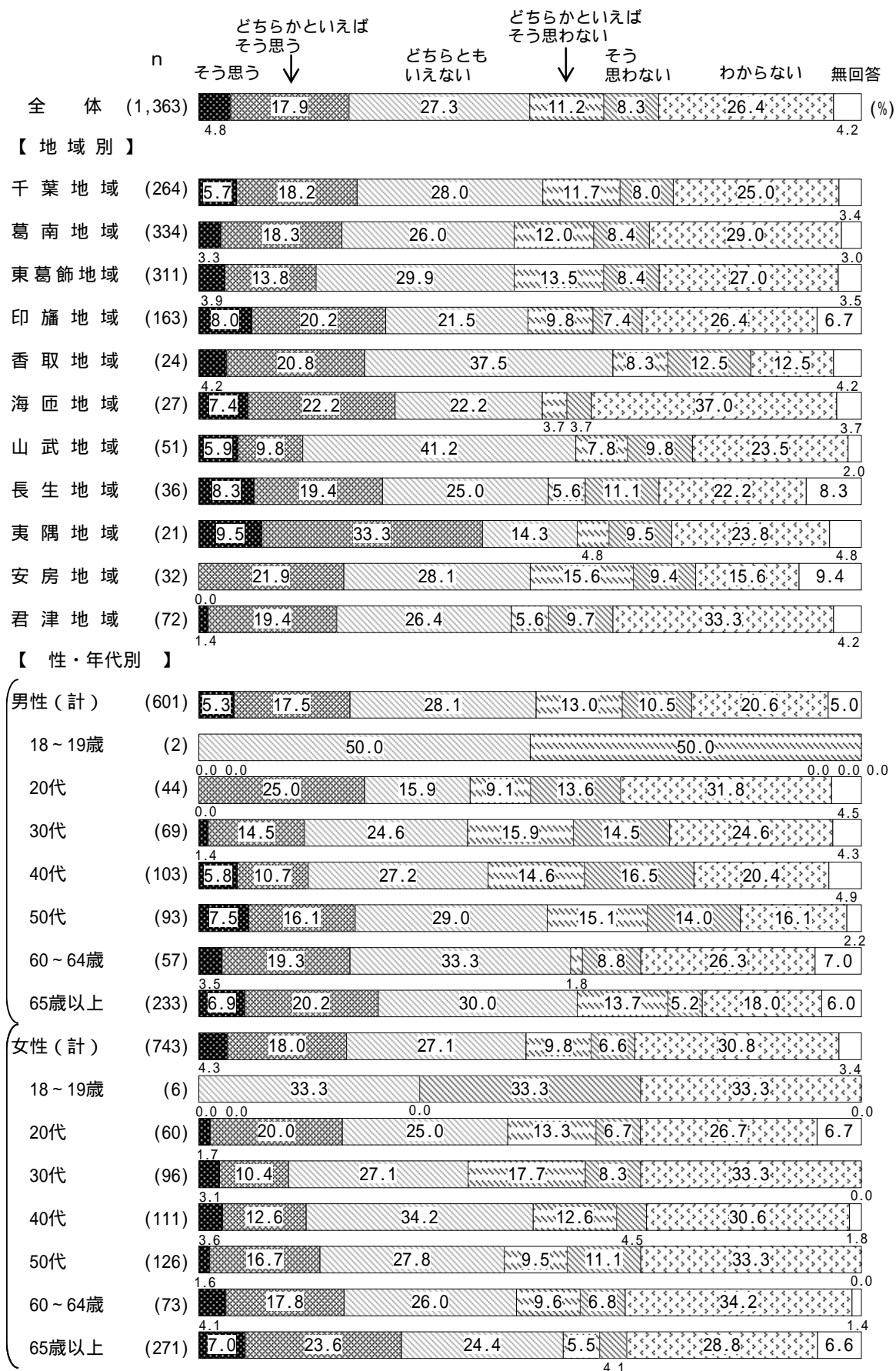
（ア）「行きたい地域」「暮らしたい・働きたい地域」「買いたい商品の生産地」として選んでもらえるような県の魅力が国内外に発信されている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

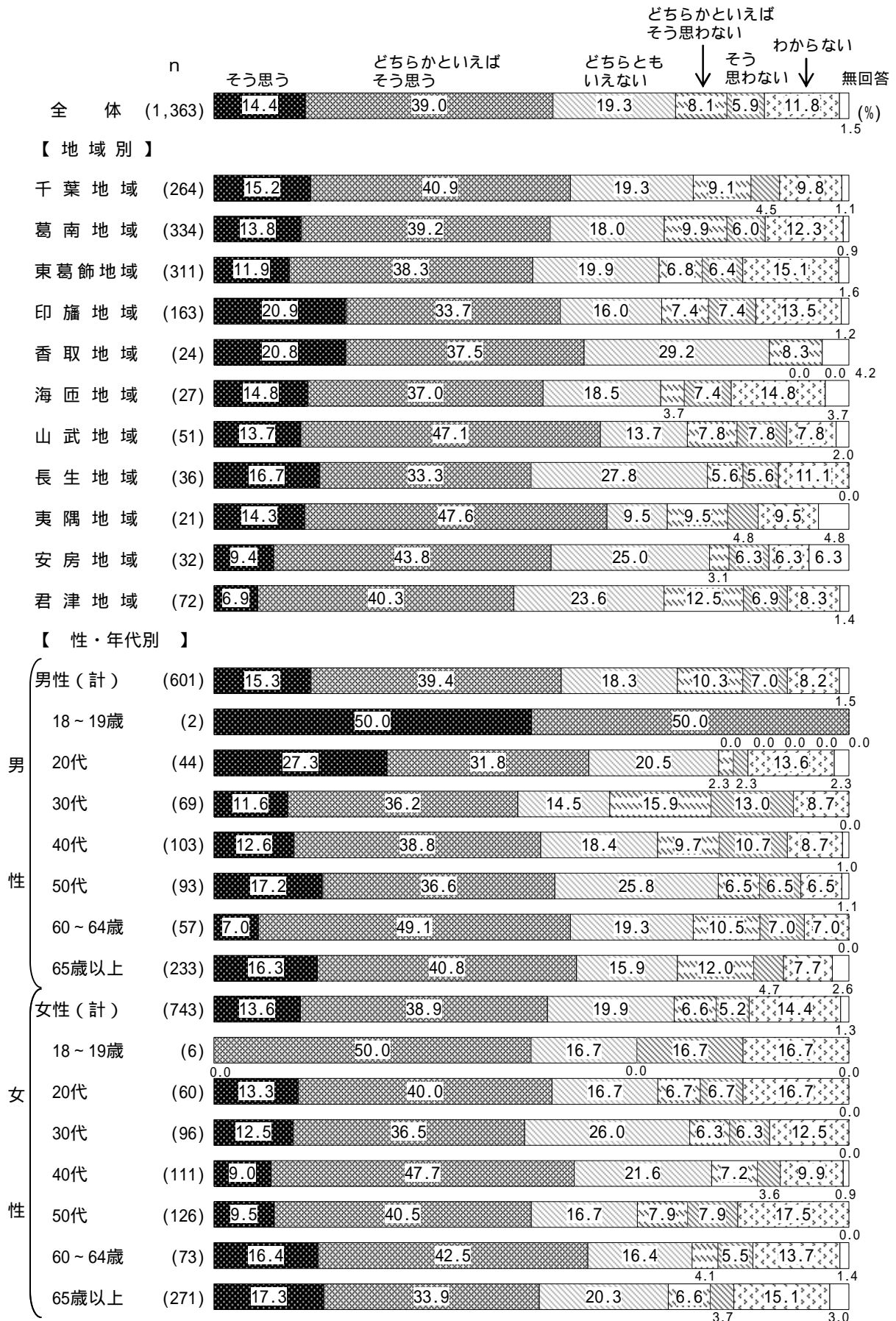
< 図表 1 - 14 - 2 > 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

（イ）国際交流や国際協力が活発で、海外市場への販路開拓や外国人観光客の積極的な誘致が行われている



<図表 1 - 14 - 3> 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

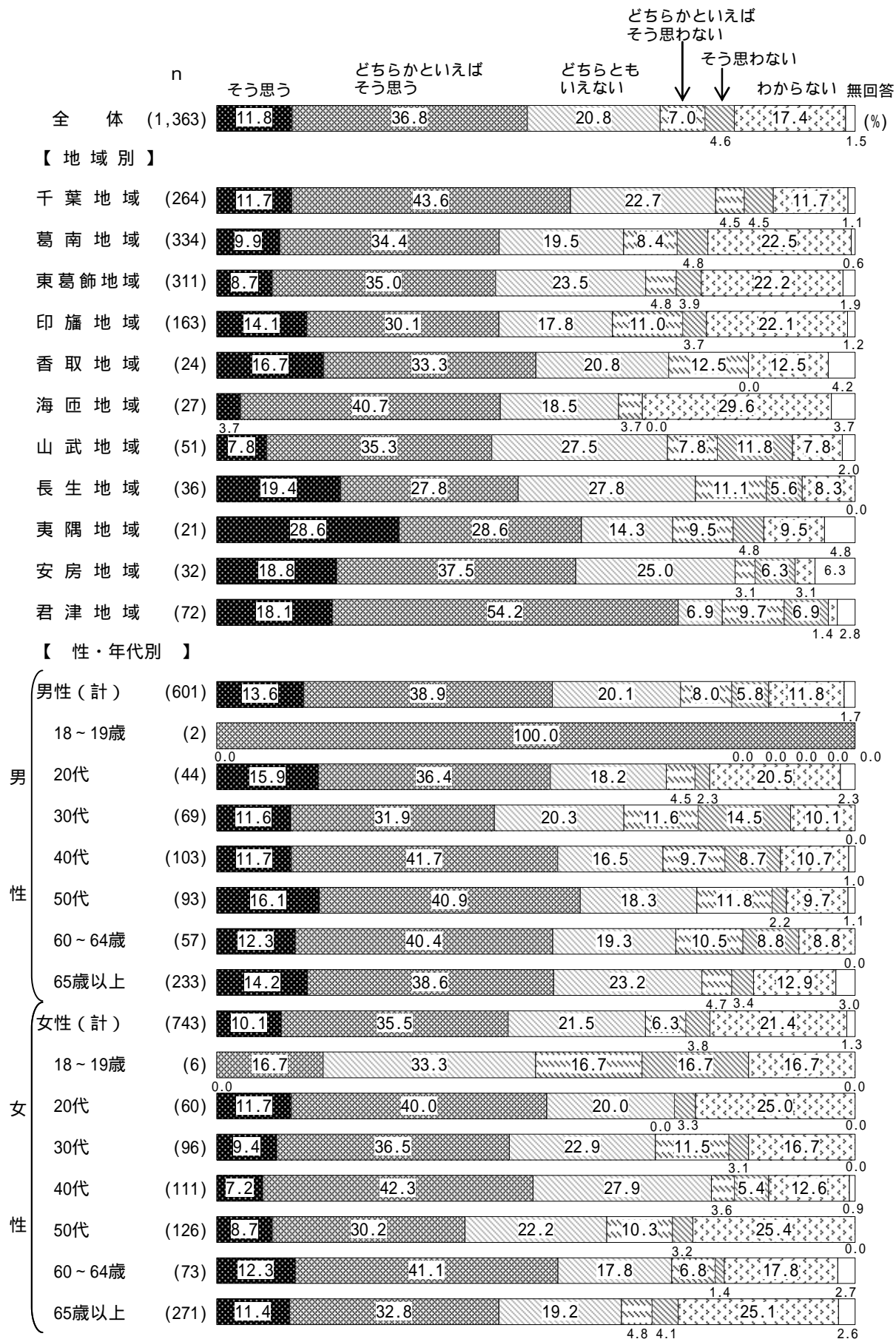
（ウ）成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている



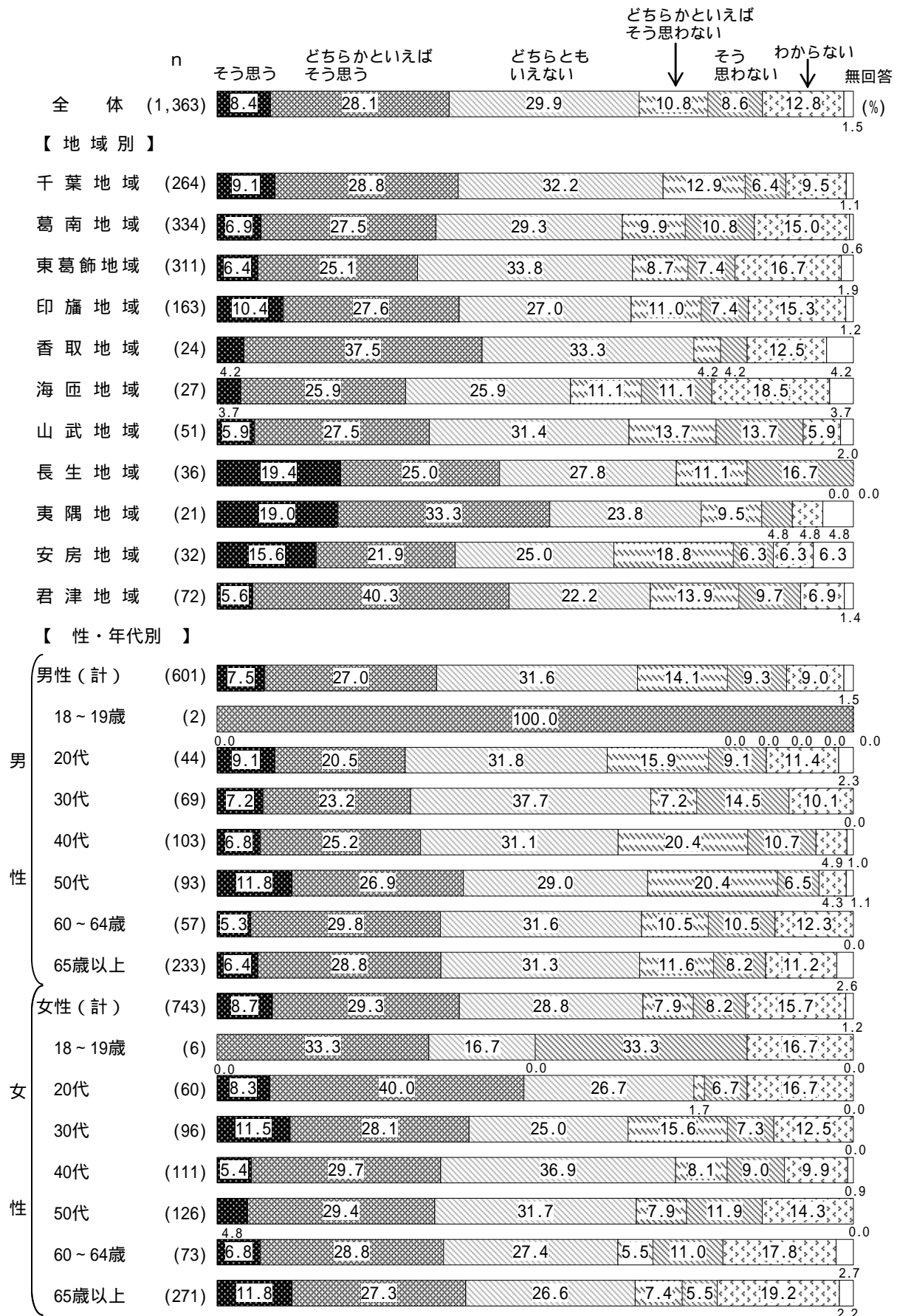
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 14 - 4> 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

（エ）東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている



<図表 1 - 14 - 5> 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
（オ）県の魅力を十分に生かした観光地づくりが進められている



（８）商工業や農林水産業の活性化に関する意識

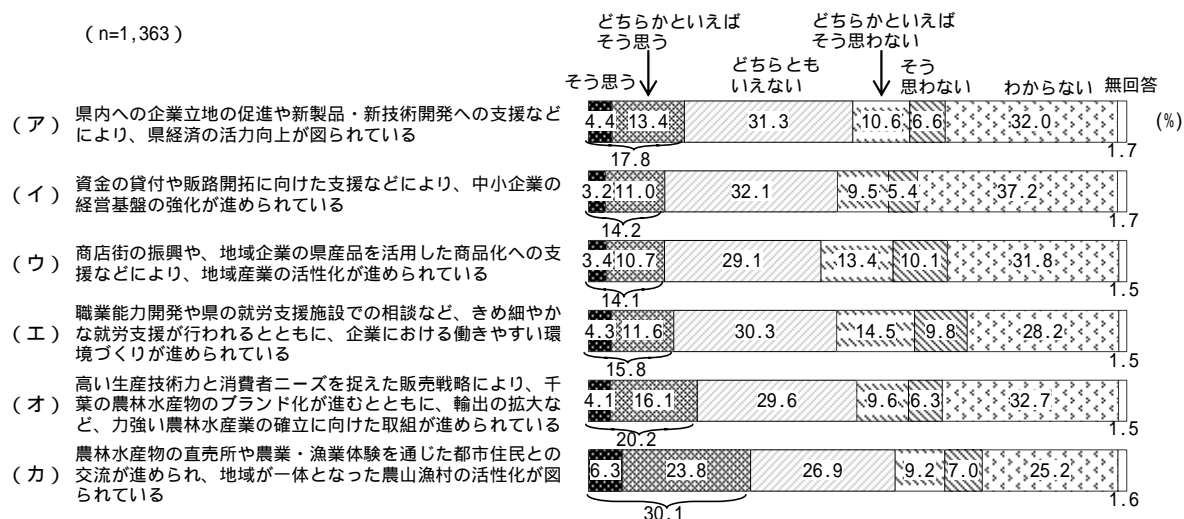
『農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている』が 3 割

問 8 あなたは、商工業や農林水産業の活性化に関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ 1 つ）

<図表 1 - 15> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識

（n=1,363）



商工業や農林水産業の活性化に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(カ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている」(30.1%) が 3 割、
「(オ) 高い生産技術力と消費者ニーズを捉えた販売戦略により、千葉の農林水産物のブランド化が進むとともに、輸出の拡大など、力強い農林水産業の確立に向けた取組が進められている」(20.2%) が 2 割となっている。(図表 1 - 15)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 県内への企業立地の促進や新製品・新技術開発への支援などにより、県経済の活力向上が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(38.1%) で約 4 割と高くなっている。(図表 1 - 16 - 1)

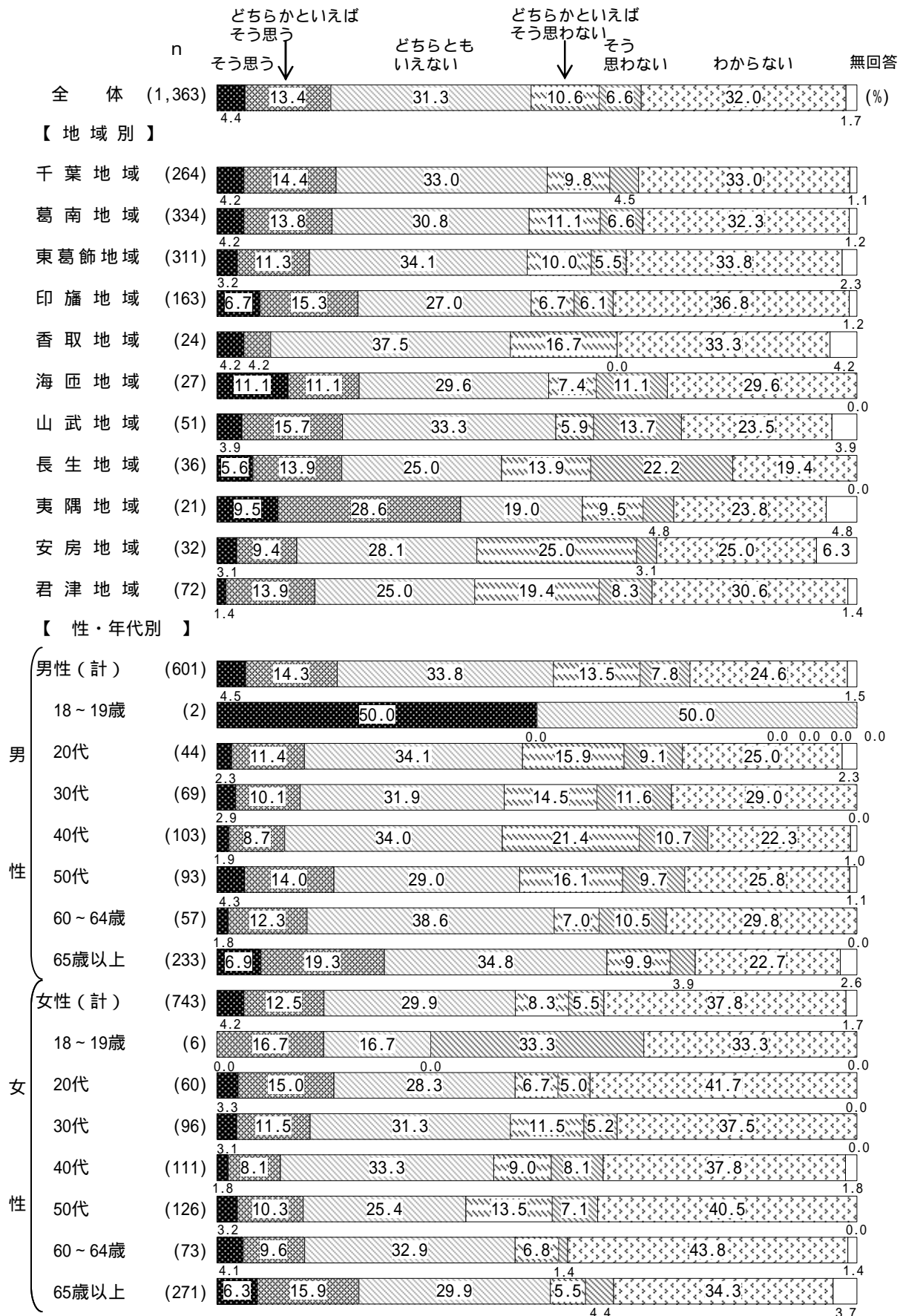
「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(カ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている」の“長生地域”(38.9%) で約 4 割と高くなっている。(図表 1 - 16 - 6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ウ) 商店街の振興や、地域企業の県産品を活用した商品化への支援などにより、地域産業の活性化が進められている」の『そう思わない計』は、男性の 30代(33.3%)、男性の 40代(35.0%) で 3 割台半ば、男性の 50代(32.3%) で 3 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 16 - 3)

<図表 1 - 16 - 1> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

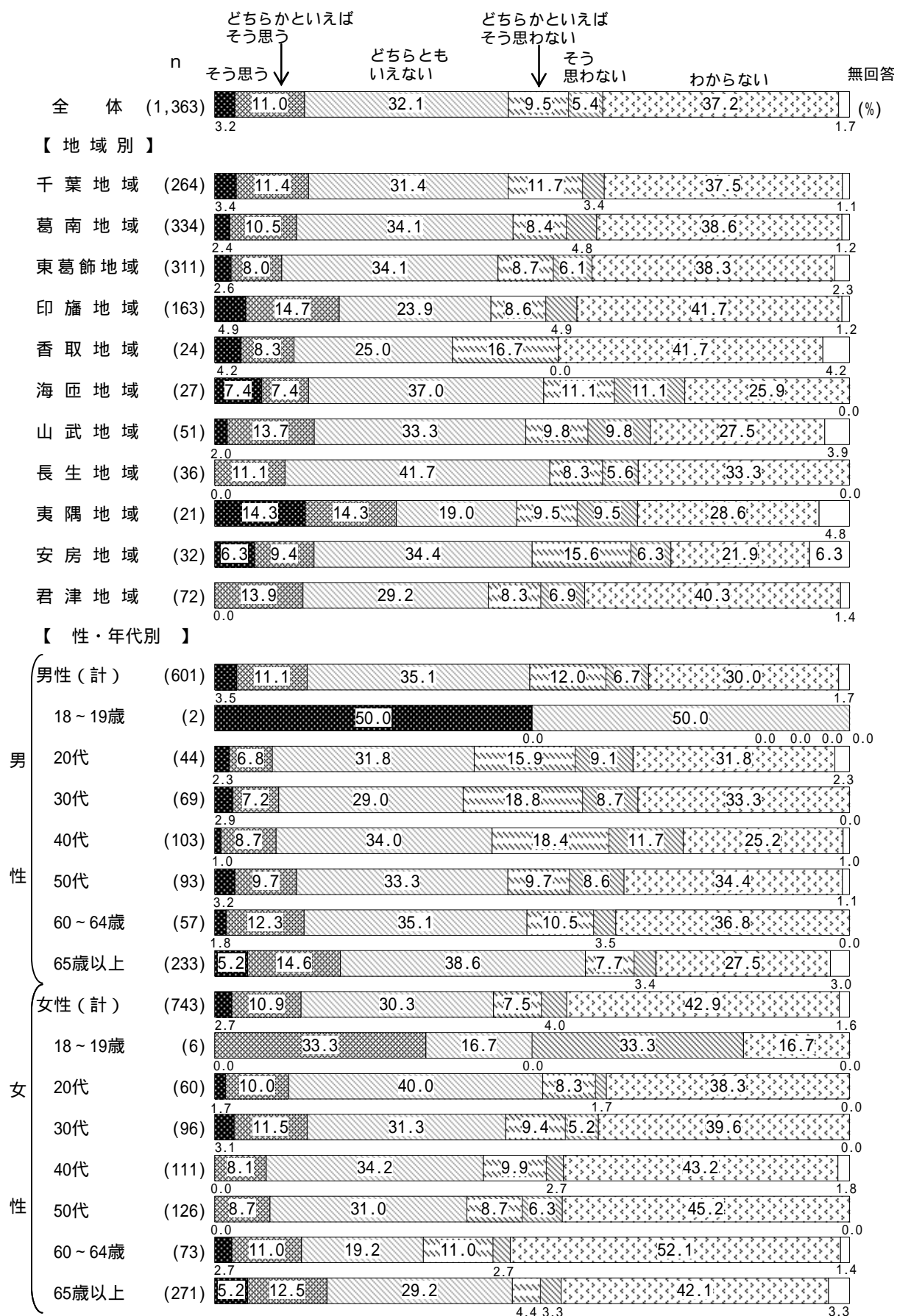
（ア）県内への企業立地の促進や新製品・新技術開発への支援などにより、県経済の活力向上が図られている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

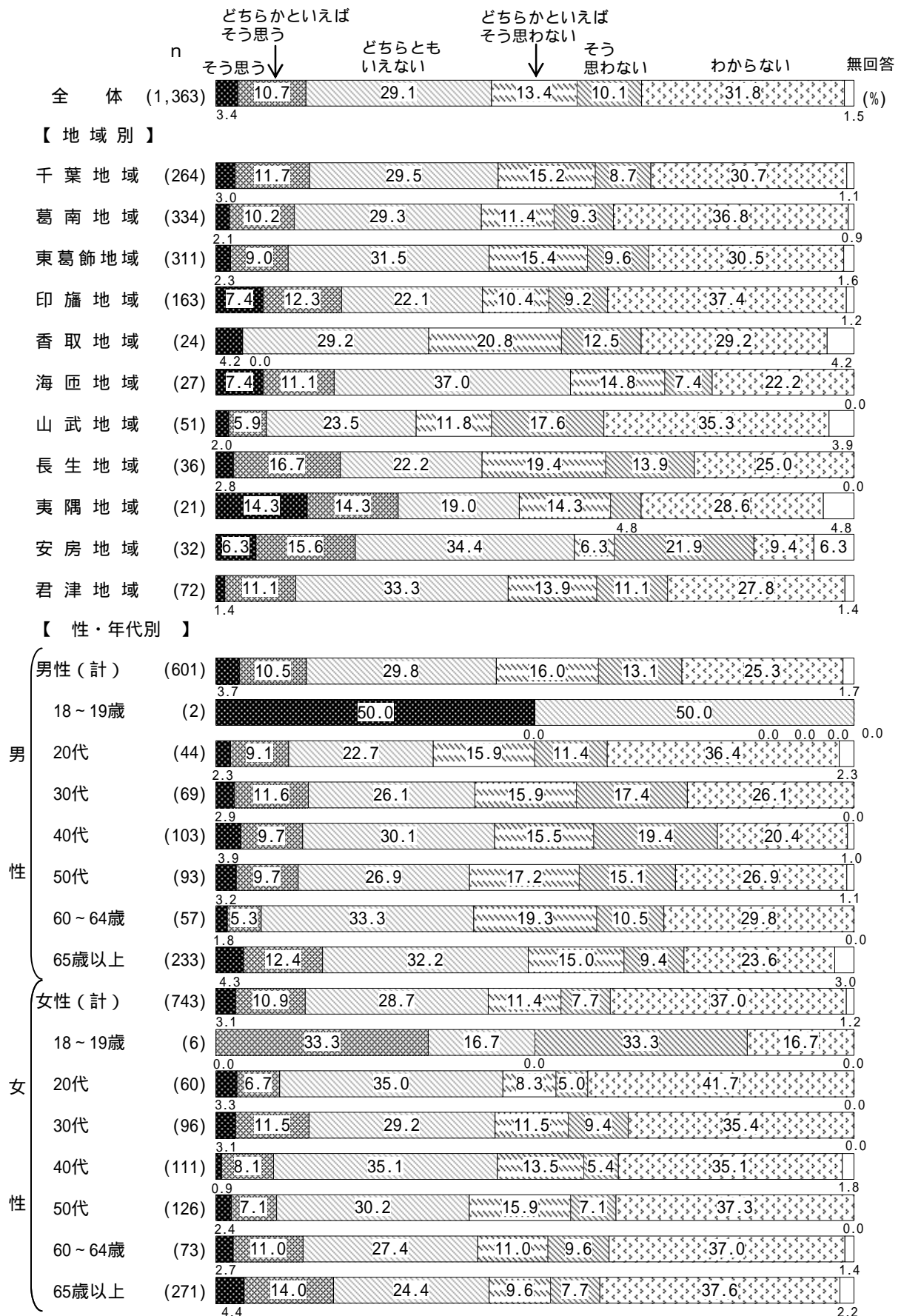
< 図表 1 - 16 - 2 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

（イ）資金の貸付や販路開拓に向けた支援などにより、中小企業の経営基盤の強化が進められている



<図表 1 - 16 - 3> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

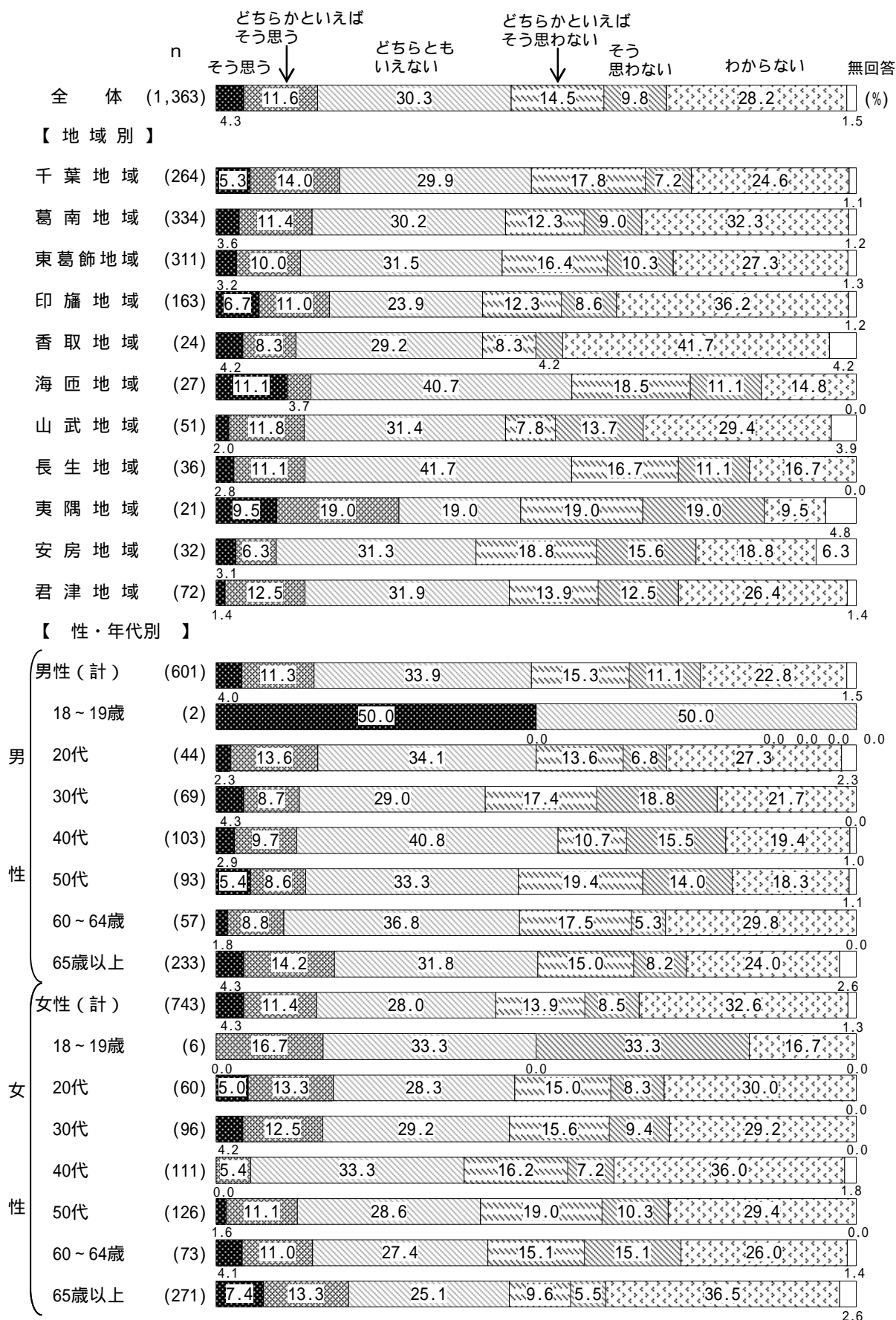
(ウ) 商店街の振興や、地域企業の県産品を活用した商品化への支援などにより、地域産業の活性化が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

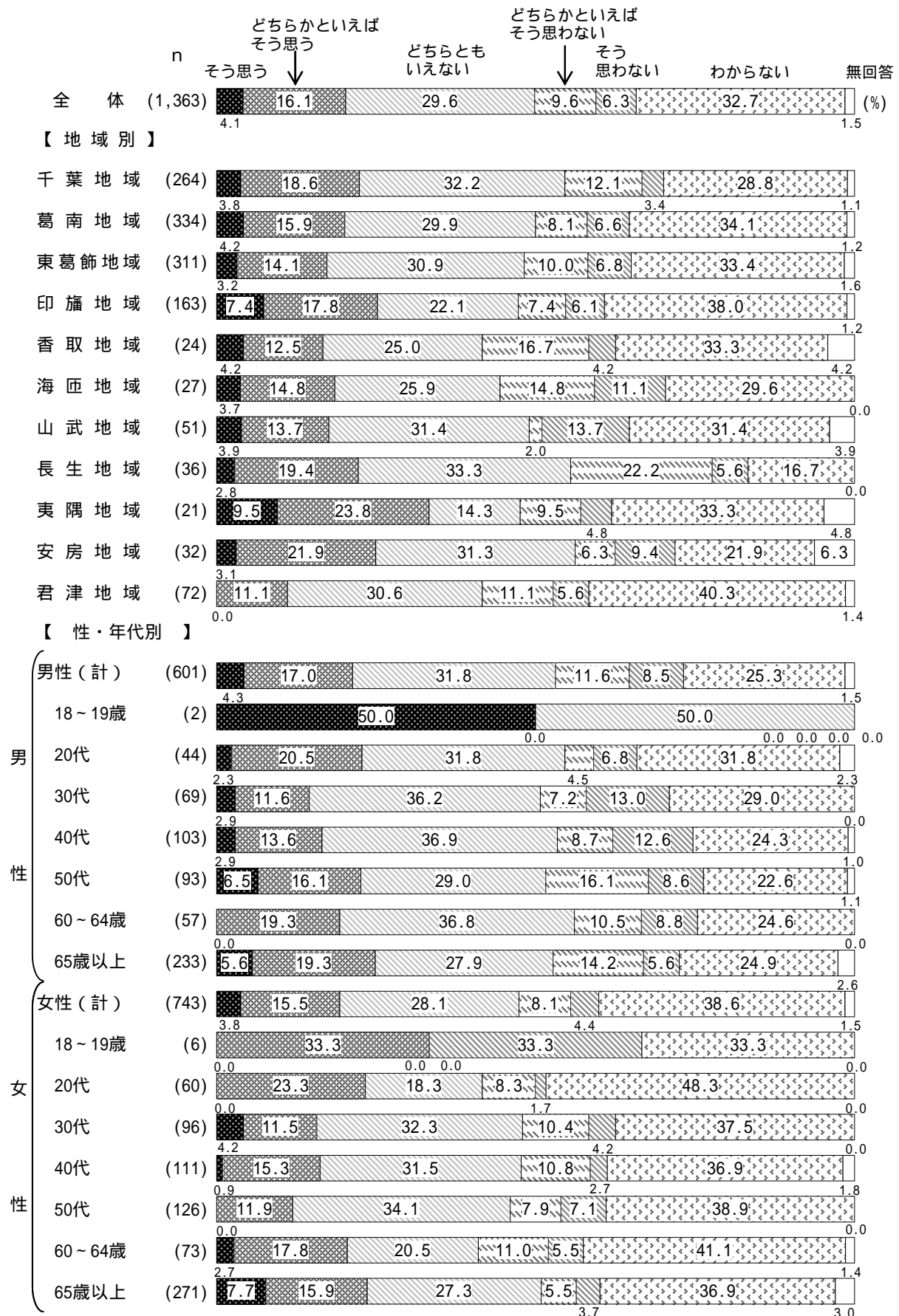
< 図表 1 - 16 - 4 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

（エ）職業能力開発や県の就労支援施設での相談など、きめ細やかな就労支援が行われるとともに、企業における働きやすい環境づくりが進められている



< 図表 1 - 16 - 5 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

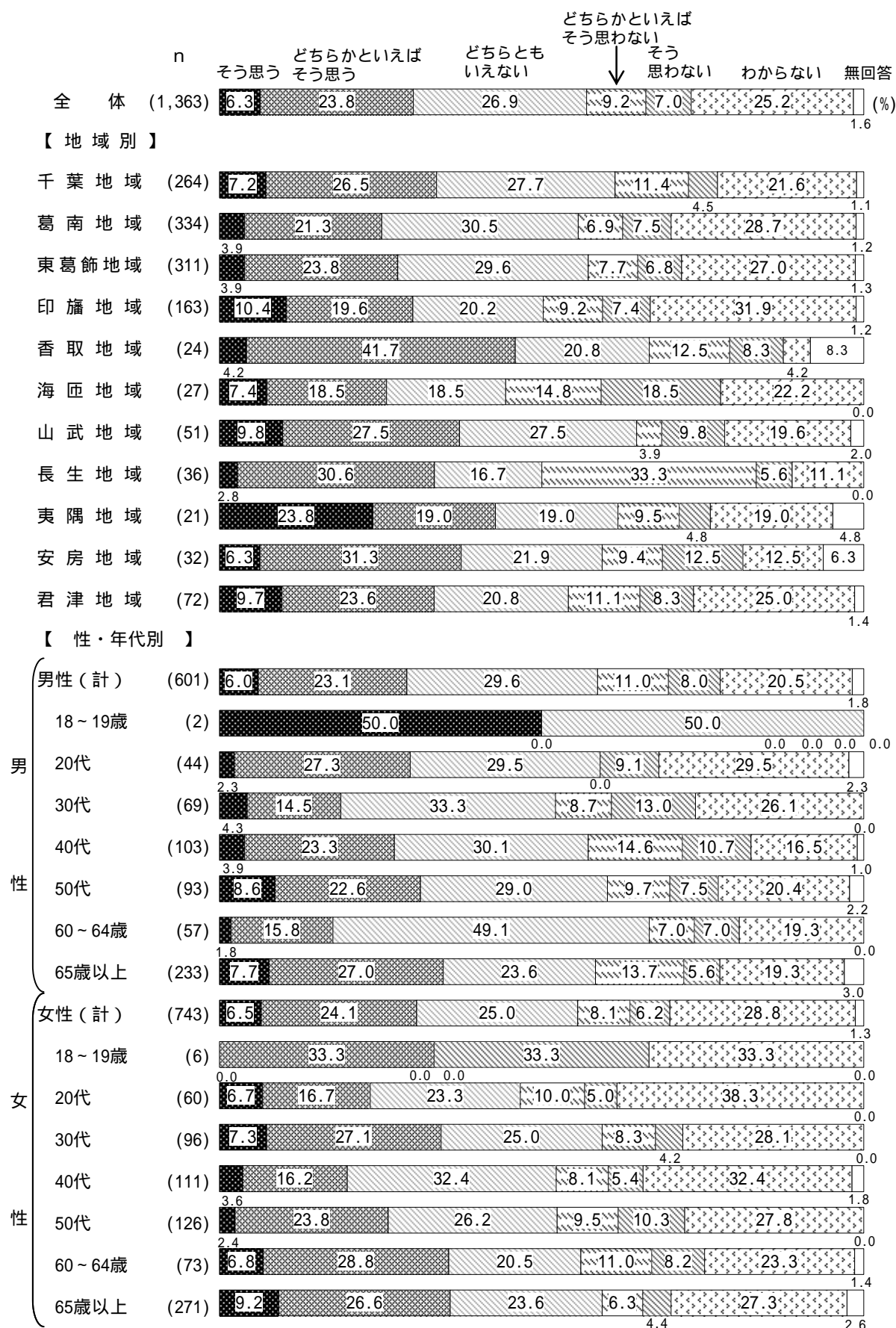
（オ）高い生産技術力と消費者ニーズを捉えた販売戦略により、千葉の農林水産物のブランド化が進むとともに、輸出の拡大など、力強い農林水産業の確立に向けた取組が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 16 - 6 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

（カ）農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている



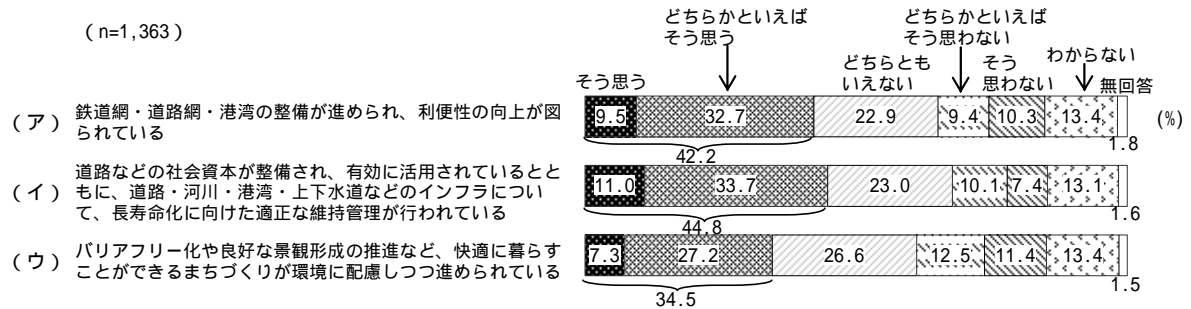
（ 9 ） 県の基盤づくりに関する意識

『道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている』が4割台半ば

問 9 あなたは、県の基盤づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ1つ）

<図表 1 - 17> 県の基盤づくりに関する意識



県の基盤づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている」(44.8%)が4割台半ば、「(ア)鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」(42.2%)が4割を超えている。

【地域別】

地域別にみると、「(ア)鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」の『そう思う計』は、“長生地域”(58.3%)で約6割と高くなっている。

また、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』は、“安房地域”(34.4%)で3割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 18 - 1)

「(イ)道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている」の『そう思う計』は、“君津地域”(62.5%)で6割を超えて高くなっている。(図表 1 - 18 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」の『そう思う計』は、男性の20代(56.8%)で5割台半ばと高くなっている。

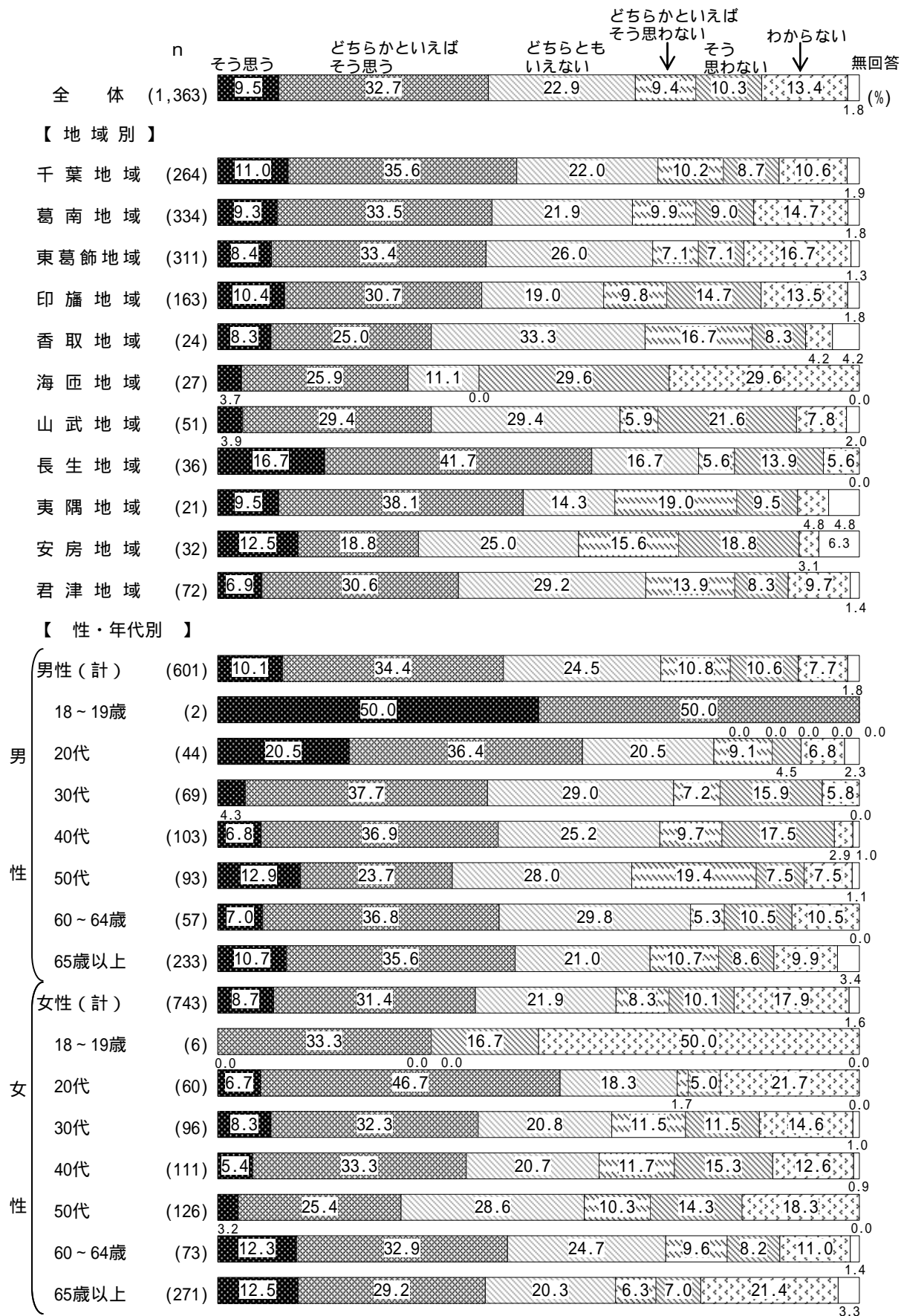
また、『そう思わない計』は、女性の40代(27.0%)で約3割と高くなっている。(図表 1 - 18 - 1)

「(ウ)バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、快適に暮らすことができるまちづくりが環境に配慮しつつ進められている」の『そう思う計』は、男性の20代(52.3%)で5割を超えて高くなっている。また、『そう思わない計』は、男性の50代(33.3%)で3割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 18 - 3)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

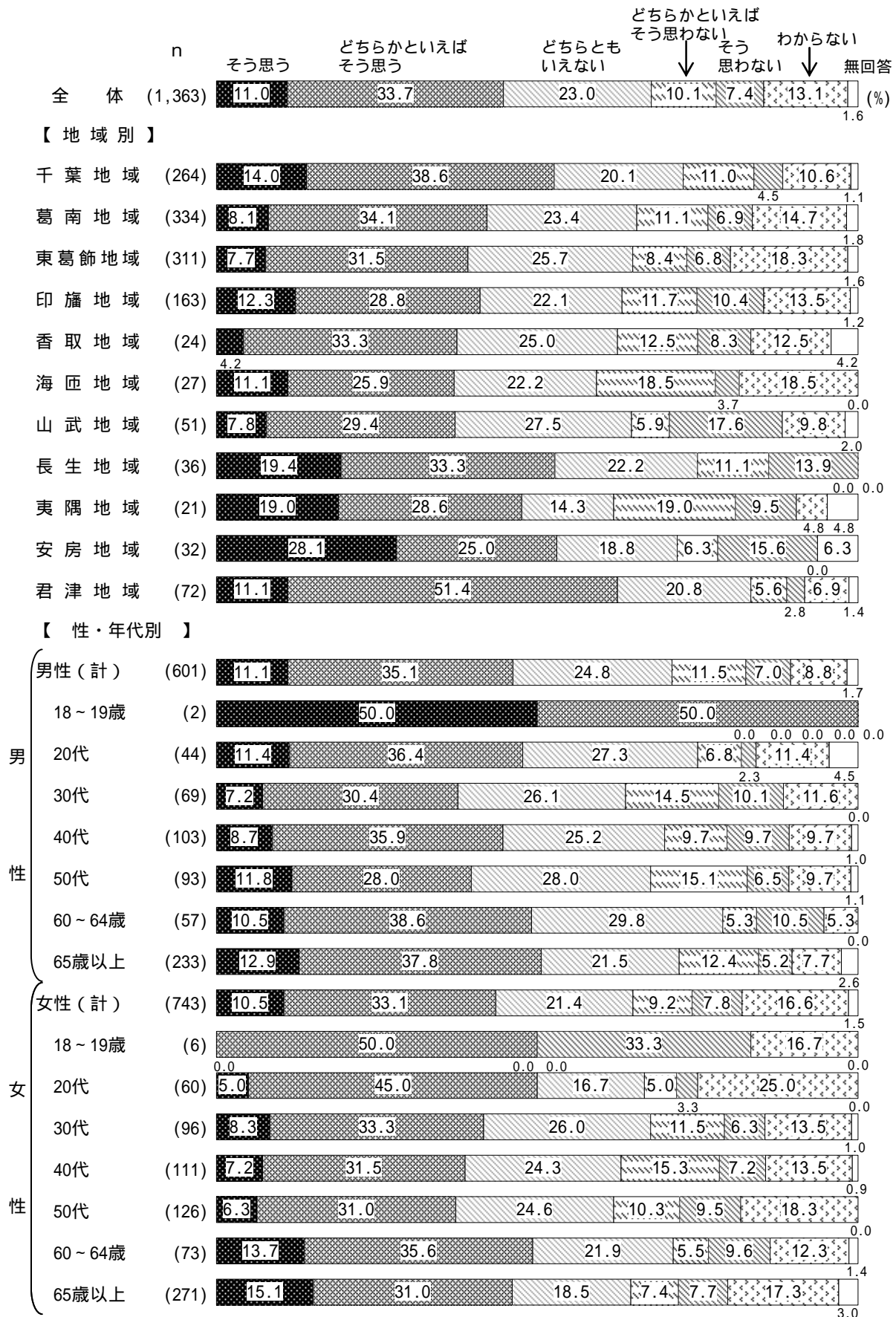
<図表 1 - 18 - 1> 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

（ア）鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている



<図表 1 - 18 - 2> 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

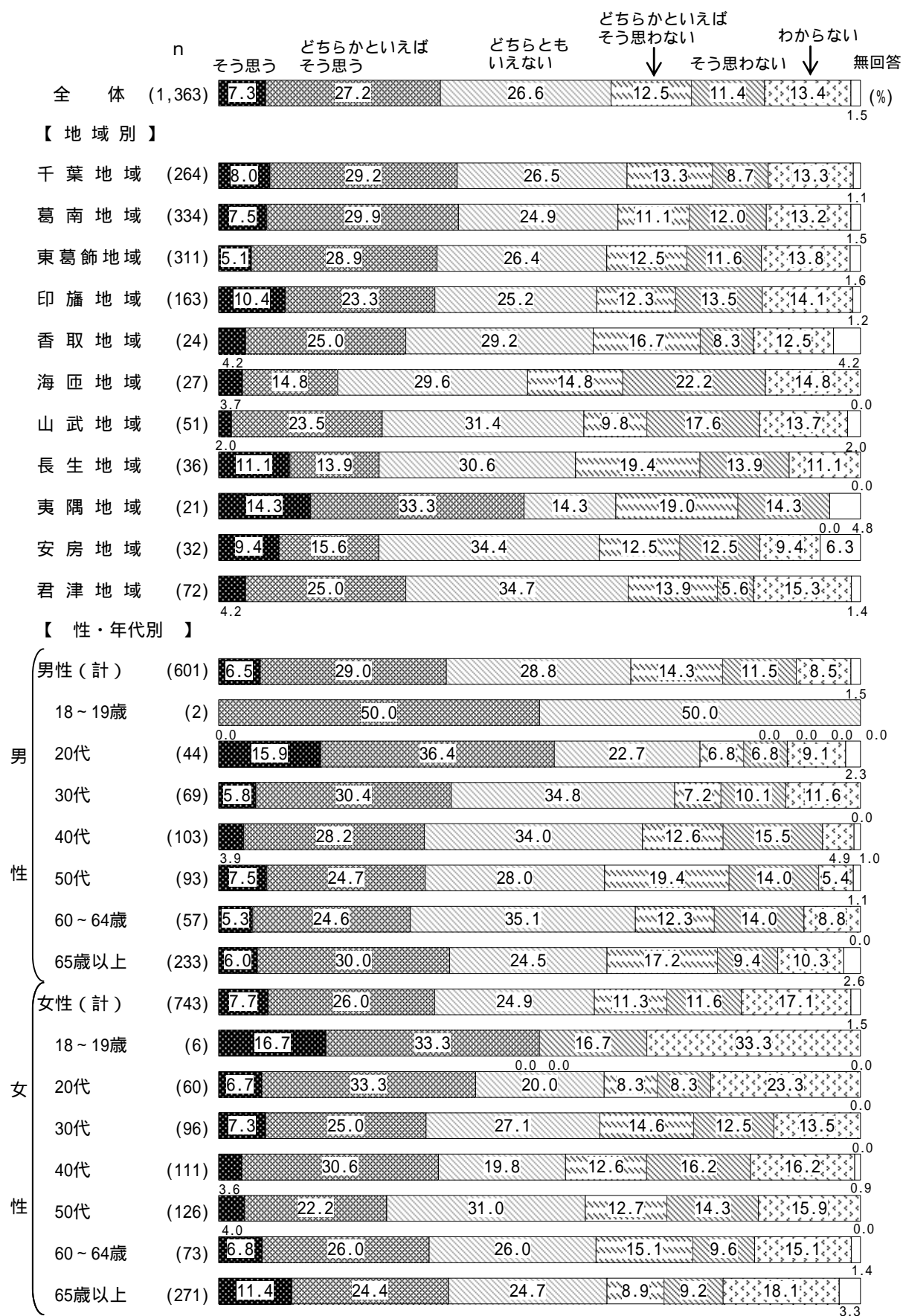
（イ）道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・
上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 18 - 3> 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

（ウ）バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、快適に暮らすことができるまちづくりが環境に配慮しつつ進められている



このほかに、県が今後力を入れていくべき分野や取組について、ご意見やご提案があれば
ご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、335人から回答が寄せられた。一部抜粋して
ご意見を記載するものとする。

「県が今後力を入れていくべき分野や取組」の自由回答（抜粋）

最近千葉県での犯罪が多発していると思う。もっとそういう事が起こらないようにパトロー
ルや、母親が子供を育てやすい場を作っていくべきだと思う。(女性、18～19歳、東葛飾地域)

道の駅等の支援による農漁業の活性化（県内の道の駅は多くていいと思う）。弱者への対応
（バリアフリー、生活支援、補助等）は今後とも続けて欲しい。もう少し広報（県のPR）が
目立っても良い。(男性、65歳以上、東葛飾地域)

2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けて、空港もあるのだから国内外に
向けてもっとアピール、情報発信とハード面の拡充をするべきだと思う。このままでは成田
空港も、もったいない!!! (女性、30代、印旛地域)

千葉県の自然環境（山・河・海岸）などの整備。例えば私が住む花見川区は花見川が
ありますが、川岸をもっときれいにしてサイクリング・散歩・ジョギングなど気持ちよく
安全にできるようにしてほしい。(男性、60～64歳、千葉地域)

アクアライン通行800円は続けて欲しい。保育の充実をはかってほしい。待機児童対策を
続けて欲しい。安心して働けないので。また、少子化対策も。(女性、30代、千葉地域)

あれもこれもと手を広げると、担当者の数や手も限りがあると思うので、どっちつかずの
結果にならないように取捨選択をしてほしい。教育（特に子供）は不可欠だと思います。

(女性、40代、葛南地域)

成田空港を核に外国企業を誘致し、国際的なビジネスセンターを構築し、経済効果を上げる。
子育て支援と教育にもっと真剣に取り組むこと。(男性、65歳以上、東葛飾地域)

現在は県内の交通網が充分ではなく、過疎化している地域もある。交通網を整備し、人の
流通を活発にし、利便性と自然豊かな風土とを共存させることで、観光、定住ともにしやすい
環境をつくる。(女性、65歳以上、東葛飾地域)

千葉県に住みたいと思わせる税制、教育、子育て等、環境の整備に力を入れてほしい。一方、
物づくりの県を目指すための企業の誘地に力を入れる事も必要。(男性、65歳以上、印旛地域)

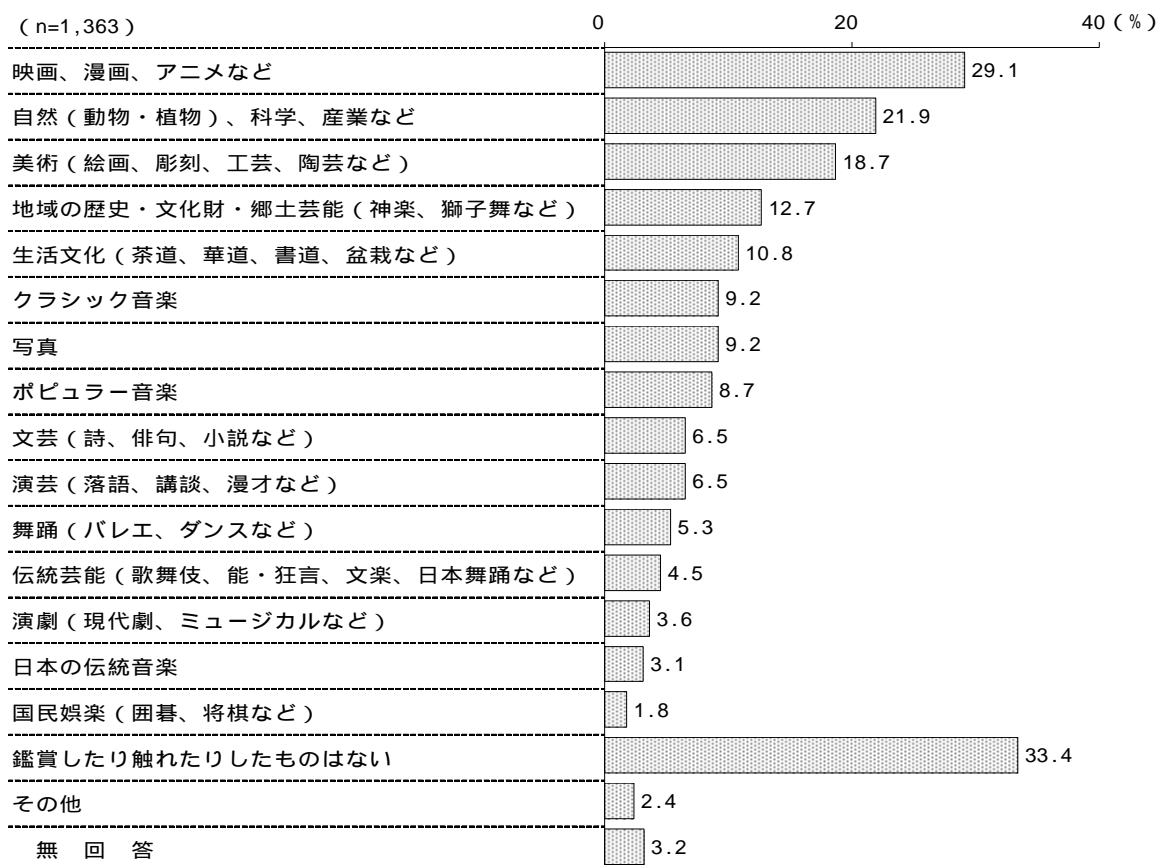
２ 県民の文化芸術活動に関する調査について

（１）この１年間に県内でふれた文化芸術

「映画、漫画、アニメなど」が約３割と最も高い

問10 この１年間にあなたが住んでいる地域や県内の文化施設などで、直接鑑賞したり、触れたりした文化芸術は何ですか。（はいいくつでも）

<図表 2 - 1> この１年間に県内でふれた文化芸術（複数回答）



最近１年間に県内で鑑賞したり触れたりした文化芸術を聞いたところ、「映画、漫画、アニメなど」（29.1%）が約３割と最も高くなっている。以下、「自然（動物・植物）科学、産業など」（21.9%）「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」（18.7%）が続く。

一方で、「鑑賞したり触れたりしたものはなし」（33.4%）も３割台半ば見られた。（図表 2 - 1）

【地域別】

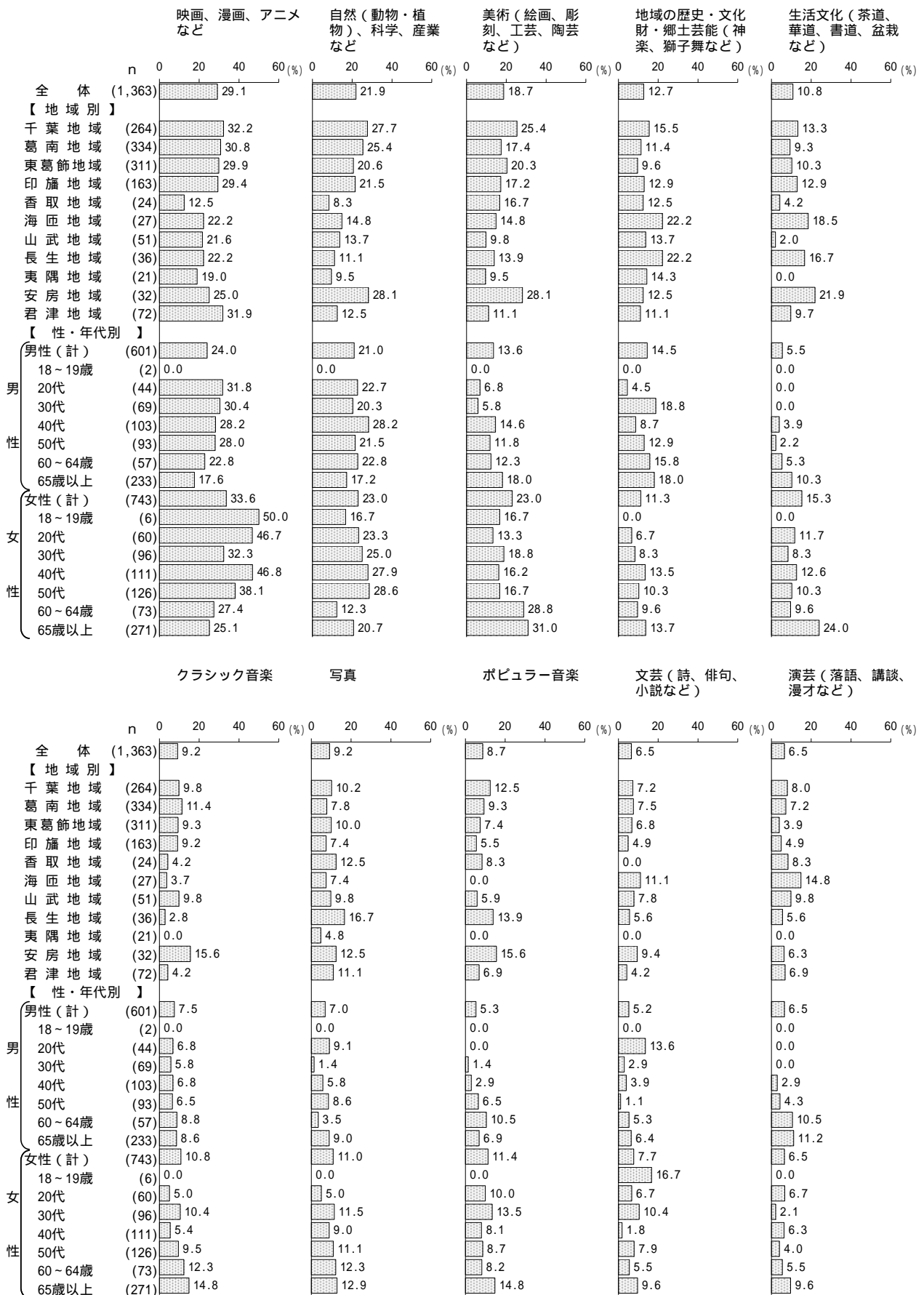
地域別にみると、「映画、漫画、アニメなど」は、他地域が約２割以上の中、“香取地域”（12.5%）で１割を超える程度にとどまった。

「自然（動物・植物）科学、産業など」は“千葉地域”（27.7%）“安房地域”（28.1%）で共に約３割と高くなっている。（図表 2 - 2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」は、女性の60～64歳（28.8%）で約３割、女性の65歳以上（31.0%）で３割を超えて高くなっている。（図表 2 - 2）

< 図表 2 - 2 > この 1 年間に県内でふれた文化芸術（複数回答）／地域別、性・年代別



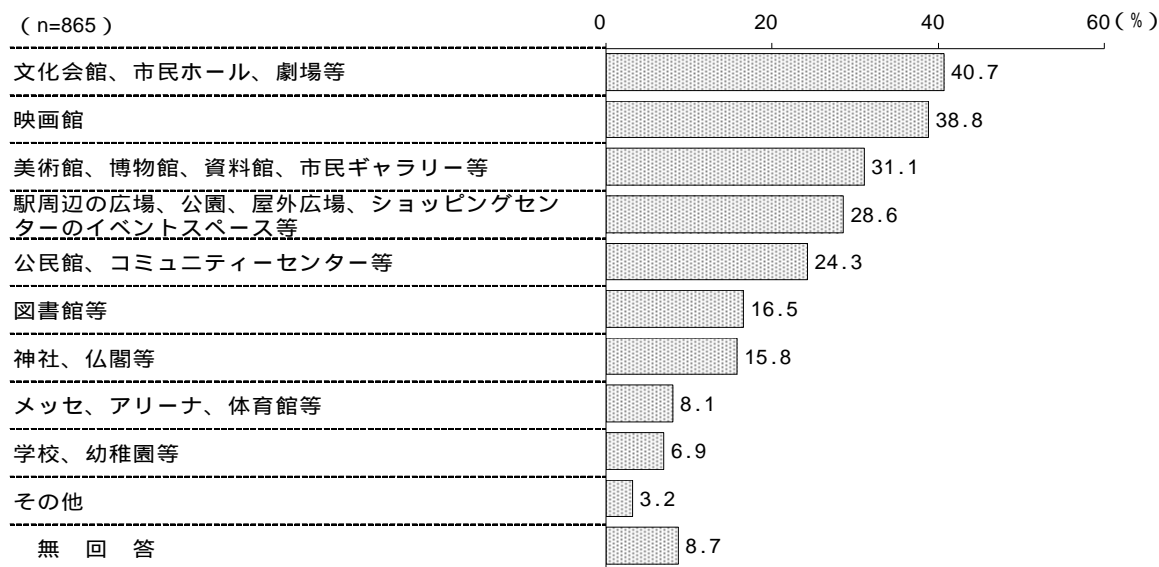
（２）文化芸術にふれた場所

「文化会館、市民ホール、劇場等」が４割と最も高い

（問10で「鑑賞したり触れたりしたものはなし」以外を回答した方に）

問11 どこで鑑賞したり触れたりしましたか。（はいいくつでも）

＜図表 2 - 3＞文化芸術にふれた場所（複数回答）



「鑑賞したり触れたりした方」865人を対象に、この１年間に鑑賞したり触れたりした場所を聞いたところ、「文化会館、市民ホール、劇場等」（40.7％）が４割で最も多い。以下、「映画館」（38.8％）、「美術館、博物館、資料館、市民ギャラリー等」（31.1％）、「駅周辺の広場、公園、屋外広場、ショッピングセンターのイベントスペース等」（28.6％）が続く。（図表 2 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「文化会館、市民ホール、劇場等」は、“山武地域”（63.3％）で６割台半ばと高くなっている。

「映画館」は“安房地域”（21.7％）で２割を超え、“香取地域”（23.1％）で２割台半ばと低くなっている。

「美術館、博物館、資料館、市民ギャラリー等」は１割台半ばの地域から、４割を超える地域もあり、地域によってばらつきが目立った。（図表 2 - 4）

【性・年代別】

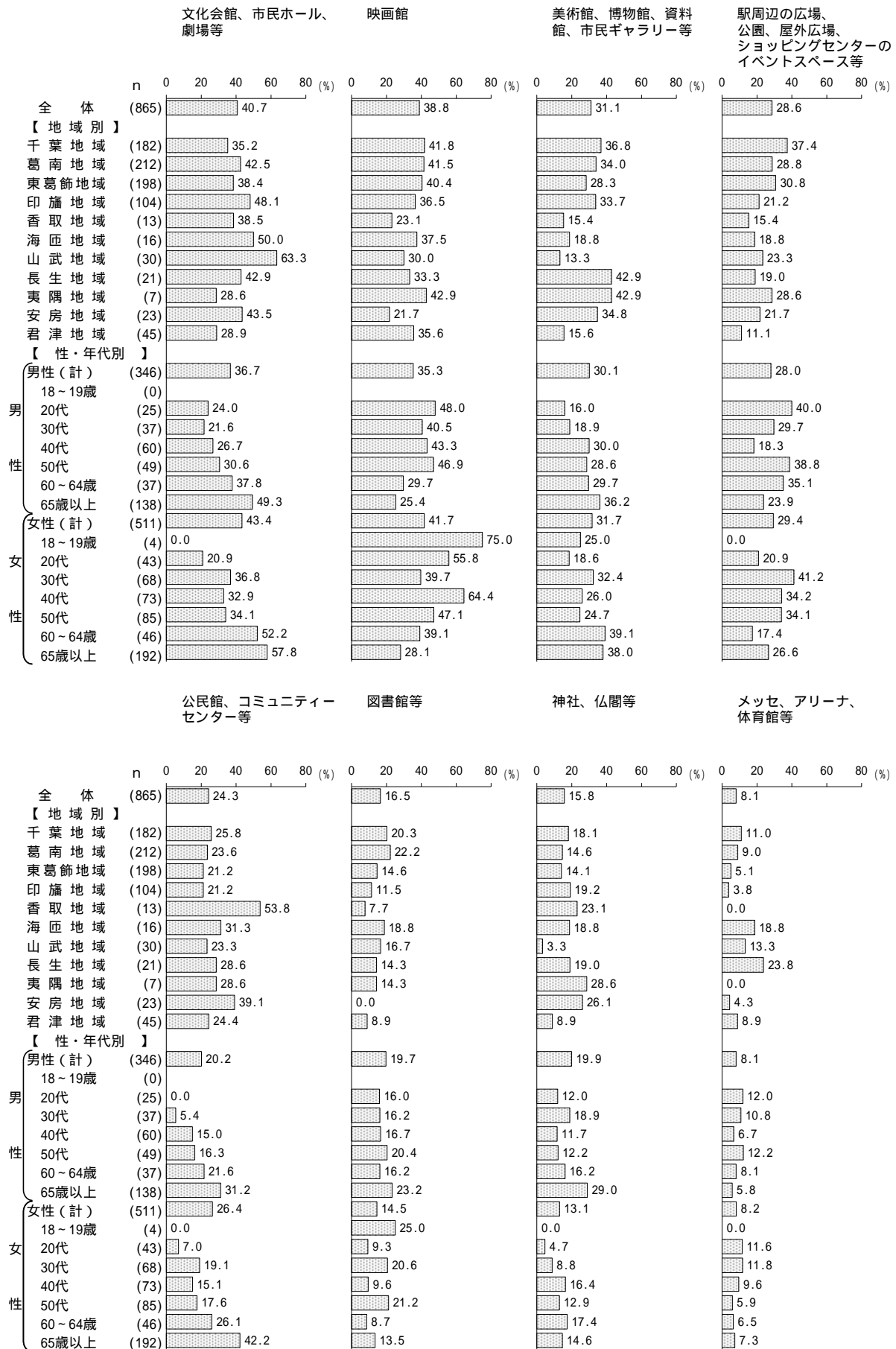
性・年代別にみると、「文化会館、市民ホール、劇場等」は、男性の65歳以上（49.3％）で約５割、女性の65歳以上（57.8％）で約６割と高くなっている。

「映画館」は、女性の20代（55.8％）で５割台半ば、女性の40代（64.4％）で６割台半ばと高くなっている。

「美術館、博物館、資料館、市民ギャラリー等」は、女性の60～64歳（39.1％）、65歳以上（38.0％）で約４割と高くなっている。

20代の男性・女性とも、「映画館」（男性48.0％、女性55.8％）が高くなっている。（図表 2 - 4）

<図表 2 - 4> 文化芸術にふれた場所（複数回答）／地域別、性・年代別



（３）文化芸術にふれた回数

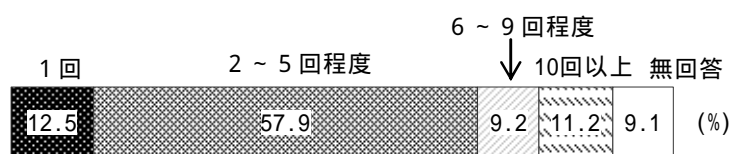
「２～５回」が約６割と最も多い

（問10で「鑑賞したり触れたりしたものはなし」以外を回答した方に）

問12 この１年間でどのくらいの頻度で鑑賞したり触れたりしましたか。（ は１つ）

<図表２－５>文化芸術にふれた回数

（n=865）



「鑑賞したり触れたりした方」865人を対象に、この１年間に鑑賞したり触れたりした頻度を聞いたところ、「２～５回」（57.9％）が約６割と最も多くなっている。（図表２－５）

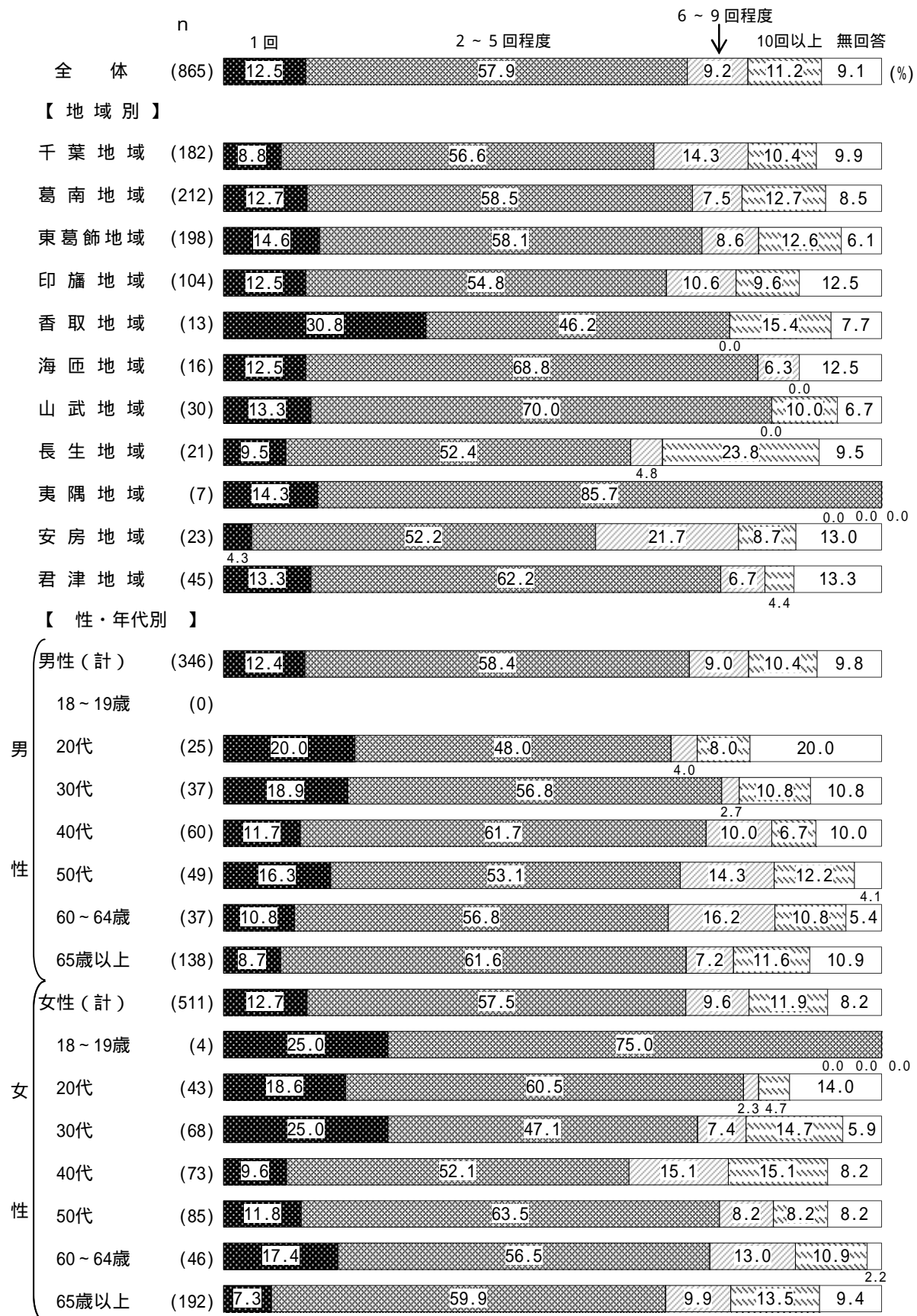
【地域別】

地域別にみると、“長生地域”で「10回以上」（23.8％）が２割台半ばと高くなっている。（図表２－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、女性の30代で、「１回」（25.0％）が２割台半ばと高くなっている。（図表２－６）

< 図表 2 - 6 > 文化芸術にふれた回数 / 地域別、性・年代別



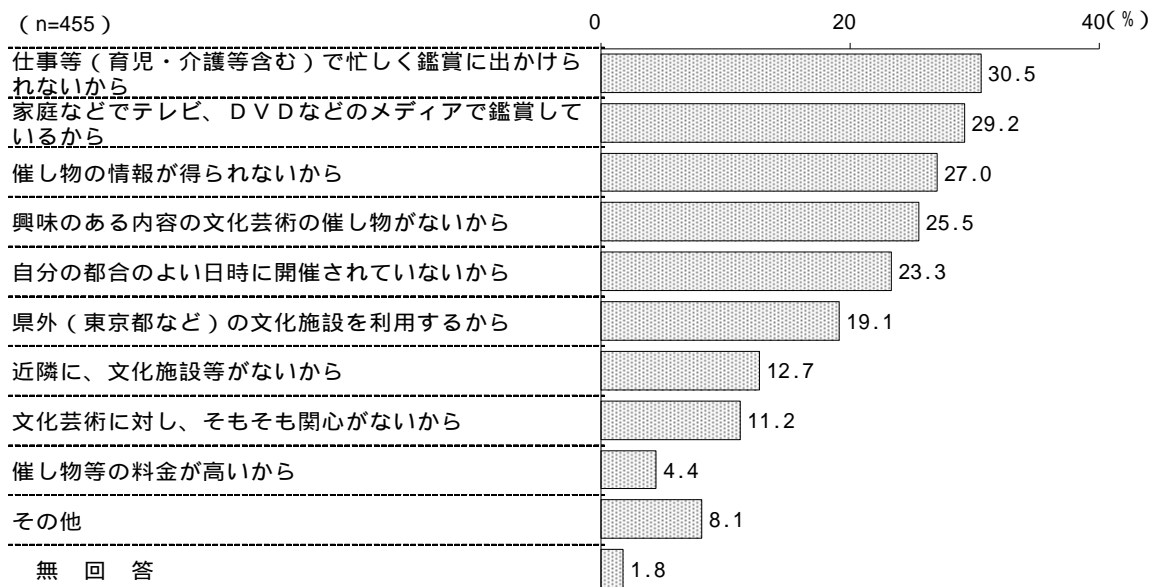
（４）この１年間に県内の文化芸術にふれなかった理由

「仕事等（育児・介護等含む）で忙しく鑑賞に出かけられないから」が３割と最も高い

（問10で「鑑賞したり触れたりしたものはない」とお答えの方に）

問13 その理由は何ですか。（はいくつでも）

<図表 2 - 7> この１年間に県内の文化芸術にふれなかった理由（複数回答）



「鑑賞したり触れたりしなかった方」455人を対象に、その理由を聞いたところ、「仕事等（育児・介護等含む）で忙しく鑑賞に出かけられないから」（30.5％）が３割で最も多い。

以下、「家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから」（29.2％）、「催し物の情報が得られないから」（27.0％）、「興味のある内容の文化芸術の催し物がないから」（25.5％）が続く。（図表 2 - 7）

【地域別】

地域別にみると、「家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから」は“海匠地域”（54.5％）で５割を超え、“香取地域”（50.0％）で５割と高くなっている。

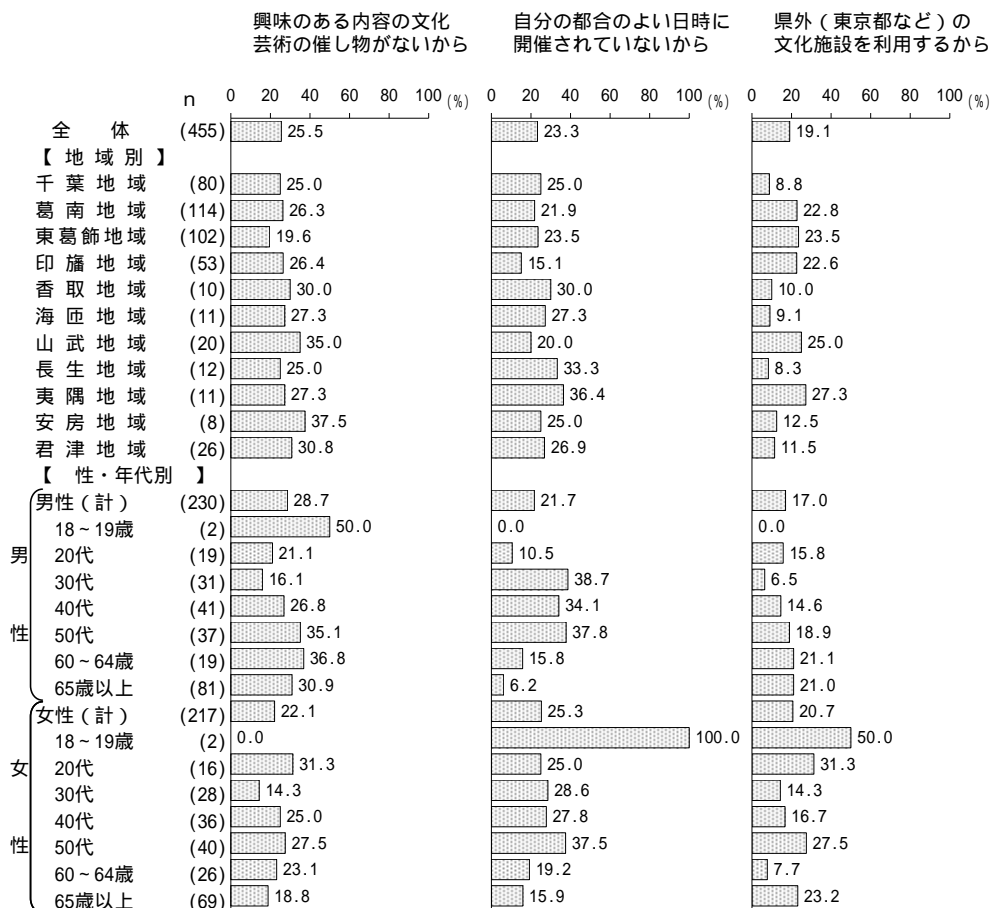
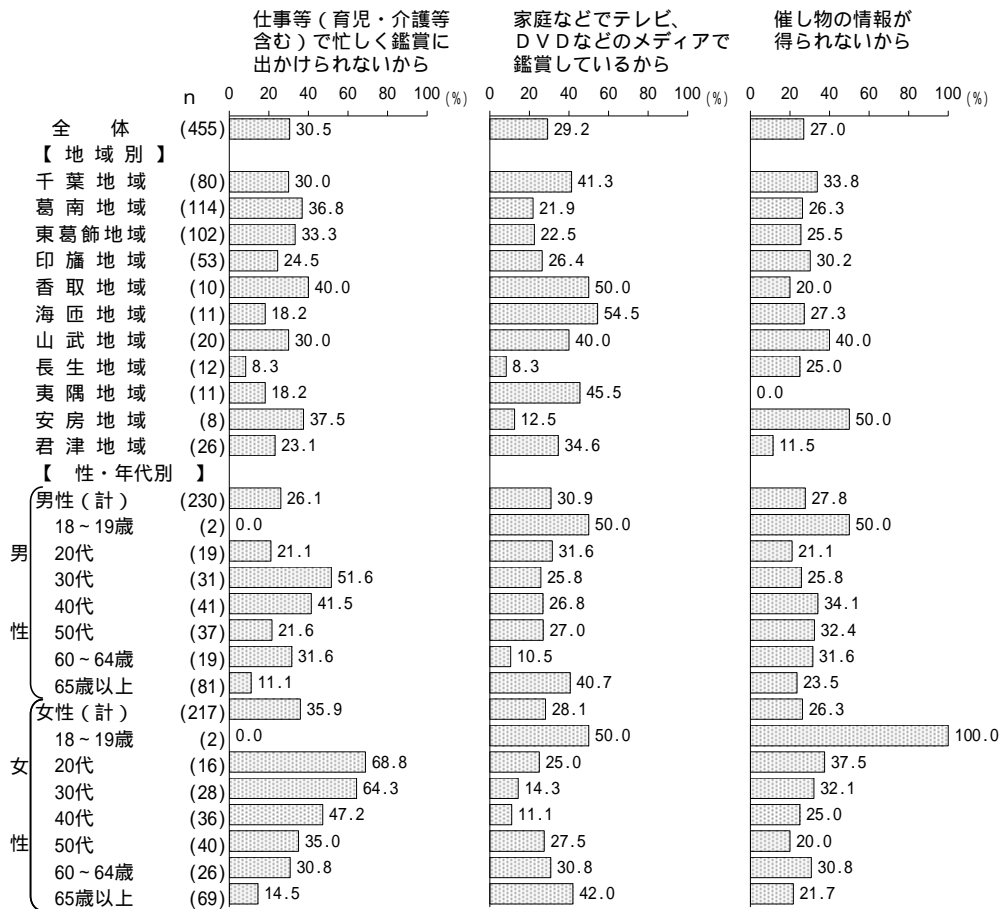
「催し物等の情報が得られないから」は“安房地域”（50.0％）で５割と高くなっている。（図表 2 - 8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「仕事等（育児・介護等含む）で忙しく鑑賞に出かけられないから」は、女性の20代（68.8％）で約７割、30代（64.3％）で６割を超えており、男性の30代（51.6％）で５割を超えて高くなっている。

また、「仕事等（育児・介護等含む）で忙しく鑑賞に出かけられないから」では、女性の平均値（35.9％）は男性の平均値（26.1％）よりも約10％程度高い。（図表 2 - 8）

<図表 2 - 8> この 1 年間に県内の文化芸術にふれなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



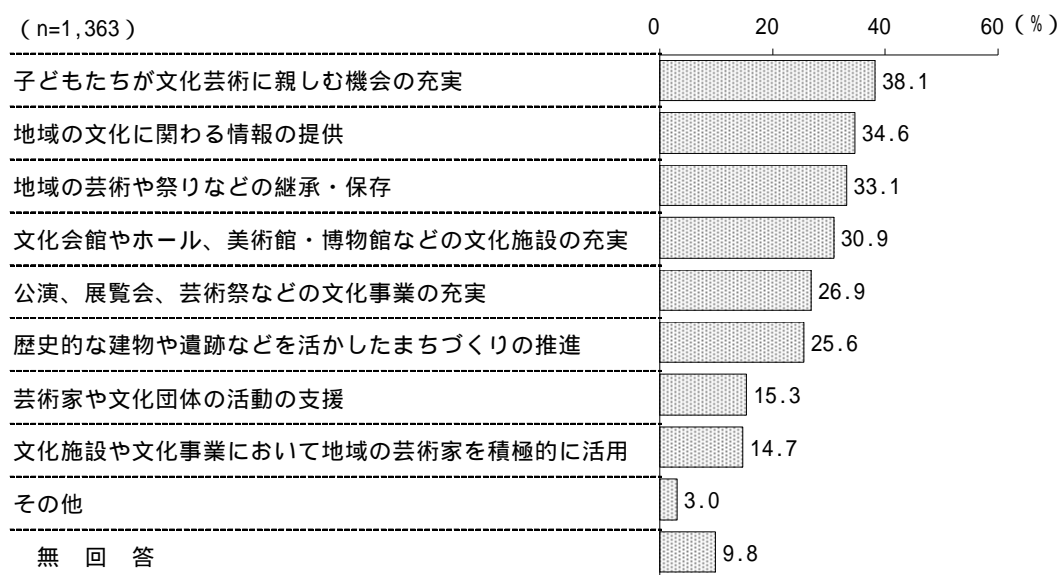
（５）地域の文化的環境に必要なこと

「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が約４割と最も高い

問14 地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が必要だと思いますか。

（ はいくつでも ）

<図表 2 - 9> 地域の文化的環境に必要なこと（複数回答）



地域の文化的環境を満足できるものとするために必要なことを聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」（38.1％）が約４割で最も多い。以下、「地域の文化に関わる情報の提供」（34.6％）、「地域の芸術や祭りなどの継承・保存」（33.1％）、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」（30.9％）が続く。（図表 2 - 9）

【地域別】

地域別にみると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」は、“香取地域”（54.2％）で５割台半ばと高くなっている。

「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」は、“海匠地域”（51.9％）で５割を超えて高くなっている。（図表 2 - 10）

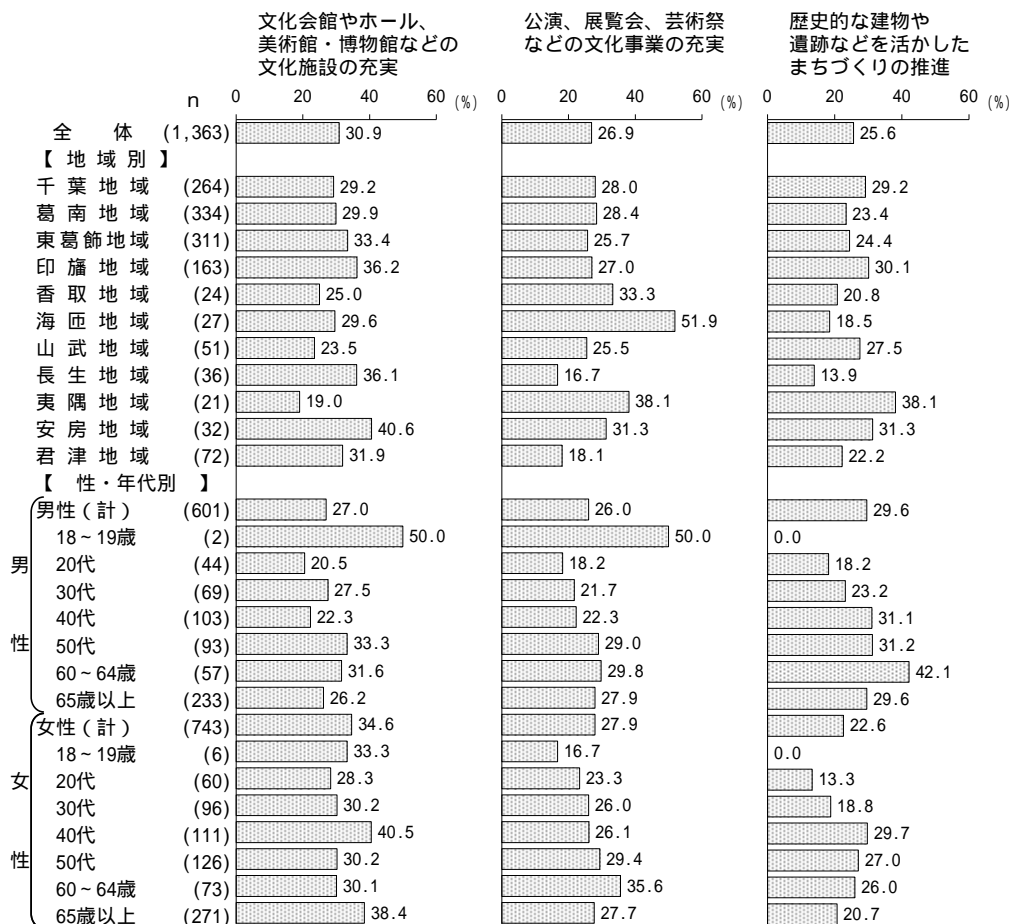
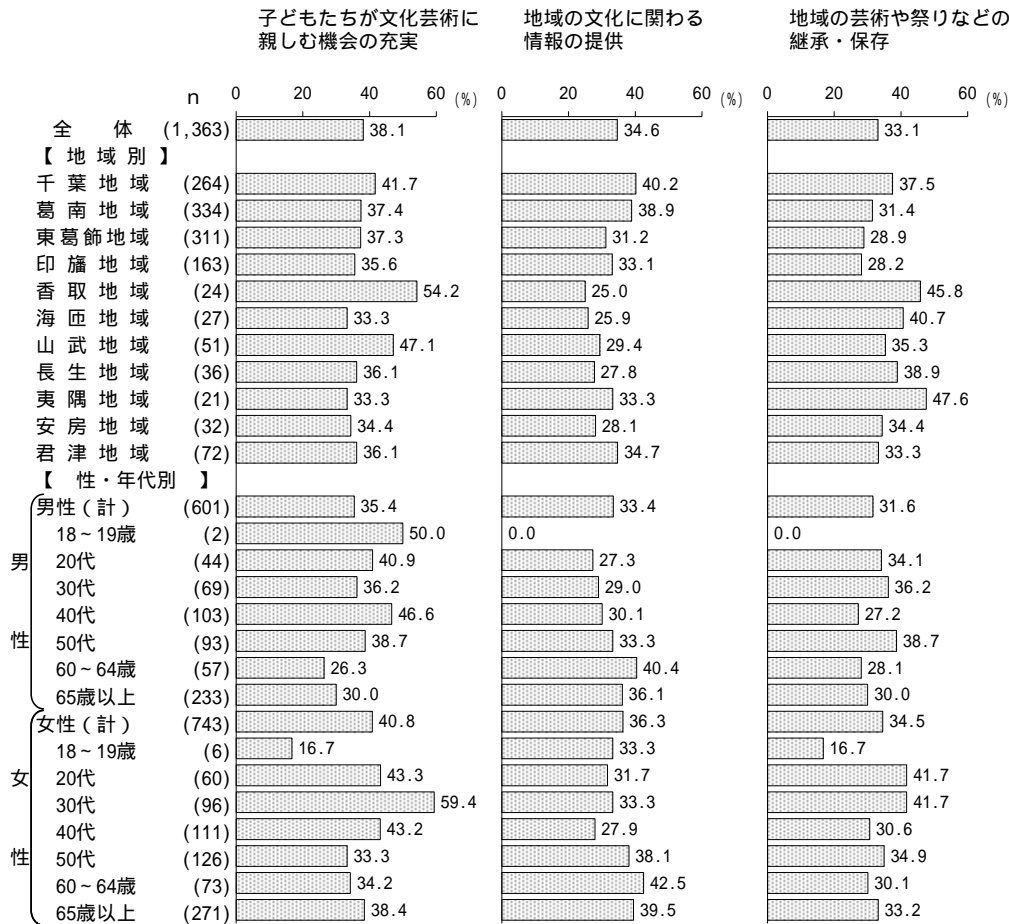
【性・年代別】

性・年代別にみると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」は、女性の30代（59.4％）で約６割と高くなっている。

「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」は、女性の40代（40.5％）で４割、女性の65歳以上（38.4％）で約４割と高くなっている。

「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」は、男性の60～64歳（42.1％）で４割を超えて高くなっている。（図表 2 - 10）

<図表 2 - 10> 地域の文化的環境に必要なこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



このほかに、「県民の文化芸術活動について」やここまでの質問（問10～問14）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、155人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「県民の文化芸術活動について」の自由回答（抜粋）

市の中心部ばかりでの催しで遠方の方は参加が難しいので、場所をバラバラで色々な所でお願いしたいです。（女性、30代、千葉地域）

地域の公民館を有効利用しているサークルをもっと親しむ機会があるべき。近くに公民館のない人々はどうやって地域の文化に触れたらいいのですか？ 情報が少ないところにも目を向けるべきだと思います。（女性、30代、君津地域）

コンクールのような発表・表彰機会を増やすことで、個人・団体の活動が活性化する環境づくり、プラットフォームづくりが強化されると良いと思います。（男性、40代、東葛飾地域）

10～20年前に比べたら、現在各種コンサート、催し物は多く拡充している。この状態を後退させることのないように願う。（男性、65歳以上、千葉地域）

長生郡市には映画館はなくなってしまいました。中心市の文化会館等で毎月1回ぐらい定期的に開催できる体制があったら良いと思います。（男性、65歳以上、長生地域）

文化会館のような多目的ホールを改装して欲しい。オーケストラやお芝居などをもっと充実させて欲しい。ミュージカルなどを見たい。コンサートも行える場所を…。大物歌手をむかえられるくらいの規模を作り上げて欲しい。（女性、40代、千葉地域）

文化会館やホール等、イベントに集まる人の数に対して、駐車場の規模が不足していると思います。又、その際の近辺道路の渋滞がひどい時が多いです。それを緩和、解決しないと、活動拡充しても、他の色々な問題が生じると思います。（女性、40代、葛南地域）

どんな行事が開催されているのか、知る機会がない。広告や情報の提供をし、県民に知らせ、アピールしていくことが大切。（女性、20代、東葛飾地域）

子供のころ千葉市に住んでいたのに歴史は佐原ぐらいしか教わらなかったが、安房の歴史を伝えるべきではないか？（男性、20代、安房地域）

文化に触れる…ことよりも生活そのものが成立しなくなっている地域が多い。地域の祭りなどは、若者がいなくなる田舎ではいつ消滅するかわからない。（男性、50代、香取地域）

3 医療について

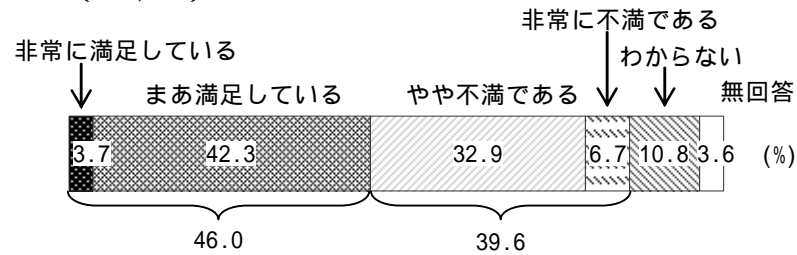
（１）県内の医療の満足度

「満足している」が４割台半ば

問15 あなたは千葉県内の医療についてどう感じですか。（１は１つ）

<図表 3 - 1> 県内の医療の満足度

(n=1,363)



千葉県内の医療について、その満足度を聞いたところ、「非常に満足している」(3.7%)と「まあ満足している」(42.3%)を合わせた『満足している』(46.0%)が４割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」(32.9%)と「非常に不満である」(6.7%)を合わせた、『不満である』(39.6%)は約４割となっている。(図表 3 - 1)

【地域別】

地域別にみると、『不満である』は“山武地域”(54.9%)で５割台半ばと高くなっている。(図表 3 - 2)

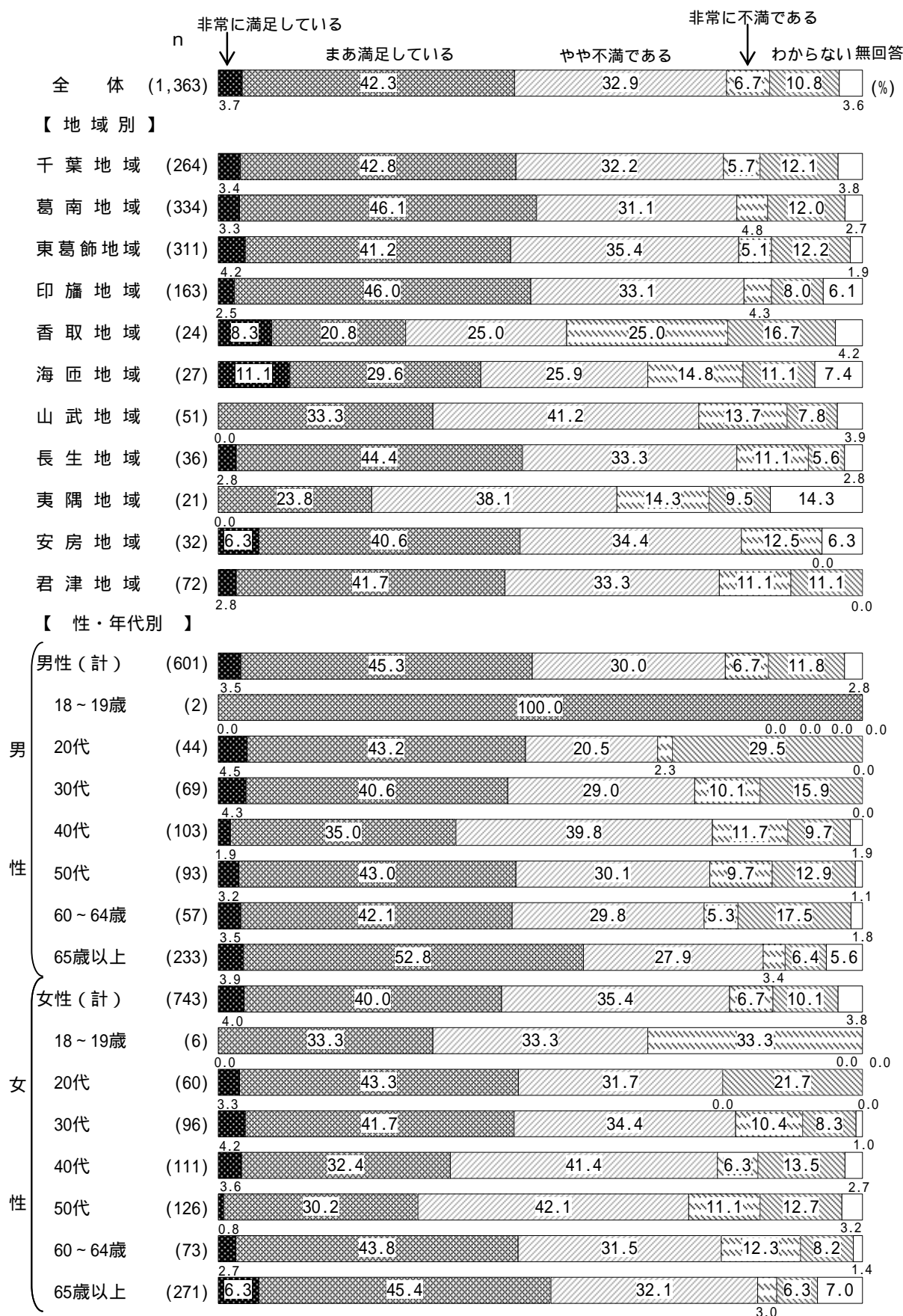
【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は、男性の65歳以上(56.7%)で５割台半ば、女性の65歳以上(51.7%)で５割を超えて高くなっている。

一方、『不満である』は、男性の40代(51.5%)で５割を超え、女性の50代(53.2%)で５割台半ばと高くなっている。(図表 3 - 2)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 3 - 2 > 県内の医療の満足度 / 地域別、性・年代別



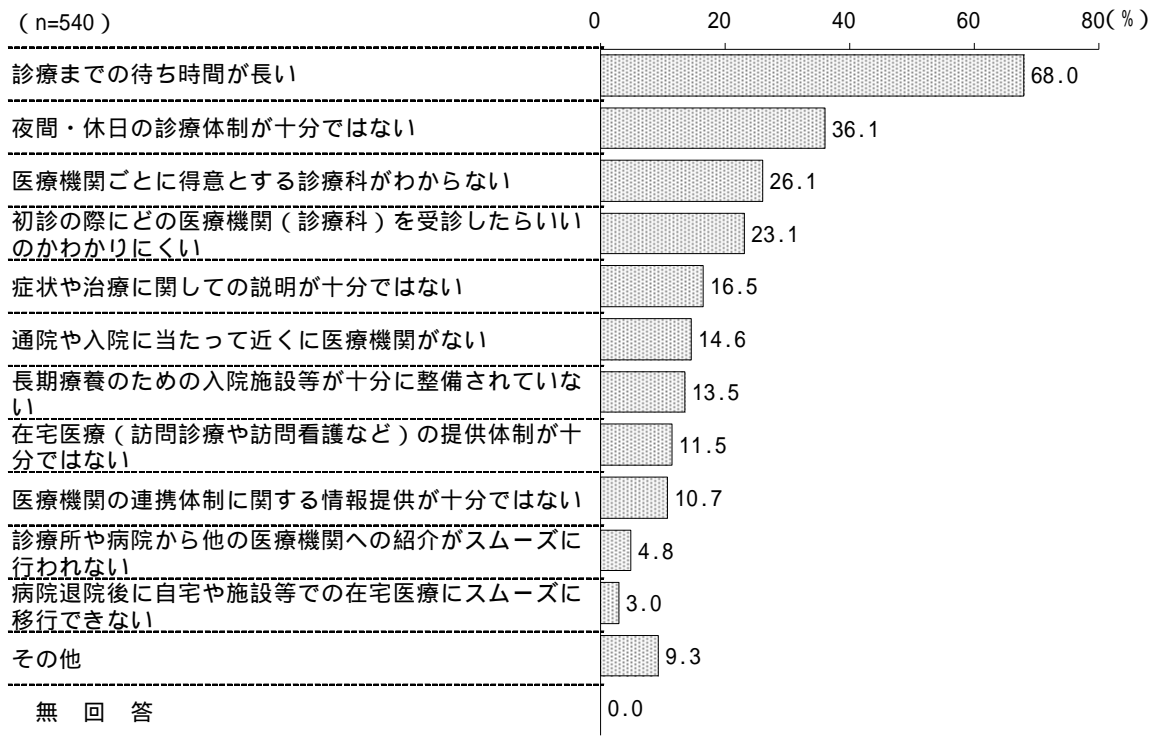
（２）県内の医療で不満な点

「診療までの待ち時間が長い」が約 7 割と最も高い

（問15で「やや不満である」「非常に不満である」とお答えの方に）

問16 あなたは、どのような点に不満を感じていますか。（ は 3 つまで）

< 図表 3 - 3 > 県内の医療で不満な点（複数回答）



『不満である』と回答した540人に、不満点を3つまで選んでもらったところ、「診療までの待ち時間が長い」（68.0%）が約 7 割と最も高い。以下、「夜間・休日の診療体制が十分ではない」（36.1%）、「医療機関ごとに得意とする診療科がわからない」（26.1%）、「初診の際にどの医療機関（診療科）を受診したらいいのかわかりにくい」（23.1%）が続く。（図表 3 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「夜間・休日の診療体制が十分ではない」は、“東葛飾地域”（28.6%）で約 3 割と低くなっている。（図表 3 - 4）

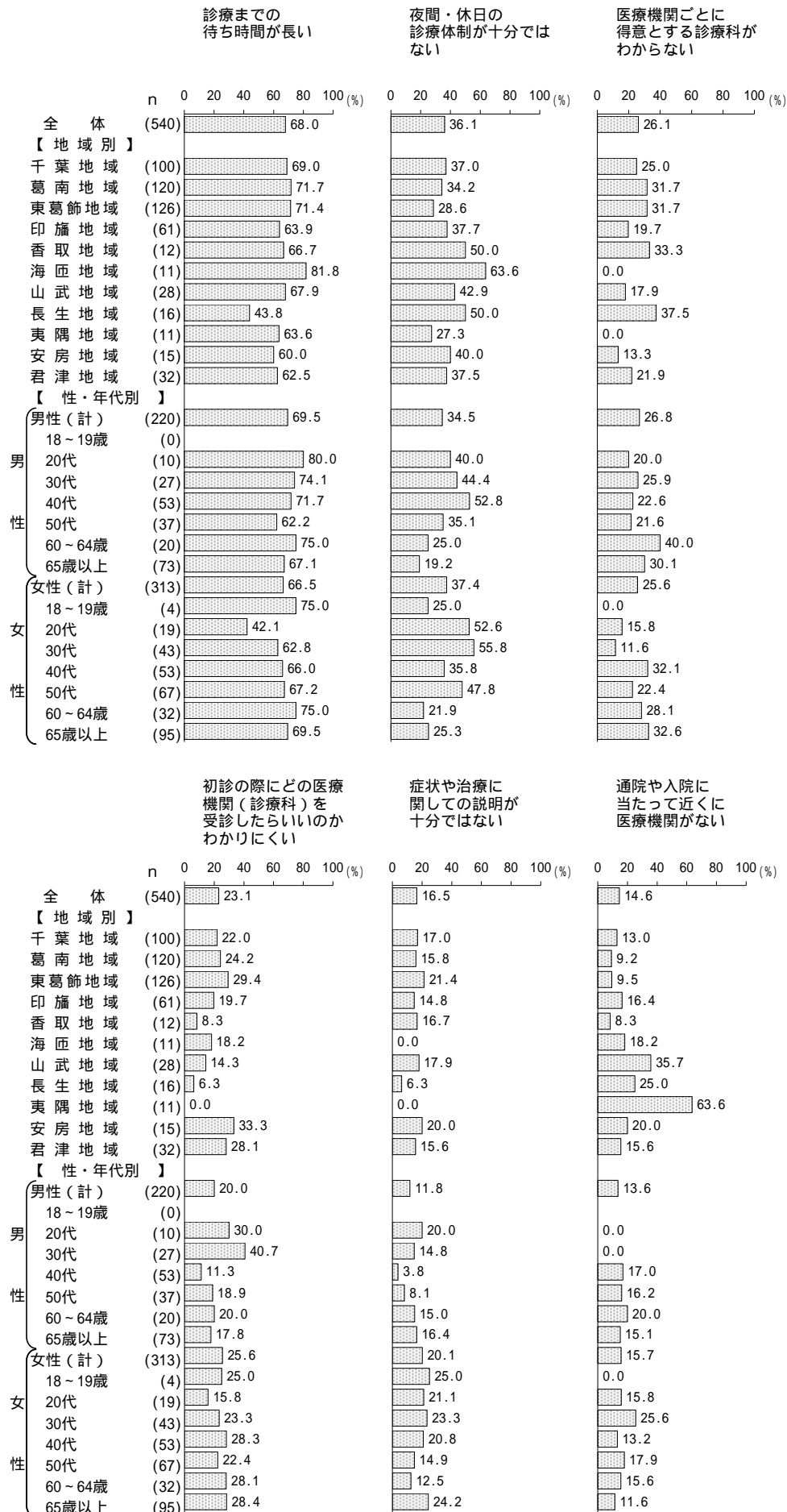
【性・年代別】

性・年代別にみると、「夜間・休日の診療体制が十分ではない」は、男性の40代（52.8%）で 5 割を超えており、女性の30代（55.8%）で 5 割台半ばと高くなっている。

「初診の際にどの医療機関（診療科）を受診したらいいのかわかりにくい」は、男性の30代（40.7%）で 4 割と高くなっている。（図表 3 - 4）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 3 - 4 > 県内の医療で不満な点（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）

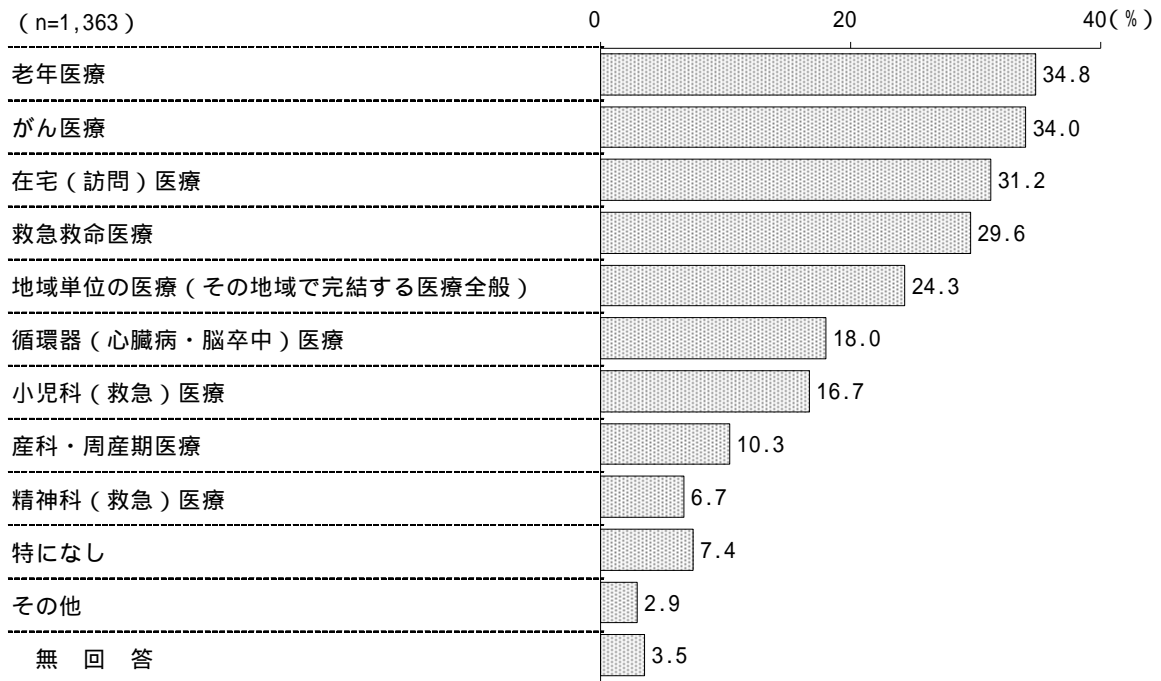


（３）今後、県に力を入れて欲しい医療

「老年医療」「がん医療」が共に３割台半ば

問17 あなたが今後、県に力を入れて欲しい医療について、次の中から選んでください。
（ は３つまで）

<図表３－５> 今後、県に力を入れて欲しい医療（複数回答）



今後、県に力を入れて欲しい医療について、３つまで選んでもらったところ、「老年医療」（34.8％）、「がん医療」（34.0％）が共に３割台半ばと高くなっている。以下、「在宅（訪問）医療」（31.2％）、「救急救命医療」（29.6％）が続く。（図表３－５）

【地域別】

地域別にみると、「地域単位の医療（その地域で完結する医療全般）」は、“長生地域”（47.2％）で約５割と高くなっている。（図表３－６）

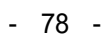
【性・年代別】

性・年代別にみると、「老年医療」は、男性の65歳以上（50.2％）で５割、女性の65歳以上（49.1％）で約５割と高くなっている。

「在宅（訪問）医療」は、男性の65歳以上（39.1％）で約４割、女性の60～64歳（45.2％）で４割台半ばと高くなっている。

「救急救命医療」は、男性の40代（40.8％）で４割、女性の50代（38.9％）で約４割と高くなっている。（図表３－６）

<図表3-6> 今後、県に力を入れて欲しい医療（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「医療について」やここまでの質問（問15～問17）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、211 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「医療について」の自由回答（抜粋）

婦人科はあるが、産科はかなり少なく、これから家庭を持ちこのまま県内で出産となるととても不安になる。また、産科もかなり混みあっているため、待ち時間が長く妊婦や子供のいる親にとってはとても大切だと思うので、早急に産科・周産期医療を充実してほしい。医師も増やしてほしい。（女性、20 代、千葉地域）

かかりつけ病院の充実、もっと手軽に受診できるメンタルなことも含めて相談ができる総合診療を充実してほしい。女性医師を増やして欲しい。（女性、40 代、千葉地域）

在宅医療（訪問診療や訪問看護など）の提供体制の充実に徹していただきたい。

（女性、65 歳以上、千葉地域）

老人が増え、自身で病院に通うことが難しくヘルパーさんなどを利用するにしても介護保険で使える時間などから厳しい方もいると思いますので、訪問診療してくれる医科歯科病院が増えると良いと思います。（女性、30 代、葛南地域）

千葉県こども病院のような機能病院を東葛地域にも必要。（男性、40 代、東葛飾地域）

先生や看護師が足りない感じが結局患者に影響している印象です。地域で満足な病院には恵まれていません。先生や看護師を増やす教育に力を入れてほしいです。

（女性、30 代、印旛地域）

過疎地域では昔からの医院が閉院して、次の医師を探すのが大変。どうしても遠くなる。

（女性、50 代、君津地域）

シャトルバス（駅～病院）や、循環バス（病院周辺をまわる）の充実。

（男性、50 代、印旛地域）

県内での地域格差が大きい。田舎でも十分な医療が受けられるようにしてほしい。

（男性、65 歳以上、山武地域）

医療機関での待ち時間が長すぎる。予約していても関係なく待たされる。

（男性、65 歳以上、君津地域）

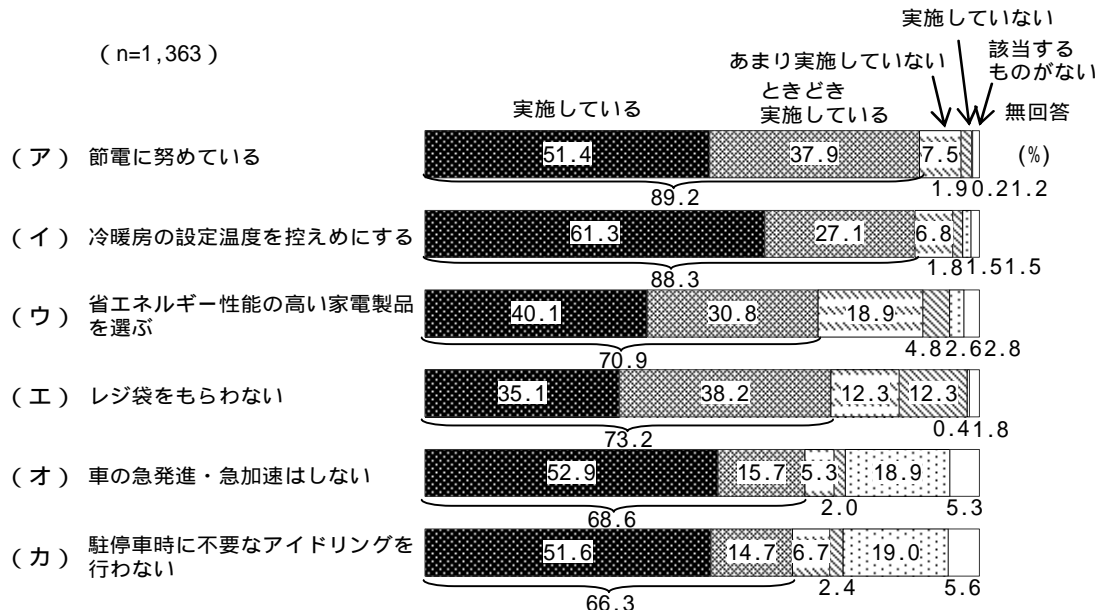
4 環境保全に関する取組について

（１）普段の生活で行っている環境保全の取組

『節電に努めている』『冷暖房の設定温度を控えめにする』が共に約 9 割

問18 あなたは普段の生活で次のようなことを行っていますか。（ はそれぞれ 1 つ）

<図表 4 - 1> 普段の生活で行っている環境保全の取組



普段の生活で行っている環境保全の取組状況を、「実施している」「ときどき実施している」を合わせた『実施している計』でみたところ、「(ア) 節電に努めている」(89.2%)「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(88.3%) が共に約 9 割と高くなっている。

また、「(エ) レジ袋をもらわない」(73.2%)「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(70.9%) は、7 割以上が『実施している計』としている。(図表 4 - 1)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 節電に努めている」について『実施している計』は、“香取地域”(95.8%) で 9 割台半ば、“東葛飾地域”(92.0%) で 9 割を超えて高くなっている。(図表 4 - 2 - 1)

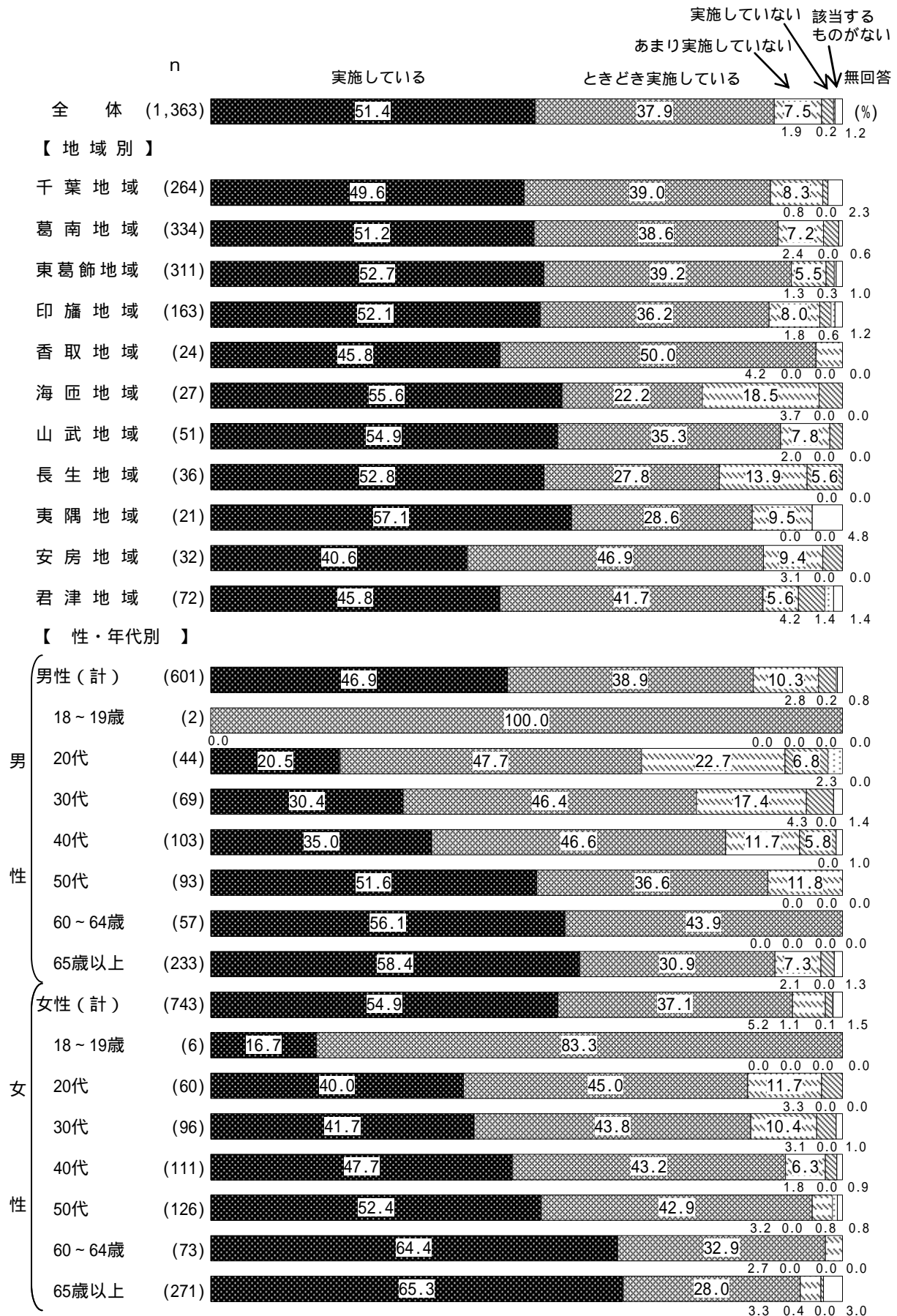
「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」について『実施している計』は、“香取地域”(95.8%) で 9 割台半ば、“東葛飾地域”(92.0%) で 9 割を超えて高くなっている。(図表 4 - 2 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 節電に努めている」について『実施している計』は、男性の 60～64 歳(100.0%) で 10 割、女性の 50 代(95.2%) で 9 割台半ば、女性の 60～64 歳(97.3%) で約 10 割、女性の 65 歳以上(93.4%) で 9 割台半ばと高くなっている。(図表 4 - 2 - 1)

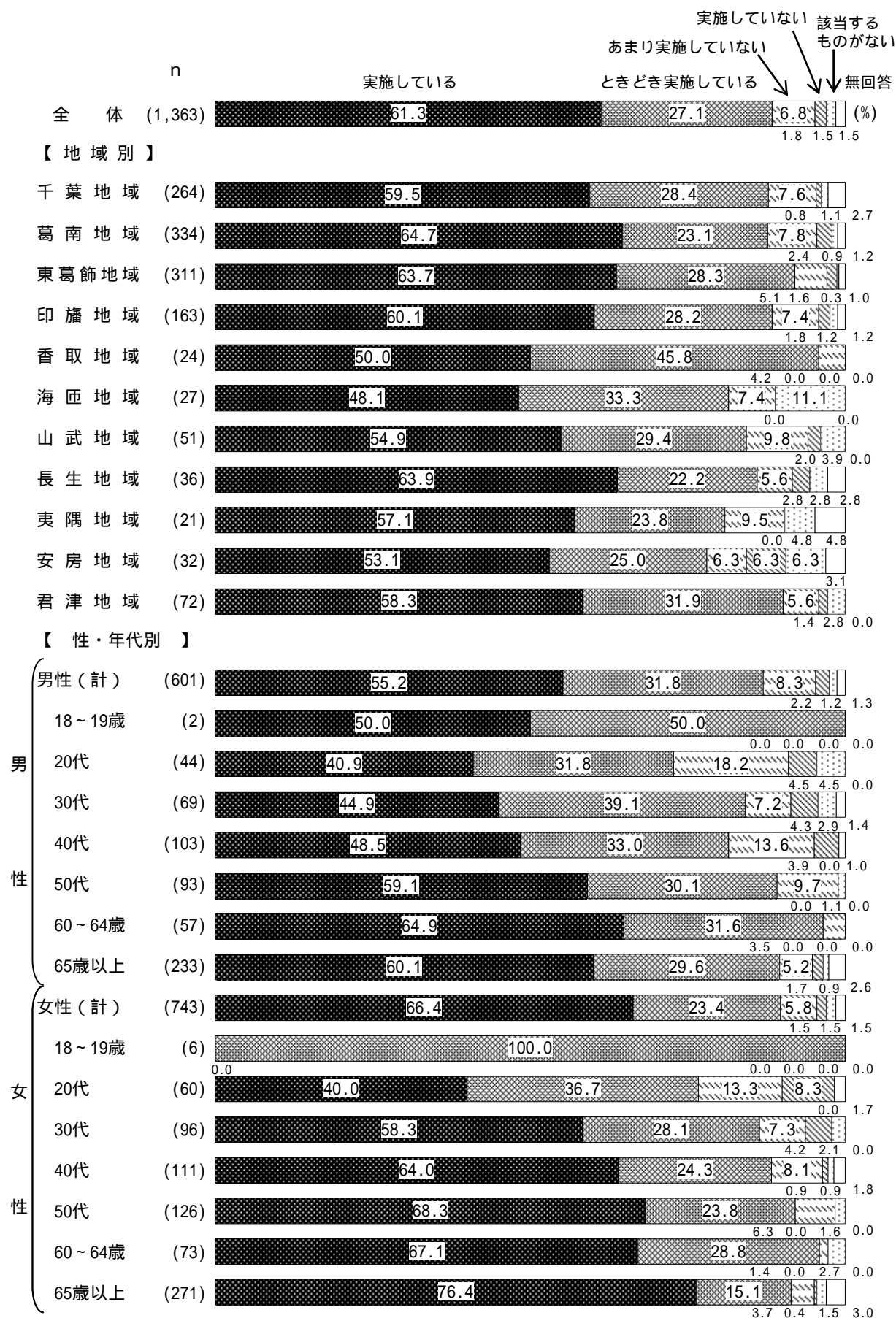
「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」について『実施している計』は、男性の 60～64 歳(96.5%) 女性の 60～64 歳(95.9%) で共に 9 割台半ばと高くなっている。(図表 4 - 2 - 2)

<図表 4 - 2 - 1> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
（ア）節電に努めている

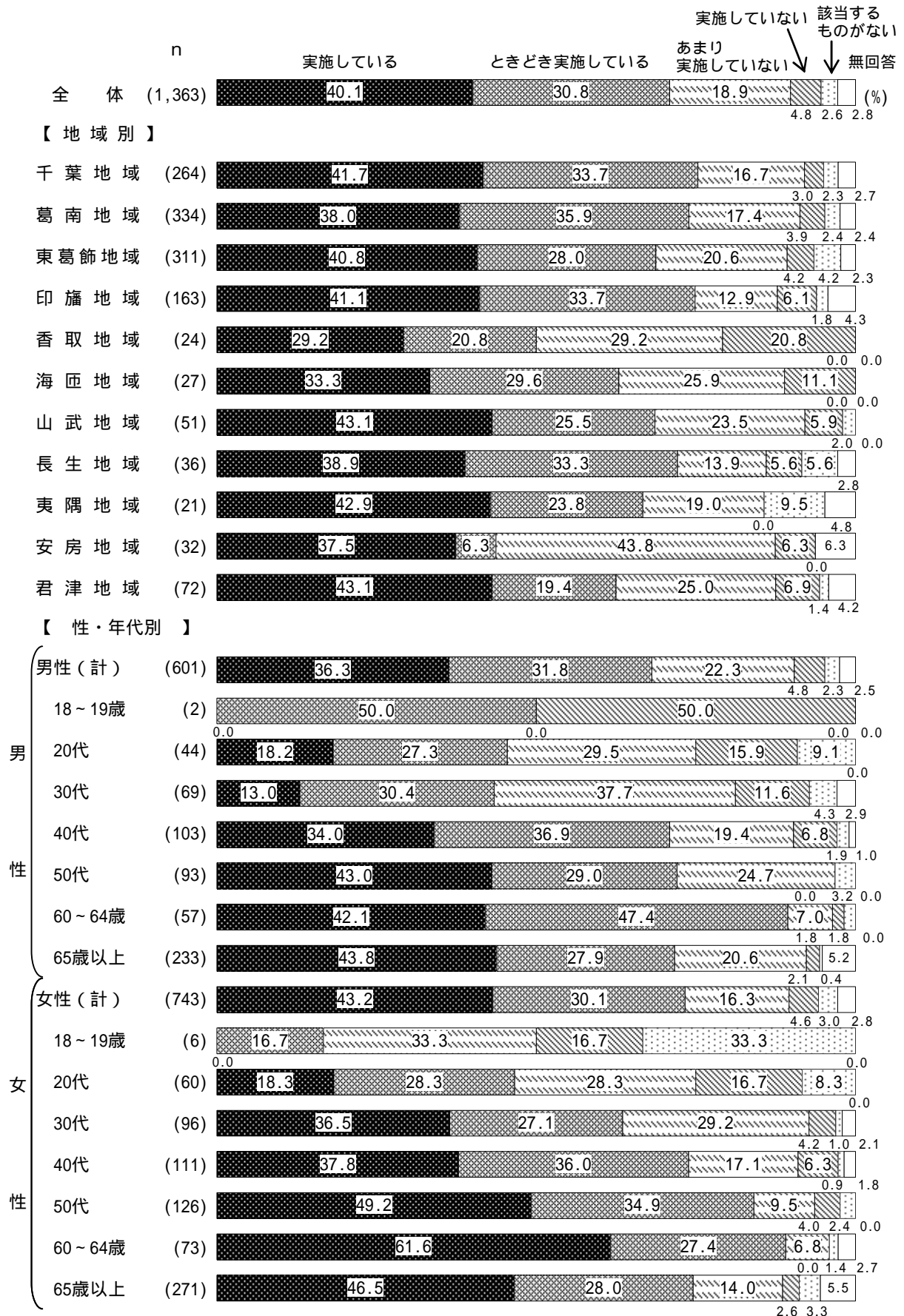


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 4 - 2 - 2> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする

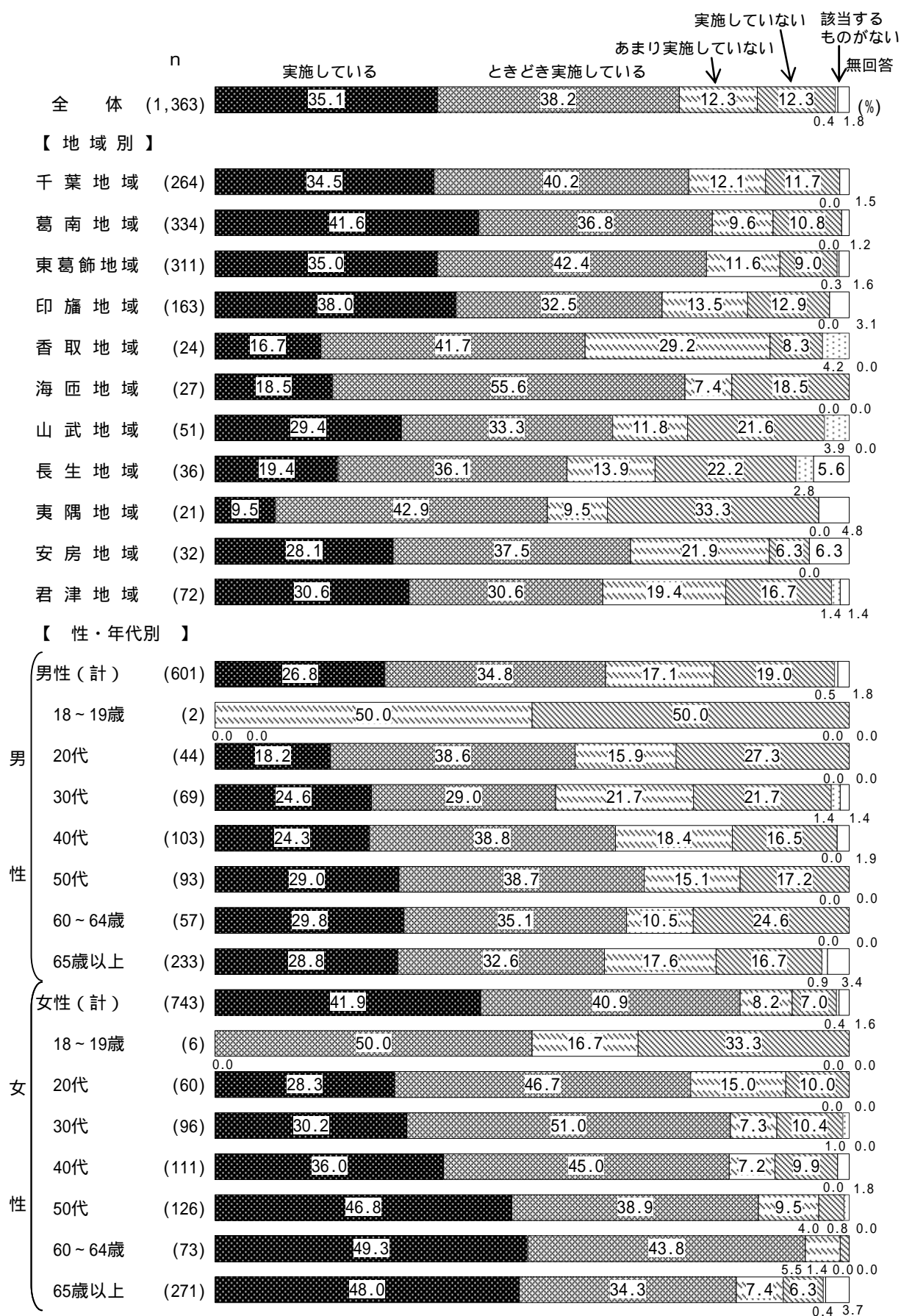


<図表 4 - 2 - 3> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

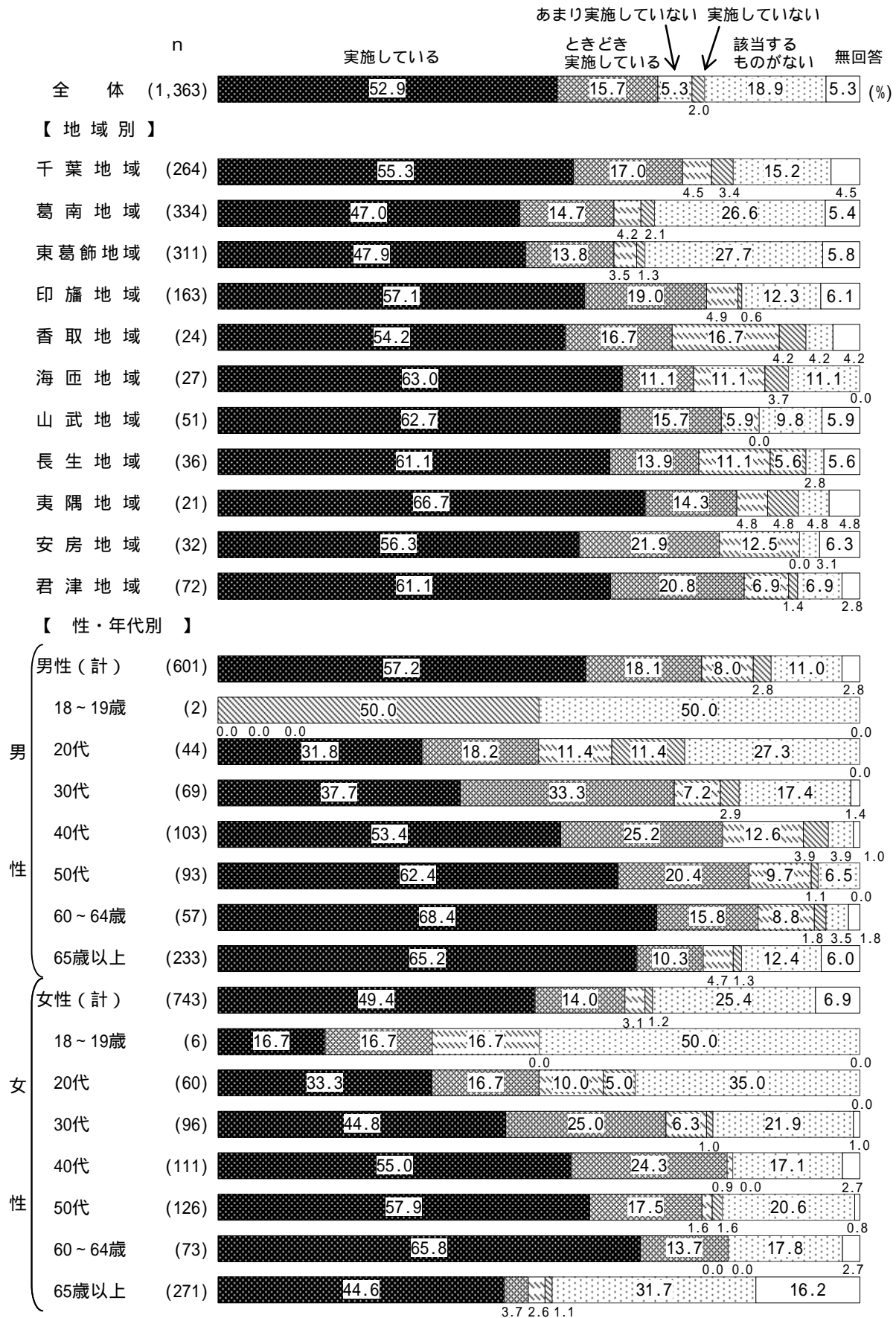


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 4 - 2 - 4> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
(エ) レジ袋をもらわない

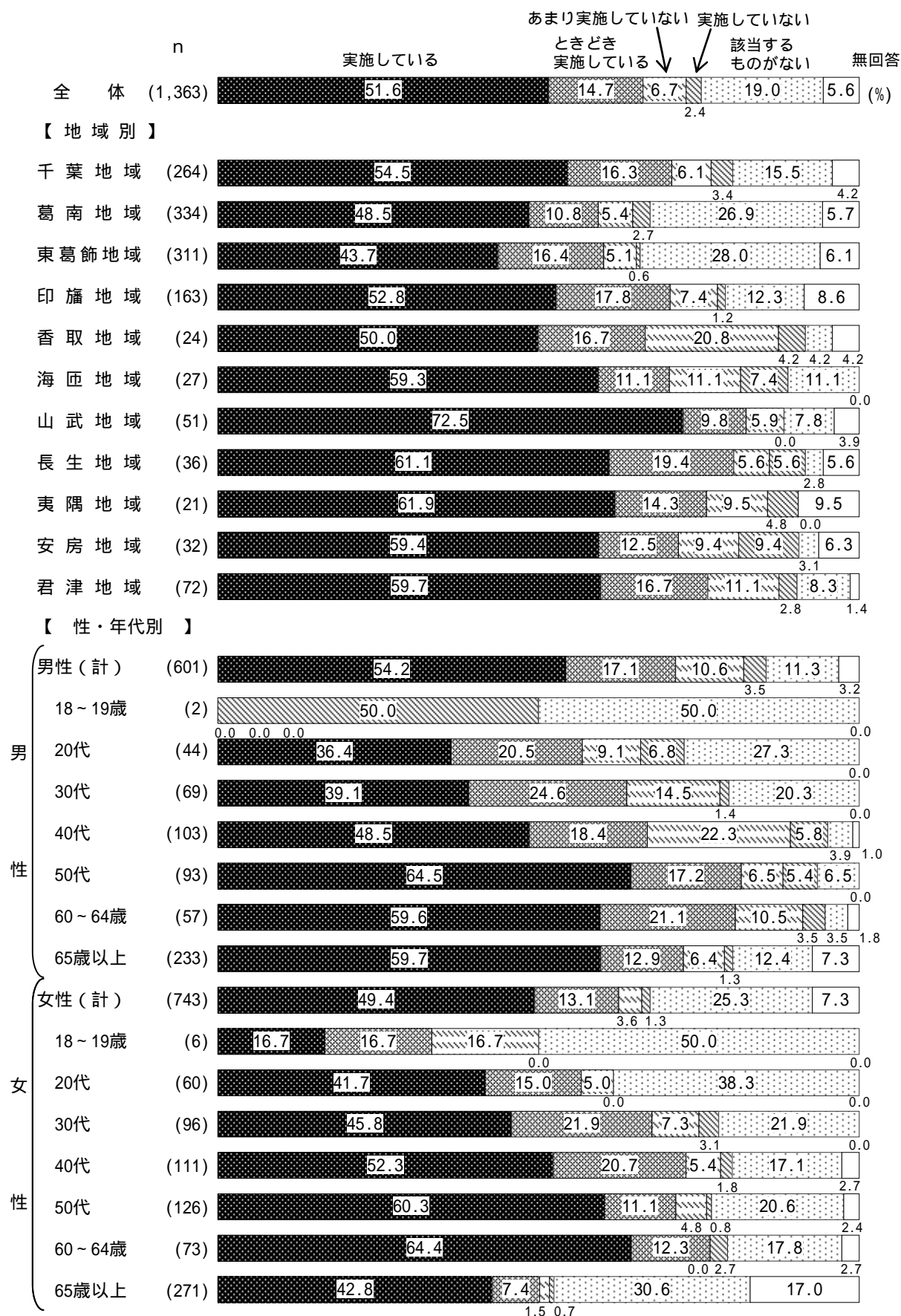


<図表 4 - 2 - 5> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
(オ) 車の急発進・急加速はしない



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 4 - 2 - 6> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
(カ) 駐停車時に不要なアイドリングを行わない

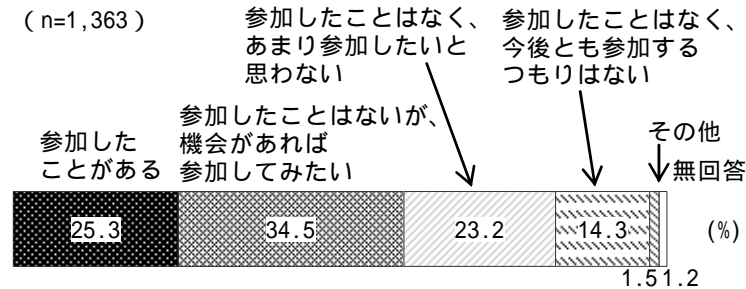


（２）環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況

『参加したことがある』が２割台半ば

問19 あなたはこれまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。（ は１つ）

<図表４－３> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況について聞いたところ、「参加したことがある」（25.3％）が２割台半ばとなっている。また、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」（34.5％）が３割台半ばとなっている。（図表４－３）

【地域別】

地域別にみると、「参加したことがある」は、“安房地域”（40.6％）で４割と高くなっている。

「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は、“長生地域”（50.0％）で５割、“千葉地域”（41.3％）で４割を超え、“葛南地域”（39.5％）で約４割と高くなっている。（図表４－４）

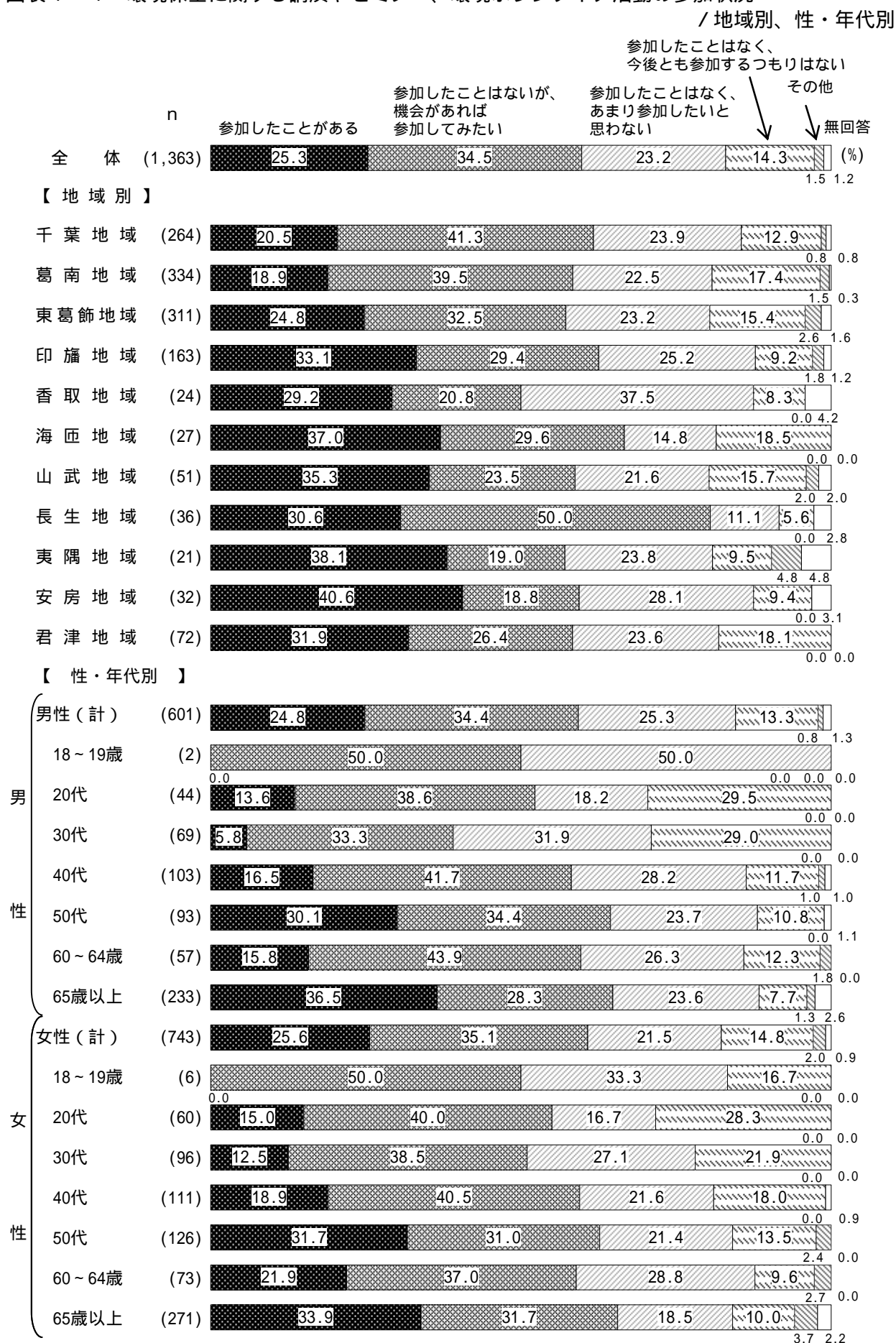
【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加したことがある」は、男性の65歳以上（36.5％）、女性の65歳以上（33.9％）で３割台半ばと高くなっている。

また、「参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない」は、男性の20代（29.5％）、男性の30代（29.0％）で共に約３割、女性の20代（28.3％）で約３割、女性の30代（21.9％）で２割を超えて高くなっている。（図表４－４）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 4 - 4 > 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況



このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問（問18～問19）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、134 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「環境保全に関する取組について」の自由回答（抜粋）

相続他、いろいろな理由はあると思うが、この 10 年でも雑木林、草地、畑、田などがなくなり、建売り住宅にどんどん変わり、緑が減っていく。できれば残るようなことを考えてほしい。（女性、40 代、東葛飾地域）

千葉県は緑の多い県と思うのでいろいろな方法で保全につとめて欲しいと思う。（女性、60～64 歳、葛南地域）

自然エネルギーを利用した公共交通手段を取り入れ、安価で利用できるようにしたら良いと思います（ショッピングモールへのバス化など）。津田沼駅の鳥をどうかしてほしい。鳴き声、フンによる被害が大きいです。（女性、30 代、葛南地域）

都市部以外の地域では、可燃ゴミとして、伐採した庭木の枝や草等を多く出していると思います。これらを利用して、バイオマス発電（ガス生成も含む）等ができないでしょうか。ゴミの収集コストがかかるとは思いますが、黒字にする必要はないと思いますが。

（男性、60～64 歳、長生地域）

市原～千葉 16 号を使いますが、ゴミのポイ捨てが非常に目立ちます（時々、周辺企業の方が拾ってくれていますが）。学校などで特別授業（ゴミを捨てたらどうしていけないのか等）を実施してみたらどうでしょうか？（女性、30 代、千葉地域）

流山市は資源ゴミの出し方が難しいです。引越したばかりで分かりません。柏市にいた時は資源ゴミとして出していた紙が、今燃やすゴミに出しています。その他にも衣類の出し方がわからないし、困っています。（女性、65 歳以上、東葛飾地域）

清掃活動に関心あり、県民だより等に掲載して頂ければ参加出来るよう努める。

（女性、40 代、千葉地域）

省エネルギー性能の高い家電は欲しくても今のものが使えるため、わざわざ買うとお金もかかるため、購入費用も大変だ。買い替えの時なら選びたいと思う。（女性、40 代、安房地域）

ほんの小さな心遣いで成功することが多い。例えばゴミ、かつて（2～3 年前）は週に 30 L だったのが、今では 20 L あるかないかになっている（夫婦 2 人家族）。

（女性、65 歳以上、千葉地域）

家庭のごみを平気で燃やしている人がとても多い。（女性、65 歳以上、海匝地域）

5 道路整備について

（１）主な道路の利用目的

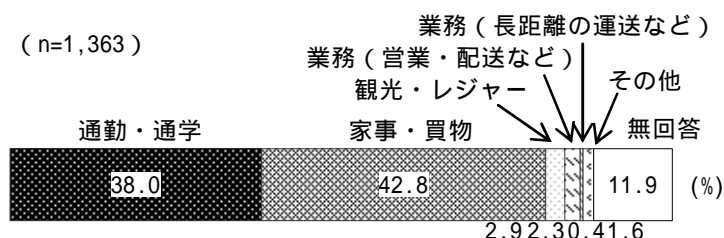
「家事・買物」が４割を超え、「通勤・通学」が約４割

問20 あなたは普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。
一番と思われるものを選んでください。（ は１つ）

* 「道路」を利用する手段は、徒歩・自転車・バイク・自動車など全てを含みます。

* 「業務（営業・発送など）」は営業や宅配などの近距離の業務を、「業務（長距離の
運送など）」は大都市間の荷物の運送など長距離の業務を指します。

<図表 5 - 1> 主な道路の利用目的



普段の道路の利用目的を聞いたところ、「家事・買物」(42.8%)が４割を超えており、「通勤・通学」(38.0%)が約４割となっている。(図表 5 - 1)

【地域別】

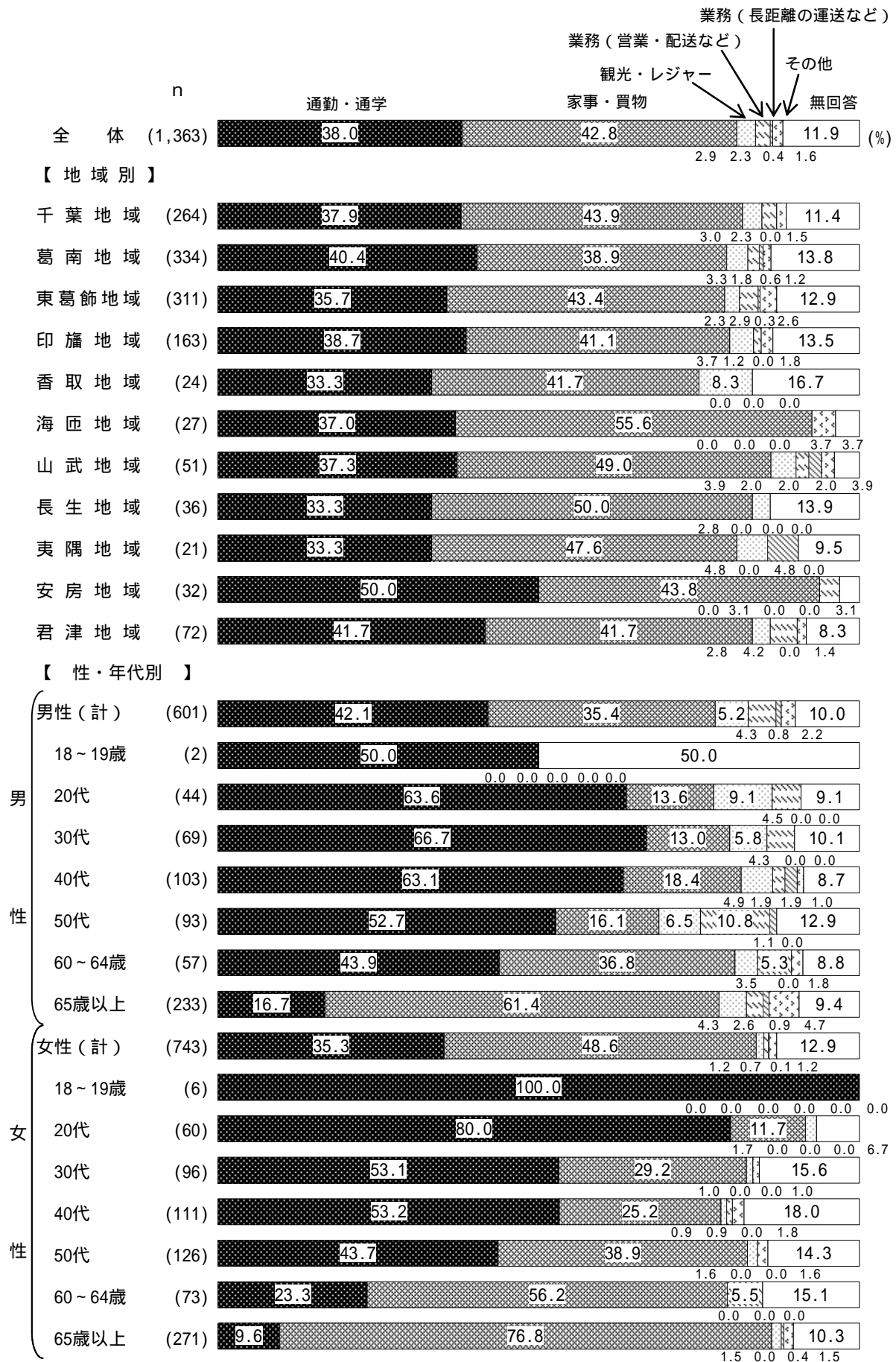
地域別にみると、「通勤・通学」は、“安房地域”(50.0%)で５割と、他の地域に比べて高くなっている。「家事・買い物」は、“海匝地域”(55.6%)で５割台半ばと高くなっている。(図表 5 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家事・買物」は男性の65歳以上(61.4%)で６割を超え、女性の60～64歳(56.2%)で５割台半ば、女性の65歳以上(76.8%)で７割台半ばと高くなっている。

「通勤・通学」は、男性の20代(63.6%)、男性の30代(66.7%)、男性の40代(63.1%)でいずれも６割台半ば、男性の50代(52.7%)で５割を超え、女性の20代(80.0%)で８割、女性の30代(53.1%)、女性の40代(53.2%)で共に５割台半ばと高くなっている。(図表 5 - 2)

< 図表 5 - 2 > 主な道路の利用目的 / 地域別、性・年代別

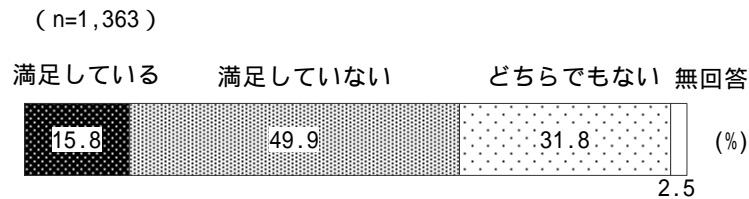


（２）県内の道路状況の満足度

『満足している』は約 1 割台半ば

問21 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。（ は 1 つ）

< 図表 5 - 3 > 県内の道路状況の満足度



千葉県内の道路状況について満足度を聞いたところ、「満足している」(15.8%) が 1 割台半ば、「満足していない」(49.9%) は約 5 割と、「満足していない」が「満足している」を大きく上回っている。(図表 5 - 3)

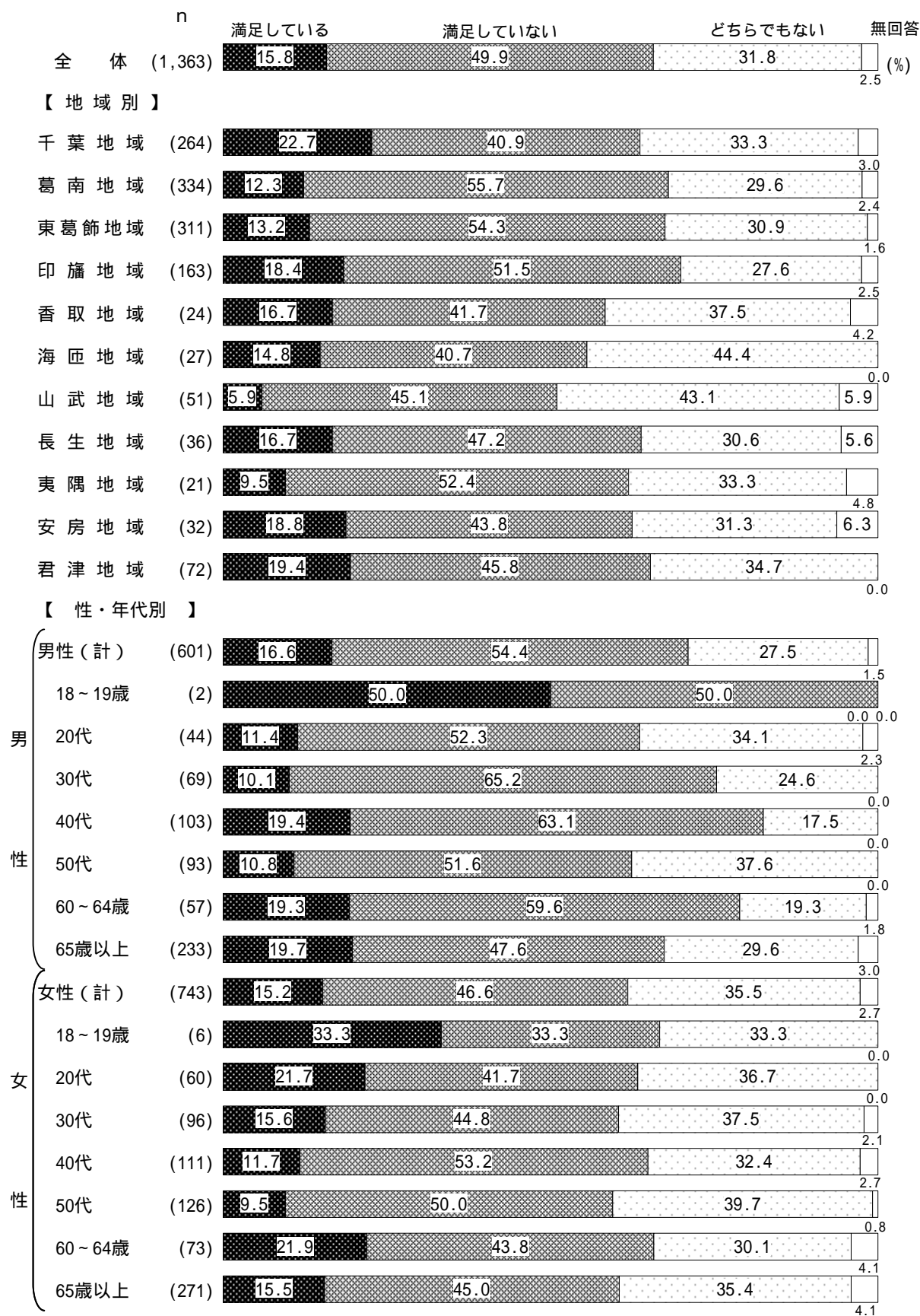
【地域別】

地域別にみると、「満足している」は、“山武地域”で 5.9% と、他の地域に比べて低くなっている。また、「満足していない」は、“葛南地域”(55.7%) で 5 割台半ばと高くなっている。(図表 5 - 4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「満足していない」は、男性の 30 代 (65.2%) 男性の 40 代 (63.1%) で共に約 6 割台半ばと高くなっている。(図表 5 - 4)

< 図表 5 - 4 > 県内の道路状況の満足度 / 地域別、性・年代別



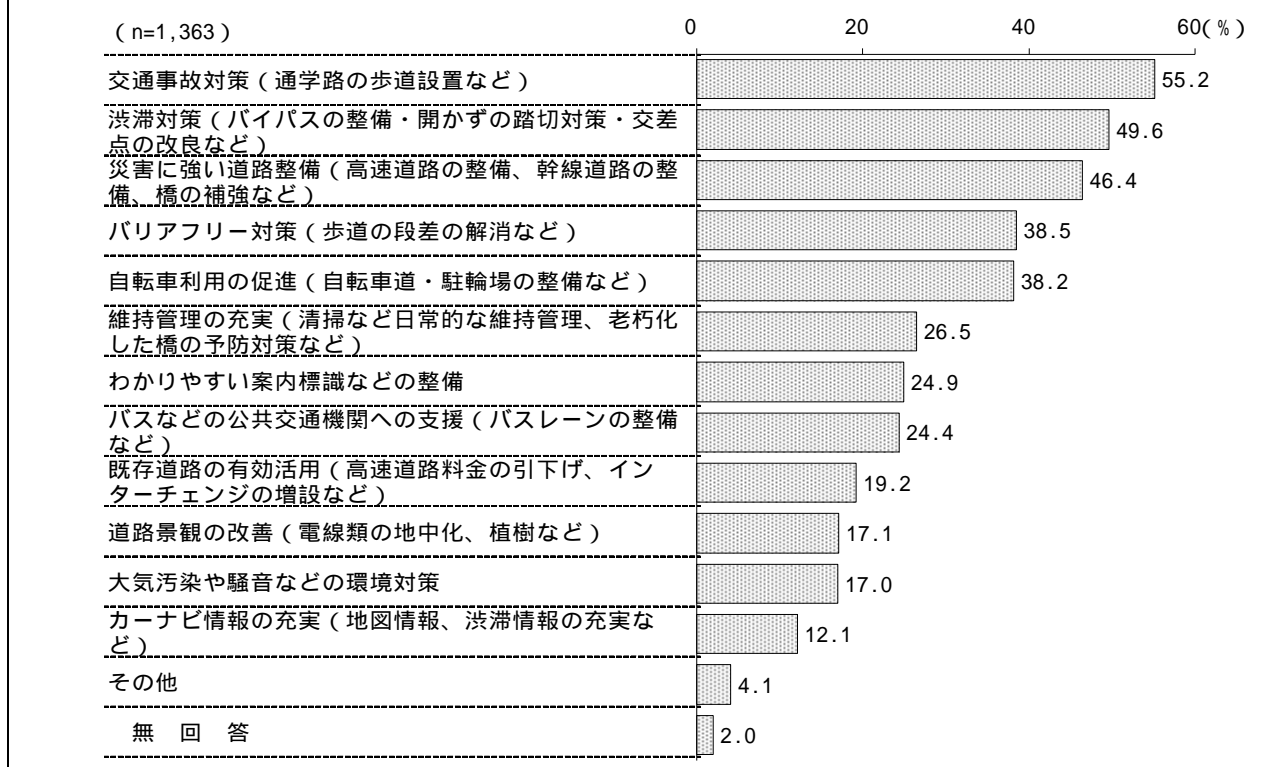
（３）道路整備をしていく上での優先課題

「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」が５割台半ばと最も高い

問22 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。

（ はいくつでも ）

<図表 5 - 5> 道路整備をしていく上での優先課題（複数回答）



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」（55.2%）が５割台半ばと最も高く、以下、「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」（49.6%）、「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」（46.4%）、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」（38.5%）、「自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）」（38.2%）が続く。（図表 5 - 5）

【地域別】

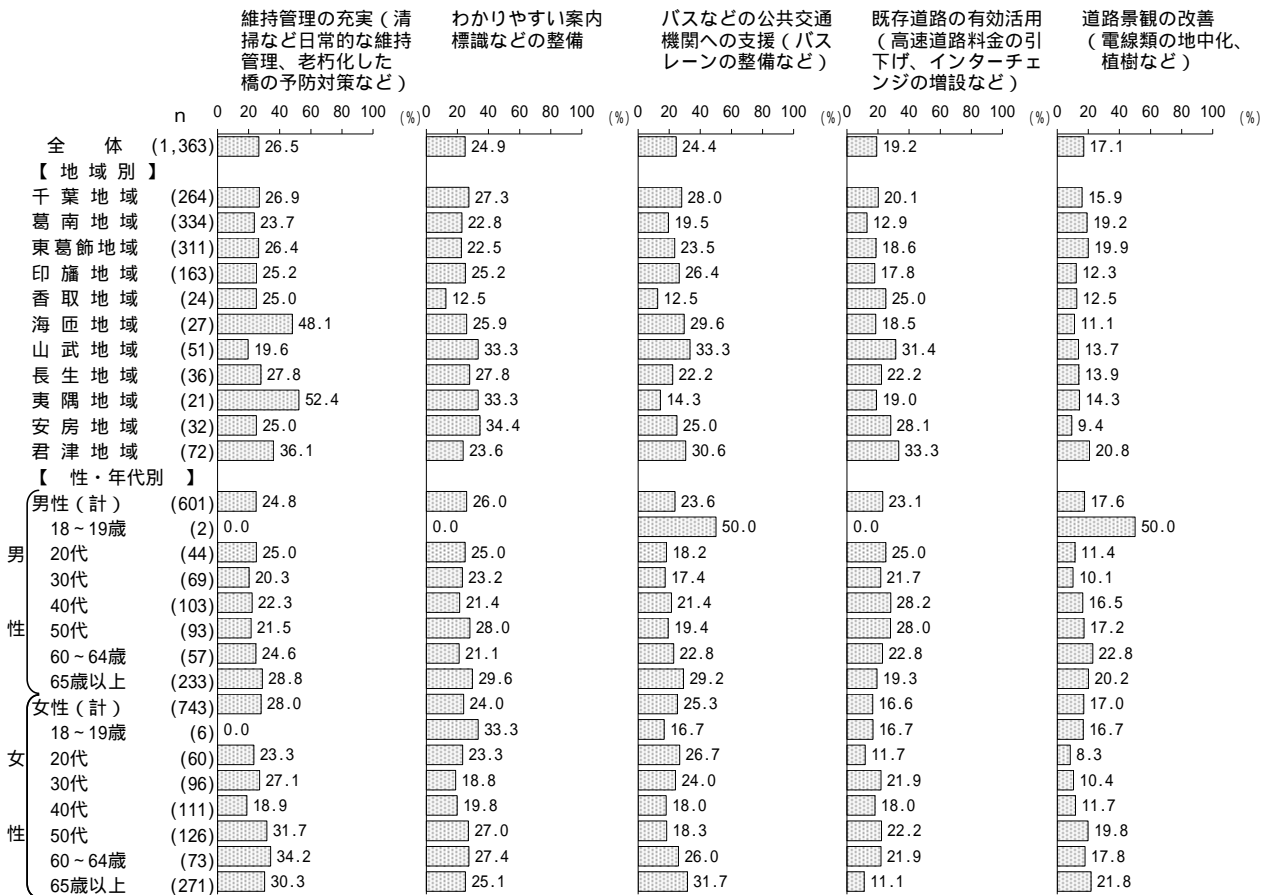
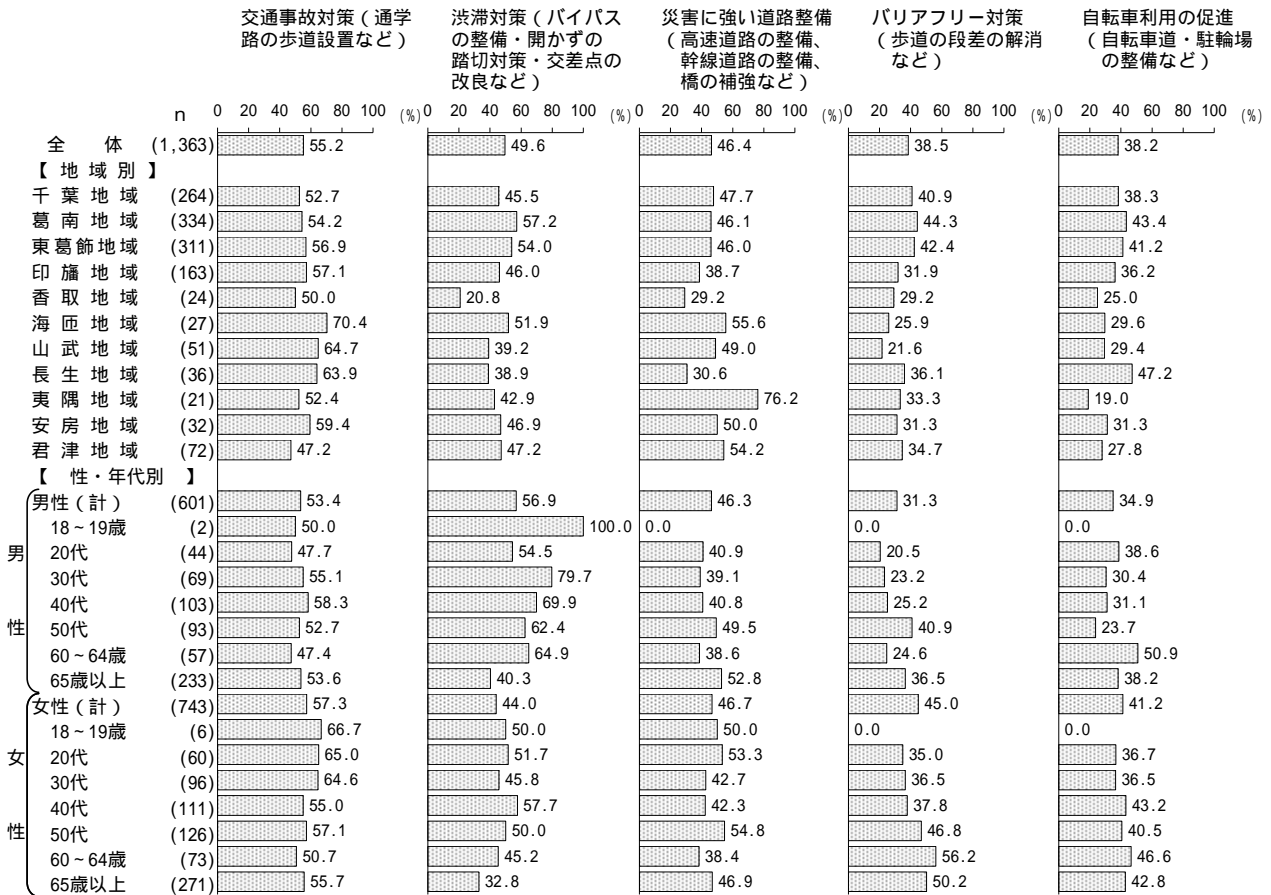
地域別にみると、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」は、“海匠地域”（70.4%）で７割と高くなっている。

「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」は、“葛南地域”（57.2%）で約６割と高くなっている。

【性・年代別】

性・年代別にみると、「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」は、男性の30代（79.7%）で約８割、男性の40代（69.9%）で約７割、男性の50代（62.4%）で６割を超え、男性の60～64歳（64.9%）で６割台半ばと高くなっている。

<図表5 - 6> 道路整備をしていく上での優先課題（複数回答）／地域別、性・年代別



このほかに、「道路整備について」やここまでの質問（問20～問22）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、248 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「道路整備について」の自由回答（抜粋）

道路上の白線がほとんど消えてしまっているところが多く、危険。歩道が整備不足で（狭かったり、道がでこぼこしている）、車いすやベビーカーなど満足に通れないと思う。

（女性、40 代、東葛飾地域）

高齢者施設の周辺の安全歩道の確保。集中豪雨の時の排水不十分のないこと。又、落葉によるグレーチングのつまりのない、工夫された側溝蓋の考案。交叉点での車・自転車・人の事故を激減させる新しい工夫。（男性、65 歳以上、印旛地域）

枝葉で標識が見えないところが多い。標識と道路表示の食い違いがある（カーブと T 字路とか...）。老朽化した道が多い（市道かもしれません）。（男性、65 歳以上、東葛飾地域）

国道 16 号線の渋滞を何とかしてほしい。右折信号左折信号をもっと増やして欲しい。

（女性、30 代、千葉地域）

船橋、習志野、市川、松戸の交通渋滞の改善をお願いしたい。道路幅の狭い道が多く、危険。

（男性、30 代、葛南地域）

南房総の道路は狭く、歩道も整備されていない。道路の整備なしに地域の発展も無い。もっと力を入れてやって欲しい。（男性、50 代、安房地域）

自転車道が少なく、自動車を運転している際に、自転車との距離が近く、接触してしまうのではないかと、非常に不安に思っています。（女性、20 代、印旛地域）

アクアラインは今のままの金額がいいと思う。圏央道は料金高い。雪が降った時の対応をもっと早く。（女性、40 代、君津地域）

経済効果と渋滞緩和のために、圏央道の早期開通を望みます。（男性、60～64 歳、長生地域）

通学路の歩道の設置、バリアフリー対策を特に早急に対処願いたい。

（女性、65 歳以上、東葛飾地域）

6 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

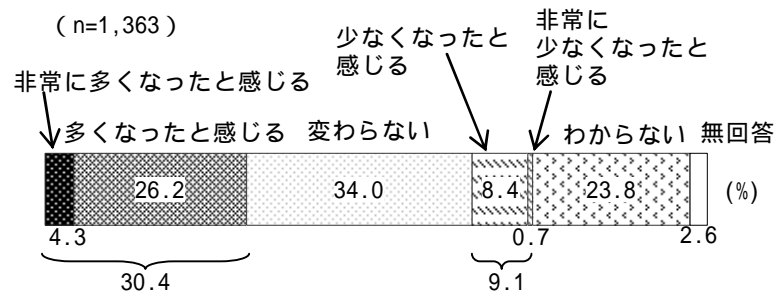
（１）居住地域における最近の犯罪発生状況

「多くなったと感じる」は 3 割

問23 あなたが住んでいる地域における最近の犯罪の発生状況についてどう感じますか。

（ は 1 つ ）

< 図表 6 - 1 > 居住地域における最近の犯罪発生状況



住んでいる地域における最近の犯罪の発生状況を聞いたところ、「非常に多くなったと感じる」（4.3%）、「多くなったと感じる」（26.2%）を合わせた、『多くなったと感じる計』（30.4%）は 3 割であった。

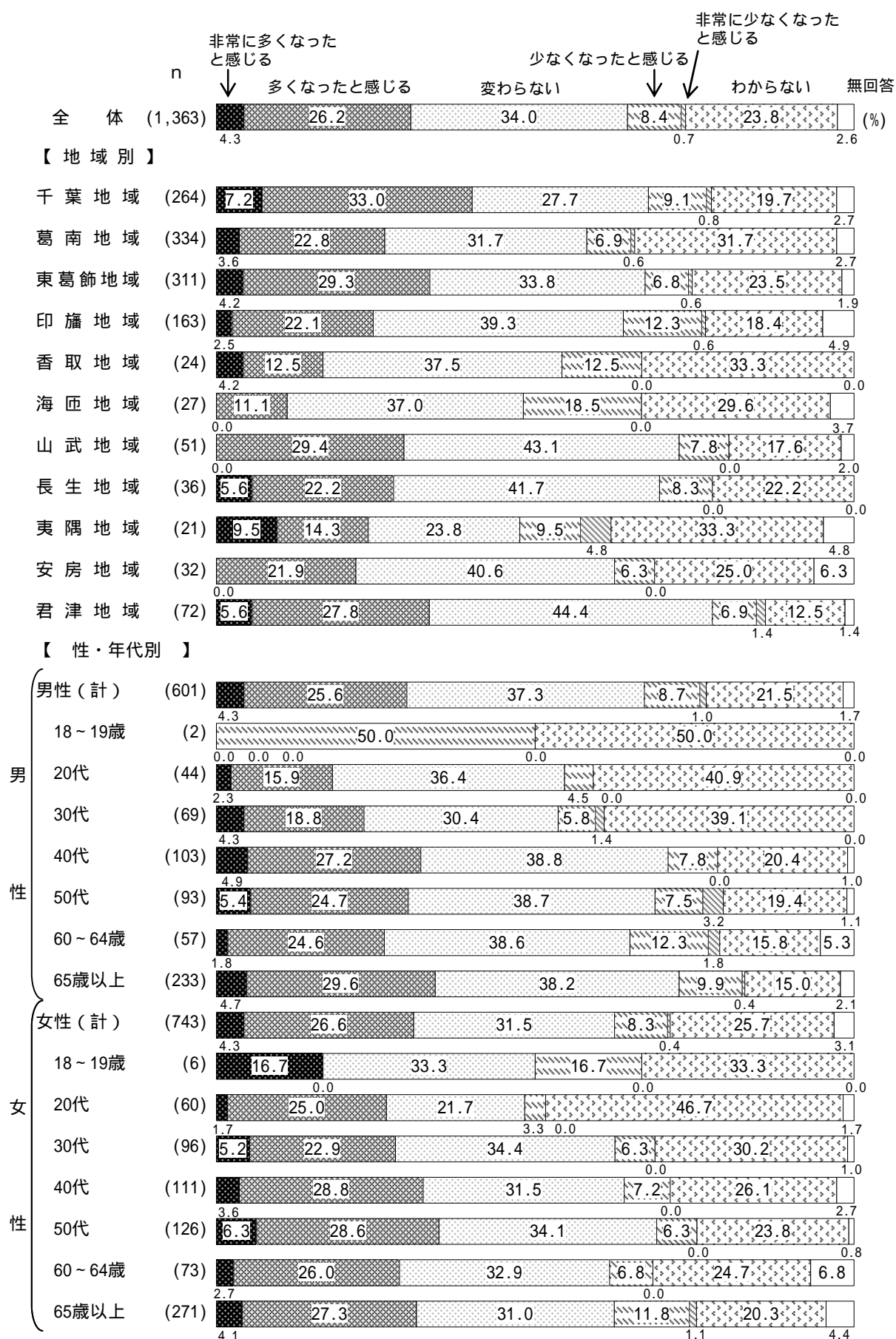
一方、「少なくなったと感じる」（8.4%）と「非常に少なくなったと感じる」（0.7%）を合わせた、『少なくなったと感じる計』（9.1%）は約 1 割となっている。（図表 6 - 1）

【地域別】

地域別にみると、『多くなったと感じる計』は、“千葉地域”（40.2%）で 4 割と高くなっている。（図表 6 - 2）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 6 - 2 > 居住地域における最近の犯罪発生状況 / 地域別、性・年代別

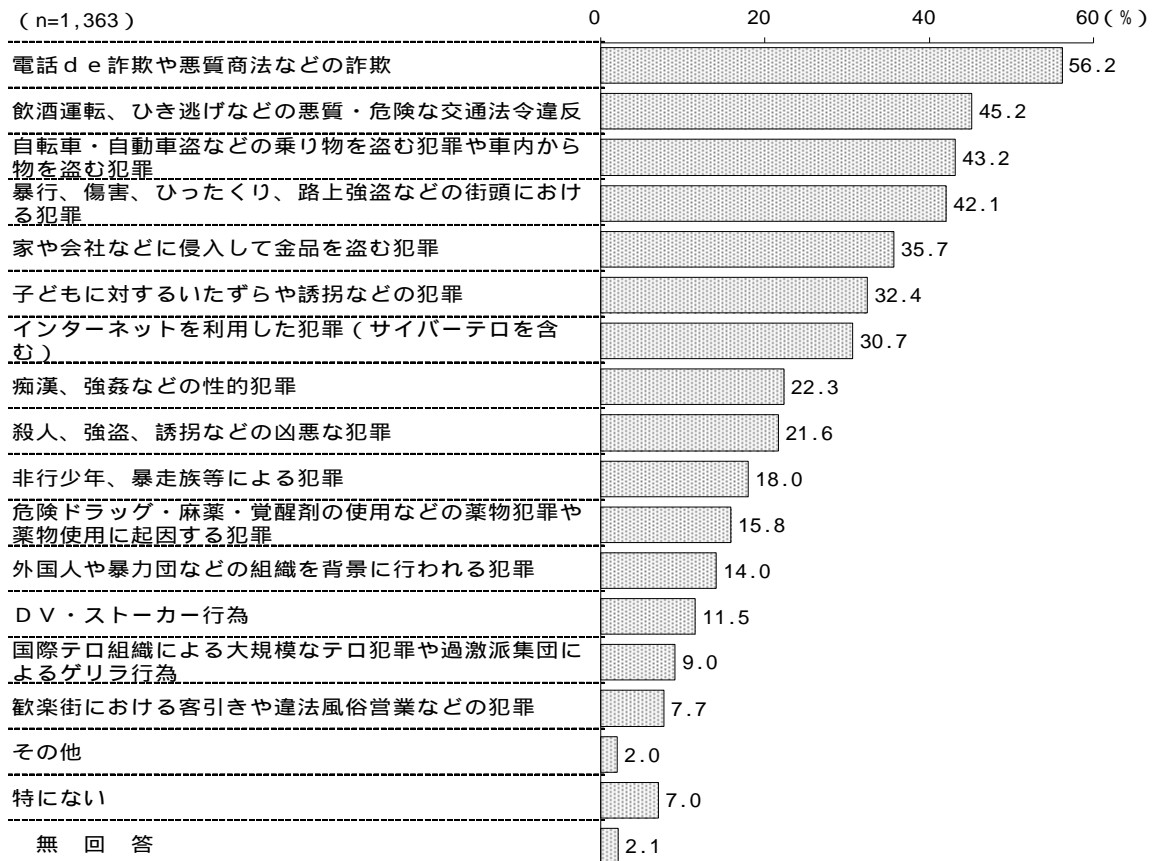


（２）身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪

「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は 5 割台半ばと最も高い

問24 あなたが、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が犯罪に巻き込まれる危険性について不安を感じている犯罪はありますか。（はいいくつでも）

<図表 6 - 3> 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪（複数回答）



不安に感じている犯罪を聞いたところ、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」（56.2%）が 5 割台半ばと最も高くなっている。以下、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」（45.2%）、「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」（43.2%）、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」（42.1%）が続く。（図表 6 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、“山武地域”（72.5%），“夷隅地域”（71.4%）で共に 7 割を超えて高くなっている。（図表 6 - 4）

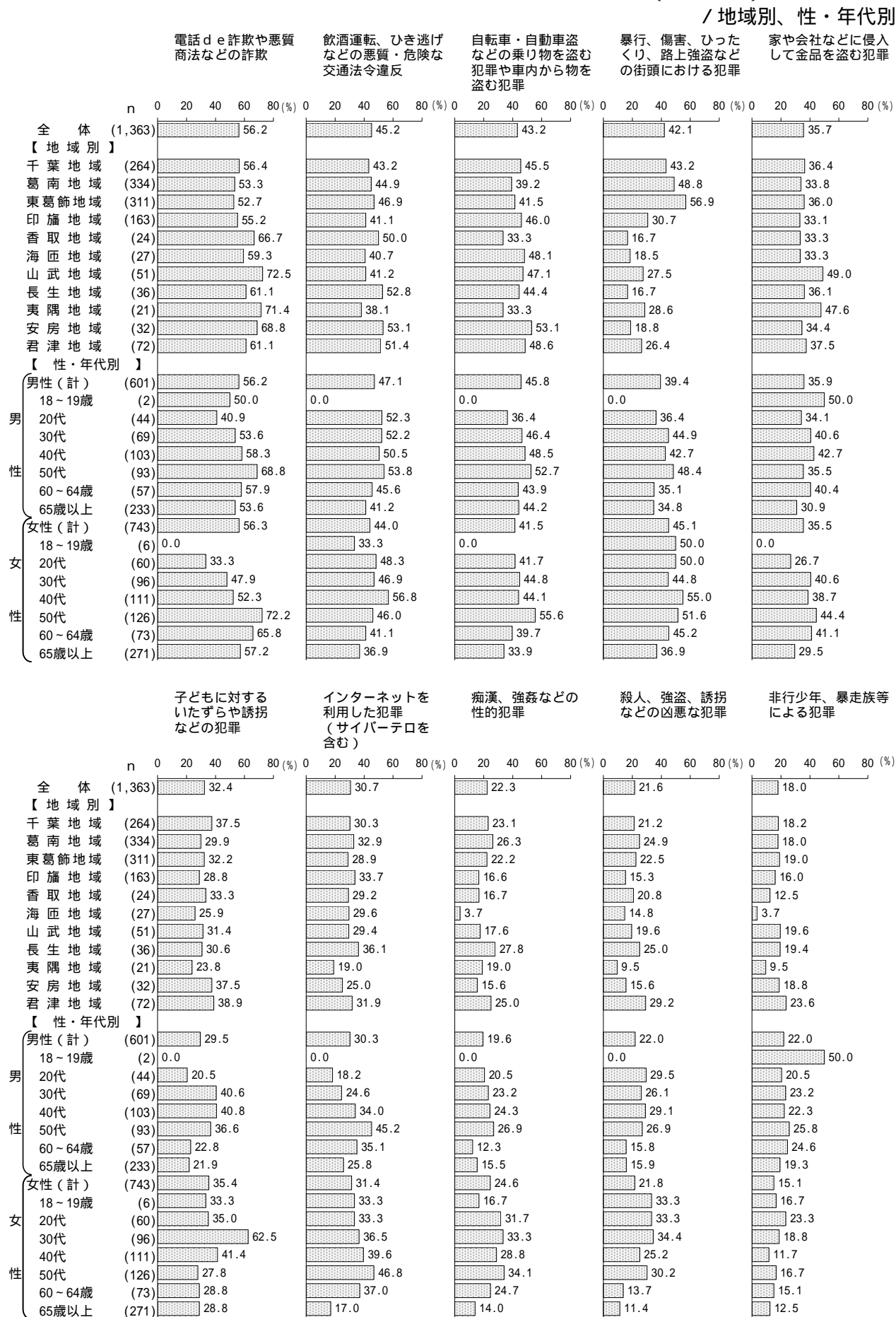
【性・年代別】

性・年代別でみると、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、男性の 50 代（68.8%）で約 7 割、女性の 50 代（72.2%）で 7 割を超えて高くなっている。

「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は、女性の 40 代（56.8%）で 5 割半ばと高くなっている。（図表 6 - 4）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 6 - 4 > 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪（複数回答）

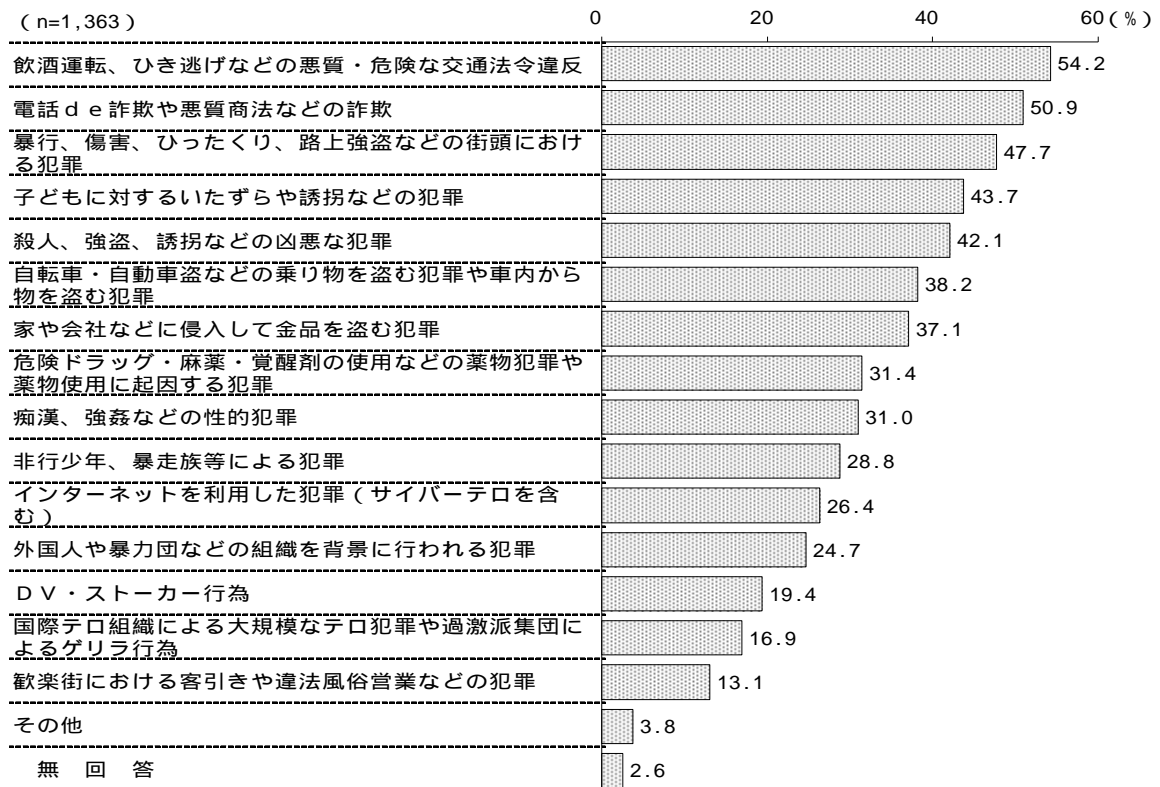


（３）警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪

「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」が５割台半ばと最も高い

問25 あなたが、警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪は何ですか。（はいくつでも）

<図表 6 - 5> 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪（複数回答）



警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪を聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」(54.2%) が５割台半ばと最も高くなっている。以下、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」(50.9%)、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(47.7%)、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」(43.7%)、「殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪」(42.1%) が続く。(図表 6 - 5)

【地域別】

地域別にみると、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は、“長生地域”(66.7%)、“夷隅地域”(66.7%) で共に６割台半ばと高くなっている。

「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、“夷隅地域”(71.4%) で７割を超え、“香取地域”(70.8%) で７割と高くなっている。(図表 6 - 6)

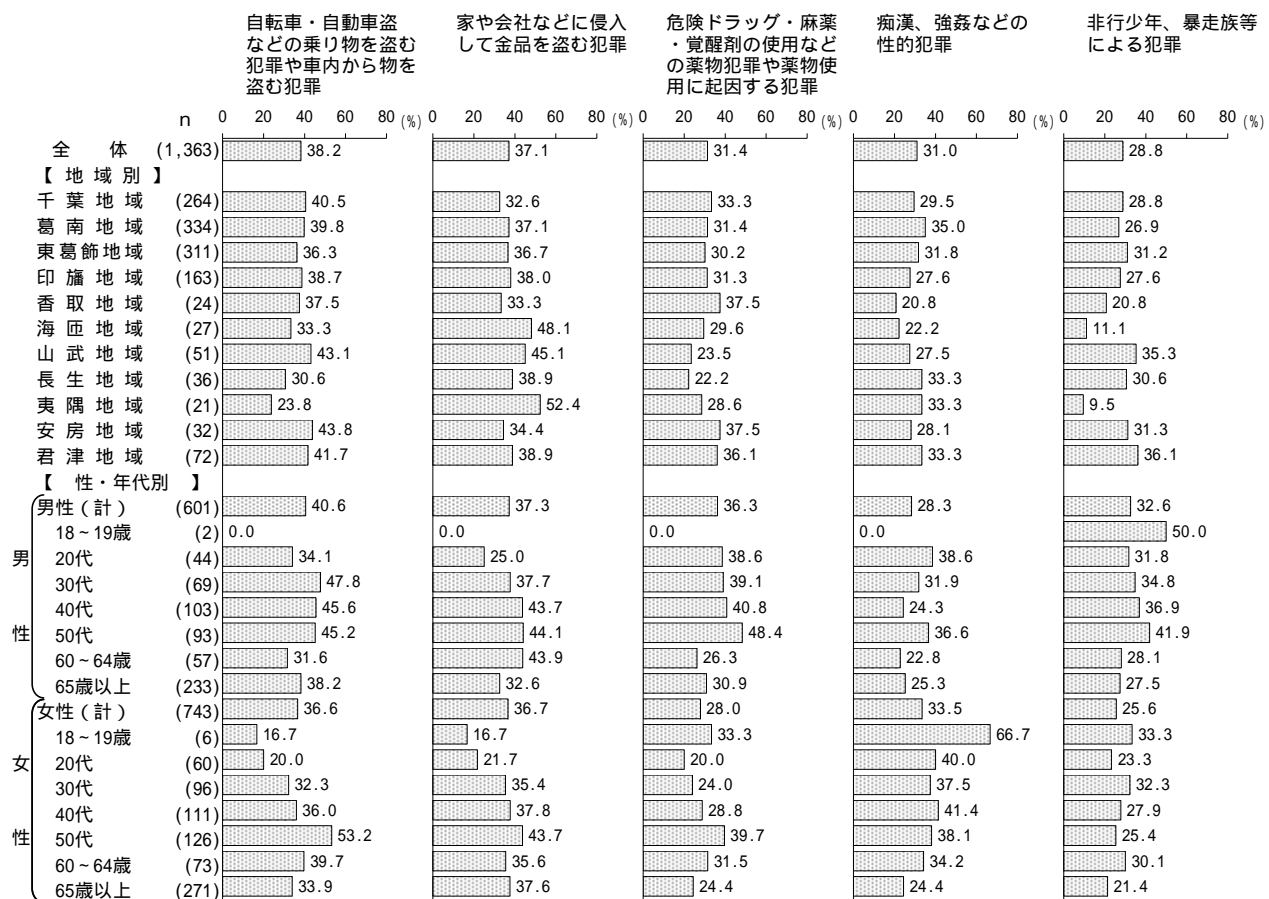
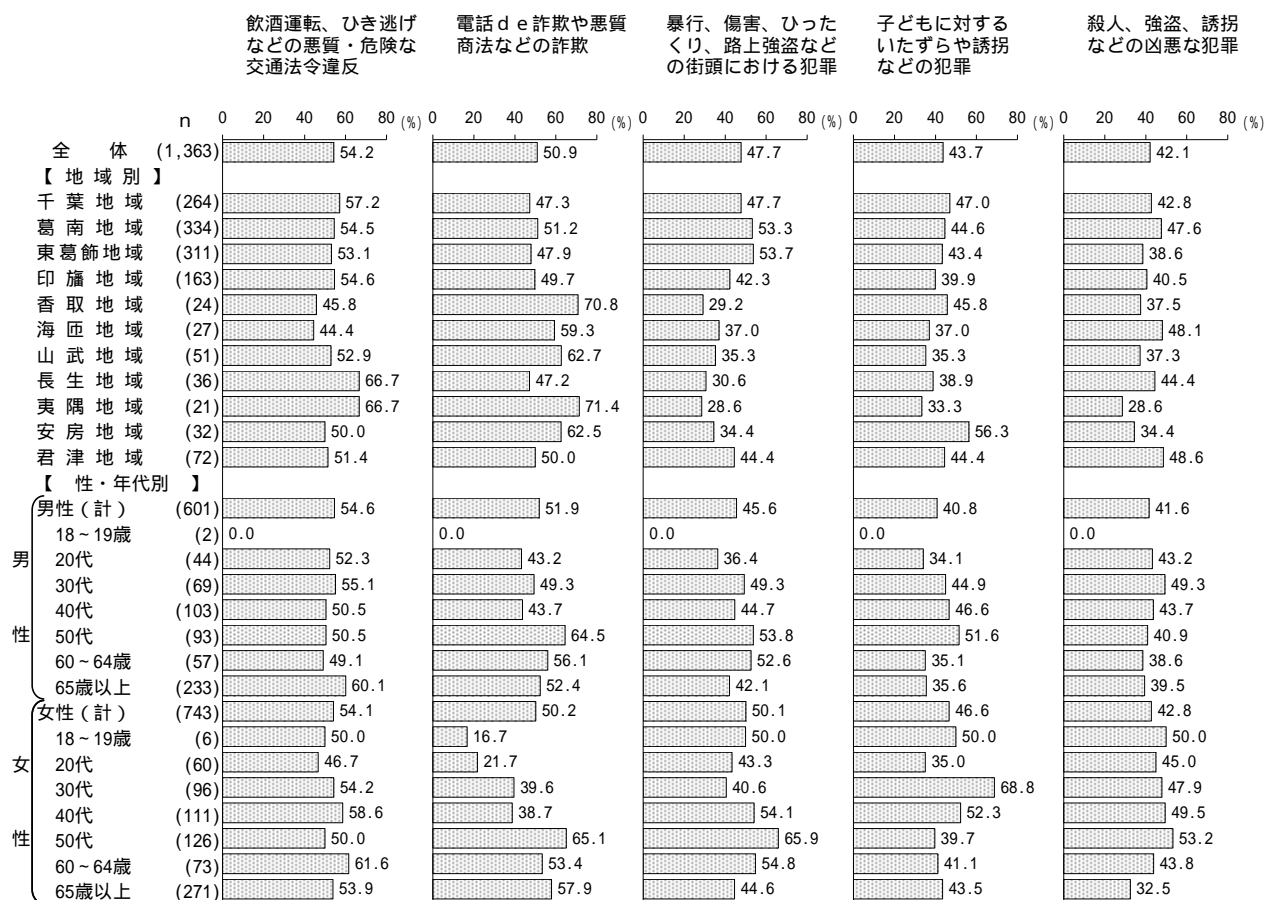
【性・年代別】

性・年代別にみると、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は、男性の 65 歳以上(60.1%) で６割と高くなっている。

「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、男性の 50 代(64.5%) で６割台半ば、女性の 50 代(65.1%) で６割台半ばと高くなっている。(図表 6 - 6)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 6 - 6 > 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪（複数回答）／地域別、性・年代別

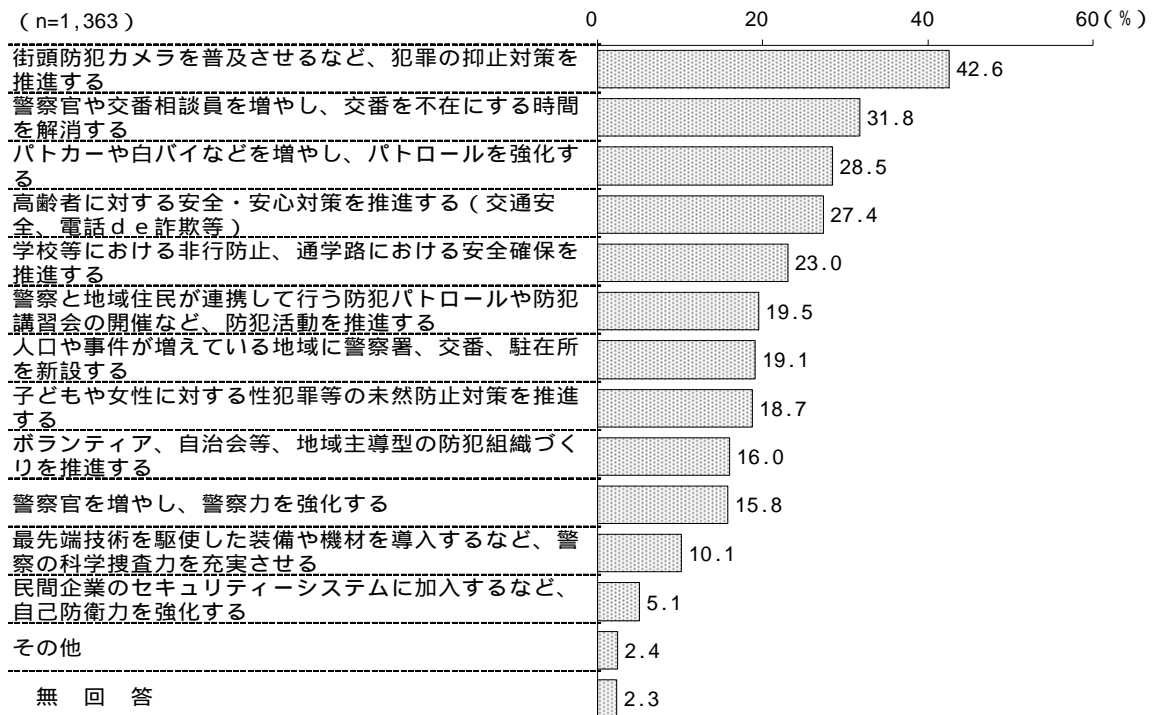


（４）安全で安心できる生活を守るために必要なこと

「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」が４割を超え最も高い

問26 あなたは犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要だと思いますか。（ は３つまで）

<図表 6 - 7> 安全で安心できる生活を守るために必要なこと（複数回答）



犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要かを３つまで選んでもらったところ、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」(42.6%) が４割を超えており最も高くなっている。以下、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」(31.8%)、「パトカーや白バイを増やし、パトロールを強化する」(28.5%)、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、電話 d e 詐欺等）」(27.4%)、「学校等における非行防止、通学路における安全確保を推進する」(23.0%)が続く。(図表 6 - 7)

【地域別】

地域別にみると、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」は、“夷隅地域”(28.6%)で約３割と低くなっている。

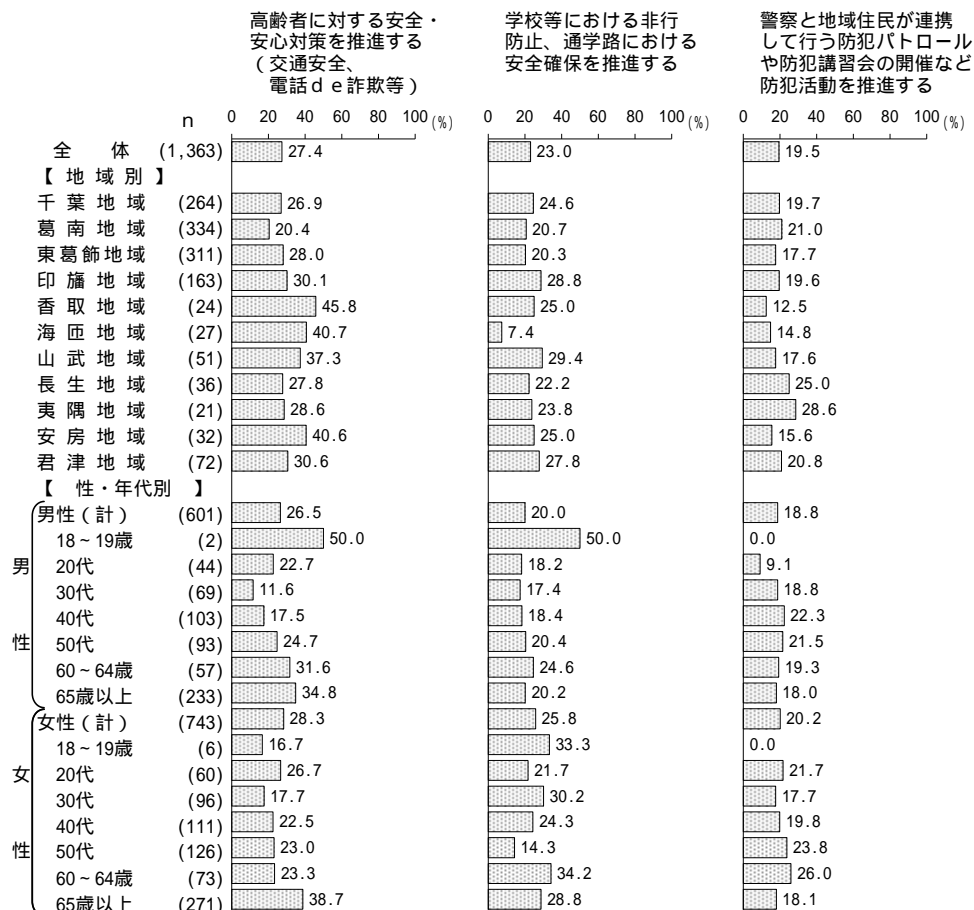
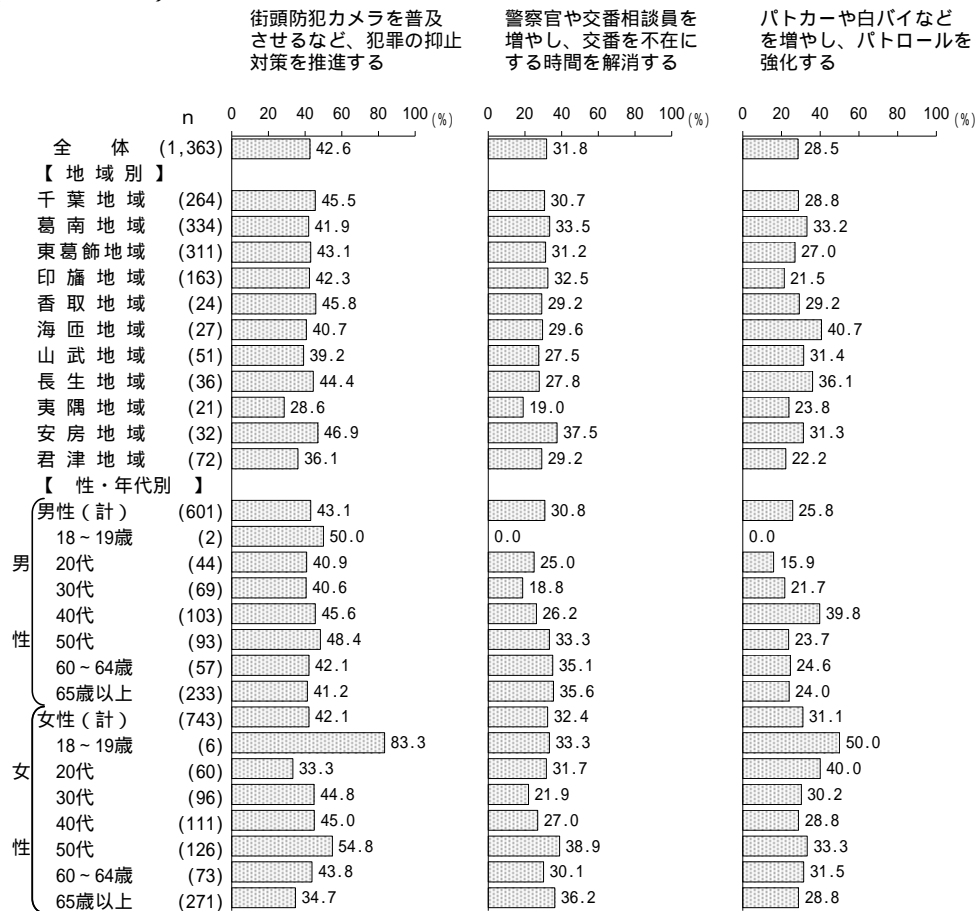
「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」は、“夷隅地域”(19.0%)で約２割と低くなっている。(図表 6 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」は、女性の 50 代(54.8%)で５割台半ばと高くなっている。(図表 6 - 8)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 6 - 8> 安全で安心できる生活を守るために必要なこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



このほかに、「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」やここまでの質問（問23～問26）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、148 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」の自由回答（抜粋）

信号無視、スピード超過、あおり、非常に多いのでとにかく小さなことでも取締りしてほしいです。（女性、30 代、千葉地域）

夜間のバイクでの暴走族がうるさい。パトロール強化をお願いしたい。（女性、40 代、葛南地域）

交番・派出所がパトロール中で無人になる時間がなくなる事を望みます。（男性、40 代、葛南地域）

防犯カメラの交差点ごとの設置や犯罪の早い解決。（男性、50 代、東葛飾地域）

県内に防犯カメラを充実すべきと考える。また、その設置状況を地域住民に情報提供するべき。
（男性、65 歳以上、印旛地域）

警察官に相談しやすい環境作り、これも警察官の人間性の問題が大きいと思う。いくら人数を増やしても、通り一篇の対応しかしてくれないのなら、性能の良い機器を増やした方がいい。目黒にいたころ、よく自転車で見回って街灯を取り替えたり、何か困ったことがあったらすぐ来てくれた警察の方が（おまわりさん）いらっしゃいました。退職される時、地域の人達から花束を贈られていました。地域ごとにそういう人がいてくれたら安心して暮らせると思う。
（女性、60～64 歳、夷隅地域）

移動交番があり、とても良い事だと思います。先日散歩をしておりましたら、警察の方が（小学校一年生、たぶんチーバ君のカバーをかけていた）知らない人はついて行かない...等お話をしていた。とても良かったです。たちどまってきてしまいました。（女性、65 歳以上、葛南地域）

警察のパトロールを強化、地域住民と連携して、安全な町づくり。（男性、40 代、千葉地域）

警察は事件が起こった時にしか動けないと思うので、町会や地域の自助がないと犯罪は防げないと思います。（女性、40 代、葛南地域）

自転車の乗り方について、スマホいじり、左側通行をしていない。（男性、40 代、印旛地域）

犯罪を起こす原因をなくすには一つには家庭環境、友人関係、学校関係に問題がある。
（男性、65 歳以上、安房地域）

7 心肺蘇生法及び AED（自動体外式除細動器）について

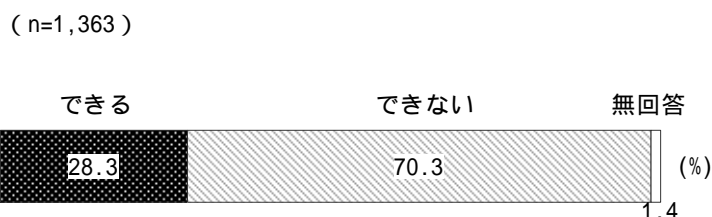
（１）胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか

「できる」は約 3 割

問 27 あなたは、見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸を出来ると思いますか。（ ）（ は 1 つ）

（ ）一般的な救急蘇生法では、倒れている人の意識や呼吸がない場合、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸（人工呼吸はできる場合のみ）を実施することとなっています。

<図表 7 - 1> 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか



心肺蘇生法の実施可否を聞いたところ、「できる」(28.3%) は約 3 割となっており、「できない」(70.3%) は 7 割であった。(図表 7 - 1)

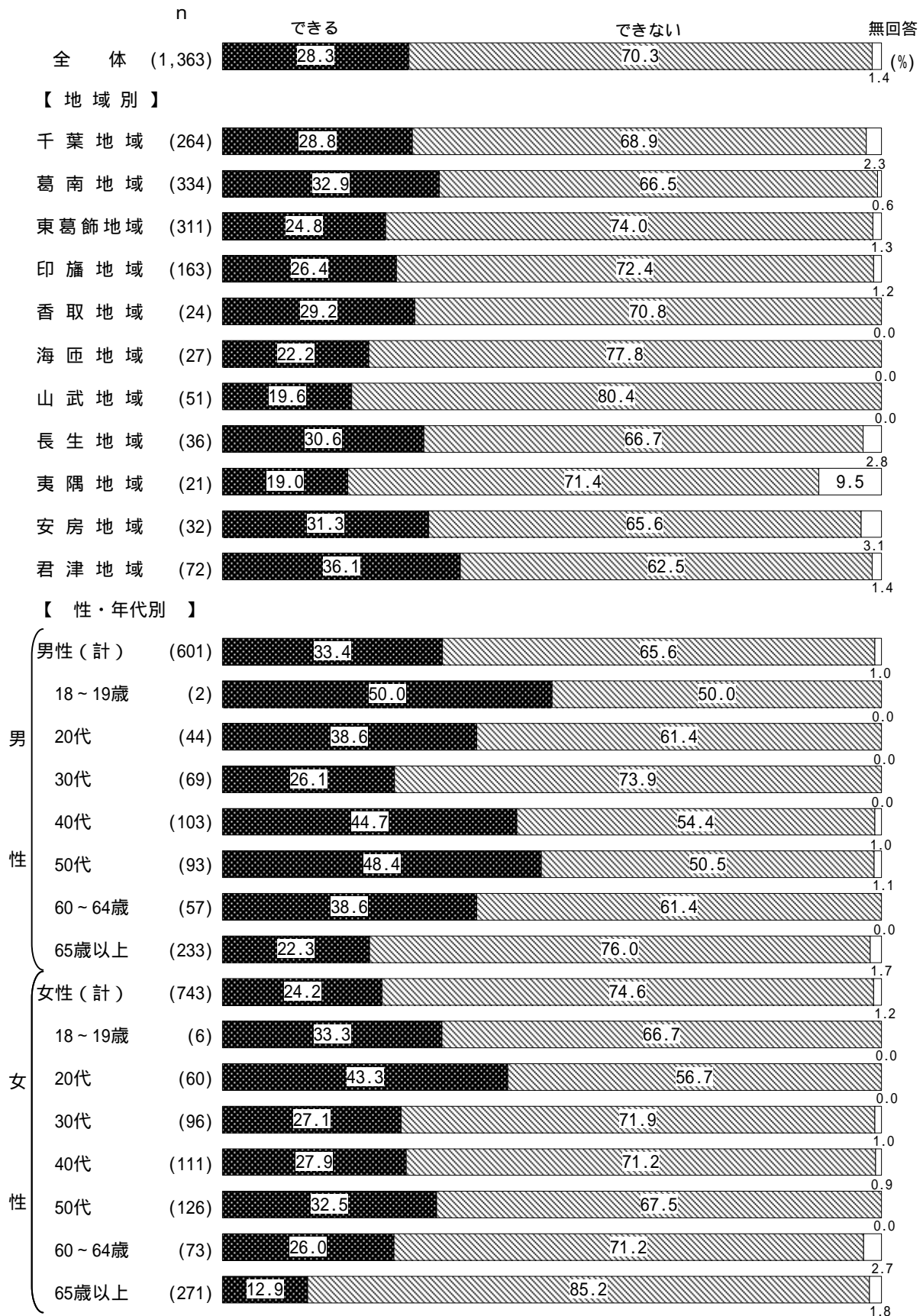
【地域別】

地域別にみると、「できる」は“山武地域”(19.6%)、“夷隅地域”(19.0%)で共に約 2 割と低くなっている。(図表 7 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は、男性の 40 代(44.7%)で 4 割台半ば、男性の 50 代(48.4%)で約 5 割、女性の 20 代(43.3%)で 4 割台半ばと高くなっている。(図表 7 - 2)

<図表 7 - 2> 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか／地域別、性・年代別



（２）胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由

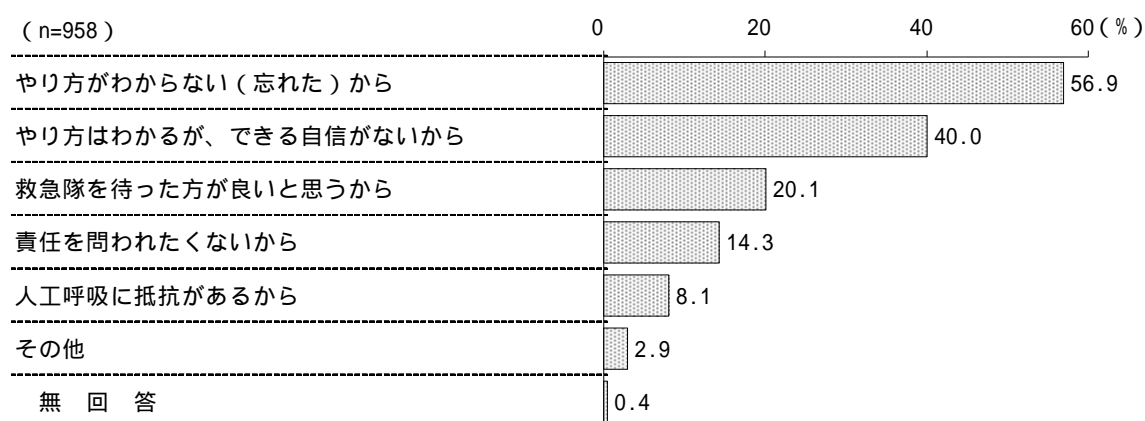
「やり方がわからない（忘れた）から」が５割台半ばと最も高い

（問27で「できない」とお答えの方に）

問28 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由は何ですか。

（ はいくつでも ）

<図表 7 - 3> 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由（複数回答）



心肺蘇生法が「できない」と回答した958人に、その理由を聞いたところ、「やり方がわからない（忘れた）から」（56.9％）が５割台半ばと最も高く、以下、「やり方はわかるが、できる自信がないから」（40.0％）、「救急隊を待った方が良いと思うから」（20.1％）と続く。（図表 7 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「やり方がわからない（忘れた）から」は、“山武地域”（75.6％）で７割台半ば、“海匝地域”（71.4％）で７割を超えて高くなっている。

「やり方はわかるが、できる自信がないから」は“夷隅地域”（66.7％）で６割台半ばと高くなっている。

「救急隊を待った方が良いと思うから」は“山武地域”（39.0％）で約４割と高くなっている。

（図表 7 - 4）

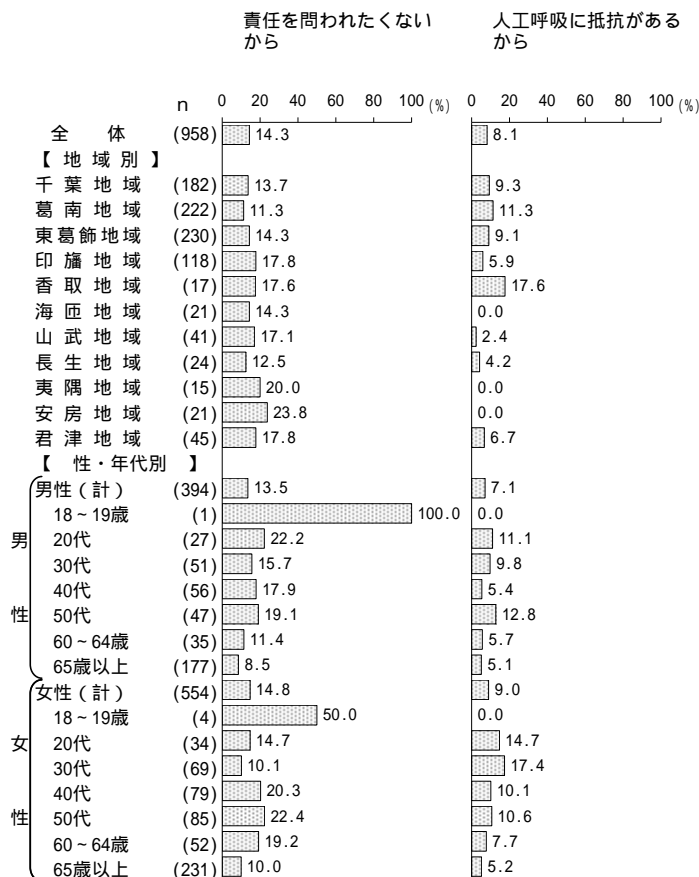
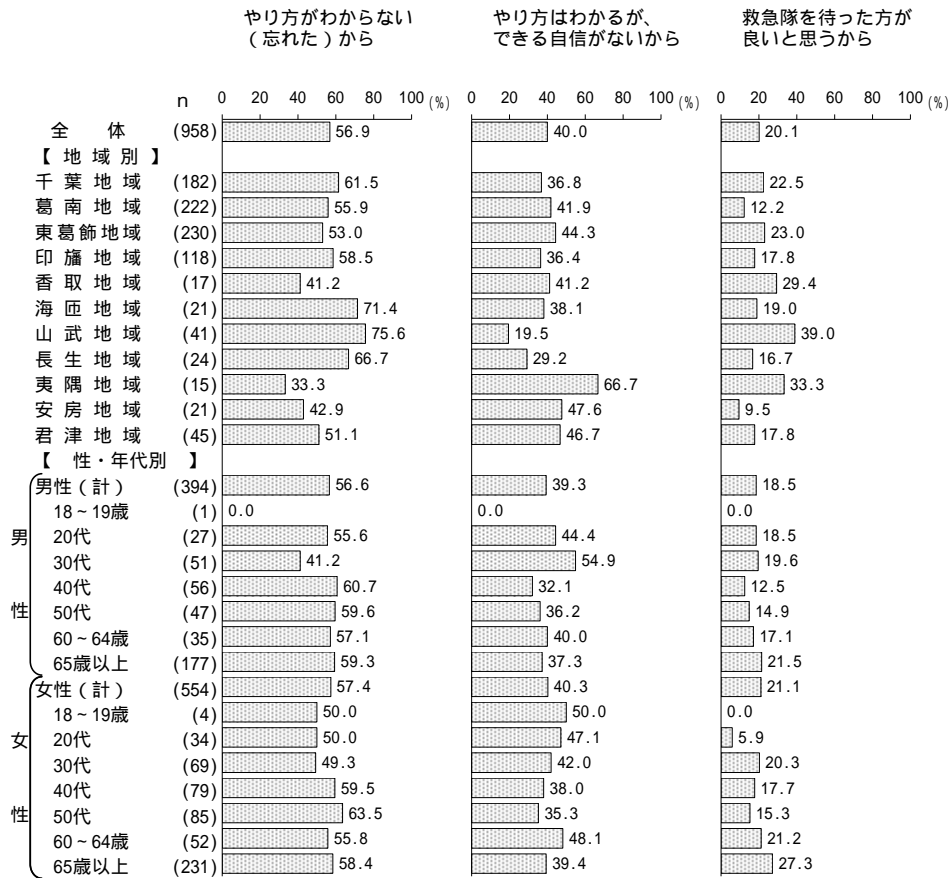
【性・年代別】

性・年代別にみると、「やり方はわかるが、できる自信がないから」は、男性の30代（54.9％）で５割台半ばと高くなっている。

「救急隊を待った方が良いと思うから」は、女性の65歳以上（27.3％）で約３割と高くなっている。

（図表 7 - 4）

<図表 7 - 4> 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由（複数回答）
／地域別、性・年代別



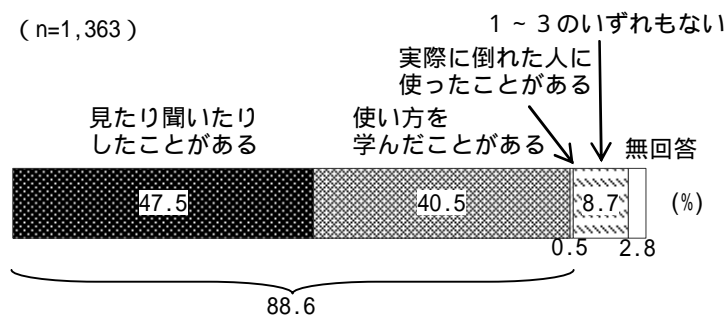
（３）AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験

『見たり聞いたりしたことがある』は約 9 割、うち「使い方を学んだことがある」は 4 割

問29 AED（自動体外式除細動器）（ ）という機器について見聞きしたり、使ったことがありますか。（ は 1 つ）

（ ）意識や呼吸がない人が心停止になっているかを判断する機能を持ち、心停止と判断した場合に電気ショックを与えて心臓を動かす機器

<図表 7 - 5> AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験



AED（自動体外式除細動器）について、見聞きしたり、使ったことがあるかを聞いたところ、「使い方を学んだことがある」（40.5％）は 4 割となっており、「見たり聞いたりしたことがある」（47.5％）、「実際に倒れた人に使ったことがある」（0.5％）を合わせた『見たり聞いたりしたことがある計』（88.6％）は約 9 割となっている。（図表 7 - 5）

【地域別】

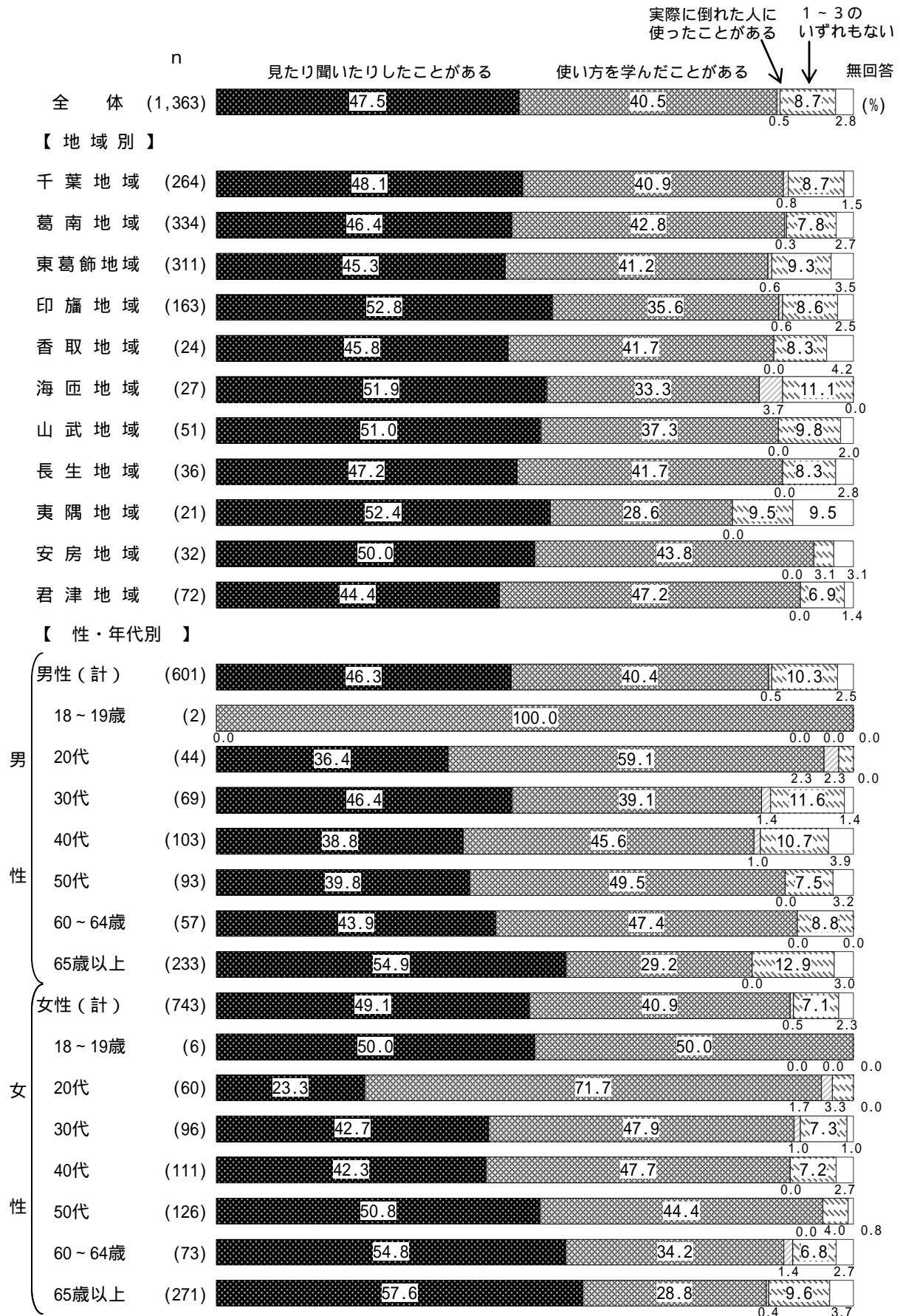
地域別にみると、『見たり聞いたりしたことがある計』は、“安房地域”（93.8％）、“君津地域”（91.6％）で共に 9 割を超えて高くなっている。（図表 7 - 6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見たり聞いたりしたことがある計』は、男性の 20 代（97.7％）で約 10 割、女性の 20 代（96.7％）、女性の 50 代（95.2％）で 9 割台半ばと高くなっている。

「使い方を学んだことがある」は、男性の 20 代（59.1％）で約 6 割、女性の 20 代（71.7％）で 7 割を超えて高くなっている。（図表 7 - 6）

< 図表 7 - 6 > AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験 / 地域別、性・年代別

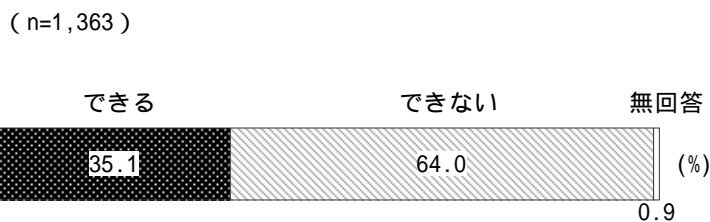


（４）AED（自動体外式除細動器）を使用できるか

「できる」は３割台半ば

問30 もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場に AED があれば、あなたはその人に AED を使用することができますか。（ は１つ）

<図表 7 - 7> AED（自動体外式除細動器）を使用できるか



緊急時にAEDを使用することができるかを聞いたところ、「できる」(35.1%)は３割台半ば、「できない」(64.0%)は６割台半ばとなっている。(図表 7 - 7)

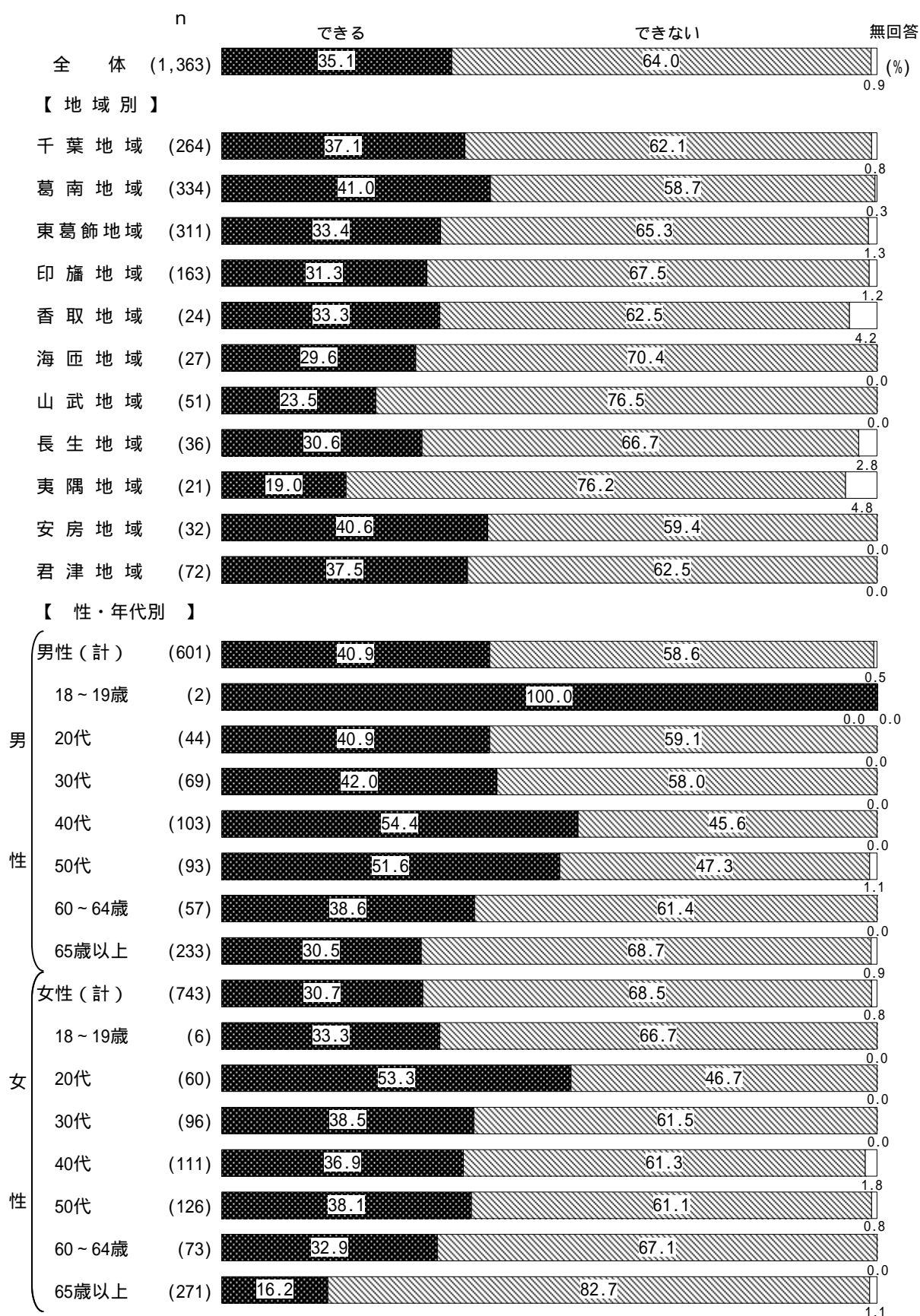
【地域別】

地域別にみると、「できる」は、“葛南地域”(41.0%)で４割を超え、“安房地域”(40.6%)で４割と高くなっている。(図表 7 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は、男性の40代(54.4%)で５割台半ば、男性の50代(51.6%)で５割を超え、女性の20代(53.3%)で５割台半ばと高くなっている。(図表 7 - 8)

< 図表 7 - 8 > AED（自動体外式除細動器）を使用できるか／地域別、性・年代別



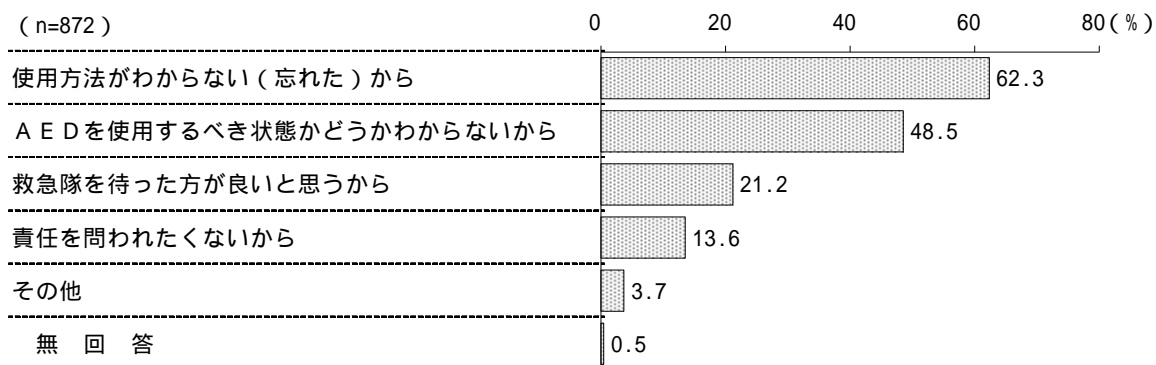
（５）AED（自動体外式除細動器）を使用できないと思う理由

「使用方法がわからない（忘れた）から」が６割を超えており最も高い

（問30で「できない」とお答えの方に）

問31 AED を使用できないと思う理由は何ですか。（ はいくつでも）

<図表 7 - 9> AED（自動体外式除細動器）を使用できないと思う理由（複数回答）



緊急時にAEDを使用することができないと回答した872人に、使用できない理由を聞いたところ、「使用方法がわからない（忘れた）から」（62.3％）が６割を超えており最も高い。以下、「A E D を使用するべき状態かどうかわからないから」（48.5％）、「救急隊を待った方が良いと思うから」（21.2％）が続く。（図表 7 - 9）

【地域別】

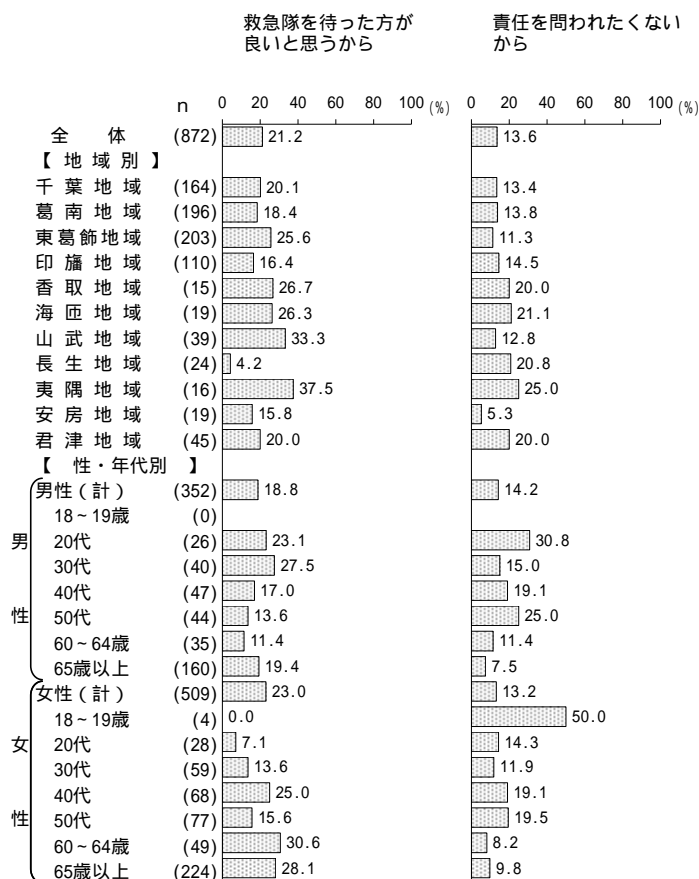
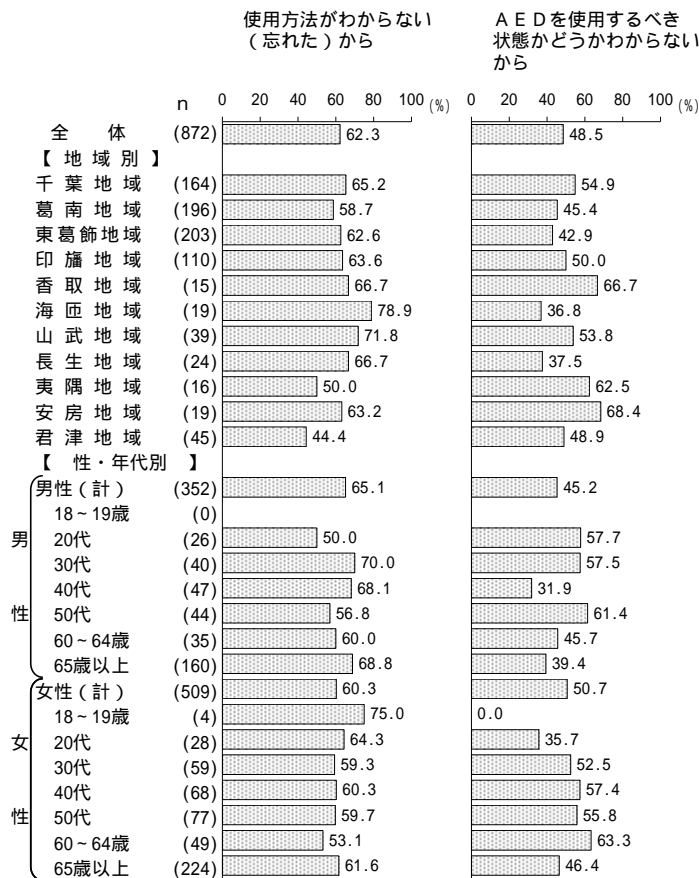
地域別にみると、「使用方法がわからない（忘れた）から」は、“海匠地域”（78.9％）で約８割、“山武地域”（71.8％）で７割を超えて高くなっている。（図表 7 - 10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「A E D を使用するべき状態かどうかわからないから」は、女性の60～64歳（63.3％）で６割台半ばと高くなっている。（図表 7 - 10）

< 図表 7 - 10 > AED（自動体外式除細動器）を使用できないと思う理由（複数回答）

/ 地域別、性・年代別

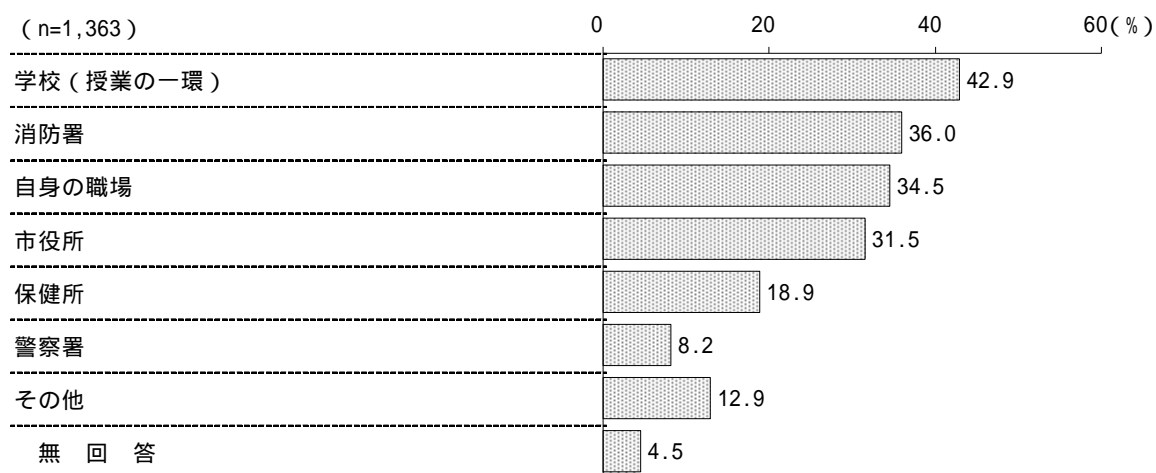


（ 6 ） 応急手当の講習を希望する場所

「学校（授業の一環）」が4割を超えており最も高い

問32 応急手当の講習をどこで受講できると良いですか。（ はいくつでも ）

<図表 7 - 11> 応急手当の講習を希望する場所（複数回答）



応急手当の講習をどこで受講できると良いかを聞いたところ、「学校（授業の一環）」（42.9％）が4割を超えており最も高くなっている。以下、「消防署」（36.0％）、「自身の職場」（34.5％）、「市役所」（31.5％）と続く。（図表 7 - 11）

【地域別】

地域別にみると、「学校（授業の一環）」は、“長生地域”（58.3％）で約6割、“葛南地域”（47.6％）“夷隅地域”（47.6％）で共に約5割と高くなっている。

「消防署」は、“君津地域”（54.2％）で5割台半ばと高くなっている。

「市役所」は、“長生地域”（47.2％）で約5割と高くなっている。（図表 7 - 12）

【性・年代別】

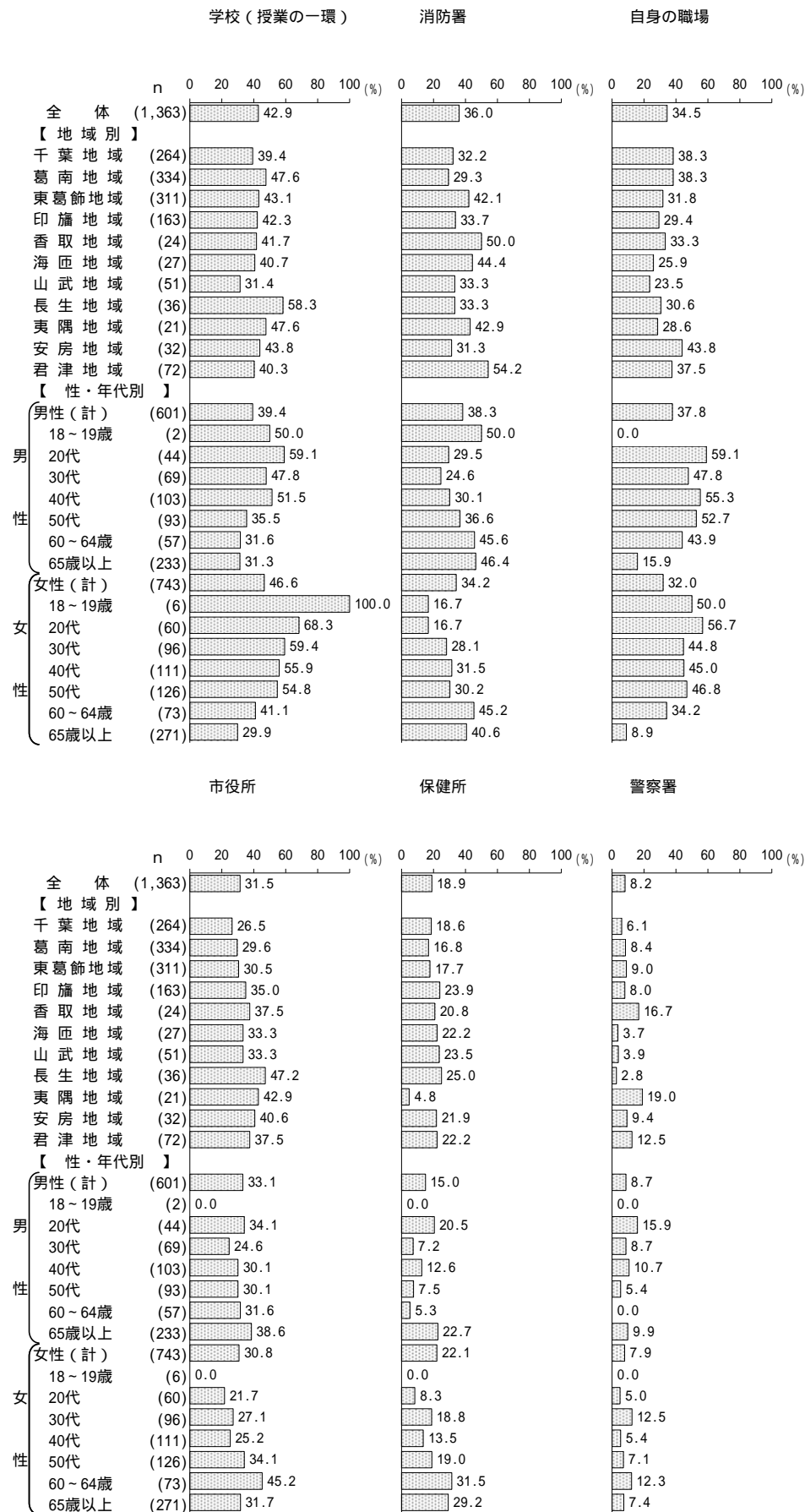
性・年代別にみると、「学校（授業の一環）」は、男性の20代（59.1％）で約6割、女性の20代（68.3％）で約7割、女性の30代（59.4％）で約6割、女性の40代（55.9％）で5割台半ば、女性の50代（54.8％）で5割台半ばと高くなっている。

「自身の職場」は、男女共に、20代～50代で高くなっている。

「市役所」は、男性の65歳以上（38.6％）で約4割、女性の60～64歳（45.2％）で4割台半ばと高くなっている。

「保健所」は、男性の20代（20.5％）で2割、女性の60～64歳（31.5％）で3割を超え、女性の65歳以上（29.2％）で約3割と高くなっている。（図表 7 - 12）

< 図表 7 - 12 > 応急手当の講習を希望する場所（複数回答）／地域別、性・年代別



このほかに、「心肺蘇生法及びA E D（自動体外式除細動器）について」やここまでの質問（問27～問32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、131 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「心肺蘇生法及びA E D（自動体外式除細動器）について」の自由回答（抜粋）

親子で講習を受講できる機会があれば良いと思う。（女性、30 代、印旛地域）

実際に使用したことはありませんが、使い方を教えて頂いた事があります。学校で使用法を指導すれば、もっと助かる人が増えると思う。（女性、30 代、君津地域）

何度か講習を受けることが必要なので、機会がなるべく多くあると良い。

（男性、40 代、東葛飾地域）

A E Dの使用方法を消防署の方が実演してくれましたが、その場では理解できましたが、実際にはできないと思います。何回もやってみないとできません。

（女性、65 歳以上、印旛地域）

講習を受けないことには、身近なものとして認識できない。私が受けた時の講師（消防士）から伝わった命を守る、守れるかもしれないということが強く印象に残っている。

（男性、40 代、香取地域）

A E Dの設置場所が増えているように感じます。これからも増やしてほしいと思います。

（女性、30 代、葛南地域）

A E D設置してあります、というステッカーは見かけるが、どこにあるのか分からないので意味をなさないと思う。いついかなる時も、早急に利用できるよう、誰でもすぐに認知可能な場所に設置してあるのが望ましい。（女性、30 代、葛南地域）

A E Dを設置している場所は夜間施錠されている所が多いと思うので、夜間でもすぐに使える場所での保管をしてもらえるとよいと思います。（男性、40 代、君津地域）

コンビニに設置されているのか不明ですが、設置されていないなら、設置の義務付けを。

（男性、50 代、東葛飾地域）

8 ワーク・ライフ・バランスについて

（１）「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度

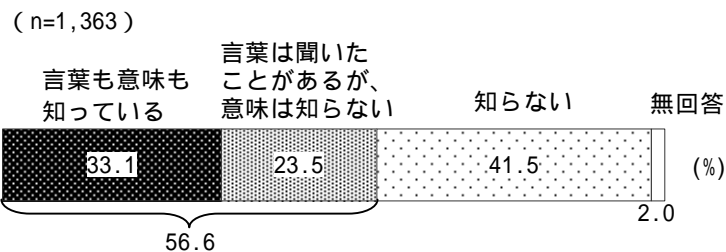
『聞いたことがある』は 5 割台半ば

問33 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（ ）という言葉を知っていますか。（ は1つ）

（ ）ワーク・ライフ・バランスとは

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態です。

<図表 8 - 1> 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度



「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っているかを聞いたところ、「言葉も意味も知っている」（33.1%）が 3 割台半ば、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（23.5%）を合わせた『聞いたことがある』（56.6%）は 5 割台半ばとなっている。

一方、「知らない」（41.5%）は 4 割を超えている。（図表 8 - 1）

【地域別】

地域別にみると、「言葉も意味も知っている」は“葛南地域”（38.9%）で約 4 割と高くなっている。
（図表 8 - 2）

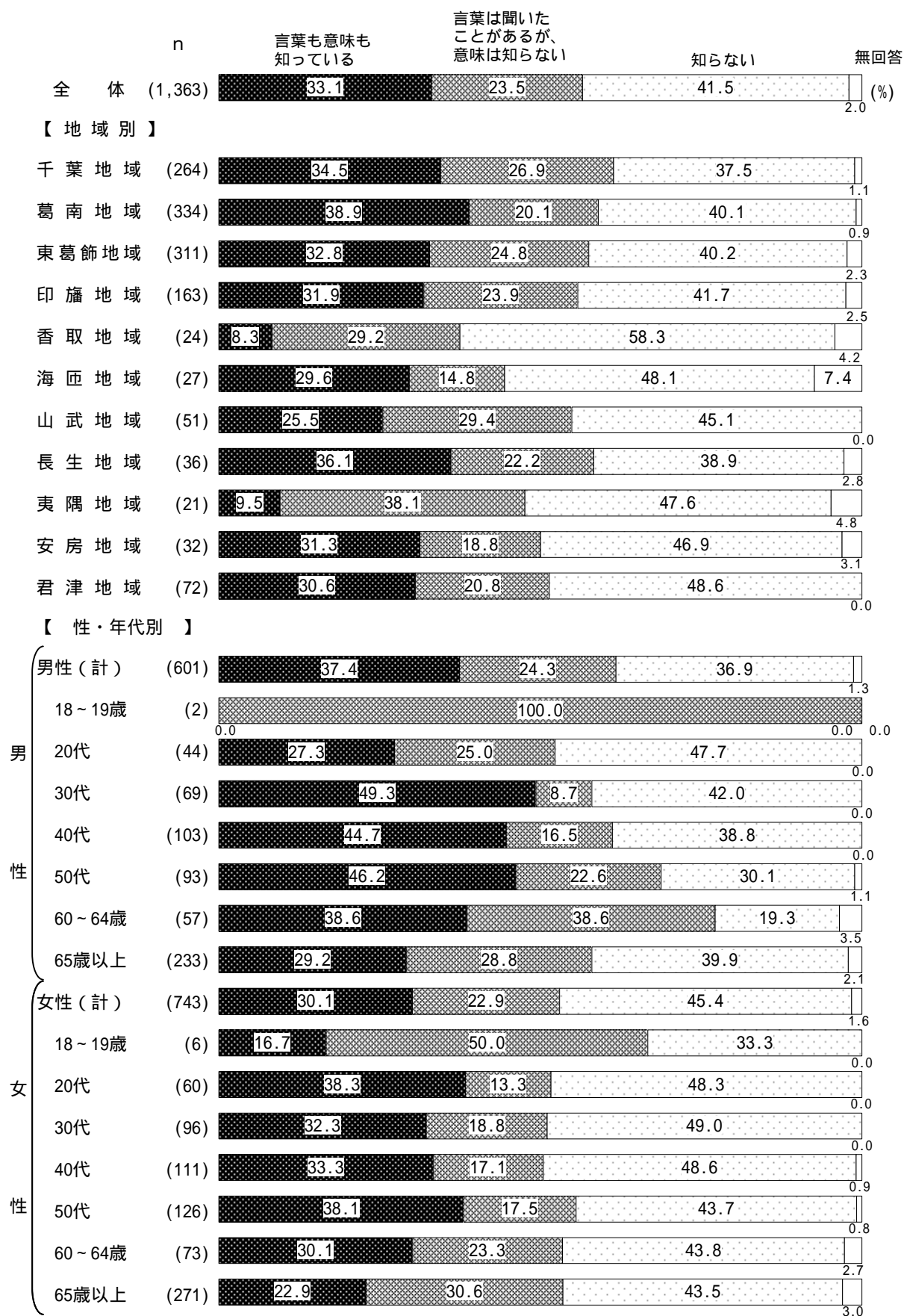
【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある』は、男性の50代（68.8%）で約 7 割、男性の60～64歳（77.2%）で約 8 割と高くなっている。

「言葉も意味も知っている」は、男性の30代（49.3%）で約 5 割、男性の40代（44.7%）で 4 割台半ば、男性の50代（46.2%）で 4 割台半ばと高くなっている。（図表 8 - 2）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 8 - 2> 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度 / 地域別、性・年代別

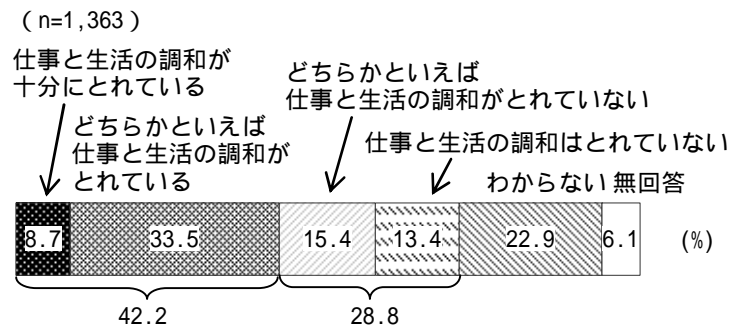


（２）ワーク・ライフ・バランスの実現度

『仕事と生活の調和がとれている』は４割を超えている

問34 あなたのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、どの程度実現されていますか。（ は１つ）

<図表 8 - 3> ワーク・ライフ・バランスの実現度



ワーク・ライフ・バランスについて、自身の実現度を聞いたところ、「仕事と生活の調和が十分にとれている」(8.7%)、「どちらかといえば仕事と生活の調和がとれている」(33.5%)を合わせた『仕事と生活の調和がとれている計』(42.2%)は４割を超えている。

一方、「仕事と生活の調和はとれていない」(13.4%)、「どちらかといえば仕事と生活の調和がとれていない」(15.4%)を合わせた『仕事と生活の調和はとれていない計』(28.8%)は、約３割となっている。(図表 8 - 3)

【地域別】

地域別にみると、『仕事と生活の調和はとれている計』は、“葛南地域”(44.6%)と“東葛飾地域”(44.7%)で４割台半ばと高くなっている。(図表 8 - 4)

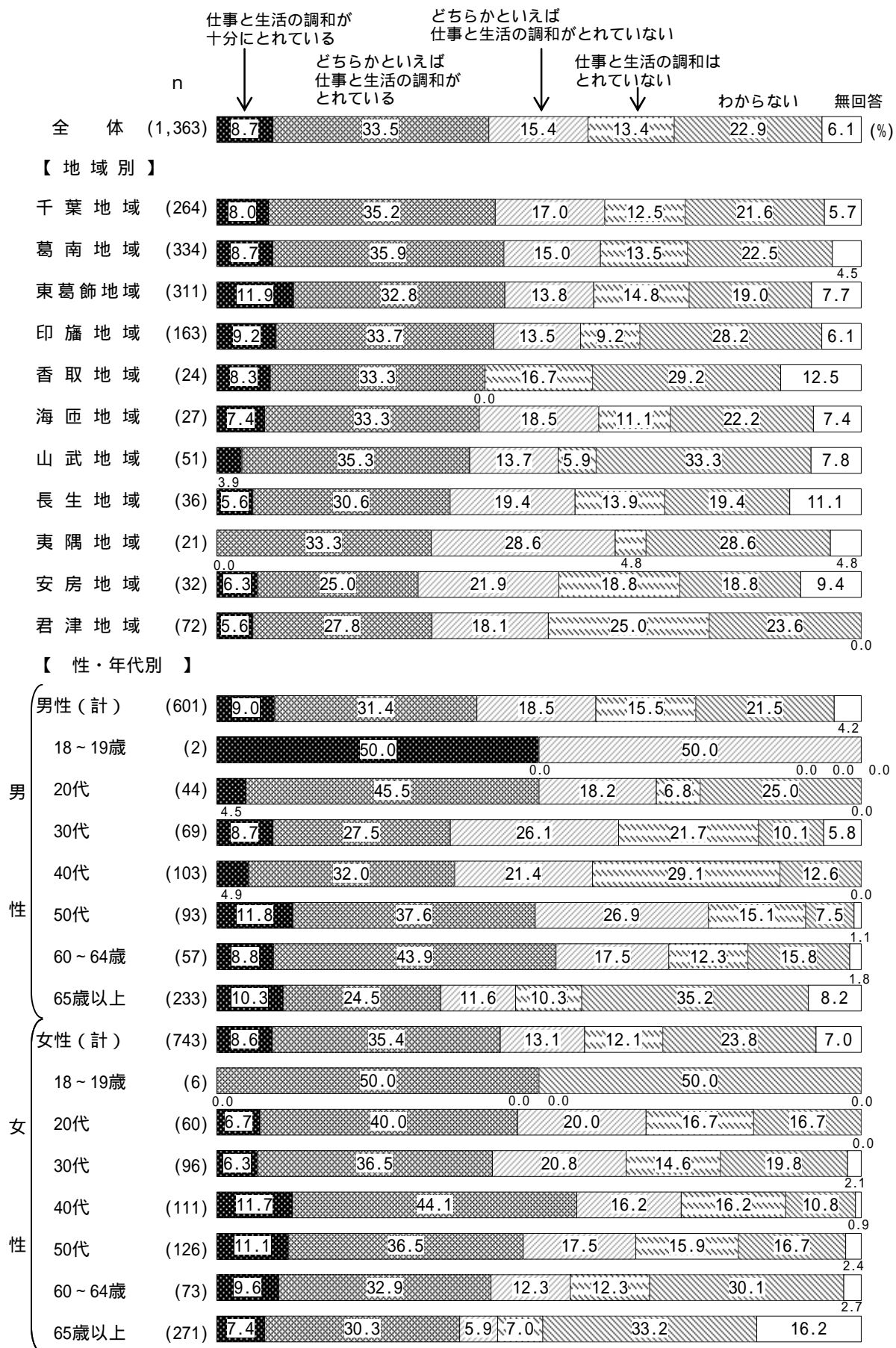
【性・年代別】

性・年代別にみると、『仕事と生活の調和がとれている計』は、女性の40代(55.9%)で５割台半ばと高くなっている。

また、『仕事と生活の調和はとれていない計』は、男性の30代(47.8%)で約５割、男性の40代(50.5%)で５割、男性の50代(41.9%)で４割を超えて高くなっている。(図表 8 - 4)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 8 - 4 > ワーク・ライフ・バランスの実現度 / 地域別、性・年代別

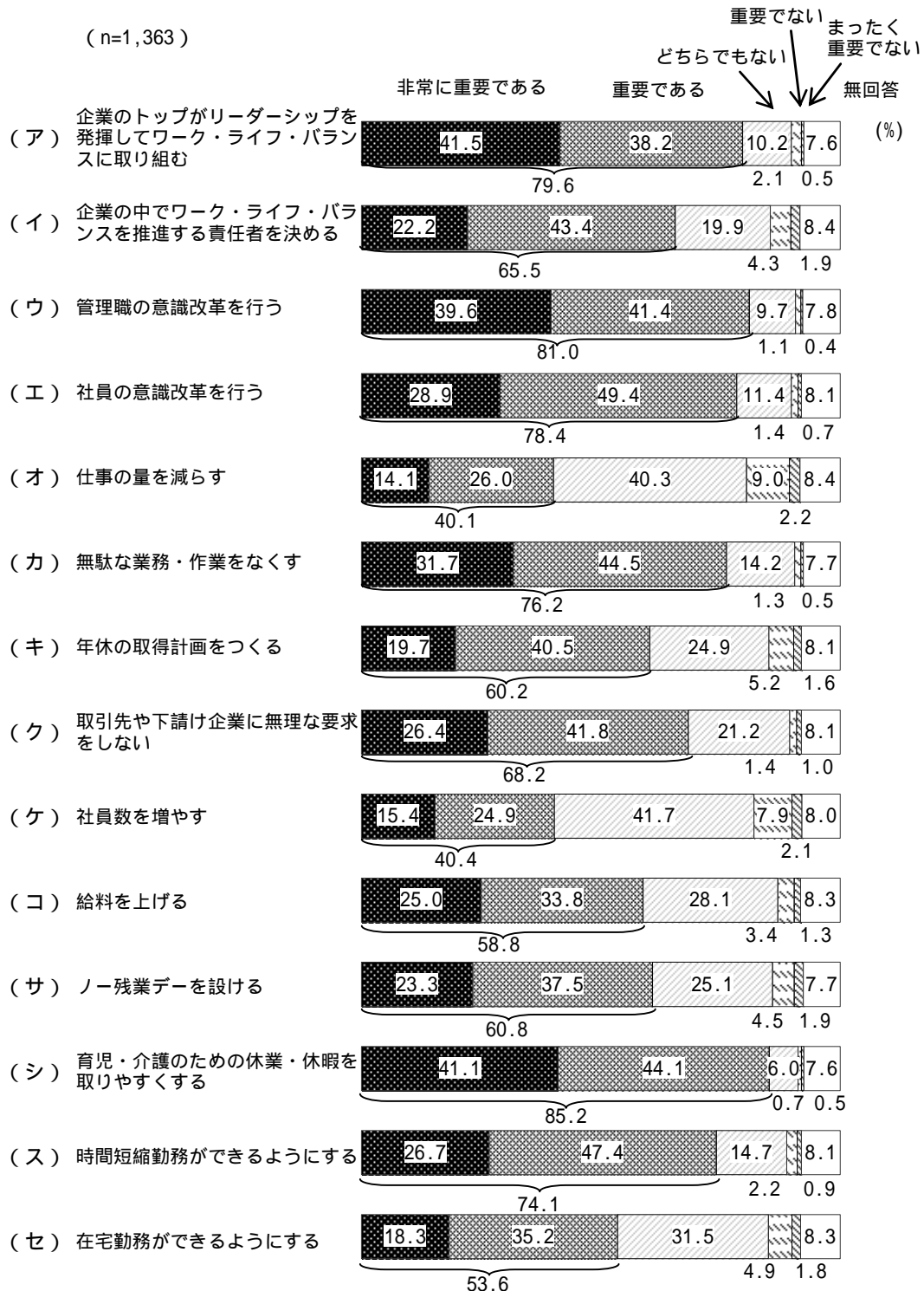


（３）ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度

「育児・介護のための休業・休暇を取りやすくする」が８割台半ばと最も高い

問35 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するための次の取組について、どう思いますか。（ はそれぞれ１つ）

<図表 8 - 5> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

ワーク・ライフ・バランスを実現するための取組について、「非常に重要である」と「重要である」を合わせた『重要である計』でみたところ、「（シ）育児・介護のための休業・休暇を取りやすくする」（85.2％）が 8 割台半ばと最も高く、以下「（ウ）管理職の意識改革を行う」（81.0％）、「（ア）企業のトップがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む」（79.6％）、「（エ）社員の意識改革を行う」（78.4％）までが約 8 割となっている。（図表 8 - 5）

【地域別】

地域別にみると、「（ウ）管理職の意識改革を行う」の『重要である計』は、“千葉地域”（84.1％）、“葛南地域”（85.0％）、“安房地域”（84.4％）で 8 割台半ばと高くなっている。（図表 8 - 6 - 3）

「（エ）社員の意識改革を行う」の『重要である計』は、“安房地域”（87.5％）で約 9 割、“葛南地域”（82.6％）で 8 割を超えて高くなっている。（図表 8 - 6 - 4）

【性・年代別】

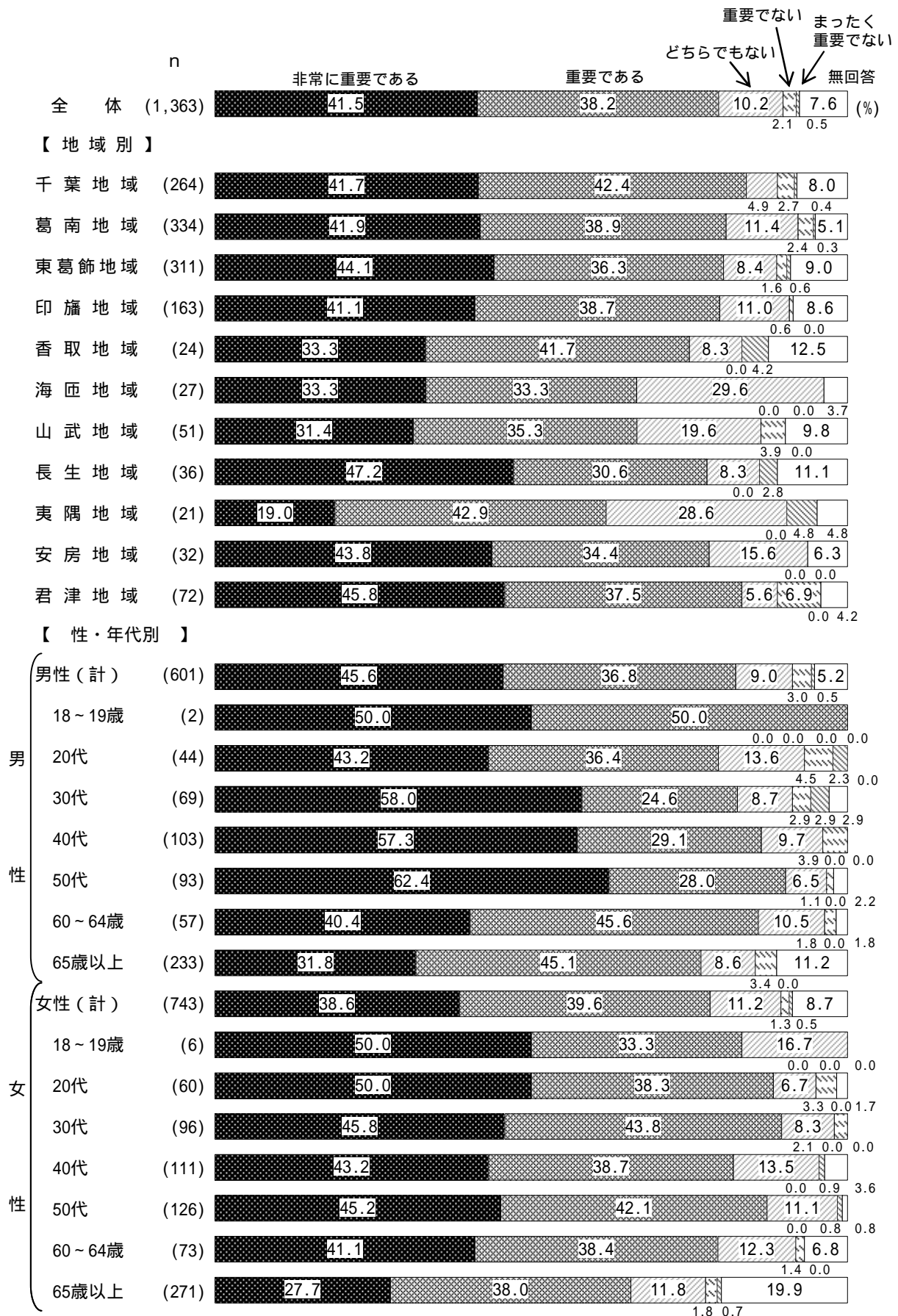
性・年代別にみると「（ア）企業のトップがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む」の『重要である計』は、男性の 50 代（90.3％）で 9 割、女性の 20 代（88.3％）、女性の 30 代（89.6％）、女性の 50 代（87.3％）で約 9 割と高くなっている。（図表 8 - 6 - 1）

「（ウ）管理職の意識改革を行う」の『重要である計』は、男性の 60～64 歳（93.0％）で 9 割台半ば、女性の 20 代（91.7％）で 9 割を超え、女性の 50 代（88.9％）で約 9 割と高くなっている。（図表 8 - 6 - 3）

「（ク）取引先や下請け企業に無理な要求をしない」の『重要である計』は、男性の 20 代（81.8％）で 8 割を超え、男性の 50 代（78.5％）、女性の 20 代（78.3％）、女性の 30 代（79.2％）で約 8 割と高くなっている。（図表 8 - 6 - 8）

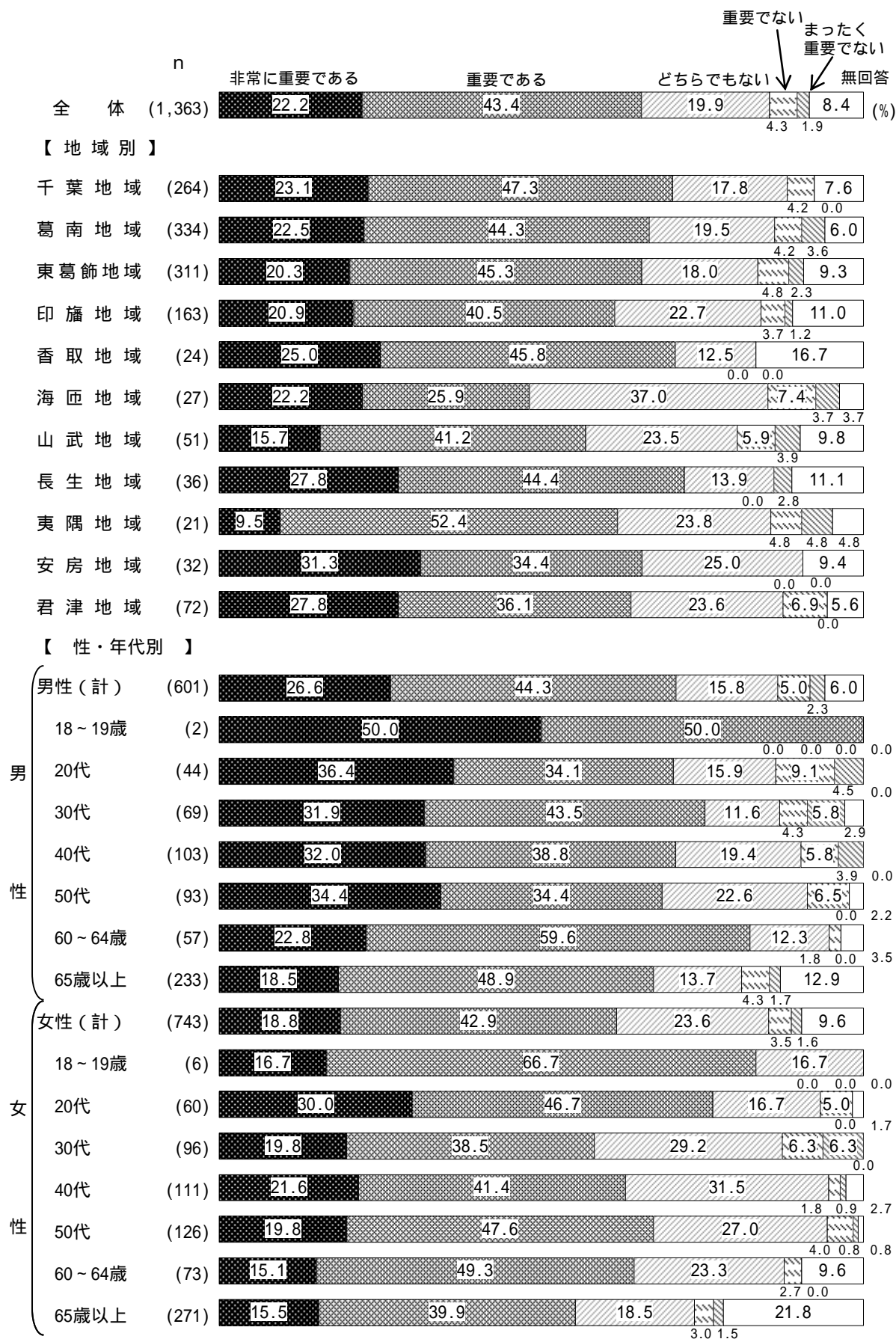
「（シ）育児・介護のための休業・休暇を取りやすくする」の『重要である計』は、男性の 60～64 歳（96.5％）で 9 割台半ば、女性の 20 代（98.3％）で約 10 割、女性の 30 代（95.8％）で 9 割台半ば、女性の 50 代（92.8％）で 9 割を超えて高くなっている。（図表 8 - 6 - 12）

<図表 8 - 6 - 1>ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度／地域別、性・年代別
（ア）企業のトップがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む

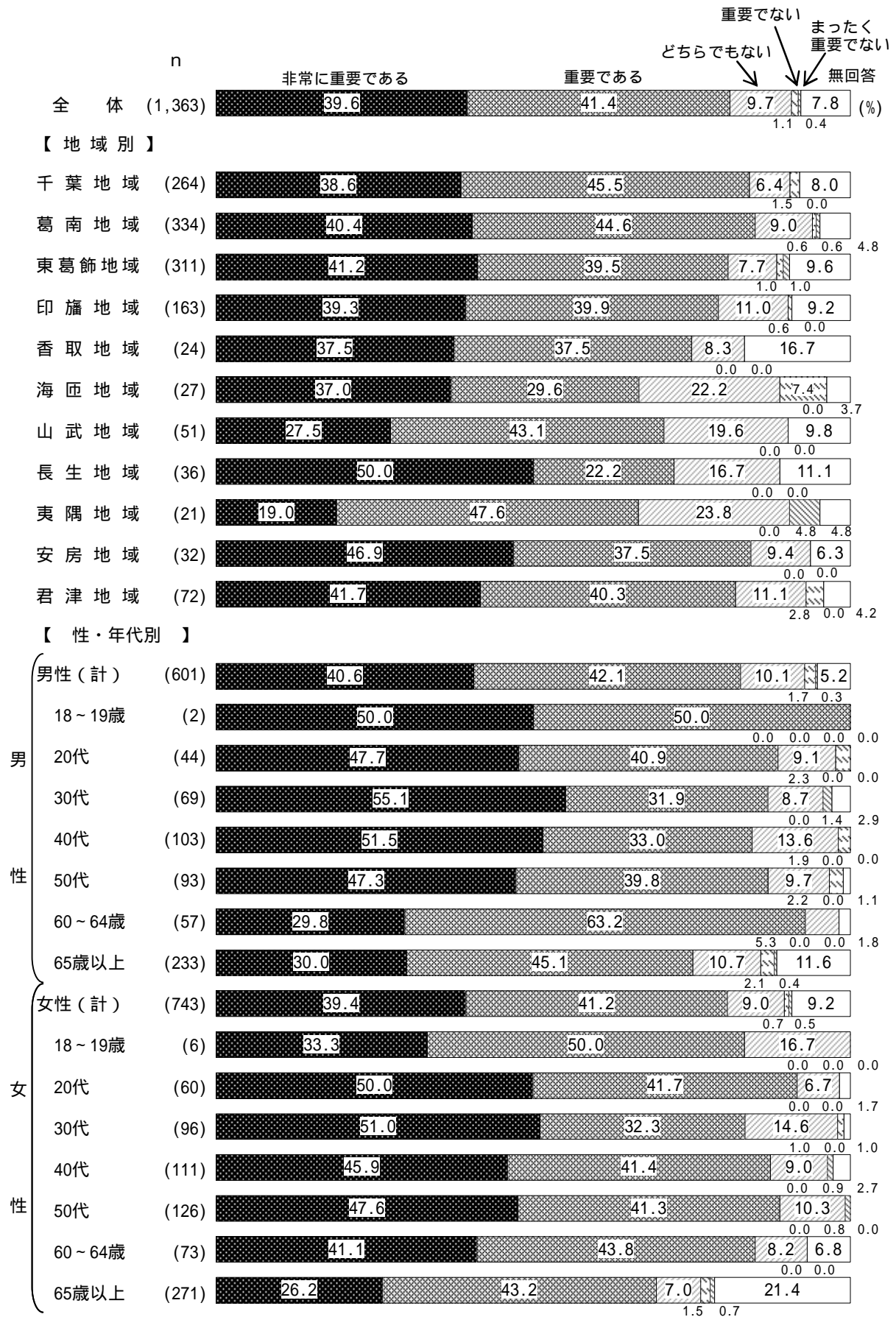


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 8 - 6 - 2>ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
(イ) 企業の中でワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める

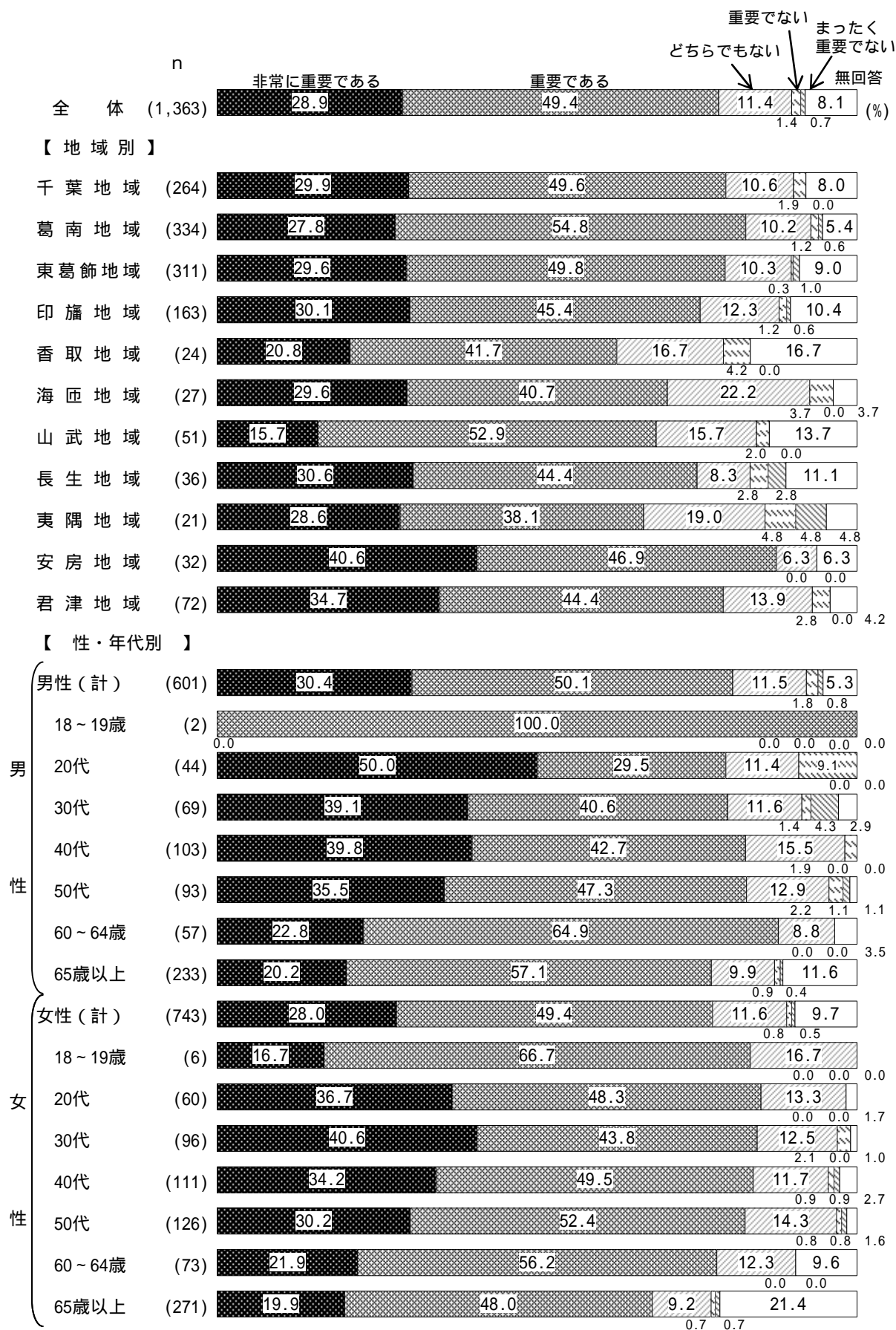


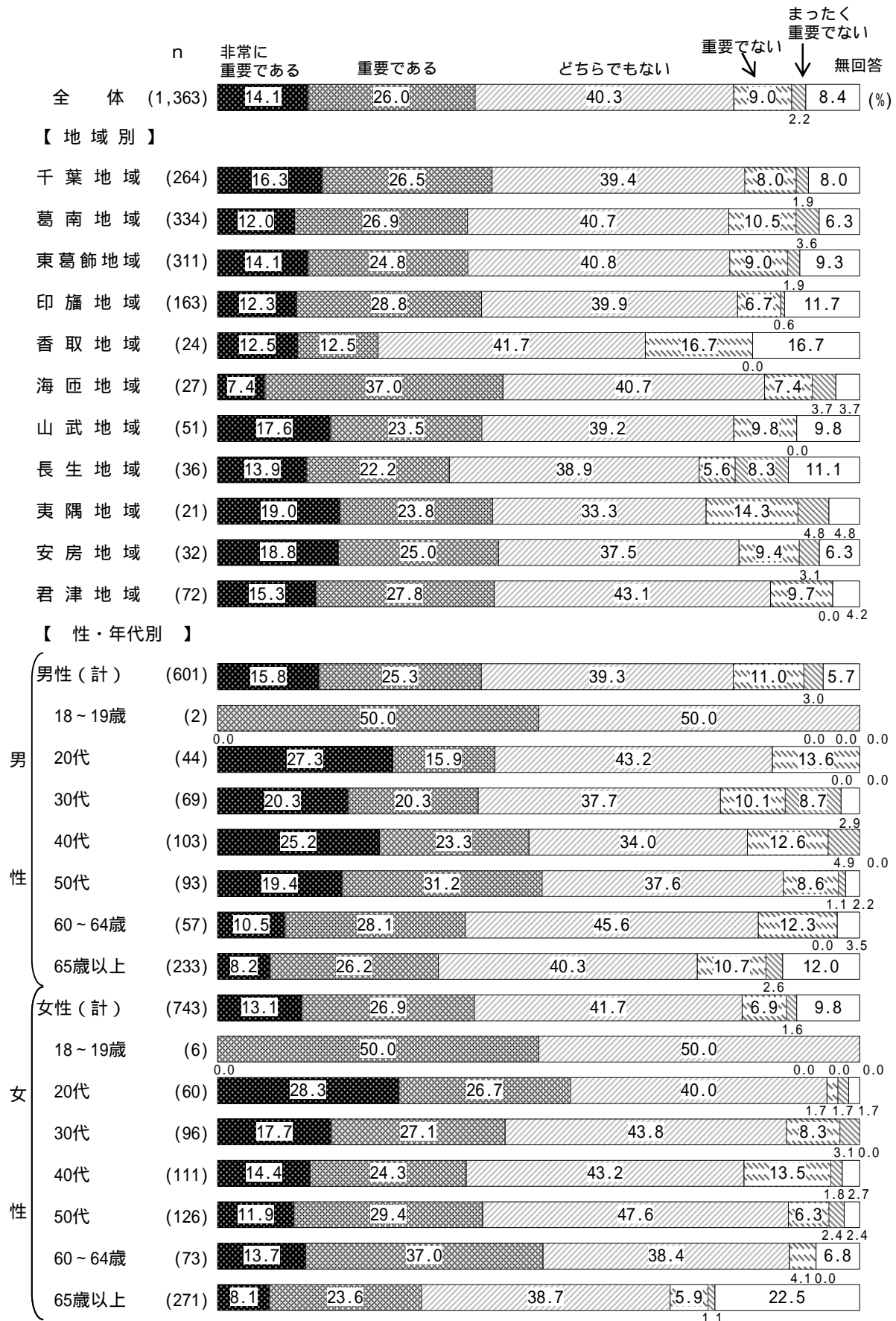
<図表 8 - 6 - 3> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
(ウ) 管理職の意識改革を行う



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

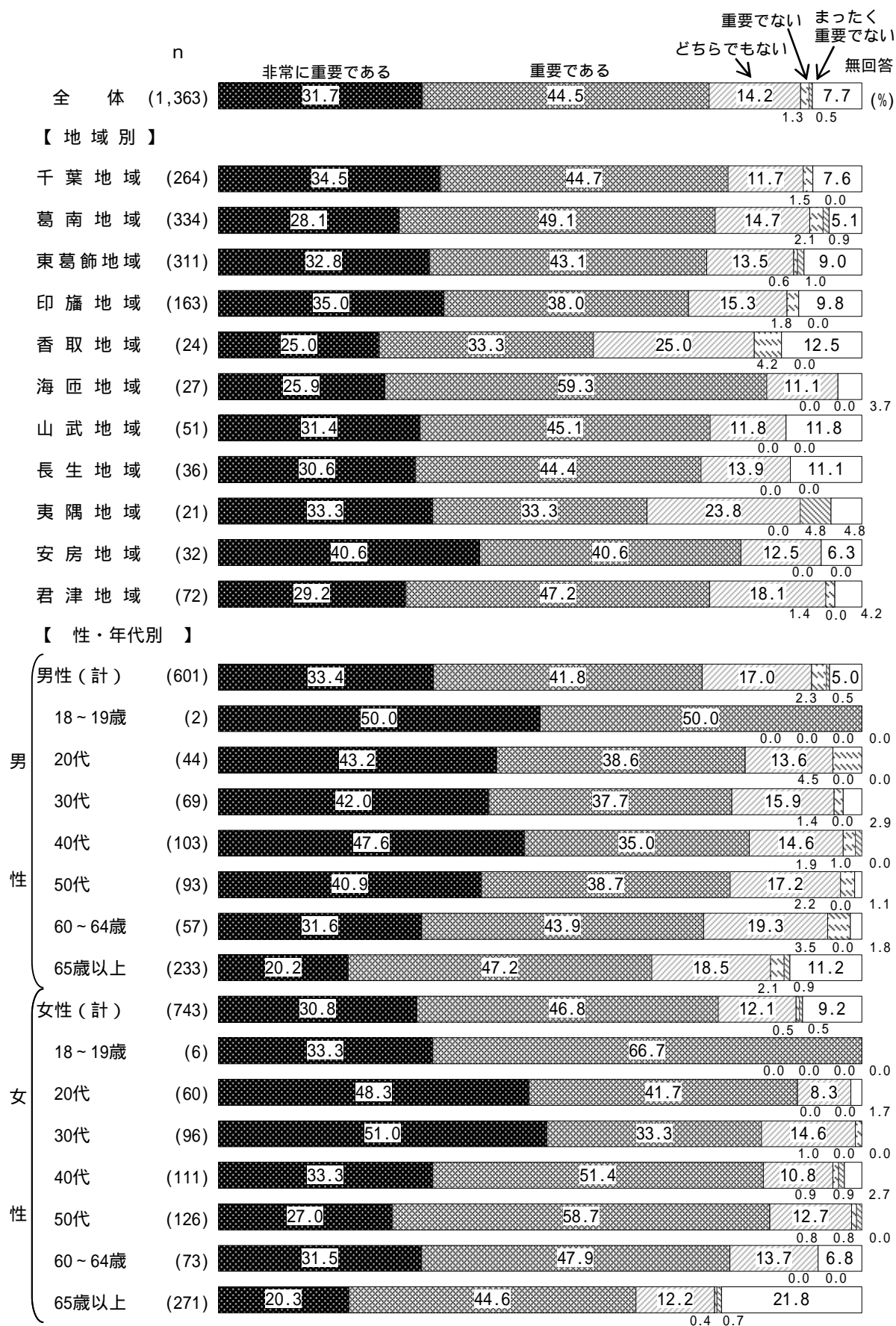
<図表 8 - 6 - 4>ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度／地域別、性・年代別
（エ）社員の意識改革を行う

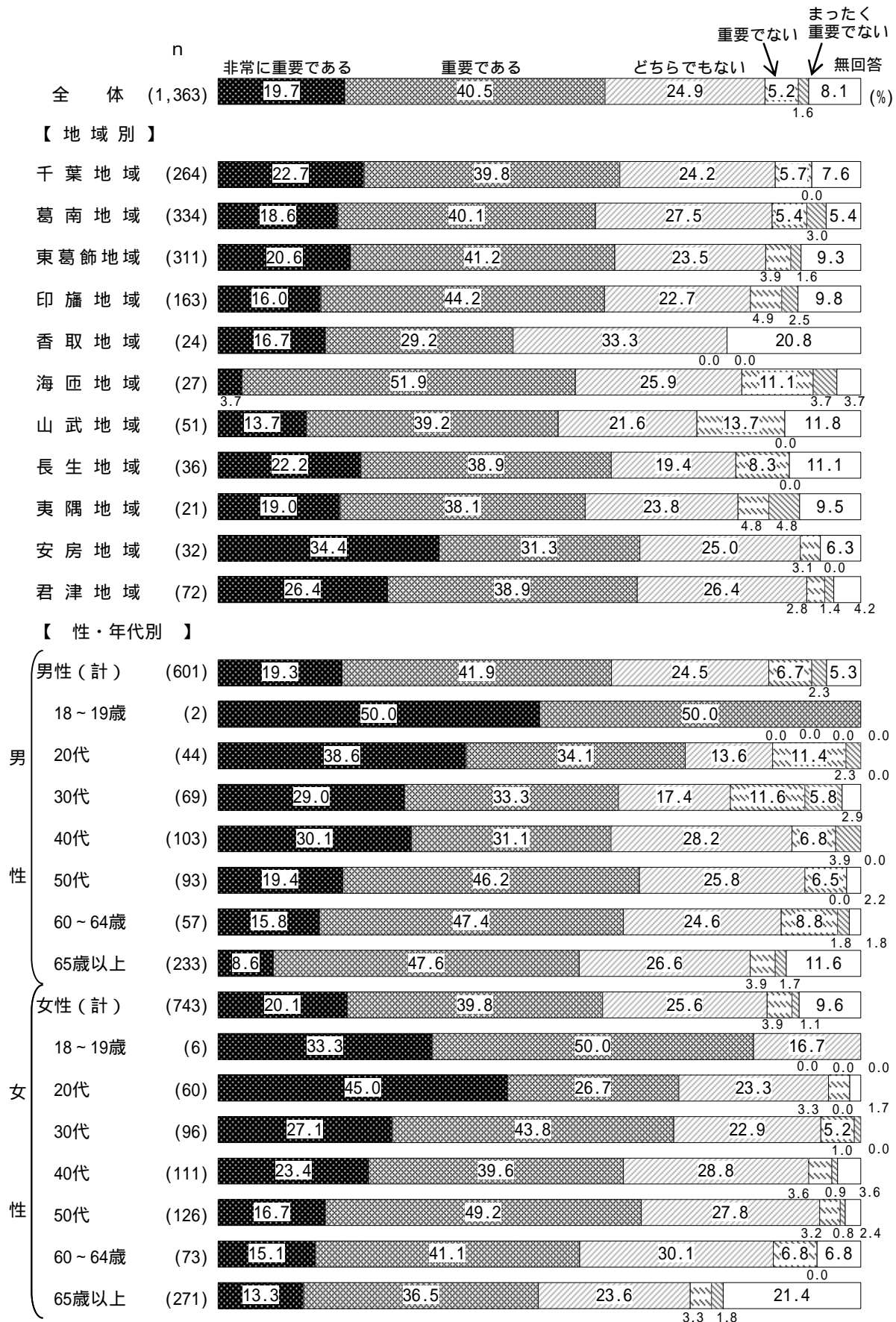


<図表 8 - 6 - 5>ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
(オ) 仕事の量を減らす

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

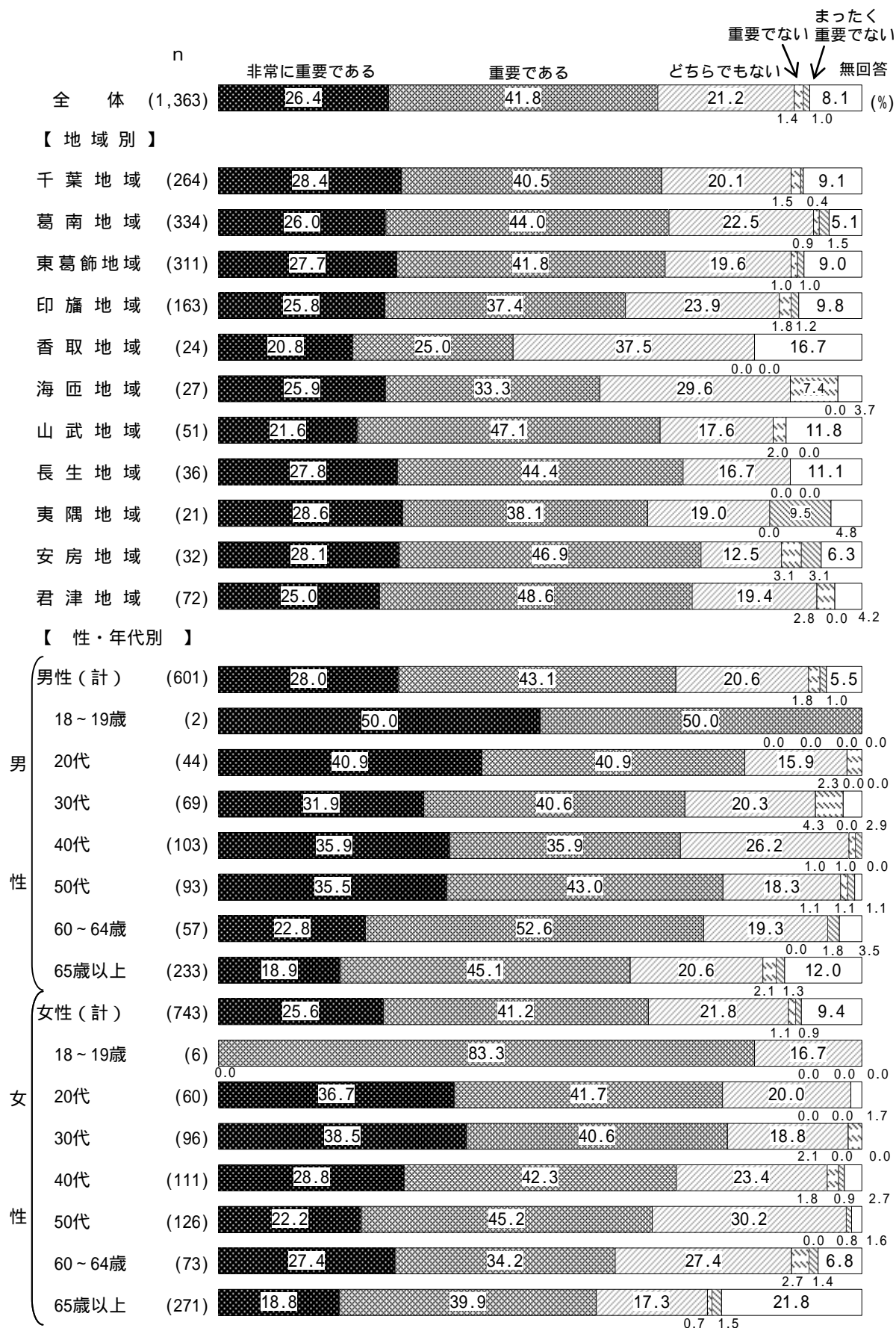
<図表 8 - 6 - 6> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
（カ）無駄な業務・作業をなくす



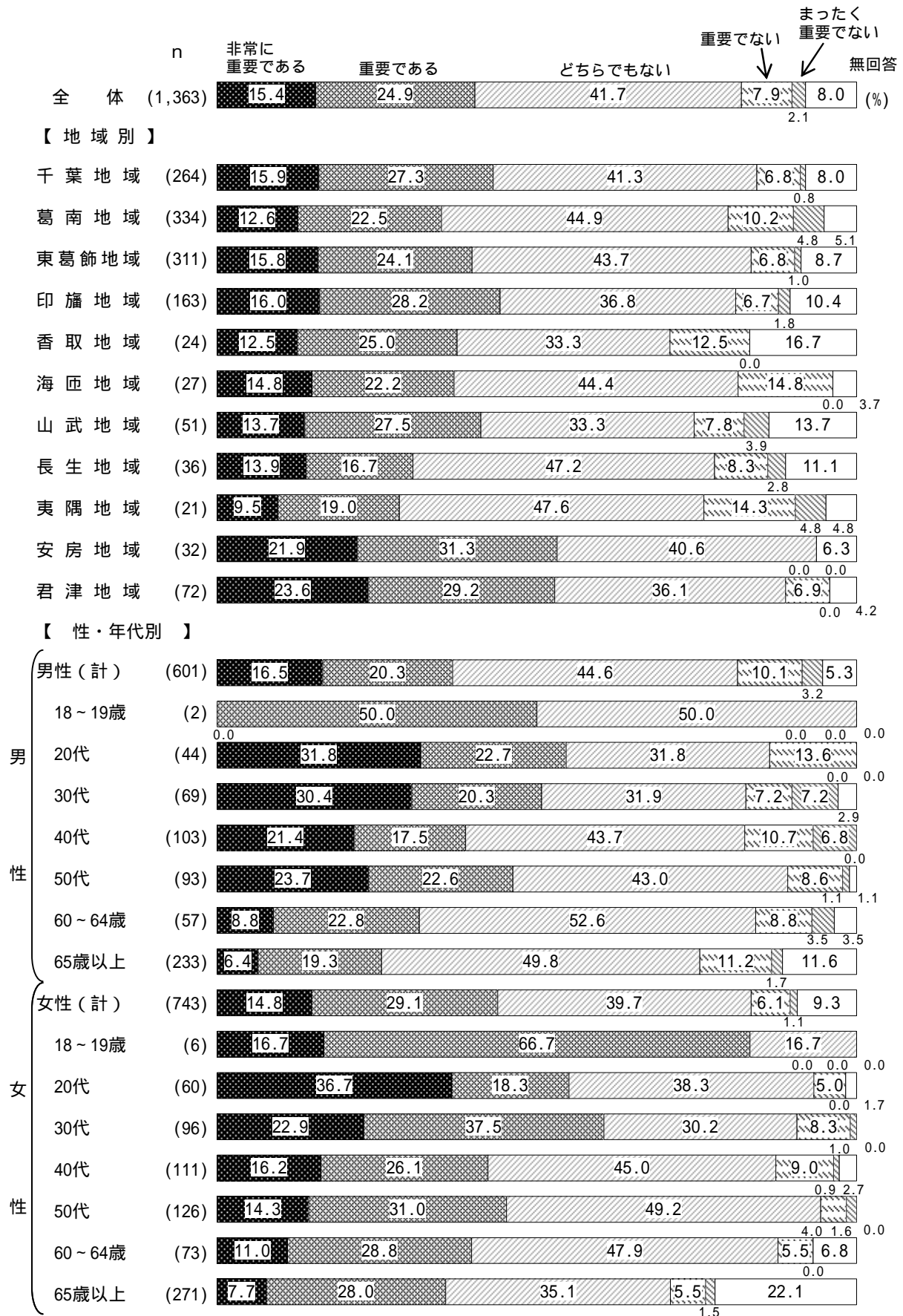
<図表 8 - 6 - 7>ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
(キ) 年休の取得計画をつくる

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 8 - 6 - 8> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
（ク）取引先や下請け企業に無理な要求をしない

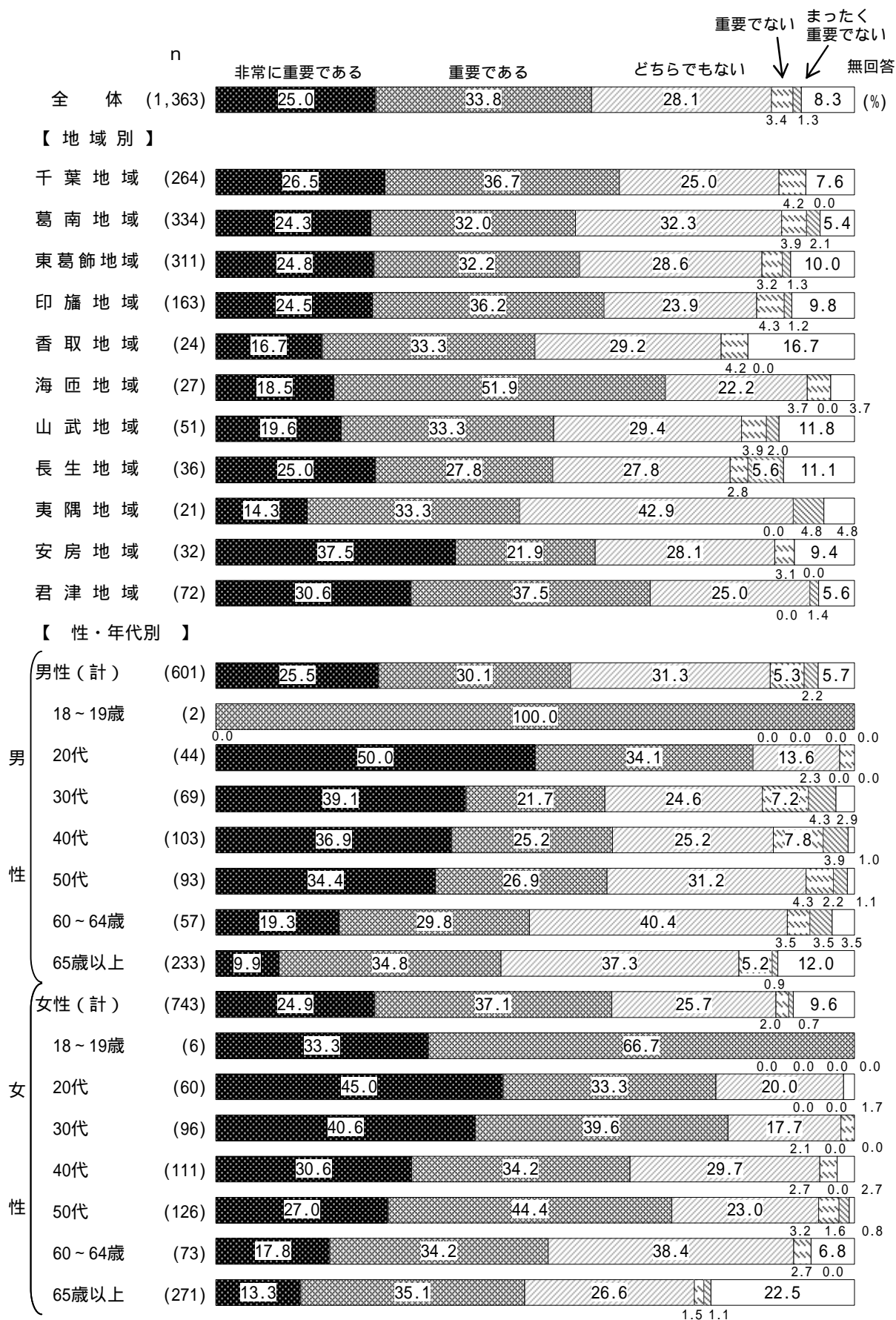


<図表 8 - 6 - 9>ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度／地域別、性・年代別
（ケ）社員数を増やす

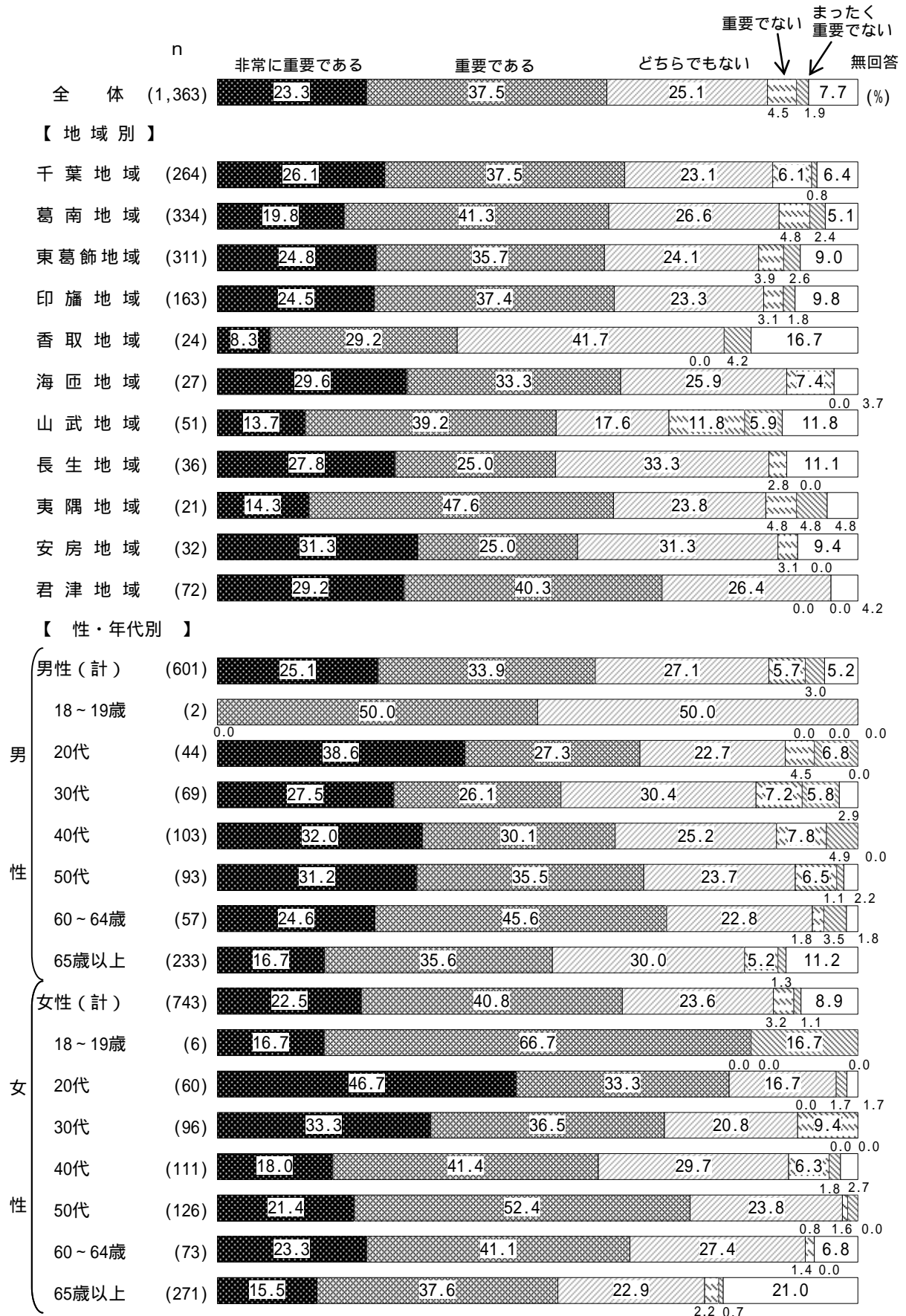


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 8 - 6 - 10> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
(コ) 給料を上げる

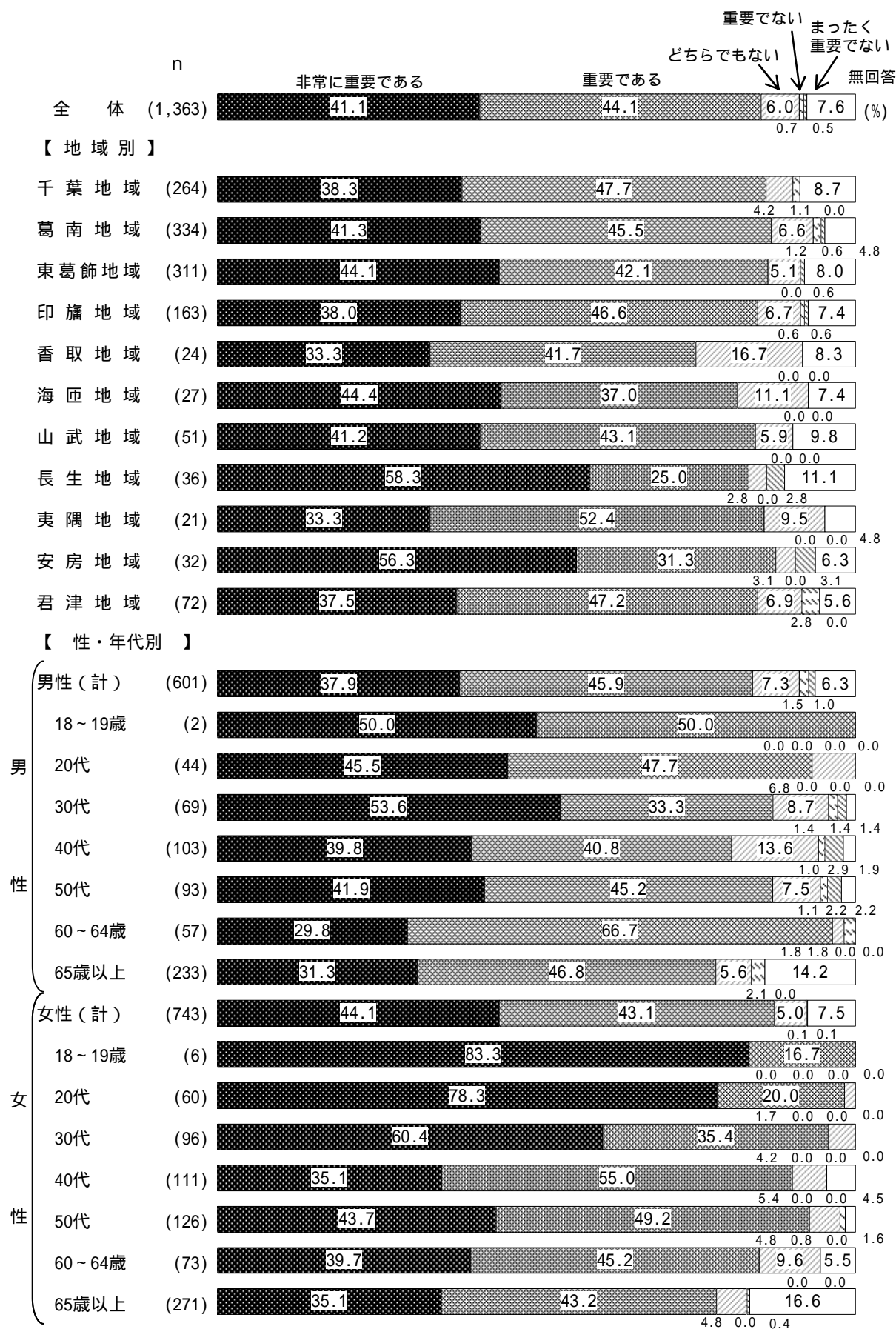


<図表 8 - 6 - 11> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
（サ）ノー残業デーを設ける

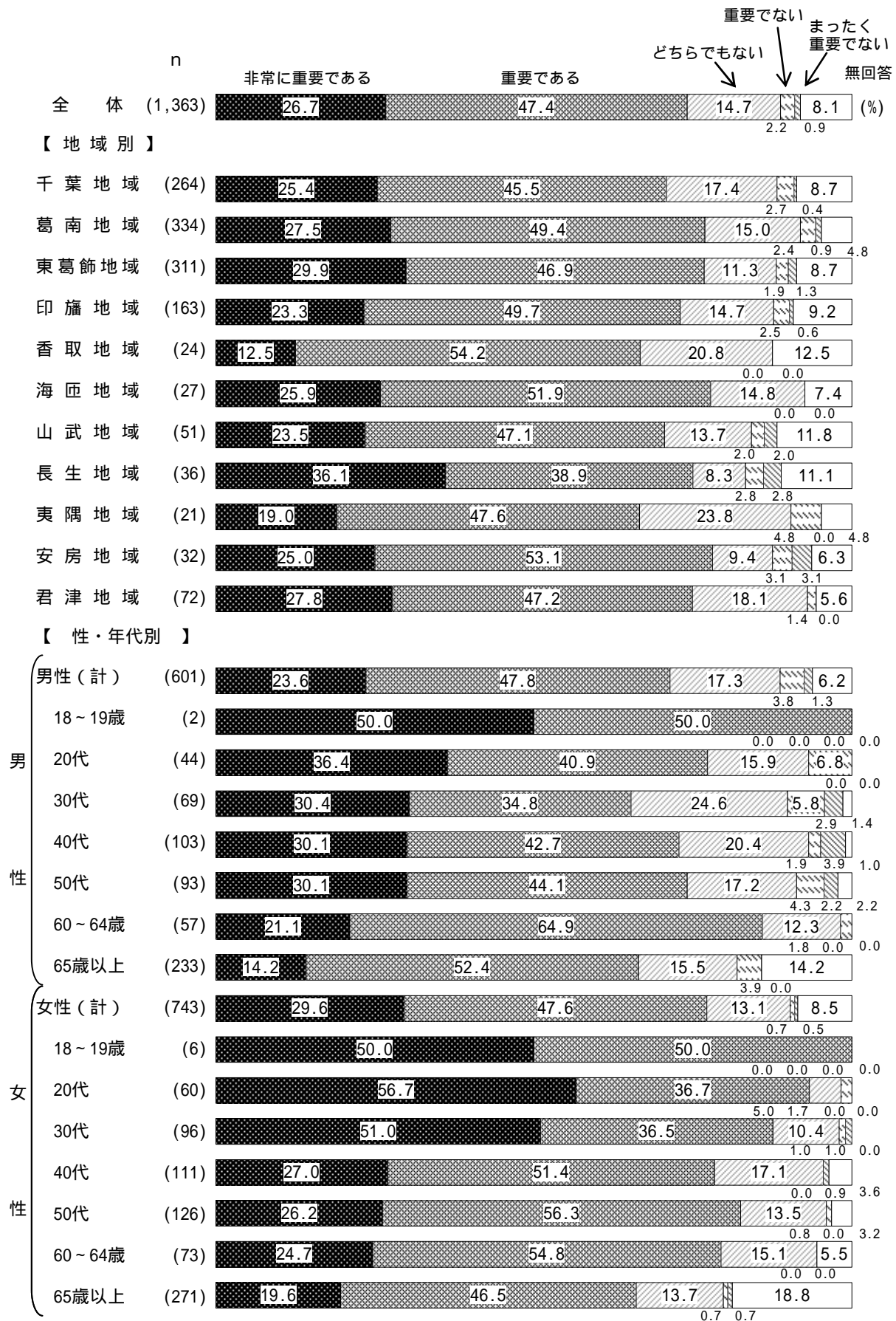


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 8 - 6 - 12> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
(シ) 育児・介護のための休業・休暇を取りやすくする

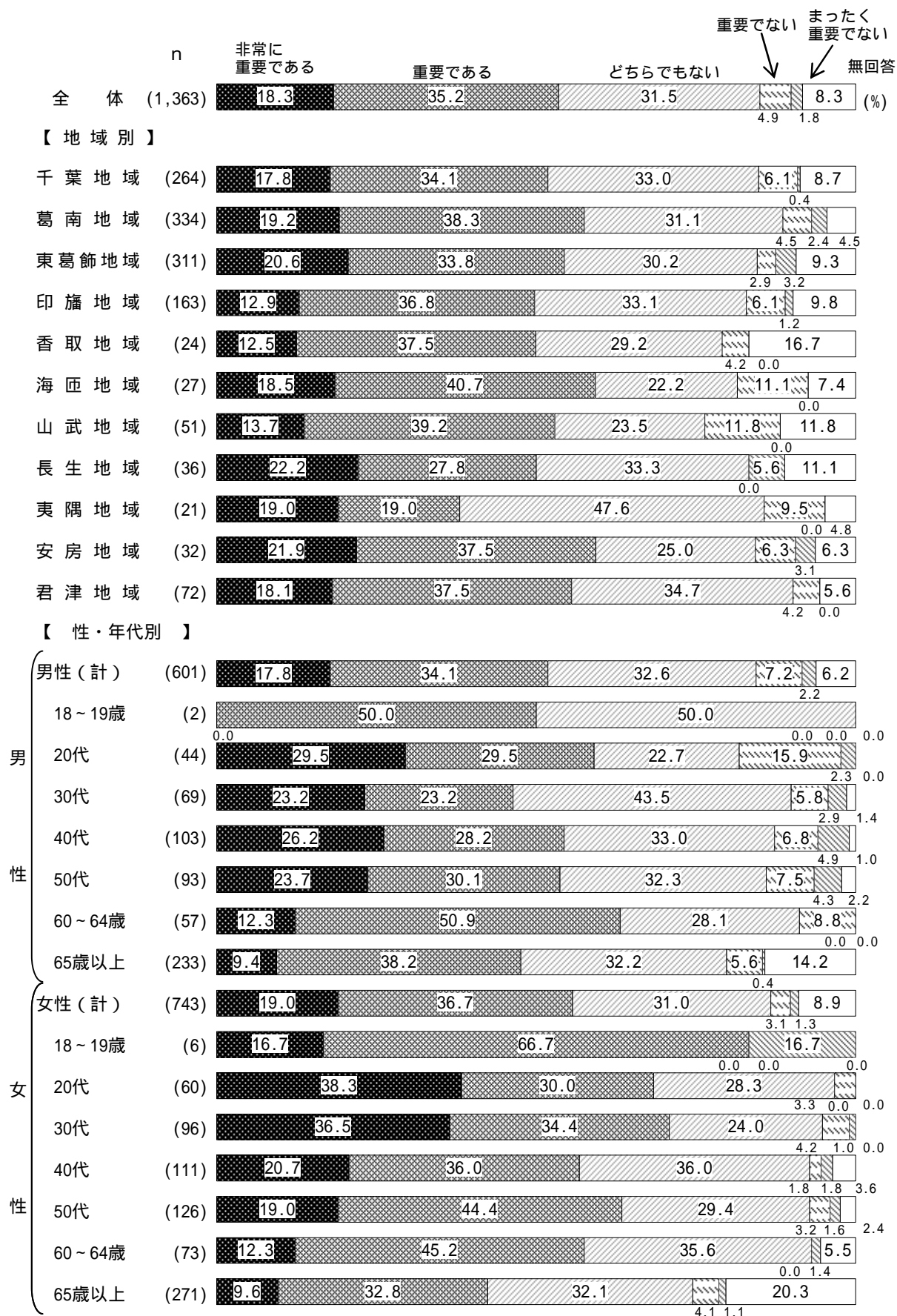


<図表 8 - 6 - 13> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
 (ス) 時間短縮勤務ができるようにする



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 8 - 6 - 14> ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度 / 地域別、性・年代別
（セ）在宅勤務ができるようにする

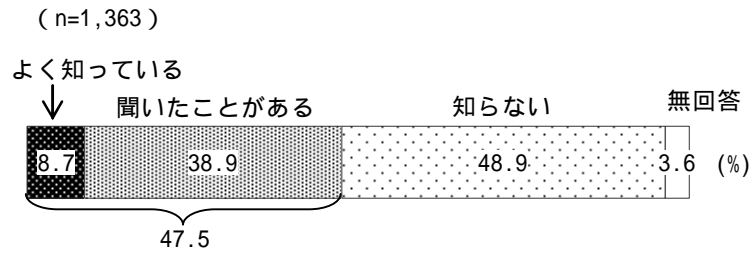


（４）女性活躍推進法の認知度

『聞いたことがある』が約 5 割

問36 あなたは、平成 27 年 4 月 1 日に施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」を知っていますか。（ は1つ）

<図表 8 - 7> 女性活躍推進法の認知度



女性活躍推進法を知っているかを聞いたところ、「よく知っている」(8.7%)、「聞いたことがある」(38.9%)を合わせた『聞いたことがある計』(47.5%)は、約 5 割となっている。(図表 8 - 7)

【地域別】

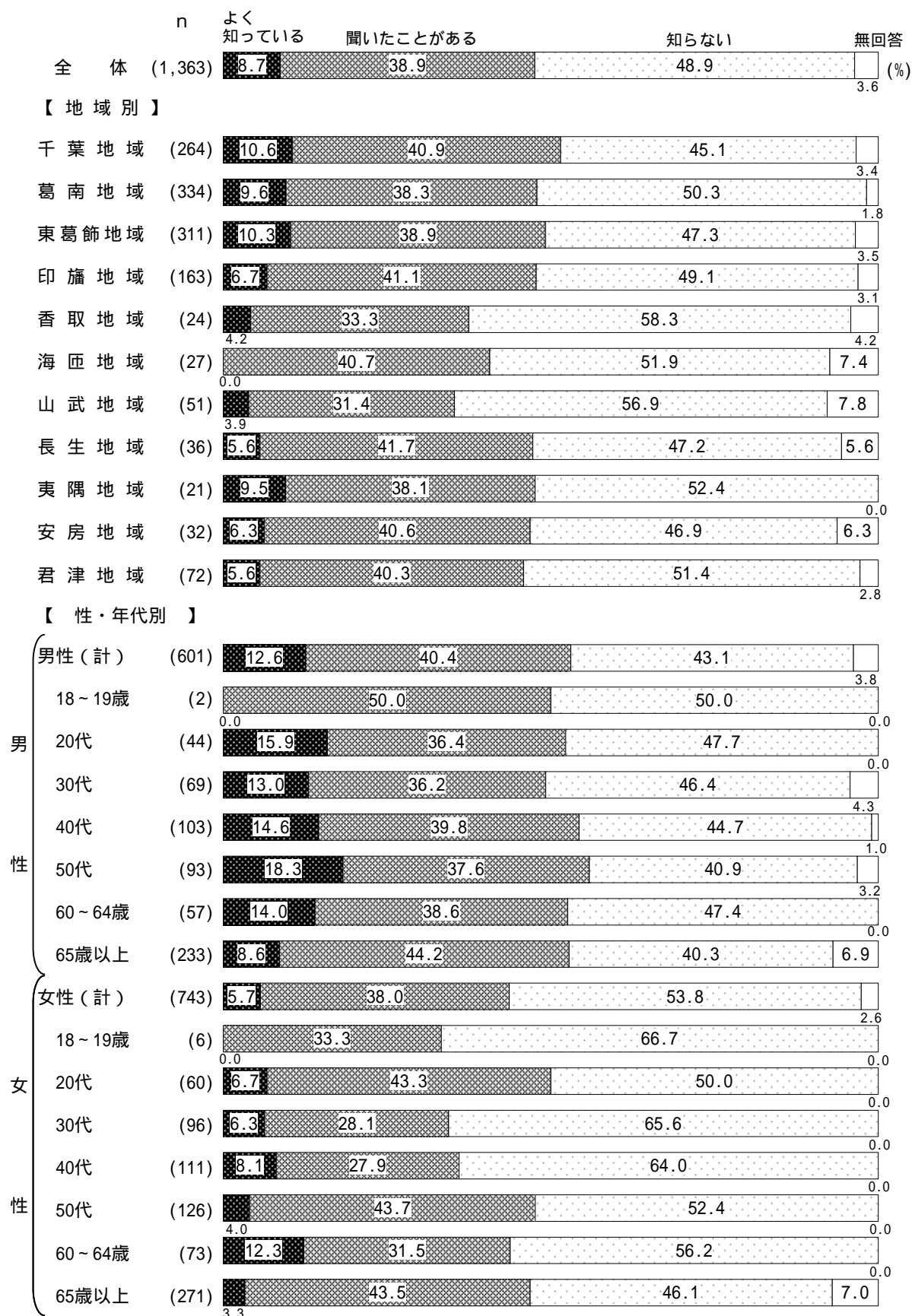
地域別にみると、『聞いたことがある計』は、“海匠地域”(40.7%)で 4 割、“香取地域”(37.5%)で約 4 割、“山武地域”(35.3%)で 3 割台半ばと低くなっている。(図表 8 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知らない」の回答が、女性の 30 代(65.6%)、女性の 40 代(64.0%)で共に 6 割台半ばと高くなっている。(図表 8 - 8)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 8 - 8 > 女性活躍推進法の認知度 / 地域別、性・年代別



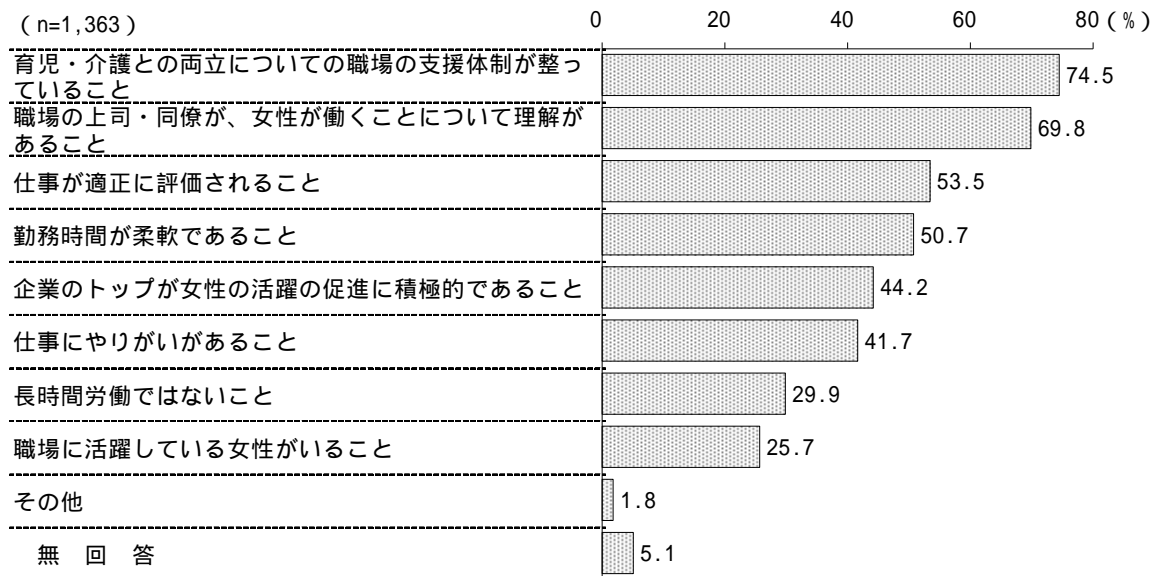
（５）女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なこと

「育児・介護との両立についての職場の支援体制が整っていること」が７割台半ばと最も高い

問37 女性が活躍できる仕事・職場環境にするためには何が必要だと思いますか。

（ はいくつでも ）

<図表 8 - 9> 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なこと（複数回答）



女性が活躍できる仕事・職場環境にするためには何が必要かを聞いたところ、「育児・介護との両立についての職場の支援体制が整っていること」（74.5％）が７割台半ばと最も高く、以下、「職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること」（69.8％）、「仕事が適正に評価されること」（53.5％）、「勤務時間が柔軟であること」（50.7％）と続く。（図表 8 - 9）

【地域別】

地域別にみると、「育児・介護との両立についての職場の支援体制が整っていること」は、“安房地域”（81.3％）で８割を超えて高くなっている。

「職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること」は、“安房地域”（81.3％）で８割を超え、“葛南地域”（75.1％）で７割台半ばと高くなっている。

「仕事が適正に評価されること」は、“安房地域”（59.4％）“葛南地域”（58.8％）で共に約６割と高くなっている。（図表 8 - 10）

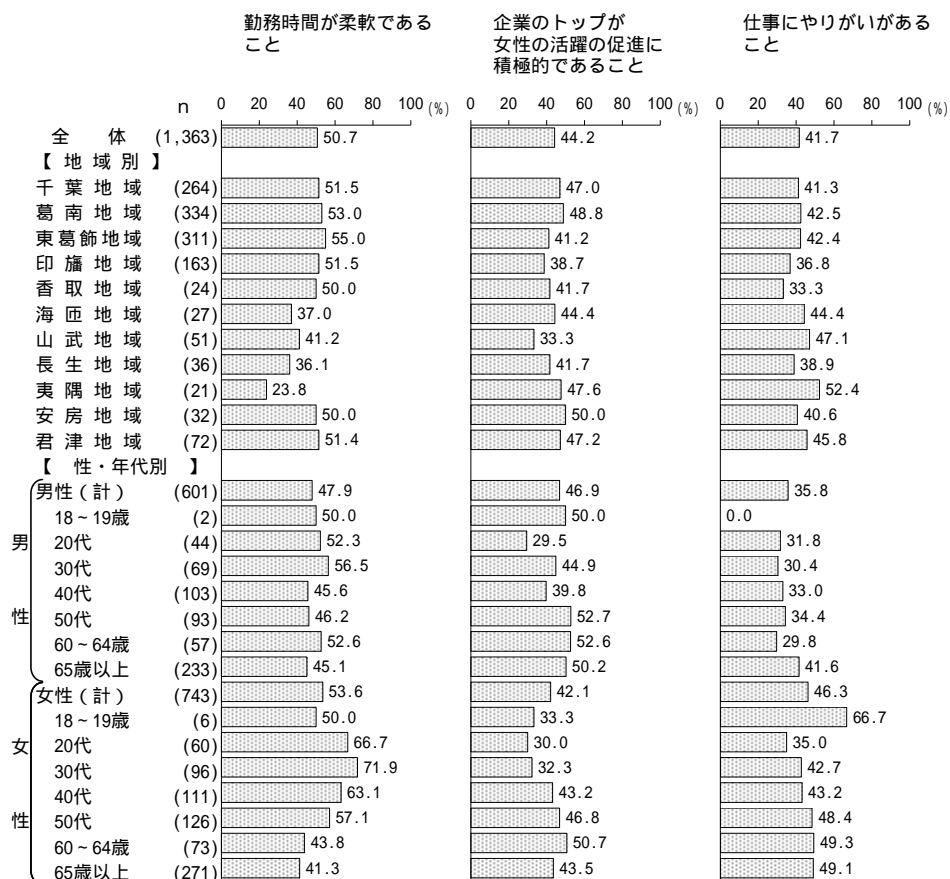
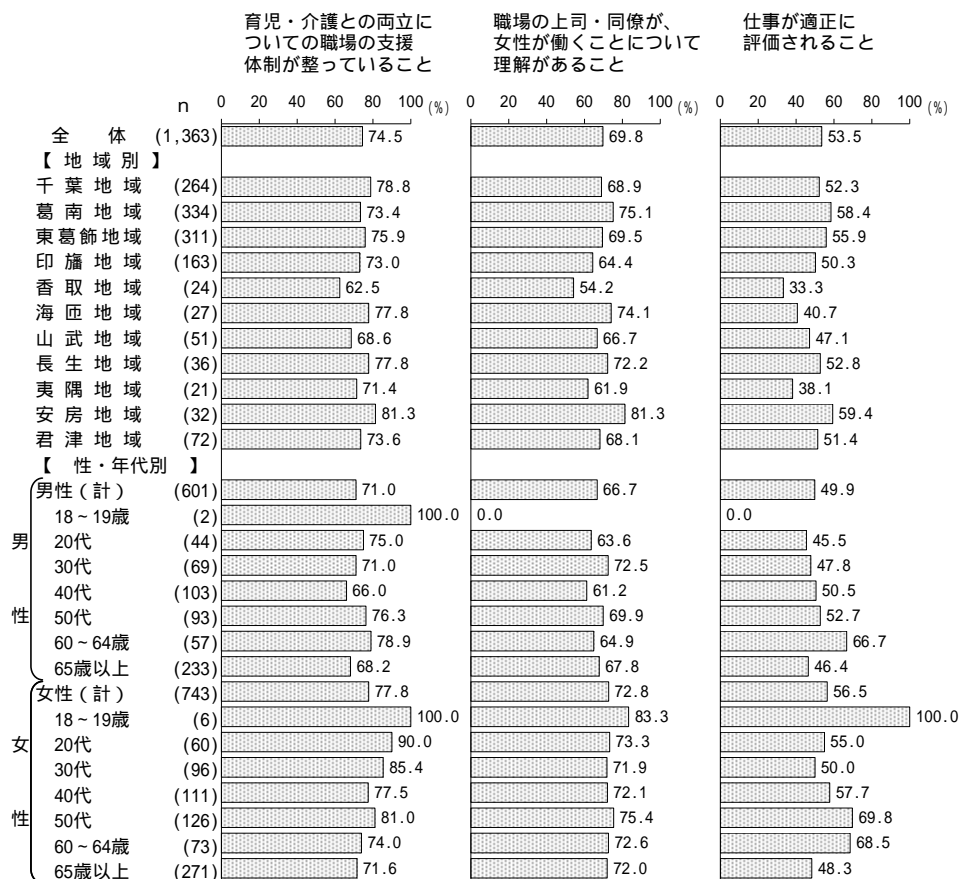
【性・年代別】

性・年代別にみると「育児・介護との両立についての職場の支援体制が整っていること」は、女性の20代（90.0％）で９割、女性の30代（85.4％）で８割台半ばと高くなっている。

「仕事が適正に評価されること」は、男性の60～64歳（66.7％）で６割台半ば、女性の50代（69.8％）女性の60～64歳（68.5％）で約７割と高くなっている。（図表 8 - 10）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 8 - 10 > 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なこと（複数回答）
／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



このほかに、「ワーク・ライフ・バランスについて」やここまでの質問（問33～問37）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、114 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「ワーク・ライフ・バランスについて」の自由回答（抜粋）

ムリな長時間労働などは取り締まりをするべき。社員だけではなく、アルバイトにも「ワーク・ライフ・バランス」を図れるよう取り組むべき。（女性、20 代、葛南地域）

子育てのために一度正社員から離れると、今の時代また正社員には戻れないのが現実。いくら法律を作っても現実とは違う。きれいごとを質問する前に、本当に変えていく現実的な事を実施すべきでは？（女性、30 代、君津地域）

どの職場も人手が不足している中、ニーズが多様化しているので残業も増え、ワークライフバランスが保てない。また、都心部への通勤時間も多くの時間をさいている。県としては、保育の充実や職業訓練、教育、職場の環境改善への取り組みに助成金制度を増やしたり、北西部以外の交通機関の発達、地域への企業の誘致などに力を入れてほしい。（女性、40 代、千葉地域）

女性が育児等できるよう、柔軟な対応が必要である。そして、会社ですでにそのように活躍している前例があると心強いし、何より職場でのバックアップが必要である。（男性、40 代、東葛飾地域）

ストレスチェックなど、精神面でもっとサポートしてほしい。有休の義務化、休みやすい環境作り。（女性、50 代、東葛飾地域）

結婚した女性が、子供が小さい為に働く事が出来にくい。保育園、育児所などがない為、働く事に支障があるのが多い現在。出来れば、大企業では会社の中にそれを備えているところもあるにはあるが、無い。まして中小企業にない。そこで中小企業で話し合い、保育園、育児所を作る（それ等会社で働いている人達が使用できる。もし余裕があれば、近所の人達も使用できる）。そうすれば女性の人達も安心して働く事が出来るのでは。（男性、65 歳以上、海匝地域）

結婚後家にいるので、復職したい気持ちはあるが自信がない。子供が一人でいても安心できる年齢になるまで、働きに出る事をためらってしまう。（女性、40 代、東葛飾地域）

乳幼児を持っている女性が働くことは子供の心の成長にとってどうなのか疑問に思っている。この期間は働かなくても良い環境ができれば将来的には安定した社会が築けるのではと思っている。（女性、65 歳以上、葛南地域）

不要不急な残業の禁止やノー残業デー等の徹底、就業時間以降のシステムダウン、夜 20 時以降の残業禁止といった強制的な取り組みもいいのではないかと思う。（男性、40 代、印旛地域）

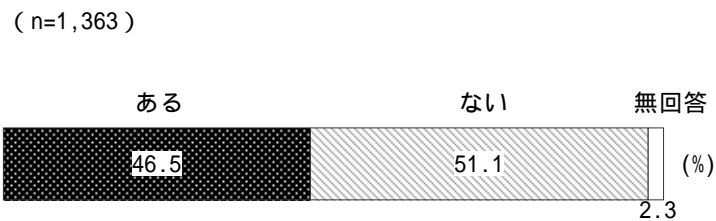
9 都市農業について

（１）農作業体験の有無

「ある」が４割台半ば

問38 あなたは農作業体験をしたことがありますか。（ は１つ）

<図表 9 - 1> 農作業体験の有無

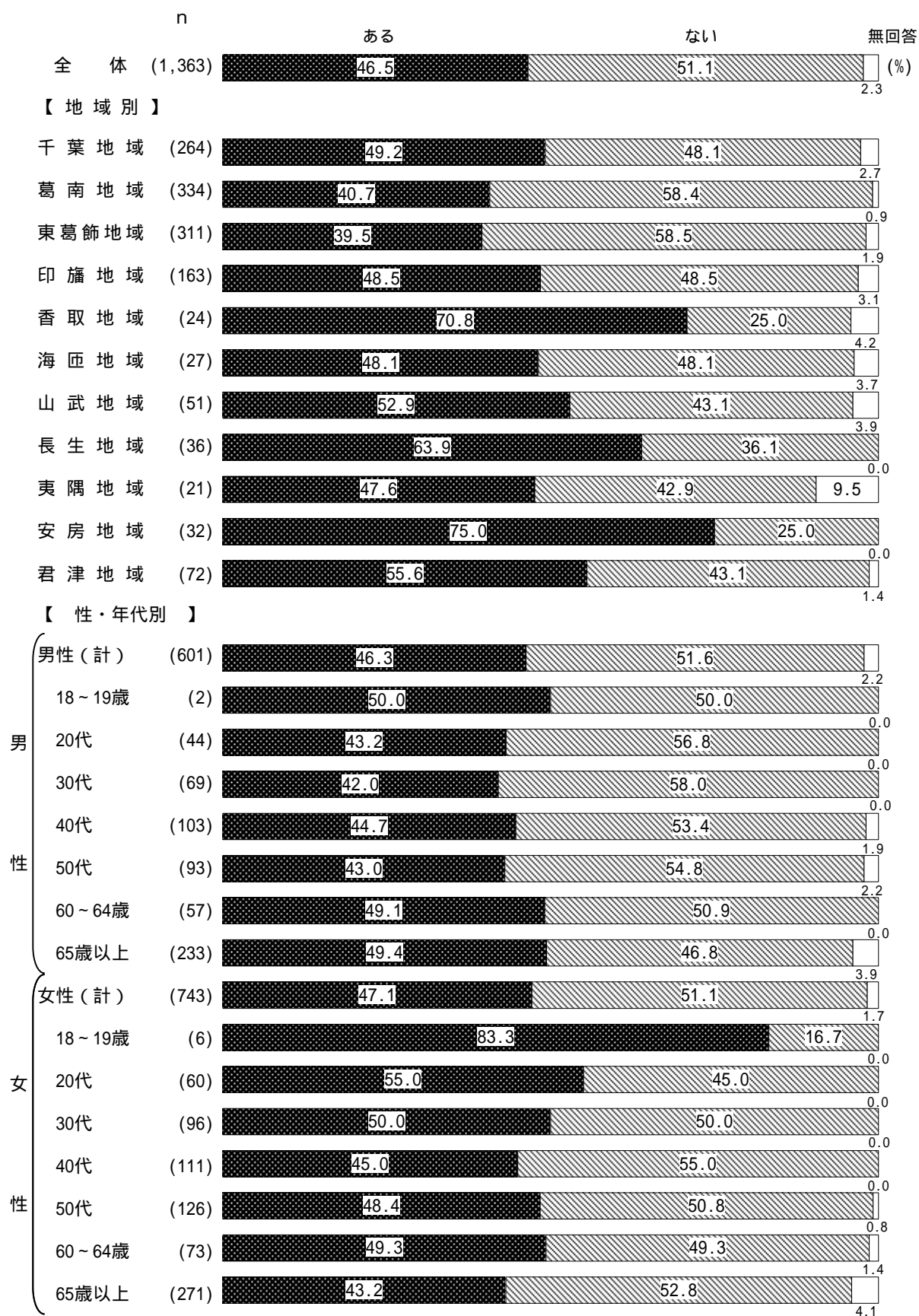


農作業体験の有無を聞いたところ、「ある」(46.5%)が４割台半ば、「ない」(51.1%)が５割を超えている。(図表 9 - 1)

【地域別】

地域別にみると、「ある」は、“安房地域”(75.0%)で７割台半ば、“香取地域”(70.8%)で７割、“長生地域”(63.9%)で６割台半ばと高くなっている。(図表 9 - 2)

< 図表 9 - 2 > 農作業体験の有無 / 地域別、性・年代別



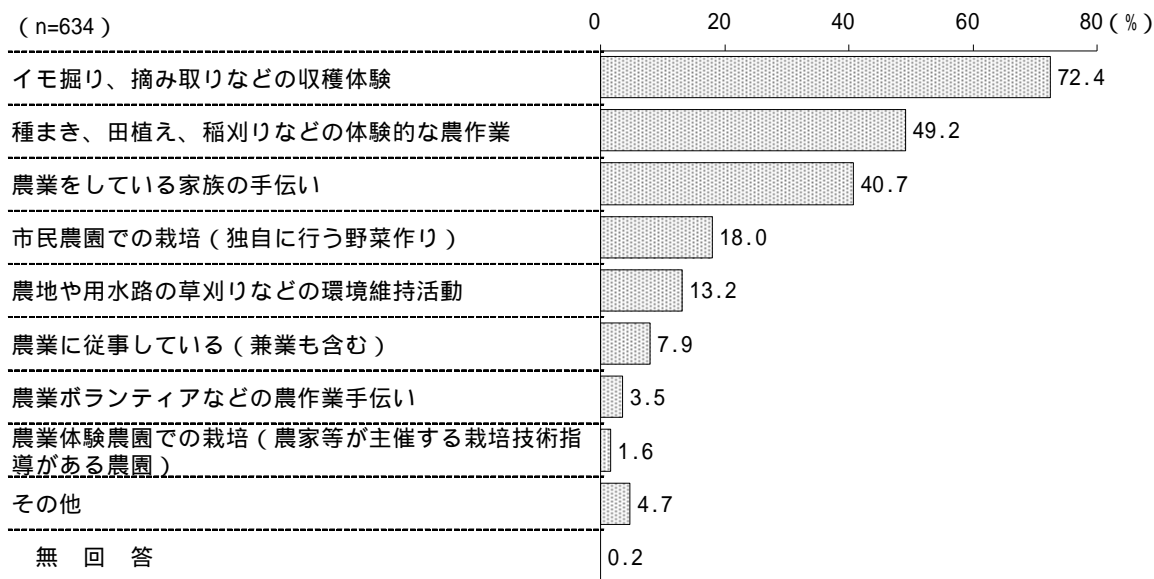
（２）農作業体験の内容

「イモ掘り、摘み取りなどの収穫体験」が 7 割を超えており最も高い

（問38で「ある」とお答えの方に）

問39 あなたはどのような形の農作業体験をしたことがありますか。（はいいくつでも）

<図表 9 - 3> 農作業体験の内容（複数回答）



農作業体験のある634人に、体験した内容を聞いたところ、「イモ掘り、摘み取りなどの収穫体験」（72.4%）が 7 割を超えており最も高く、以下、「種まき、田植え、稲刈りなどの体験的な農作業」（49.2%）、「農業をしている家族の手伝い」（40.7%）が続く。（図表 9 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「種まき、田植え、稲刈りなどの体験的な農作業」は、“安房地域”（70.8%）で 7 割、“海匝地域”（69.2%）で約 7 割、“君津地域”（60.0%）で 6 割と高くなっている。

「農業をしている家族の手伝い」は、“安房地域”（62.5%）で 6 割を超え、“長生地域”（60.9%）“夷隅地域”（60.0%）で共に 6 割、“山武地域”（55.6%）で 5 割台半ばと高くなっている。

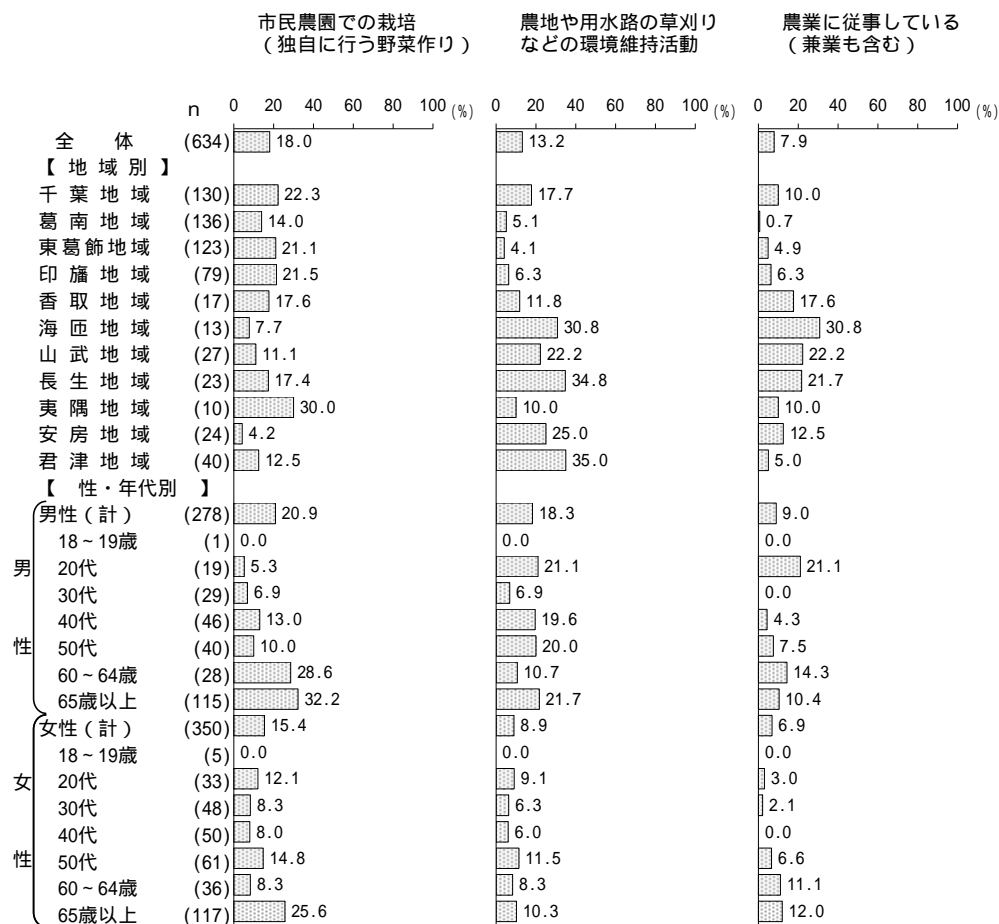
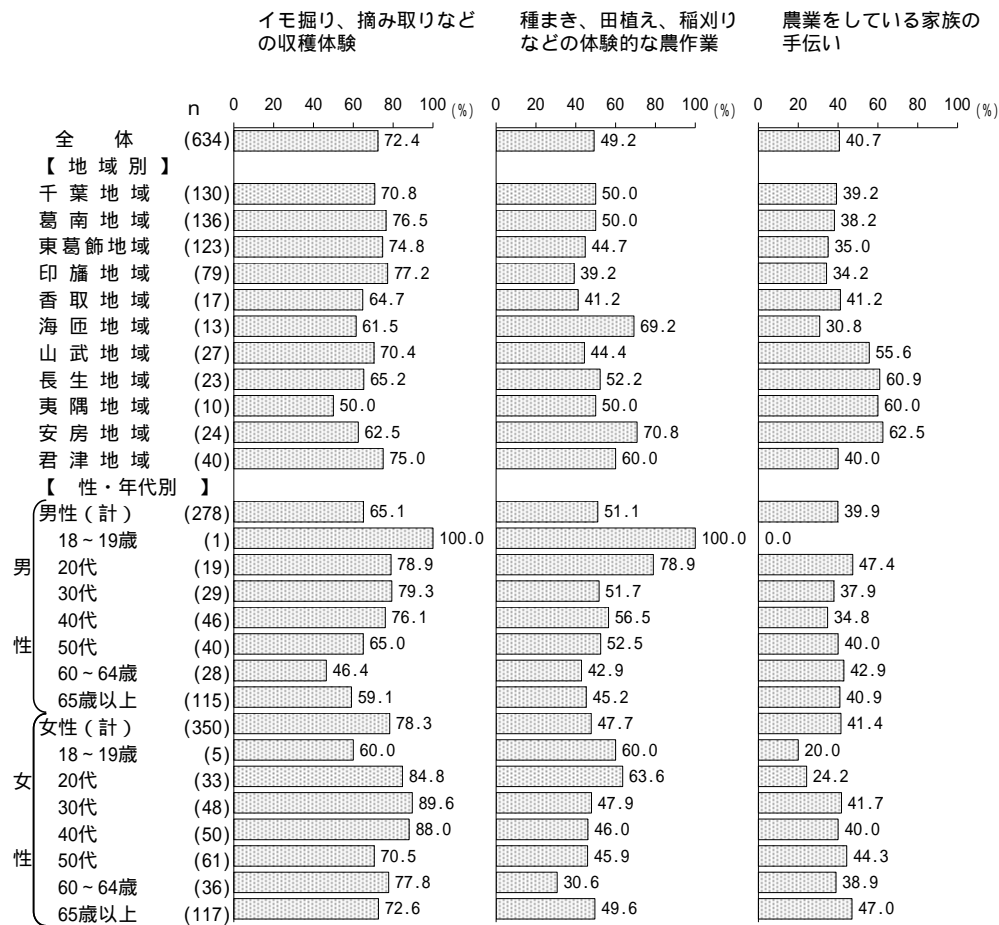
「農地や用水路の草刈りなどの環境維持活動」は、“君津地域”（35.0%）“長生地域”（34.8%）で 3 割台半ばと、高くなっている。（図表 9 - 4）

【性別】

性・年代別にみると、「イモ掘り、摘み取りなどの収穫体験」は、女性の30代（89.6%）女性の40代（88.0%）で共に約 9 割と高くなっている。

「市民農園での栽培（独自に行う野菜作り）」は、男性の65歳以上（32.2%）で 3 割を超え、女性の65歳以上（25.6%）で 2 割台半ばと高くなっている。（図表 9 - 4）

< 図表 9 - 4 > 農作業体験の内容（複数回答）／地域別、性・年代別



（３）千葉県に農地を残したいと思うか

「（残したいと）思う」が 8 割を超えている

問40 農地は、農業生産の最も基礎的な資源であり、良好な状態でその確保を図ることが重要ですが、近年、転用などにより農地が減少しています。また、地域によっては担い手不足がより顕在化し、耕作されない農地が増加し、耕作放棄地のさらなる増加が懸念される状況にあります。

あなたは、千葉県に農地を残したいと思いますか。（ は1つ）

＜図表 9 - 5＞千葉県に農地を残したいと思うか



千葉県に農地を残したいと思うかを聞いたところ、「思う」(82.7%)の回答が 8 割を超えている。

(図表 9 - 5)

【地域別】

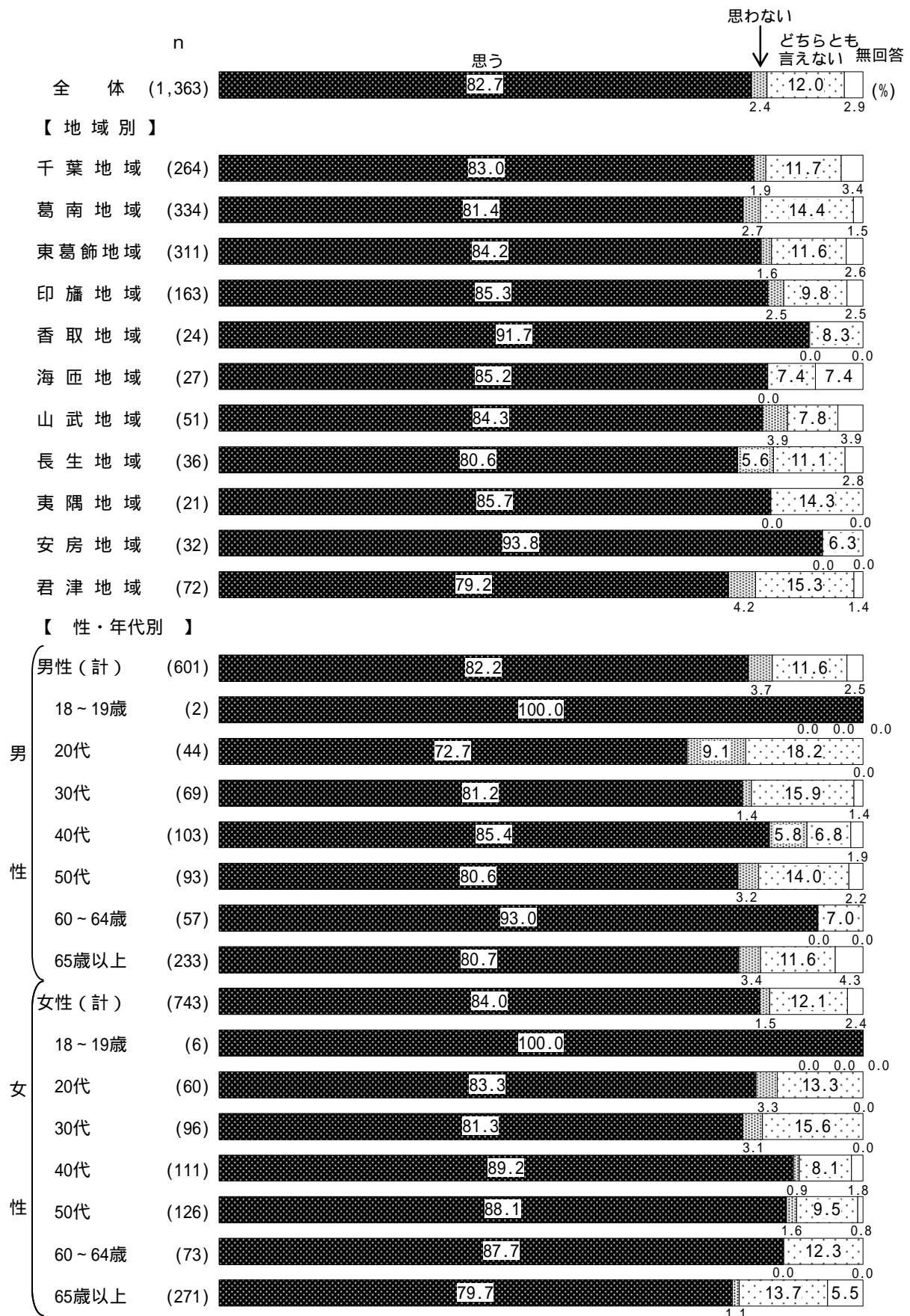
地域別にみると、「思う」は、“安房地域”(93.8%)で 9 割台半ば、“香取地域”(91.7%)で 9 割を超えて高くなっている。(図表 9 - 6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「思う」の回答が、男性の 60～64 歳(93.0%)で 9 割台半ばと高くなっている。

(図表 9 - 6)

< 図表 9 - 6 > 千葉県に農地を残したいと思うか / 地域別、性・年代別

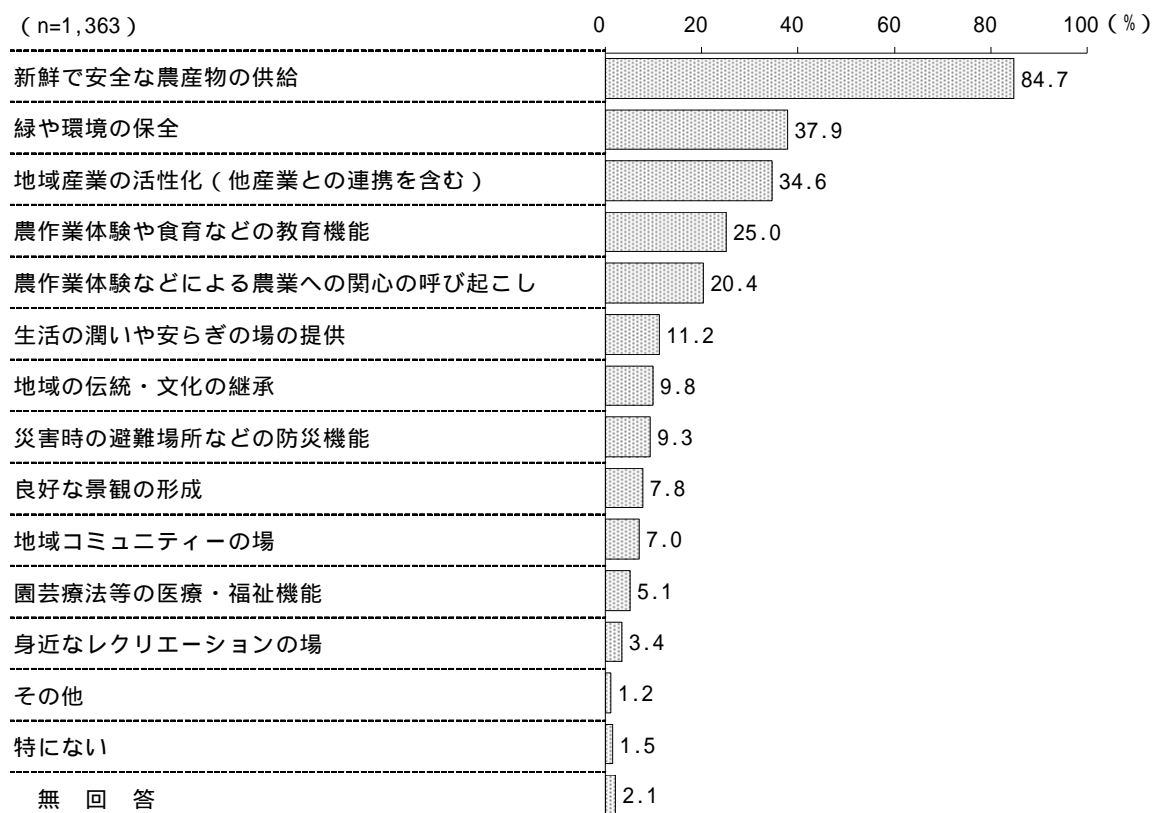


（４）千葉県農業・農地に期待する機能や役割

「新鮮で安全な農産物の供給」が 8 割台半ばと最も高い

問41 あなたは、千葉県の農業・農地にどのような機能や役割を期待しますか。
（ は 3 つまで）

<図表 9 - 7> 千葉県の農業・農地に期待する機能や役割（複数回答）



千葉県の農業・農地にどのような機能や役割を期待するか、3 つまで選んでもらったところ、「新鮮で安全な農産物の供給」(84.7%) が 8 割台半ばと最も高く、以下、「緑や環境の保全」(37.9%)、「地域産業の活性化（他産業との連携を含む）」(34.6%)、「農作業体験や食育などの教育機能」(25.0%) が続く。(図表 9 - 7)

【地域別】

地域別にみると、「新鮮で安全な農産物の供給」は、“君津地域”(93.1%) で 9 割台半ばと高くなっている。

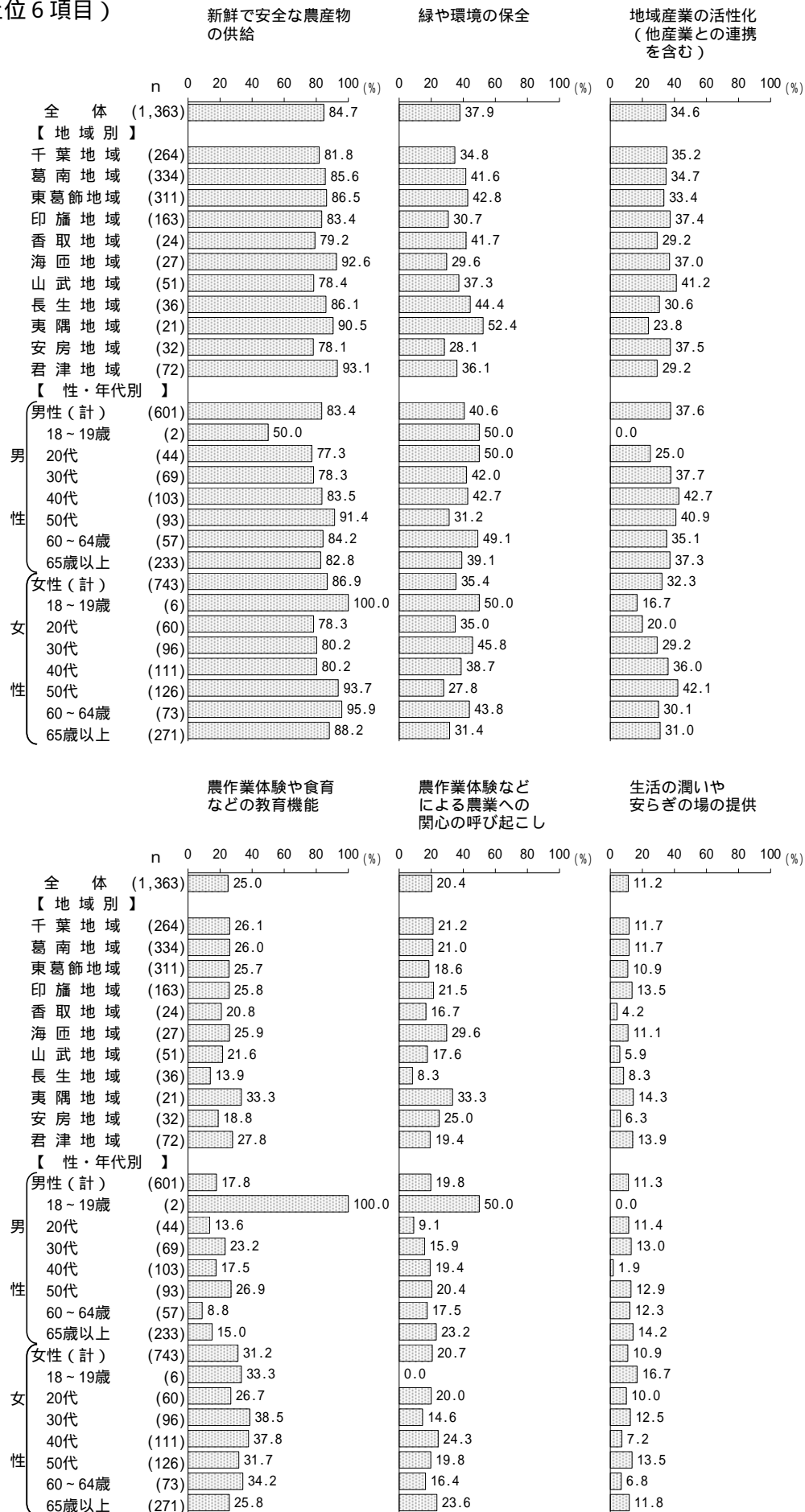
「緑や環境の保全」は、“夷隅地域”(52.4%) で 5 割を超えて高くなっている。(図表 9 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新鮮で安全な農産物の供給」は、女性の 50 代(93.7%)、女性の 60～64 歳(95.9%) で共に 9 割台半ばと高くなっている。

「農作業体験や食育などの教育機能」は、女性の 30 代(38.5%)、女性の 40 代(37.8%) で共に約 4 割と高くなっている。(図表 9 - 8)

< 図表 9 - 8 > 千葉県の農業・農地に期待する機能や役割（複数回答）／地域別、性・年代別
（上位 6 項目）



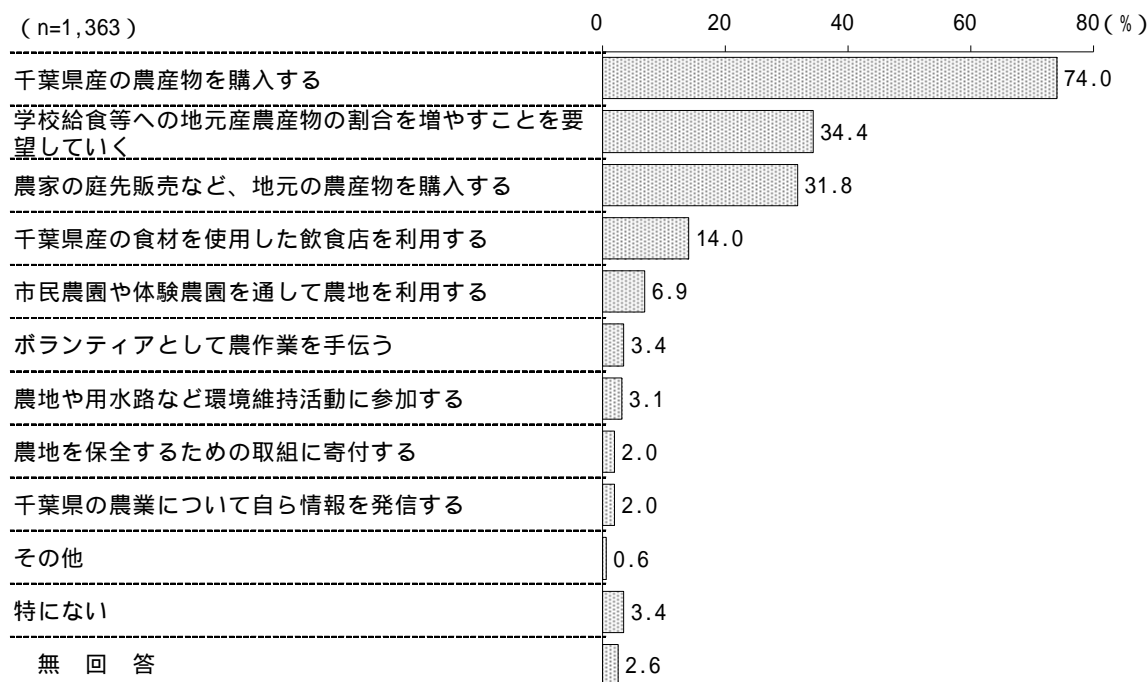
（５）農地を守るためにやりたい支援

「千葉県産の農産物を購入する」が７割台半ばと最も高い

問42 あなたは、農地を守るために、どのような支援を行いたいと思いますか。

（ は２つまで）

<図表 9 - 9> 農地を守るためにやりたい支援（複数回答）



農地を守るためにどのような支援を行いたいかを、２つまで選んでもらったところ、「千葉県産の農産物を購入する」(74.0%) が 7 割台半ばと最も高く、以下、「学校給食等への地元産農産物の割合を増やすことを要望していく」(34.4%)、「農家の庭先販売など、地元の農産物を購入する」(31.8%) が続く。(図表 9 - 9)

【地域別】

地域別にみると、「千葉県産の農産物を購入する」は、“夷隅地域”(81.0%)で 8 割を超えて高くなっている。

「学校給食等への地元産農産物の割合を増やすことを要望していく」は、“葛南地域”(41.0%)で 4 割を超え、“安房地域”(40.6%)で 4 割と高くなっている。

「農家の庭先販売など、地元の農産物を購入する」は、“安房地域”(46.9%)で 4 割台半ばと高くなっている。(図表 9 - 10)

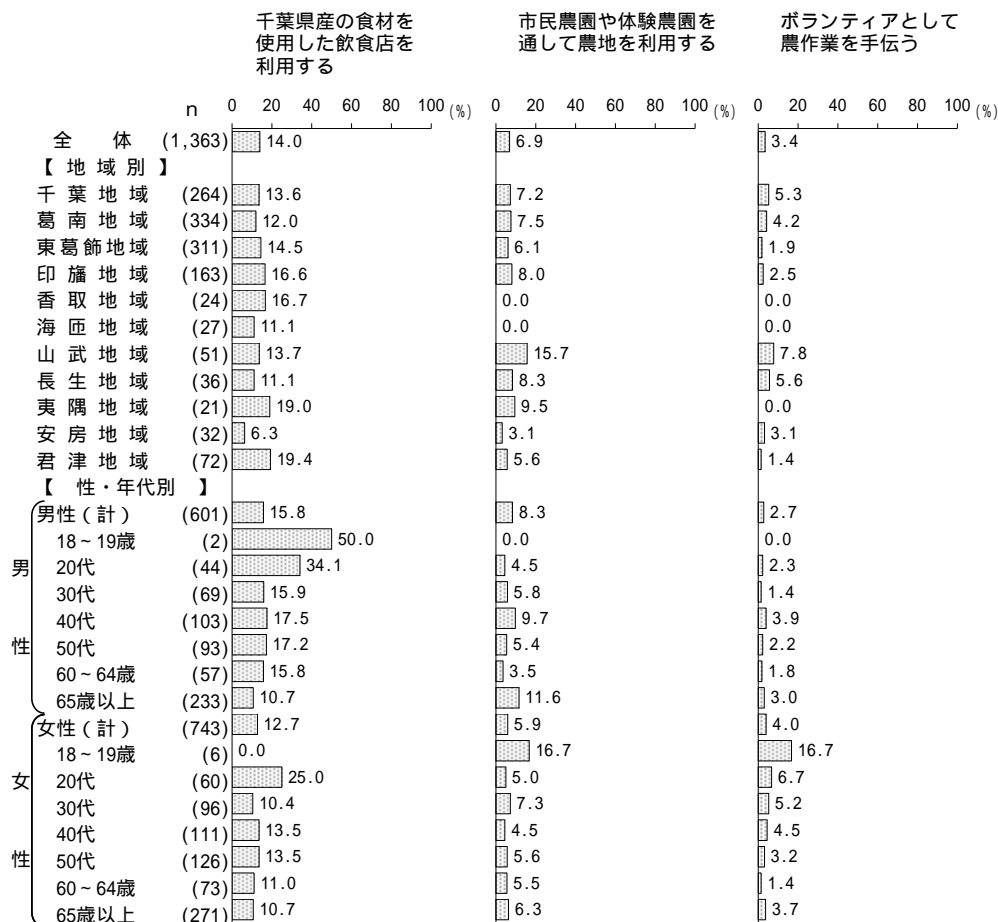
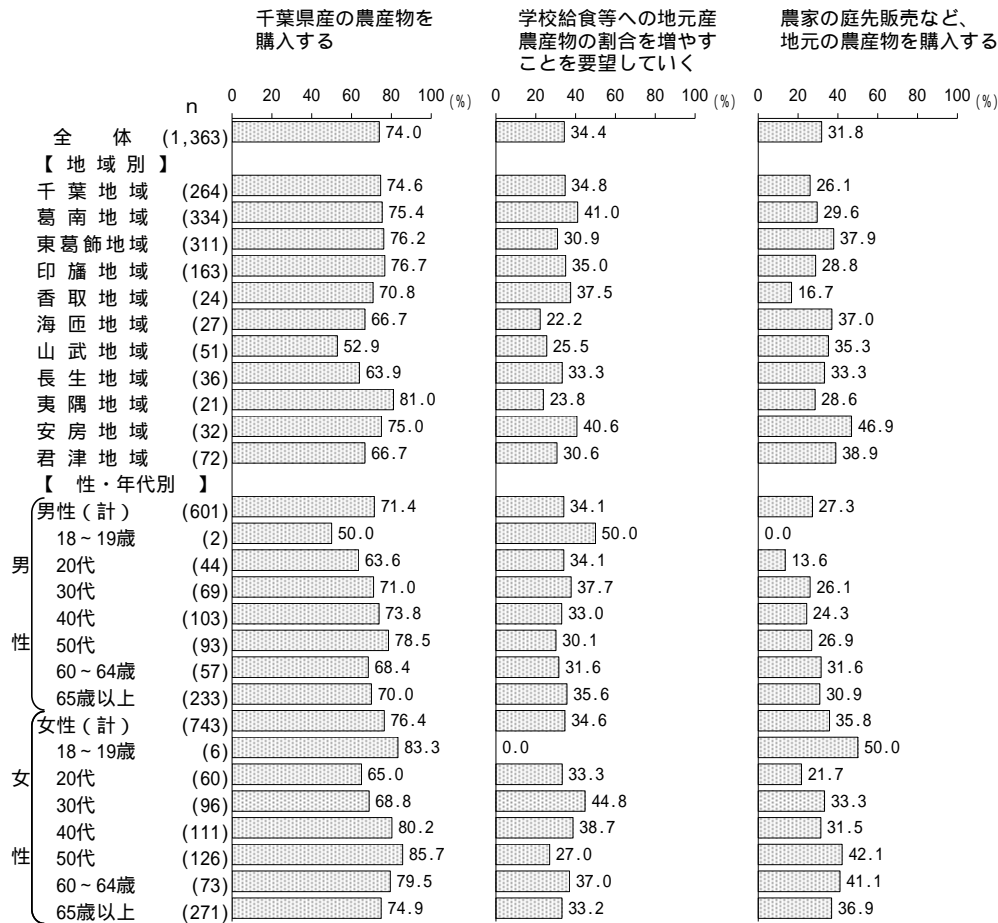
【性・年代別】

性・年代別にみると、「千葉県産の農産物を購入する」は、女性の 50 代(85.7%)で 8 割台半ばと高くなっている。

「学校給食等への地元産農産物の割合を増やすことを要望していく」は、女性の 30 代(44.8%)で 4 割台半ばと高くなっている。

「千葉県産の食材を使用した飲食店を利用する」は、男性の 20 代(34.1%)で 3 割台半ば、女性の 20 代(25.0%)で 2 割台半ばと高くなっている。(図表 9 - 10)

<図表 9 - 10> 農地を守るために行いたい支援（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）

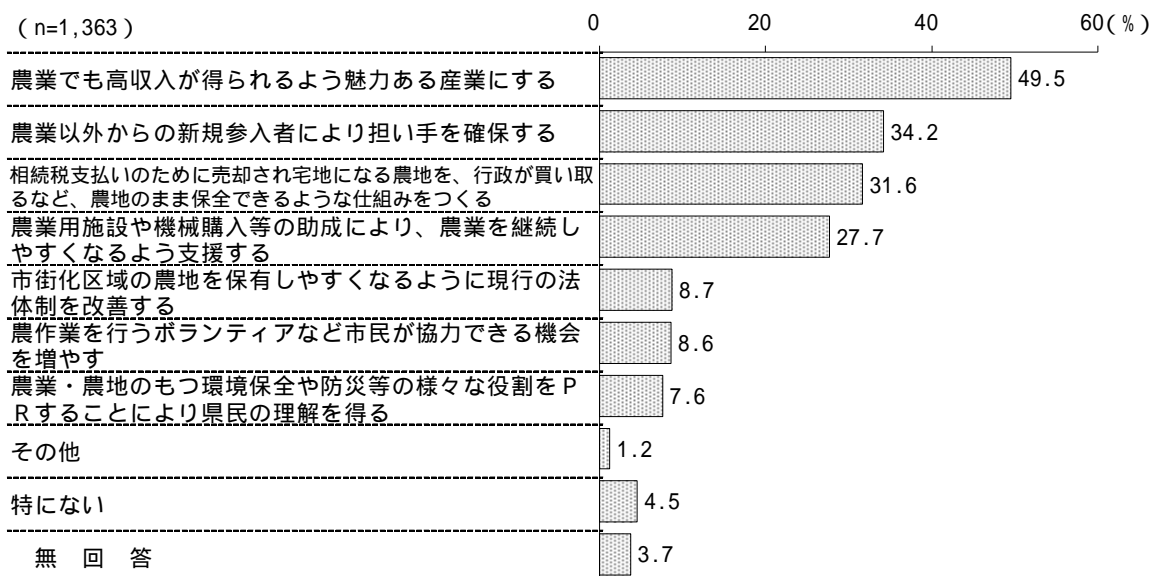


（ 6 ） 行政が農地を保全するために必要な対策

「農業でも高収入が得られるよう魅力ある産業にする」が約 5 割と最も高い

問43 あなたは、行政が農地を保全するために、どのような対策を行う必要があると思いますか。（ は 2 つまで）

< 図表 9 - 11 > 行政が農地を保全するために必要な対策（複数回答）



行政が農地を保全するために、どのような対策を行う必要があるかについて、2 つまで選んでもらったところ、「農業でも高収入が得られるよう魅力ある産業にする」（49.5％）が約 5 割と最も高く、以下、「農業以外からの新規参入者により担い手を確保する」（34.2％）「相続税支払いのために売却され宅地になる農地を、行政が買い取るなど、農地のまま保全できるような仕組みをつくる」（31.6％）「農業用施設や機械購入等の助成により、農業を継続しやすくなるよう支援する」（27.7％）と続いている。（図表 9 - 11）

【地域別】

地域別にみると、「農業でも高収入が得られるよう魅力ある産業にする」は、“夷隅地域”（66.7％）で 6 割台半ば、“安房地域”（62.5％）で 6 割を超えており、他の地域に比べて高くなっている。

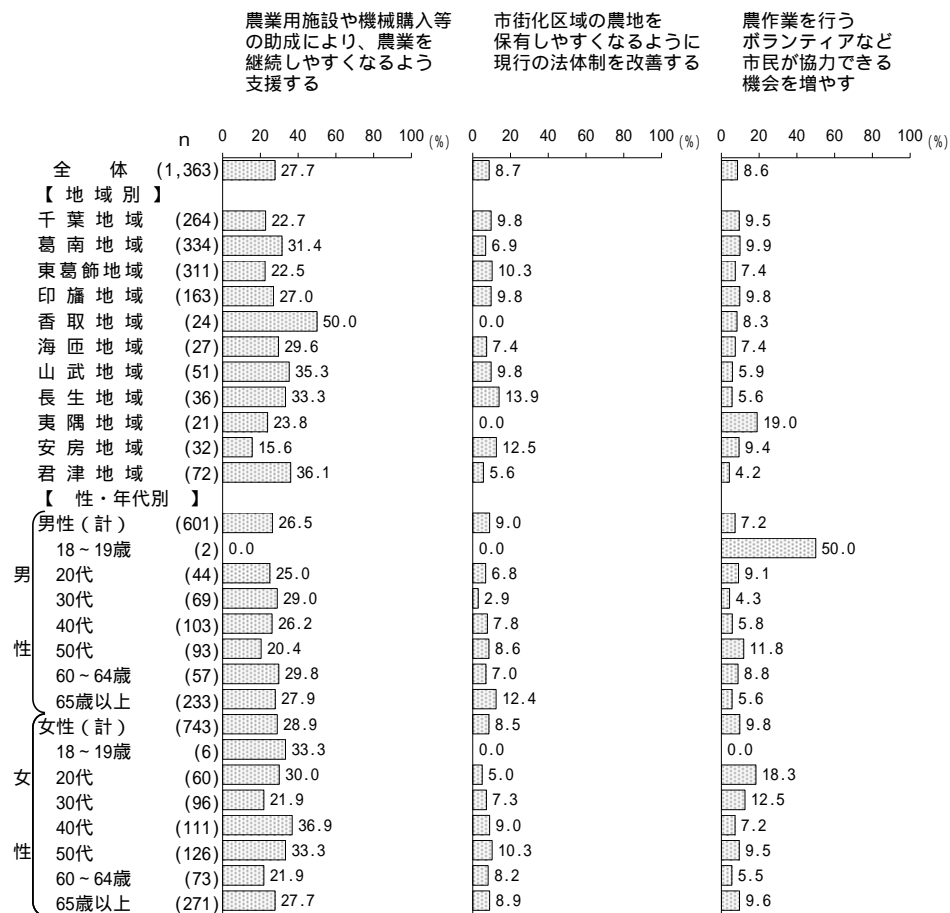
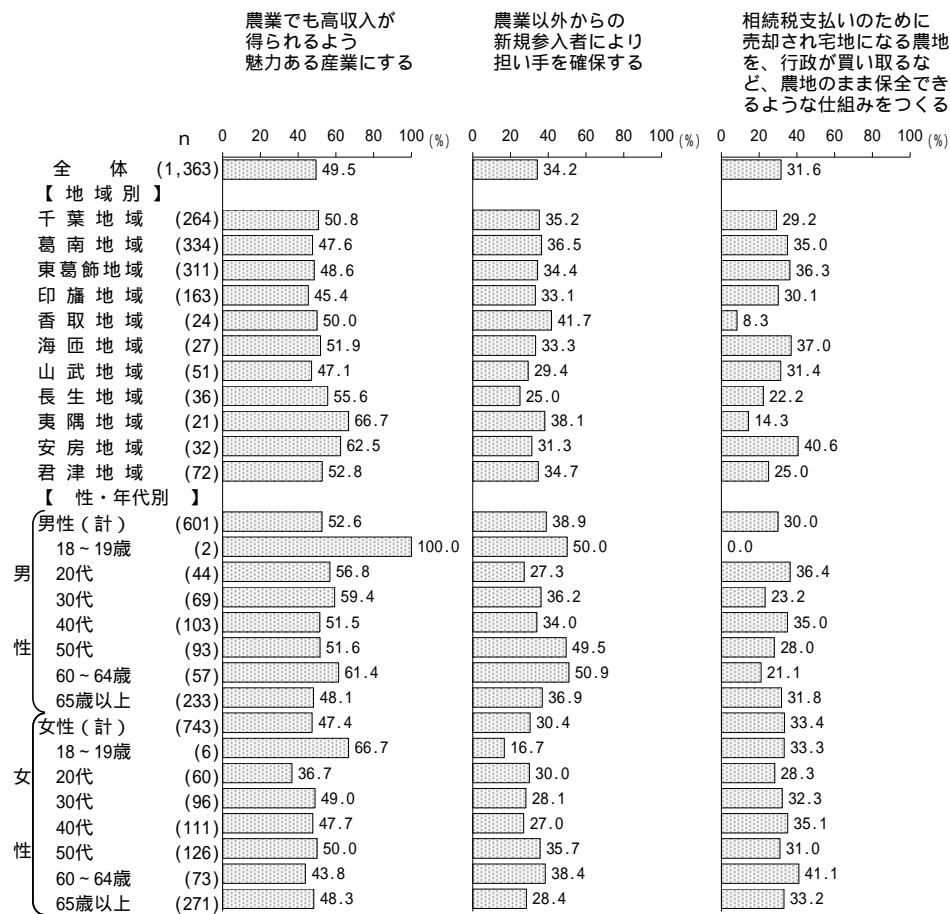
「相続税支払いのために売却され宅地になる農地を、行政が買い取るなど、農地のまま保全できるような仕組みをつくる」は、“安房地域”（40.6％）で 4 割、“海匝地域”（37.0％）で約 4 割、“東葛飾地域”（36.3％）“葛南地域”（35.0％）で 3 割台半ばと、他の地域に比べて高くなっている。

（図表 9 - 12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「農業以外からの新規参入者により担い手を確保する」は、男性の 50 代（49.5％）男性の 60～64 歳（50.9％）で 5 割と、他の年代に比べて高くなっている。（図表 9 - 12）

<図表 9 - 12> 行政が農地を保全するために必要な対策（複数回答）／地域別、性・年代別



このほかに、「都市農業について」やここまでの質問（問38～問43）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、118 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「都市農業について」の自由回答（抜粋）

農業体験や農業を少しでも身近に感じる必要がある。引き続き学校などでも取り入れていってほしいと思います。（女性、20 代、千葉地域）

学校給食で、県内産の食材を使うべきだと思う。（女性、30 代、安房地域）

周りはどんどん開発されていますが、時々田畑を見つけるとほっとします。身近に子供のころから農業体験することは「食育」だけではなく、情操教育にもなるのではと感じます。

（女性、50 代、葛南地域）

農業＝やりがいのある仕事＝しっかり休みが取れる仕組み（お金もしっかり稼げることも大切）体制作りを強化すると良いと思います。メイドインジャパンは世界でも通用するように日本国内の消費者も国内産、地元産の重要性に気づいています。食べる側としての意識が高まっているので、今度は作る側の意識が高まれば良いと思います（千葉県なら県が運営するなど、千葉県団体の農業を行う施設を設け、人を雇うなど）。（女性、30 代、千葉地域）

農業に対し興味関心を示している人は多くいると思います。ただし多くの人が農業で生計を立てていくことへの不安と資金について悩まれていると思います。新規参入者の方には、新しいアイデアや発想をもっている方も多くいると思います。新しい方が農業に入りやすいような環境の整備を求め期待します。（男性、40 代、葛南地域）

農業を保護・助成する発想ではなく、競争力強化・自立化を支援して、まずは一人立ちさせること。販売やPR（学校などでの優先した使用など）はまとめて自治体が支援していくことが望ましいと思います。（男性、40 代、東葛飾地域）

農家からの情報発信（販売力やブランド戦略）が構築できるよう、行政のサポートがあると良いと思う。（男性、40 代、千葉地域）

都内に千葉県の商品をアピールしてほしい（地方都市や海外への活動はチバTVで見ました）。

（男性、40 代、山武地域）

農家の方が農地を手放さなくても良いように手助けしてほしい、農家を守ってあげてほしい。

（女性、50 代、東葛飾地域）

休耕地が多くなっている。一般家庭への開放をして、畑の再利用をするべきではないか。自宅農業の推進を…。（男性、50 代、東葛飾地域）

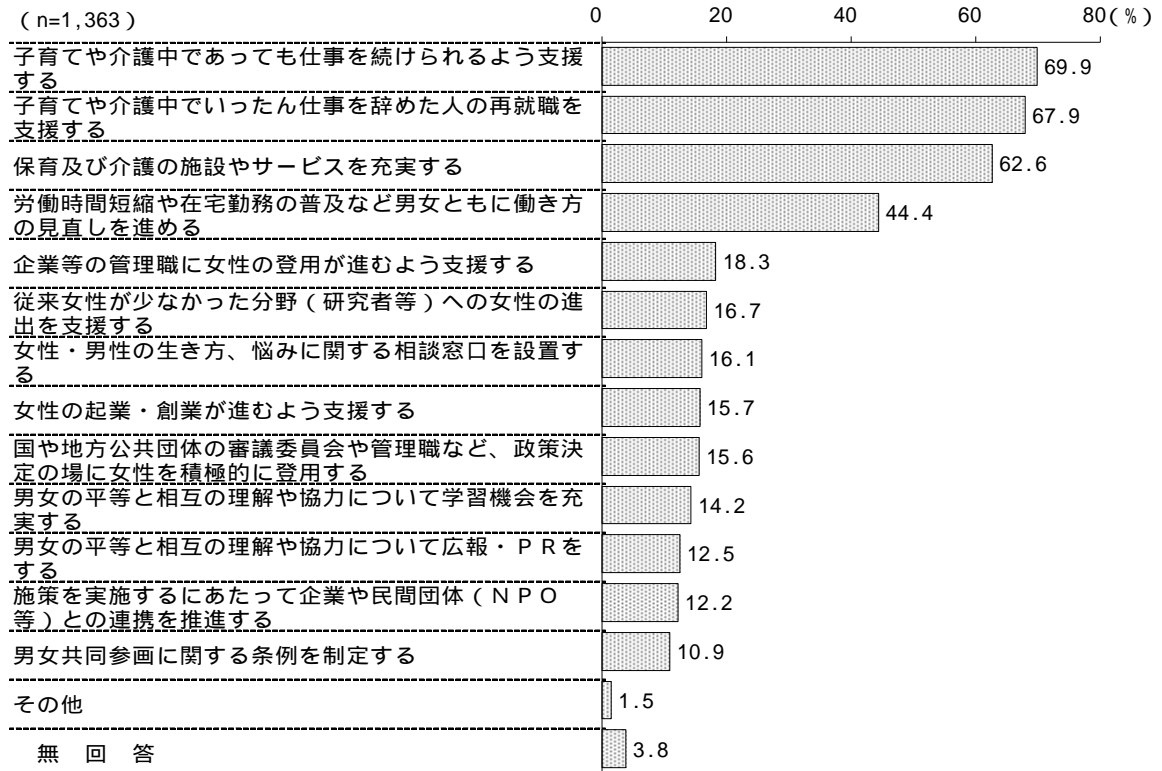
10 男女共同参画社会の形成促進について

（１）男女共同参画社会の実現のために今後行政が力を入れるべき取組

「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」が 7 割と最も高い

問44 あなたは男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、行政はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。（はいいくつでも）

<図表 10 - 1> 男女共同参画社会の実現のために今後行政が力を入れるべき取組（複数回答）



男女共同参画社会を実現するために、今後行政はどのようなことにより力を入れるべきを聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」（69.9％）が 7 割で最も高く、以下、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」（67.9％）、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」（62.6％）、「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」（44.4％）が続く。（図表10 - 1）

【地域別】

地域別にみると、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は、“海匠地域”（77.8％）で約 8 割と高くなっている。（図表10 - 2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」は、女性の 40代（79.3％）で約 8 割と高くなっている。

「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は、女性の 20代（85.0％）で 8 割台半ば、女性の 40代（76.6％）で 7 割台半ば、女性の 50代（77.0％）で約 8 割と高くなっている。

（図表10 - 2）

/ 地域別、性・年代別

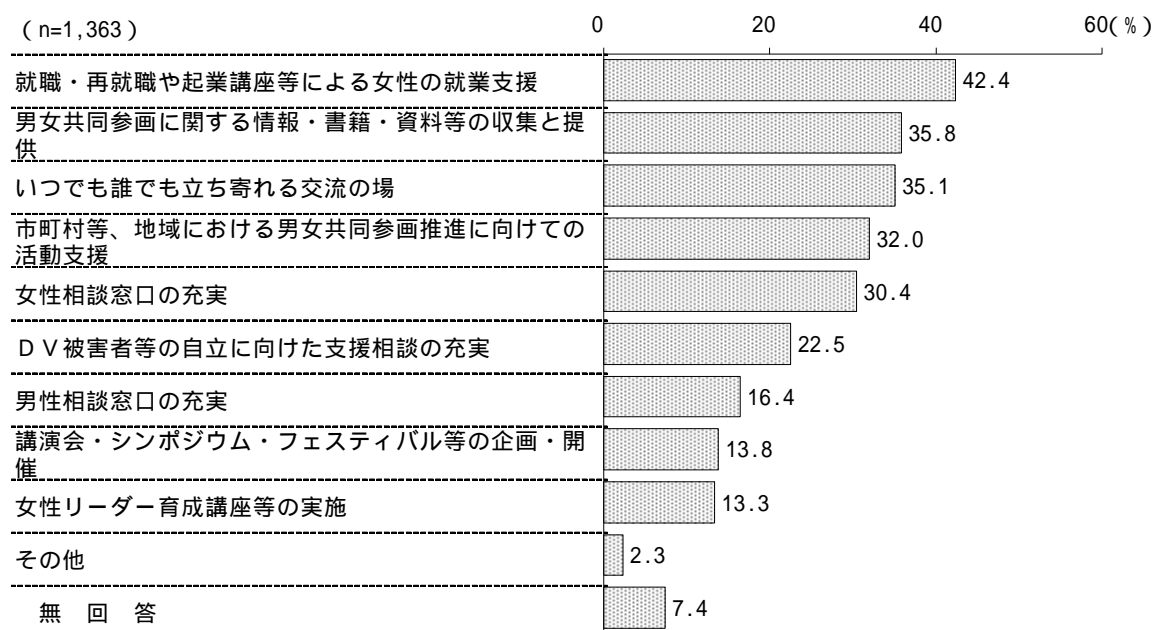


（２）男女共同参画センターで充実させるべき事業

「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」が４割を超えており最も高い

問45 県では男女共同参画推進拠点として、「男女共同参画センター」を設置しています。
あなたは、この男女共同参画センターにどのような事業を充実させるべきだと思いますか。（はいくつでも）

<図表 10 - 3> 男女共同参画センターで充実させるべき事業（複数回答）



男女共同参画センターで充実させるべき事業を聞いたところ、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」(42.4%)が４割を超え最も高く、以下、「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」(35.8%)、「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」(35.1%)、「市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援」(32.0%)、「女性相談窓口の充実」(30.4%)が続く。(図表10 - 3)

【地域別】

地域別にみると、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」は、“長生地域”(52.8%)で５割を超えて高くなっている。

「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」は、“君津地域”(44.4%)で４割台半ばと高くなっている。(図表 10 - 4)

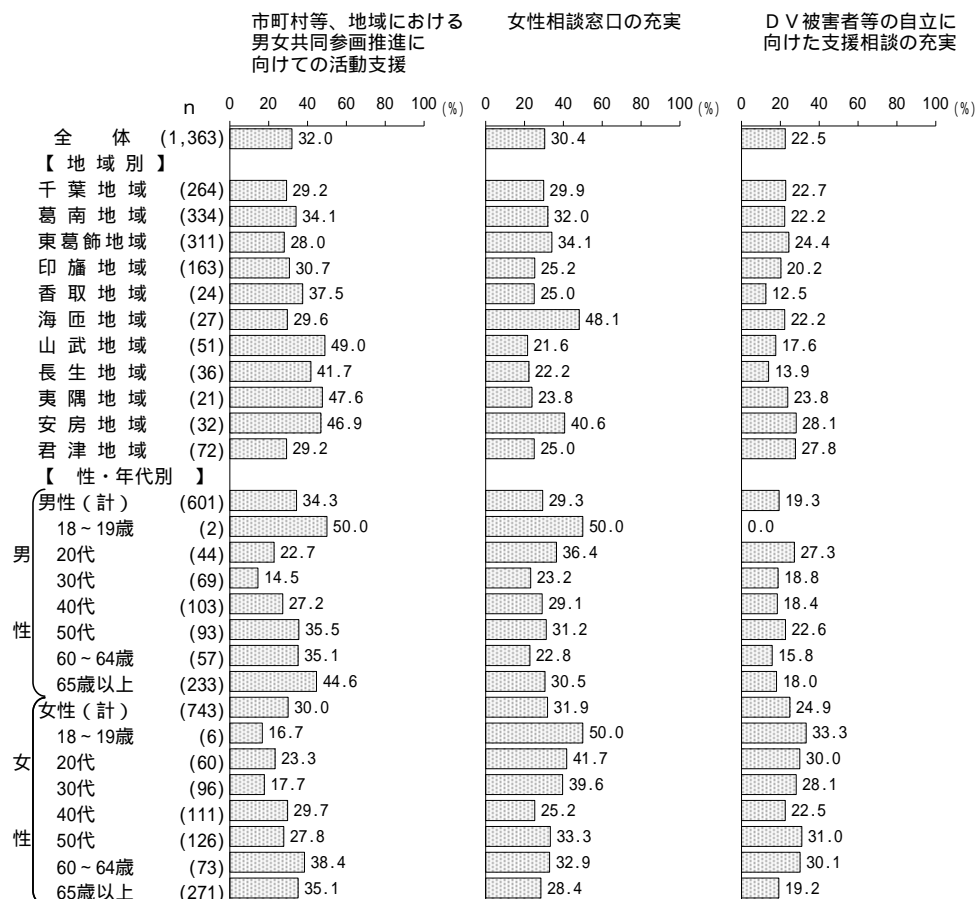
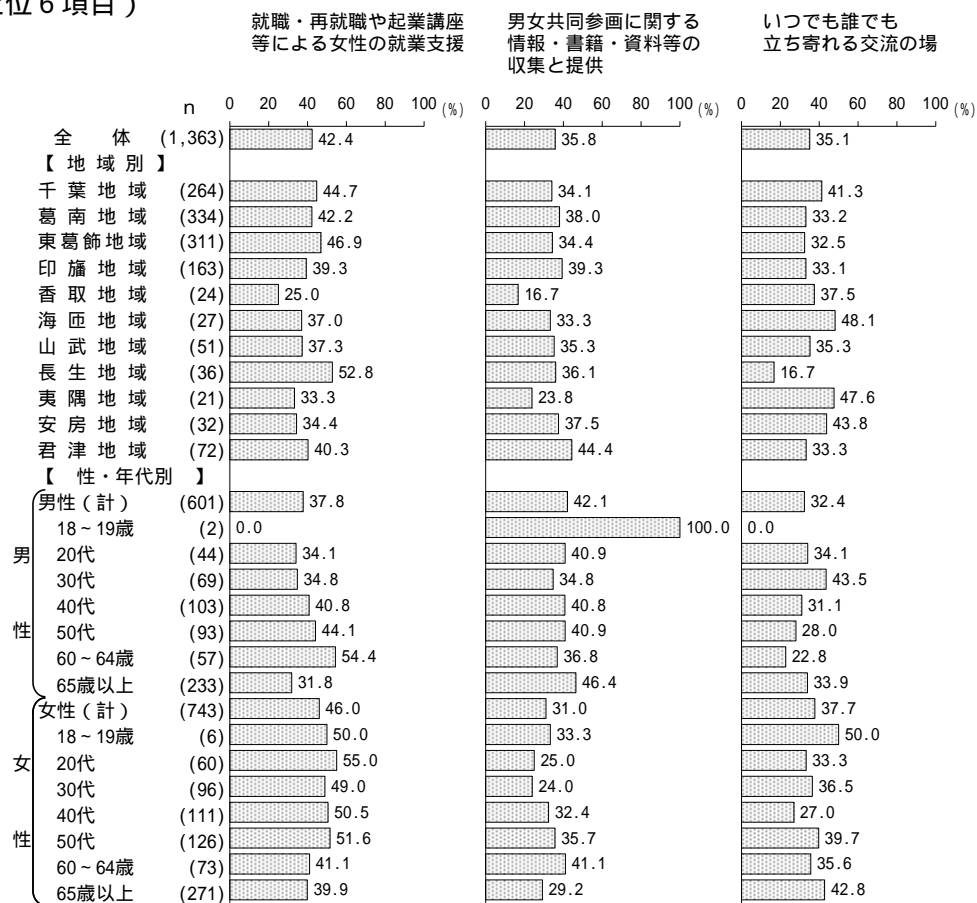
【性・年代別】

性・年代別にみると、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」は、女性の20代(55.0%)で５割台半ばと高くなっている。

「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」は、男性の65歳以上(46.4%)で４割台半ばと高くなっている。(図表10 - 4)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 10 - 4 > 男女共同参画センターで充実させるべき事業（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



このほかに、「男女共同参画社会の形成促進について」やここまでの質問（問44～問45）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、57 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「男女共同参画社会の形成促進について」の自由回答（抜粋）

なぜその必要があるのか、しなければ今後どうになってしまうのか。費用対効果を明示し、企業活動のメリットになることが理解されれば取り組みは活発になると考えます。

（女性、30 代、葛南地域）

男女の得手不得手を具象化し、補う方法を示す。会社やお店で促進するように P R する。

（女性、30 代、葛南地域）

活躍している女性の体験やキャリアを P R する機会を増やしていく。

（男性、60～64 歳、印旛地域）

男性、女性仲良くという目的ならば、定期的に交流イベントを作り、意識させない婚活の場にしてみるとか。老若男女が楽しめる場であると尚いいと思う。農作業体験イベントとか。料理教室とか。（女性、30 代、葛南地域）

男性への支援も重要と考えます。（男性、40 代、葛南地域）

日本においてはまだまだ男性と女性との差が大きいですが、少しずつでもいいかたちに育ってほしいと願います。（女性、40 代、印旛地域）

能力のある女性がたくさんいますが、環境が男性有利な状況の為、生かしてない。女性が働き易い社会への実現が必要。（男性、40 代、千葉地域）

何でも全てが同一ではない。違いを肯定的に受け入れ、柔軟に対応すれば良い。（男性、40 代、東葛飾地域）

意識を変えることが一番大切だと思う。子育て、介護は女性の仕事と思っているのなら、何も良くなれないと思う。もっと一人の人だけに重荷を背負わせないような、困っている人、弱い人を自然に助けられるような、そんな心が育ってほしい。（女性、60～64 歳、夷隅地域）

育児、介護のある人は自宅で仕事が出来たり、短時間の仕事が自由に選べれば良いと思います。

（女性、65 歳以上、東葛飾地域）

11 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、263人から延べ354件の回答が寄せられた。
記述いただいた内容は多岐にわたり、県政の各施策におおむね沿った形（合計33項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順 位	項 目	件 数
第1位	県政全般に関する要望	79
第2位	便利な交通網を整備する	23
第3位	高齢者の福祉を充実する	21
第4位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	16
第5位	県政の情報発信について	13
"	交通事故から県民を守る	13
"	犯罪防止対策をすすめる	13
第8位	道路を整備する	12
"	学校教育を充実する	12
第10位	医療サービス体制を整備する	9
"	自然を守り、緑を育てる	9
第12位	観光を振興する	8
"	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	8
第14位	雇用の場を広げる	6
"	公園・緑地・水辺を整備する	6
第16位	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	5
"	芸術・文化活動を振興する	5
第18位	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	4
"	アクアラインについて	4
第20位	災害から県民を守る	3
"	中心市街地の活性化を推進する	3
"	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	3
"	青少年を健全に育てる	3
"	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	3
"	廃棄物対策をすすめる	3
"	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する	3
"	年金生活者、生活困窮者への支援	3

（次ページに続く）

順 位	項 目	件 数
第28位	地域交流について	2
第29位	国際交流や国際協力をすすめる	1
"	省資源やリサイクルをすすめる	1
"	仕事と子育てが両立する働き方を実現する	1
"	下水道を整備する	1
"	住宅対策を充実する	1
	その他	57
	その他 うち、国政への要望	(1)
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	(7)
合 計		354

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

県政全般に関する要望

農業、漁業、工業、商業と非常にバランスのとれた良い県だと思う。各事業のバランスの良い発展を目指して欲しい。人の考え方が多様化しているが、公正な行政に期待している。

（男性、65歳以上、葛南地域）

千葉県は都市部と農漁村部があります。農漁村部は景観が美しく観光地として、また豊かな農産物や魚貝類の産地として、千葉県が誇れる地域でもあります。ただ、ここ数年過疎化が進み、このままでは地域が継続不能なところも出てきたように感じます。千葉の田舎がもっと魅力的になり、若い人たちが住んでみたいと思うような（農業や漁業でも食べていかれるような）支援をしてほしいです。（女性、50代、千葉地域）

2020東京オリンピックに向けて日本のみならず世界にも魅力ある千葉県をPRしてほしい。東京に比べて自然豊か、山のもの海のもの、美味しい食べ物、海のリゾート化計画、フェスティバルなどあればよいと思う。近代化した都市と少し離れば歴史ある遺産あり、気候も温暖で各地のアクセスも良い。もっと発展してほしいと思います。（女性、40代、千葉地域）

県政を運営される方へ、明るく、清潔な千葉県であるイメージを大切にしていきたいと思います。また、いつ起こるか分からない大地震に対しての対策も考えて、万全は無理かもしれないが力を入れていきたいと思います。（女性、65歳以上、葛南地域）

都会でない場所にも目を向けて下さい。またすごくイナカでない場所にも目を向けて下さい。頑張って生活しています。少しでも、この意見が役に立てばと思っています。子ども達の明るい未来の為に宜しくお願い致します。（女性、30代、千葉地域）

地域に強い愛着が持てる施策が必要に感じています。この点が強化すれば、活性化、定着性が生まれ、魅力ある町になると感じます。（男性、30代、東葛飾地域）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

便利な交通網を整備する

2020年に東京五輪があり、成田空港からの外国人が多く入ってくるが、東京に行く通過県にとどめずに、千葉県にも足をとめるようにすることが大事と考える。交通網、宿泊施設の整備も早急に必要。（男性、50代、東葛飾地域）

成田線が少しでも便利になってほしい。駅舎（安食駅）が整備してほしい。

（女性、50代、印旛地域）

都内へ通勤通学している人のための利便性・速達性の向上の働きかけをお願いしたいです。

（男性、20代、千葉地域）

高齢者の福祉を充実する

高齢者が孤立してしまっている印象があります。身体が不自由だとしても、認知症があったとしても社会へ出やすい参加しやすい環境を整えて下さい。又、介護職への手当が少な過ぎて、高齢化社会へ対応出来るのか不安があります。（女性、30代、葛南地域）

やはり老後が心配。特養など増やし、家計にやさしい施設を増やしてほしい。

（女性、50代、東葛飾地域）

いよいよ高齢者の比率が高くなると同時に介護と医療が重要になってきています。特に認知症の早期発見、早期治療の重要性はますます高くなりますので対策、処置をお願い申し上げます。

（男性、65歳以上、葛南地域）

次世代を担う子どもの育成支援を充実する

子育て、住みやすい県NO.1を目指してほしいです。（男性、40代、千葉地域）

もっと子供達が外で遊べる環境がほしい。公園は遊具が少ない。娘がいるのですが（低学年）、女の子達だけで遊ばせる（近くを出歩かせる）のは防犯面で心配です。

（女性、30代、印旛地域）

学童の費用が高額。助成希望。給食がない日（中学）が多すぎる。給食の充実。図書館の老朽化。図書館や学習スペースの充実。医療費助成20才まで。ホットスポットの子供たちに甲状腺エコー検査費用助成。インフルエンザ予防接種の費用助成希望。（女性、40代、東葛飾地域）

千葉県内でも市町村によって子育て支援に対して、大きな格差があると思います。もっと子育て支援に対して手厚い対策をとってほしい。保育園の充実を行うだけでも、女性の仕事への働きやすい環境ができると思います。もっともっと住みやすい環境をつくらいただき、10年、20年後も千葉県民でよかったと思える環境づくりを望んでいます。

（女性、20代、千葉地域）

県政の情報発信について

県としての新年の計画などわかりやすく公表してもらいたい。難しい説明でなく、やさしく。
（女性、65歳以上、葛南地域）

よりよい町になるよう少しでも協力できたらと思います。過密、過疎化が顕著に感じるので、郊外の地も地域発展のため努力をこれからもしてほしいと思います。都心からも近く、オリンピックも行われるので、より良い土地にしていく努力、そのための情報発信を期待します。（女性、20代、千葉地域）

交通事故から県民を守る

高齢者の事故が（認知症）心配です。免許返納に対しての特典として、高齢者の足となるものを考えて頂きたい。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

見通しの悪いところにミラーをつけるなど早急にしてほしいです。（女性、30代、千葉地域）

千葉県は他県に比べ、道路状況が悪いと思うので、道路インフラの整備を行ってほしいです。車社会が定常化した現代において、対面交差できない道路はもはや不必要だと思う。幅員を拡げることは県内の事故防止にも繋がると思うのでよろしくお願いします。
救急車両がスムーズに現場に到着できる事による早期トラブルの解決にも役立つと思います。
（男性、40代、東葛飾地域）

犯罪防止対策をすすめる

防犯カメラの設置を（住宅団地など）各市町村に働きくださる様（犯罪が少なくなると思います）。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

年々、不審者情報が増えてきていると感じるので、登下校時の安全を今一度見直して欲しいと思います。（男性、40代、葛南地域）

道路を整備する

南房総地域の道路の改善、e t c。富津館山有料道路の早期二車線化。渋滞の改善。館山市の子供達の通学路の確保。安全に登校できる様にしてほしいです。（女性、30代、安房地域）

県道の草刈り、歩道の整備をお願いしたいです。（女性、40代、夷隅地域）

ムダな道路をなくすか広げてほしい。子供が通行できる歩道の整備や、暗い道も多いので電灯なども増やしてもらいたい。（女性、40代、千葉地域）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

学校教育を充実する

教育にかかる費用を高めるべきである。学校の老朽化、教員の高齢化等、考えるべき課題は多いと思うが、未来をたくす子どもの育成に関しての経費は削るべきではない。1 人の子どもにかかる時間、人間の数を増やし、人材の育成に努めるべきであるとする。教職がブラックと呼ばれることは絶対に避けるべきである。（男性、50代、東葛飾地域）

小中高校のクーラーの設置、トイレの洋式化を要望致します。（女性、60～64歳、千葉地域）

公立高等学校が古いと感じた。整備してあげて欲しいと思う。小学校の教員の数をもっと増やした方がいいと思う。また、小中学校教員の年齢に開きがみられ、中堅層が少ないと感じるので、60才定年といわず、若い先生を支えて欲しいと思う。事務的な事をする人材を教員免許なくてもできるようにしたらいいと思う。（女性、40代、東葛飾地域）

医療サービス体制を整備する

インフラ、医療の充実をとにかくお願いします。（男性、50代、千葉地域）

いよいよ高齢者の比率が高くなると同時に介護と医療が重要になってきています。特に認知症の早期発見、早期治療の重要性はますます高くなりますので対策、処置をお願い申し上げます。（男性、65歳以上、葛南地域）

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、167人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

このアンケートによって千葉をより良く出来るのであれば次回もアンケートに参加します。

（男性、40代、山武地域）

この調査をさせていただいて自分があまり県や地域のことを見ていないなと感じた。あらためて意識をした。（女性、60～64歳、葛南地域）

日頃あまり県政に興味がないので、質問に対して的確な回答が出来ていないと思います。申し訳ございません。これからは「県民だより」等を読むように心がけます。

（女性、65歳以上、葛南地域）

住民の意見や要望を知るために必要な事業。（男性、65歳以上、君津地域）

少しページ数、質問数が多いように思いました。（女性、20～29歳、千葉地域）

もう少しボリュームを少なくしてほしいです。医療について、仕事についてなど、身近な内容を最初の方に質問を出した方が回答率が上がると思います。（女性、20代、無回答）

急に送ってこられるとびっくりします。インターネットから答えることが出来るなど、もっと気軽に対応できるようになると助かります。（女性、30～39歳、東葛飾地域）

今回は選んでいただき、ありがとうございました。直接、意見を伝えられてうれしいです。ただ、この意見が反映されるような県政であればよいと思っております。県民は、みてますよ！がんばって下さい。（女性、50代、千葉地域）

(付) 調査票および単純集計結果

ちば

第53回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 2 回答は、原則としてあてはまるものの選択肢番号に をつけてください。
質問は、(は1つ)、(は3つまで)、(はいくつでも) などと表示していますので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んでください。
- 3 お答えが選択肢の中にある場合は、「その他」を選び、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- 4 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月7日(水)までに郵便ポストにご投函ください。住所・氏名の記載は不要です。
調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
- 5 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

【県政全般に関する意識調査】

県では、中長期的な視点に立った県政運営を進めるため、県民の「暮らし満足度日本一」を基本理念に掲げ、「安全で豊かな暮らしの実現」、「千葉の未来を担う子どもの育成」、「経済の活性化と交流基盤の整備」の3つを基本目標とした総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」を平成25年10月に策定し、その実現に向けて取組の推進に努めています。

そこで、県民の皆さんの御意見を、今後の県の施策に反映していくため、県の全般的な施策に対するお考えをお聞かせください。

千葉県総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/sougou/singenkiplan.html>

問1 あなたは、防災に関する次の項目についてどう思いますか。 n = 1,363 (はそれぞれ1つ)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば いえない	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
(ア)	自助・共助・公助()の取組により、地域防災力の向上が図られている 【県の主な取組】 防災教育の推進、自主防災組織の育成、防災訓練・避難訓練の実施など	12.0	30.4	23.9	10.4	10.4	12.1	0.8	
(イ)	地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている 【県の主な取組】 庁舎・学校・文化施設等の耐震化、橋りょう等の耐震補強、河川・海岸整備(堤防・防潮堤等)の推進など	10.5	27.4	25.8	12.5	9.8	13.3	0.7	
(ウ)	大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている 【県の主な取組】 新型インフルエンザ等感染症発生時に備えた訓練、空港等の重要施設に対する警戒警備の徹底など	9.1	21.7	27.1	12.3	11.4	17.7	0.7	
(エ)	東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている 【県の主な取組】 被災者の生活支援(住宅再建支援等)、放射性物質に関する様々な情報の提供(講習会の開催等)など	7.9	20.2	27.2	15.4	15.9	12.5	0.9	

() 自助・共助・公助...「自助」とは、日頃から家庭で災害に備えるなど、自らの身の安全を自らが守ること、「共助」とは、地域で共に備え、助け合うこと、「公助」とは、消防・警察や自治体による救助や支援のこと。

問2 あなたは、暮らしの安全・安心に関する次の項目についてどう思いますか。

n = 1,363 (はそれぞれ1つ)

(ア)	犯罪が起これにくい地域社会づくりが進められている 【県の主な取組】 電話 de 詐欺撲滅のための広報啓発活動、犯罪発生マップ等による情報の提供、スーカース案等への対応など	11.2	30.3	24.8	13.4	10.8	8.7	0.9
(イ)	県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている 【県の主な取組】 飲酒運転根絶対策の推進、高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくりの推進、悪質・危険な自転車運転取締りの強化など	8.0	21.4	27.0	18.2	18.3	6.2	0.8
(ウ)	安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている 【県の主な取組】 県消費者センターの運営、消費者トラブル情報の提供、悪質事業者の指導・取締り、商品の適正表示の推進など	6.8	23.8	32.9	12.7	8.4	14.2	1.1

問3 あなたは、医療・福祉・健康づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

n = 1,363 (はそれぞれ1つ)

(ア)	安心して良質な医療を受けられる体制の整備が進められている 【県の主な取組】 救命救急センター（24時間応需体制）の支援、ドクターヘリの運営、小児救急医療に係る夜間・休日診療所運営の支援、医師・看護職員確保・定着対策の推進など	14.0	35.3	24.4	9.5	7.9	8.1	0.8
(イ)	健康寿命（ ）の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている 【県の主な取組】 生活習慣病の予防のための特定健診の支援、がんの予防・早期発見の推進、食育の推進など食を通じた健康づくりなど	13.4	38.5	26.1	7.9	4.8	8.4	0.9
(ウ)	介護・福祉サービスの整備や地域で互いに支え合う体制づくりなど、高齢になっても住み慣れた地域で暮らせる社会づくりが進められている 【県の主な取組】 特別養護老人ホームの整備促進、介護予防の推進、福祉・介護人材確保・定着対策の推進など	8.5	22.4	28.6	14.4	13.1	12.3	0.7
(エ)	障害のある人が地域社会の中で、人々と共生し、その人らしく暮らせる社会づくりが進められている 【県の主な取組】 障害者グループホーム・ケアホームの整備促進、地域における相談支援体制の充実など	6.8	20.2	30.8	13.5	10.6	17.3	0.7

() 健康寿命...一生のうち、健康で支障なく日常生活を送れる期間のこと。

(オ)	地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている 【県の主な取組】 地域づくりを総合的にコーディネートする人材の育成、県民のボランティア活動への参加促進など	そう思う	い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え な い	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
		4.8	16.7	31.5	15.5	12.0	15.9	3.7	

問4 あなたは、文化・スポーツ振興に関する次の項目についてどう思いますか。

n = 1,363 (はそれぞれ1つ)

(ア)	千葉県に対する愛着や誇りが育まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている 【県の主な取組】 文化芸術団体への支援、文化財の保存整備の支援、市町村・企業等と連携した県民の日に係る事業の展開など	6.1	26.9	32.0	10.6	7.1	16.0	1.3
(イ)	スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている 【県の主な取組】 スポーツ施設の整備や指導者の育成、高齢者や障害のある人のスポーツ推進、「ちばアクアラインマラソン」等の大規模大会の企画・運営など	13.0	38.3	23.2	7.4	5.1	11.7	1.2

問5 あなたは、環境問題に関する次の項目についてどう思いますか。 n = 1,363(はそれぞれ1つ)

(ア)	地球温暖化対策が進められている 【県の主な取組】 再生可能エネルギーの導入・省エネルギーの推進による温室効果ガスの削減、森林の保全・整備及び都市の緑の保全・創出など	5.8	17.5	31.5	15.0	11.6	17.1	1.5
(イ)	ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている 【県の主な取組】 先進的なリサイクル技術の普及促進、ちばレジ袋削減エコスタイルの推進など	13.6	39.0	23.3	9.4	7.3	6.4	1.0
(ウ)	自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている 【県の主な取組】 国定公園・県立自然公園などの保全、光化学スモッグの低減対策の推進、生活排水対策の推進、土壌汚染対策の適切な指導など	8.0	24.1	30.2	12.3	8.5	16.0	1.0

問6 あなたは、子育てや教育に関する次の項目についてどう思いますか。 n = 1,363(はそれぞれ1つ)

(ア)	子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている 【県の主な取組】 保育や幼児教育等の充実、就職に結びつく効果的な職業訓練など	6.2	19.6	30.7	14.7	11.7	15.9	1.2
-----	--	-----	------	------	------	------	------	-----

(イ)	親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている 【県の主な取組】 子ども医療費の助成、短時間勤務制度導入など ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境づくりの普及促進、民間企業との連携による男女共同参画の意識の普及・啓発など	6.7	17.5	27.9	13.3	13.4	19.7	1.4
(ウ)	保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている 【県の主な取組】 民間保育所の整備促進、小規模保育・家庭的保育等の多様な待機児童対策の推進、保育士確保対策の推進など	6.3	17.2	28.2	12.9	13.1	21.1	1.2
(エ)	子どもたちが、自らの生き方を考え、高い志を持ち、様々な課題を乗り越えて生きていく力を育むための取組が進められている 【県の主な取組】 確かな学力の向上、子どもや若者の社会参画の促進、外国語教育の充実など	4.6	16.0	31.0	14.5	11.5	20.7	1.6
(オ)	知・徳・体のバランスの取れた元気な人材を育てる教育環境づくりが進められている 【県の主な取組】 家庭や地域での読書活動の推進、道徳性・規範意識・社会貢献態度の育成、子どもの健康・体力づくりなど	5.0	16.7	31.2	13.1	11.3	21.2	1.5
(カ)	家庭・学校・地域・企業などが相互に協力して子どもたちの育成にかかわっている 【県の主な取組】 家庭教育への支援、企業や大学・研究機関等との連携による職場体験の充実など	5.6	18.3	30.4	11.8	10.9	21.3	1.7
(キ)	社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者に対して、状況に応じた支援を行っている 【県の主な取組】 子どもの貧困問題への対応、非行防止対策、ニート・ひきこもり相談窓口など	4.3	11.7	28.7	13.9	14.5	25.3	1.5

問7 あなたは、千葉県の魅力づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

n = 1,363 (_ はそれぞれ1つ)

(ア)	「行きたい地域」「暮らしたい・働きたい地域」「買いたい製品の生産地」として選んでもらえるような県の魅力が国内外に発信されている 【県の主な取組】 県広報誌、インターネット等を利用した県政情報や魅力情報等の発信、市町村・関係団体との連携による移住・定住の促進、県産農林水産物のプロモーションの実施など	7.0	26.1	29.8	11.2	10.2	14.7	1.0
-----	---	-----	------	------	------	------	------	-----

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
(イ)	国際交流や国際協力が活発で、海外市場への販路開拓や外国人観光客の積極的な誘致が行われている 【県の主な取組】 海外に向けた本県の魅力等の情報発信、海外販路拡大セミナー等の実施、東アジア・東南アジアを対象とした観光プロモーションの実施など	4.8	17.9	27.3	11.2	8.3	26.4	4.2
(ウ)	成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている 【県の主な取組】 年間発着回数30万回の早期実現の促進、圏央道、外環道、北千葉道路など高規格幹線道路等の整備促進など	14.4	39.0	19.3	8.1	5.9	11.8	1.5
(エ)	東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている 【県の主な取組】 かずさアカデミアパークへの企業誘致、茂原市・袖ヶ浦市における工業団地の整備など	11.8	36.8	20.8	7.0	4.6	17.4	1.5
(オ)	県の魅力を十分に生かした観光地づくりが進められている 【県の主な取組】 季節やテーマに応じた観光キャンペーンの実施、トイレや駐車場など観光関連施設の整備など	8.4	28.1	29.9	10.8	8.6	12.8	1.5

問8 あなたは、商工業や農林水産業の活性化に関する次の項目についてどう思いますか。

n = 1,363 (はそれぞれ1つ)

(ア)	県内への企業立地の促進や新製品・新技術開発への支援などにより、県経済の活力向上が図られている 【県の主な取組】 健康・医療、環境エネルギー等の成長産業の育成・振興、助成制度を活用した企業立地の促進など	4.4	13.4	31.3	10.6	6.6	32.0	1.7
(イ)	資金の貸付や販路開拓に向けた支援などにより、中小企業の経営基盤の強化が進められている 【県の主な取組】 中小企業振興資金の貸付け、「ものづくり認定制度」による優れた製品のPR、ものづくり技術展示・商談会の実施など	3.2	11.0	32.1	9.5	5.4	37.2	1.7
(ウ)	商店街の振興や、地域企業の県産品を活用した商品化への支援などにより、地域産業の活性化が進められている 【県の主な取組】 商店街若手リーダーの育成、地域資源を活用して中小企業者が行う新商品等開発事業の支援など	3.4	10.7	29.1	13.4	10.1	31.8	1.5

(エ)	職業能力開発や県の就労支援施設での相談など、きめ細やかな就労支援が行われるとともに、企業における働きやすい環境づくりが進められている 【県の主な取組】 就職に結びつく効果的な職業訓練、年齢・性別などに関わらず、意欲能力を生かして働くことができる職場環境づくりの促進など	4.3	11.6	30.3	14.5	9.8	28.2	1.5
(オ)	高い生産技術力と消費者ニーズを捉えた販売戦略により、千葉の農林水産物のブランド化が進むとともに、輸出の拡大など、力強い農林水産業の確立に向けた取組が進められている 【県の主な取組】 海外販路拡大セミナー等の実施、新品種の開発や改良等の様々な技術開発など	4.1	16.1	29.6	9.6	6.3	32.7	1.5
(カ)	農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている 【県の主な取組】 都市と農山漁村との交流の活性化、農林水産物の直売所や加工所、農家レストラン等の情報発信など	6.3	23.8	26.9	9.2	7.0	25.2	1.6

問9 あなたは、県の基盤づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

n = 1,363 (はそれぞれ1つ)

(ア)	鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている 【県の主な取組】 国道及び県道のバイパス・現道拡幅の整備促進、大型船舶に対応した岸壁の整備、地域公共交通の維持・確保に対する支援など	9.5	32.7	22.9	9.4	10.3	13.4	1.8
(イ)	道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている 【県の主な取組】 点検・補修の着実な実施による道路・河川・港湾施設等の長寿命化の推進、アクアラインの通行料金引下げ（ETC普通車800円など）など	11.0	33.7	23.0	10.1	7.4	13.1	1.6
(ウ)	バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、快適に暮らすことができるまちづくりが環境に配慮しつつ進められている 【県の主な取組】 鉄道駅バリアフリー設備の整備促進、景観セミナー等による啓発活動の実施及び市町村支援など	7.3	27.2	26.6	12.5	11.4	13.4	1.5

(すべての方に)

このほかに、県が今後力を入れていくべき分野や取組について、ご意見があればご自由にお書きください。

【県民の文化芸術活動に関する調査について】

県では、「ちば文化」の創造と千葉県民のアイデンティティの醸成を通じて、心豊かに暮らし、活力ある千葉県を目指して、「ちば文化振興計画」を策定し、「ちば文化」に親しめる環境をつくるとともに、情報発信や文化資源の活用に取り組んでいます。

問 10 この１年間にあなたが住んでいる地域や県内の文化施設などで、直接鑑賞したり、触れたりした文化芸術は何ですか。 n = 1,363 (はいいくつでも)

6.5 文芸（詩、俳句、小説など）	6.5 演芸（落語、講談、漫才など）
9.2 クラシック音楽	10.8 生活文化（茶道、華道、書道、盆栽など）
8.7 ポピュラー音楽	1.8 国民娯楽（囲碁、将棋など）
3.1 日本の伝統音楽	12.7 地域の歴史・文化財・郷土芸能（神楽、獅子舞など）
18.7 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）	9.2 写真
9.2 写真	21.9 自然（動物・植物）、科学、産業など
3.6 演劇（現代劇、ミュージカルなど）	33.4 鑑賞したり触れたりしたものはなし
5.3 舞踊（バレエ、ダンスなど）	2.4 その他
29.1 映画、漫画、アニメなど	（具体的に
4.5 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、文楽、日本舞踊など）	3.2 無回答

(問 10 で「鑑賞したり触れたりしたものはなし」以外を回答した方に)

問 11 どこで鑑賞したり触れたりしましたか。 n = 865 (はいいくつでも)

31.1 美術館、博物館、資料館、市民ギャラリー等
40.7 文化会館、市民ホール、劇場等
16.5 図書館等
38.8 映画館
8.1 メッセ、アリーナ、体育館等
24.3 公民館、コミュニティセンター等
6.9 学校、幼稚園等
15.8 神社、仏閣等
28.6 駅周辺の広場、公園、屋外広場、ショッピングセンターのイベントスペース等
3.2 その他（具体的に

(問 10 で「鑑賞したり触れたりしたものはなし」以外を回答した方に)

問 12 この 1 年間でどのくらいの頻度で鑑賞したり触れたりしましたか。 n = 865 (一つ)

12.5	1 回	57.9	2 ~ 5 回程度	
9.2	6 ~ 9 回程度	11.2	10 回以上	9.1 無回答

(問 10 で「鑑賞したり触れたりしたものはなし」とお答えの方に)

問 13 その理由は何ですか。 n = 455 (はいいくつでも)

11.2	文化芸術に対し、そもそも関心がないから	
25.5	興味のある内容の文化芸術の催し物がないから	
27.0	催し物の情報が得られないから	
12.7	近隣に、文化施設等がないから	
19.1	県外(東京都など)の文化施設を利用するから	
4.4	催し物等の料金が安いから	
29.2	家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから	
30.5	仕事等(育児・介護等含む)で忙しく鑑賞に出かけられないから	
23.3	自分の都合のよい日時に開催されていないから	
8.1	その他(具体的に) 1.8 無回答

問 14 地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が必要だと思いますか。

n = 1,363 (はいいくつでも)

15.3	芸術家や文化団体の活動の支援	
14.7	文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用	
26.9	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	
38.1	子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実	
30.9	文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実	
25.6	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	
33.1	地域の芸術や祭りなどの継承・保存	
34.6	地域の文化に関わる情報の提供	
3.0	その他(具体的に) 9.8 無回答

(すべての方に)

このほかに、「県民の文化芸術活動について」やここまでの質問(問 10~問 14)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【医療について】

問 15 あなたは千葉県内の医療についてどう感じですか。

n = 1,363 (は 1 つ)

3.7 非常に満足している	32.9 やや不満である	10.8 わからない
42.3 まあ満足している	6.7 非常に不満である	3.6 無回答

→(問 15 で「やや不満である」「非常に不満である」とお答えの方に)

問 16 あなたは、どのような点に不満を感じていますか。

n = 540 (は 3 つまで)

68.0 診療までの待ち時間が長い
14.6 通院や入院に当たって近くに医療機関がない
11.5 在宅医療（訪問診療や訪問看護など）の提供体制が十分ではない
36.1 夜間・休日の診療体制が十分ではない
23.1 初診の際にどの医療機関（診療科）を受診したらいいのかわかりにくい
26.1 医療機関ごとに得意とする診療科がわからない
16.5 症状や治療に関しての説明が十分ではない
4.8 診療所や病院から他の医療機関への紹介がスムーズに行われない
3.0 病院退院後に自宅や施設等での在宅医療にスムーズに移行できない
10.7 医療機関の連携体制に関する情報提供が十分ではない
13.5 長期療養のための入院施設等が十分に整備されていない
9.3 その他（具体的に) - 無回答

問 17 あなたが今後、県に力を入れて欲しい医療について、次の中から選んでください。

n = 1,363 (は 3 つまで)

34.0 がん医療	31.2 在宅（訪問）医療
18.0 循環器（心臓病・脳卒中）医療	24.3 地域単位の医療
29.6 救急救命医療	（その地域で完結する医療全般）
6.7 精神科（救急）医療	7.4 特になし
16.7 小児科（救急）医療	2.9 その他
10.3 産科・周産期医療	（具体的に)
34.8 老年医療	3.5 無回答

（すべての方に）

このほかに、「医療について」やここまでの質問（問 15～問 17）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【環境保全に関する取組について】

現在の環境問題は、人間のあらゆる活動がもたらす環境への負荷が自然の持つ復元能力を上回っていることから生じています。この解決のためには、一人ひとりの県民が日常生活において環境への配慮を行うとともに、環境保全のための活動に取り組んでいくことが必要です。

問 18 あなたは普段の生活で次のようなことを行っていますか。n = 1,363 (はそれぞれ 1 つ)

	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
(ア) 節電に努めている	51.4	37.9	7.5	1.9	0.2	1.2
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする	61.3	27.1	6.8	1.8	1.5	1.5
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	40.1	30.8	18.9	4.8	2.6	2.8
(エ) レジ袋をもらわない	35.1	38.2	12.3	12.3	0.4	1.8
(オ) 車の急発進・急加速はしない	52.9	15.7	5.3	2.0	18.9	5.3
(カ) 駐停車時に不要なアイドリングを行わない	51.6	14.7	6.7	2.4	19.0	5.6

問 19 あなたはこれまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。n = 1,363 (は 1 つ)

25.3	参加したことがある	
34.5	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	
23.2	参加したことはなく、あまり参加したいと思わない	
14.3	参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない	
1.5	その他（具体的に	1.2 無回答

(すべての方に)

このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問(問 18～問 19)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【道路整備について】

道路は、自動車、自転車、歩行者の通行、人や物資の輸送のための役割を持つほか、市街地の形成、災害時救援活動の支援や延焼の防止、緩衝空間、ライフラインの収容などの様々な役割を有しています。

問 20 あなたは普段の生活の中でどのような目的で「道路」を利用することが多いですか。

一番と思われるものを選んでください。 n = 1,363 (は 1 つ)

38.0 通勤・通学	42.8 家事・買物
2.9 観光・レジャー	2.3 業務（営業・配送など）
0.4 業務（長距離の運送など）	1.6 その他（具体的に ） 11.9 無回答

* 「道路」を利用する手段は、徒歩・自転車・バイク・自動車など全てを含みます。

* 「業務（営業・配送など）」は営業や宅配などの近距離の業務を、「業務（長距離の運送など）」は大都市間の荷物の運送など長距離の業務を指します。

問 21 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。 n = 1,363 (は 1 つ)

15.8 満足している	49.9 満足していない
31.8 どちらでもない	2.5 無回答

問 22 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いませんか。

n = 1,363 (はいいくつでも)

46.4 災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）
49.6 渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）
55.2 交通事故対策（通学路の歩道設置など）
38.5 バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）
38.2 自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）
24.4 バスなどの公共交通機関への支援（バスレーンの整備など）
19.2 既存道路の有効活用（高速道路料金の引下げ、インターチェンジの増設など）
26.5 維持管理の充実（清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など）
24.9 わかりやすい案内標識などの整備
17.1 道路景観の改善（電線類の地中化、植樹など）
17.0 大気汚染や騒音などの環境対策
12.1 カーナビ情報の充実（地図情報、渋滞情報の充実など）
4.1 その他（具体的に ） 2.0 無回答

(すべての方に)

このほかに、「道路整備について」やここまでの質問(問 20～問 22)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【県民の治安に対する意識と警察に求めることについて】

問 23 あなたが住んでいる地域における最近の犯罪の発生状況についてどう感じますか。

n = 1,363 (は 1 つ)

4.3 非常に多くなったと感じる	8.4 少なくなったと感じる
26.2 多くなったと感じる	0.7 非常に少なくなったと感じる
34.0 変わらない	23.8 わからない
	2.6 無回答

問 24 あなたが、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が犯罪に巻き込まれる危険性について不安を感じている犯罪はありますか。 n = 1,363 (はいいくつでも)

21.6 殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪
56.2 電話 de 詐欺や悪質商法などの詐欺
42.1 暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪
43.2 自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪
35.7 家や会社などに侵入して金品を盗む犯罪
14.0 外国人や暴力団などの組織を背景に行われる犯罪
15.8 危険ドラッグ・麻薬・覚醒剤の使用などの薬物犯罪や薬物使用に起因する犯罪
22.3 痴漢、強姦などの性的犯罪
11.5 DV・ストーカー行為
32.4 子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪
7.7 歓楽街における客引きや違法風俗営業などの犯罪
18.0 非行少年、暴走族等による犯罪
30.7 インターネットを利用した犯罪(サイバーテロを含む)
9.0 国際テロ組織による大規模なテロ犯罪や過激派集団によるゲリラ行為
45.2 飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反
2.0 その他(具体的に)
7.0 特になし
2.1 無回答

問 25 あなたが、警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪は何ですか。

n = 1,363 (はいいくつでも)

- | | |
|--|---------|
| 42.1 殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪 | |
| 50.9 電話 de 詐欺や悪質商法などの詐欺 | |
| 47.7 暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪 | |
| 38.2 自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪 | |
| 37.1 家や会社などに侵入して金品を盗む犯罪 | |
| 24.7 外国人や暴力団などの組織を背景に行われる犯罪 | |
| 31.4 危険ドラッグ・麻薬・覚醒剤の使用などの薬物犯罪や薬物使用に起因する犯罪 | |
| 31.0 痴漢、強姦などの性的犯罪 | |
| 19.4 DV・ストーカー行為 | |
| 43.7 子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪 | |
| 13.1 歓楽街における客引きや違法風俗営業などの犯罪 | |
| 28.8 非行少年、暴走族等による犯罪 | |
| 26.4 インターネットを利用した犯罪（サイバーテロを含む） | |
| 16.9 国際テロ組織による大規模なテロ犯罪や過激派集団によるゲリラ行為 | |
| 54.2 飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反 | |
| 3.8 その他（具体的に | 2.6 無回答 |

問 26 あなたは犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要だと思いますか。

n = 1,363 (は3つまで)

- | | |
|---|---------|
| 15.8 警察官を増やし、警察力を強化する | |
| 31.8 警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する | |
| 28.5 パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する | |
| 19.1 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所を新設する | |
| 27.4 高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、電話 de 詐欺等） | |
| 18.7 子どもや女性に対する性犯罪等の未然防止対策を推進する | |
| 23.0 学校等における非行防止、通学路における安全確保を推進する | |
| 10.1 最先端技術を駆使した装備や機材を導入するなど、警察の科学捜査力を充実させる | |
| 19.5 警察と地域住民が連携して行う防犯パトロールや防犯講習会の開催など、防犯活動を推進する | |
| 5.1 民間企業のセキュリティーシステムに加入するなど、自己防衛力を強化する | |
| 42.6 街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する | |
| 16.0 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりを推進する | |
| 2.4 その他（具体的に | 2.3 無回答 |

(すべての方に)

このほかに、「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」やここまでの質問(問23～問26)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)について】

問27 あなたは、見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸を出来ると思いますか。()

()一般的な救急蘇生法では、倒れている人の意識や呼吸がない場合、胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸(人工呼吸はできる場合のみ)を実施することとなっています。

n = 1,363 (は1つ)

28.3 できる

70.3 できない

1.4 無回答

→ (問27で「できない」とお答えの方に)

問28 胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸ができないと思う理由は何ですか。

n = 958 (はいいくつでも)

56.9 やり方がわからない(忘れた)から

40.0 やり方はわかるが、できる自信がないから

20.1 救急隊を待った方が良いと思うから

14.3 責任を問われたくないから

8.1 人工呼吸に抵抗があるから

2.9 その他()

0.4 無回答

問29 AED(自動体外式除細動器)()という機器について見聞きしたり、使ったことがありますか。

()意識や呼吸がない人が心停止になっているかを判断する機能を持ち、心停止と判断した場合に電気ショックを与えて心臓を動かす機器

n = 1,363 (は1つ)

47.5 見たり聞いたりしたことがある

40.5 使い方を学んだことがある

0.5 実際に倒れた人に使ったことがある

8.7 1～3のいずれもない

2.8 無回答

問 30 もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場に AED があれば、あなたはその人に AED を使用することができますか。 n = 1,363 (は 1 つ)

35.1 できる

64.0 できない

0.9 無回答

→(問 30 で「できない」とお答えの方に)

問 31 AED を使用できないと思う理由は何ですか。

n = 872 (はいくつでも)

62.3 使用方法がわからない (忘れた) から

48.5 AED を使用するべき状態かどうかわからないから

21.2 救急隊を待った方が良く思うから

13.6 責任を問われたくないから

3.7 その他 (

)

0.5 無回答

問 32 応急手当の講習をどこで受講できると良いですか。

n = 1,363 (はいくつでも)

36.0 消防署

31.5 市役所

18.9 保健所

8.2 警察署

42.9 学校 (授業の一環)

34.5 自身の職場

12.9 その他 (

)

4.5 無回答

(すべての方に)

このほかに、「心肺蘇生法及び A E D (自動体外式除細動器) について」やここまでの質問 (問 27 ~ 問 32) について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【ワーク・ライフ・バランスについて】

県では、「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) 」を図ることができる働き方の実現を目指して様々な取組を進めています。

問 33 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) 」 () という言葉を知っていますか。 n = 1,363 (は 1 つ)

33.1 言葉も意味も知っている

41.5 知らない

23.5 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない

2.0 無回答

() ワーク・ライフ・バランスとは

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態です。

問 34 あなたのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、どの程度実現されていますか。
n = 1,363（ は 1 つ）

8.7 仕事と生活の調和が十分にとれている	
33.5 どちらかといえば仕事と生活の調和がとれている	
15.4 どちらかといえば仕事と生活の調和がとれていない	
13.4 仕事と生活の調和はとれていない	
22.9 わからない	6.1 無回答

問 35 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するための次の取組について、どう思いますか。

n = 1,363（ はそれぞれ 1 つ）

	非常に 重要 である	重要 である	どちら でも ない	重要 でない	まったく 重要 でない	無 回 答
(ア) 企業のトップがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む	41.5	38.2	10.2	2.1	0.5	7.6
(イ) 企業の中でワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める	22.2	43.4	19.9	4.3	1.9	8.4
(ウ) 管理職の意識改革を行う	39.6	41.4	9.7	1.1	0.4	7.8
(エ) 社員の意識改革を行う	28.9	49.4	11.4	1.4	0.7	8.1
(オ) 仕事の量を減らす	14.1	26.0	40.3	9.0	2.2	8.4
(カ) 無駄な業務・作業をなくす	31.7	44.5	14.2	1.3	0.5	7.7
(キ) 年休の取得計画をつくる	19.7	40.5	24.9	5.2	1.6	8.1
(ク) 取引先や下請け企業に無理な要求をしない	26.4	41.8	21.2	1.4	1.0	8.1
(ケ) 社員数を増やす	15.4	24.9	41.7	7.9	2.1	8.0
(コ) 給料を上げる	25.0	33.8	28.1	3.4	1.3	8.3
(サ) ノー残業デーを設ける	23.3	37.5	25.1	4.5	1.9	7.7
次のページへ						

	非常に重要である	重要である	どちらでもない	重要でない	まったく重要でない	無回答
(シ) 育児・介護のための休業・休暇を取りやすくする	41.1	44.1	6.0	0.7	0.5	7.6
(ス) 時間短縮勤務ができるようにする	26.7	47.4	14.7	2.2	0.9	8.1
(セ) 在宅勤務ができるようにする	18.3	35.2	31.5	4.9	1.8	8.3

問 36 あなたは、平成 27 年 4 月 1 日に施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」を知っていますか。 n = 1,363 (は 1 つ)

8.7 よく知っている	48.9 知らない
38.9 聞いたことがある	3.6 無回答

問 37 女性が活躍できる仕事・職場環境にするためには何が必要だと思いますか。

n = 1,363 (はいいくつでも)

44.2 企業のトップが女性の活躍の促進に積極的であること	
69.8 職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること	
74.5 育児・介護との両立についての職場の支援体制が整っていること	
29.9 長時間労働ではないこと	
50.7 勤務時間が柔軟であること	
25.7 職場に活躍している女性がいること	
53.5 仕事が適正に評価されること	
41.7 仕事にやりがいがあること	
1.8 その他（具体的に	5.1 無回答

(すべての方に)

このほかに、「ワーク・ライフ・バランスについて」やここまでの質問（問 33～問 37）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【都市農業について】

問 38 あなたは農作業体験をしたことがありますか。 n = 1,363 (は 1 つ)

46.5 ある	→ 19 ページ問 39 へ	51.1 ない	2.3 無回答
---------	----------------	---------	---------

(問 38 で「ある」とお答えの方に)

問 39 あなたはどのような形の農作業体験をしたことがありますか。n = 634 (はいいくつでも)

- | | | |
|------|------------------------------------|-----------|
| 72.4 | イモ掘り、摘み取りなどの収穫体験 | |
| 49.2 | 種まき、田植え、稲刈りなどの体験的な農作業 | |
| 18.0 | 市民農園での栽培 (独自に行う野菜作り) | |
| 1.6 | 農業体験農園での栽培 (農家等が主催する栽培技術指導がある農園) | |
| 3.5 | 農業ボランティアなどの農作業手伝い | |
| 13.2 | 農地や用水路の草刈りなどの環境維持活動 | |
| 40.7 | 農業をしている家族の手伝い | |
| 7.9 | 農業に従事している (兼業も含む) | |
| 4.7 | その他 (|) 0.2 無回答 |

問 40 農地は、農業生産の最も基礎的な資源であり、良好な状態でその確保を図ることが重要ですが、近年、転用などにより農地が減少しています。また、地域によっては担い手不足がより顕在化し、耕作されない農地が増加し、耕作放棄地のさらなる増加が懸念される状況にあります。

あなたは、千葉県に農地を残したいと思いますか。 n = 1,363 (は 1 つ)

- | | | | |
|------|-----------|-----|------|
| 82.7 | 思う | 2.4 | 思わない |
| 12.0 | どちらとも言えない | 2.9 | 無回答 |

問 41 あなたは、千葉県の農業・農地にどのような機能や役割を期待しますか。

n = 1,363 (は 3 つまで)

- | | | |
|------|-------------------------|---------|
| 84.7 | 新鮮で安全な農産物の供給 | |
| 37.9 | 緑や環境の保全 | |
| 25.0 | 農作業体験や食育などの教育機能 | |
| 34.6 | 地域産業の活性化 (他産業との連携を含む) | |
| 9.3 | 災害時の避難場所などの防災機能 | |
| 11.2 | 生活の潤いや安らぎの場の提供 | |
| 20.4 | 農作業体験などによる農業への関心の呼び起こし | |
| 9.8 | 地域の伝統・文化の継承 | |
| 7.8 | 良好な景観の形成 | |
| 7.0 | 地域コミュニティの場 | |
| 5.1 | 園芸療法等の医療・福祉機能 | |
| 3.4 | 身近なレクリエーションの場 | |
| 1.2 | その他 (具体的に |) |
| 1.5 | 特になし | 2.1 無回答 |

問 42 あなたは、農地を守るために、どのような支援を行いたいと思いますか。

n = 1,363 (は2つまで)

- | | | |
|------|-------------------------------|---------|
| 74.0 | 千葉県産の農産物を購入する | |
| 31.8 | 農家の庭先販売など、地元の農産物を購入する | |
| 34.4 | 学校給食等への地元産農産物の割合を増やすことを要望していく | |
| 6.9 | 市民農園や体験農園を通して農地を利用する | |
| 14.0 | 千葉県産の食材を使用した飲食店を利用する | |
| 3.4 | ボランティアとして農作業を手伝う | |
| 3.1 | 農地や用水路など環境維持活動に参加する | |
| 2.0 | 農地を保全するための取組に寄付する | |
| 2.0 | 千葉県の農業について自ら情報を発信する | |
| 0.6 | その他（具体的に | ） |
| 3.4 | 特にない | 2.6 無回答 |

問 43 あなたは、行政が農地を保全するために、どのような対策を行う必要があると思いますか。

n = 1,363 (は2つまで)

- | | | |
|------|---|---------|
| 31.6 | 相続税支払いのために売却され宅地になる農地を、行政が買い取るなど、農地のまま保全できるような仕組みをつくる | |
| 34.2 | 農業以外からの新規参入者により担い手を確保する | |
| 49.5 | 農業でも高収入が得られるよう魅力ある産業にする | |
| 8.7 | 市街化区域の農地を保有しやすくなるように現行の法体制を改善する | |
| 8.6 | 農作業を行うボランティアなど市民が協力できる機会を増やす | |
| 7.6 | 農業・農地のもつ環境保全や防災等の様々な役割をPRすることにより県民の理解を得る | |
| 27.7 | 農業用施設や機械購入等の助成により、農業を継続しやすくなるよう支援する | |
| 1.2 | その他（具体的に | ） |
| 4.5 | 特にない | 3.7 無回答 |

(すべての方に)

このほかに、「都市農業について」やここまでの質問（問 38～問 43）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【男女共同参画社会の形成促進について】

千葉県では、男女がともに認め合い、支え合うパートナーとして、いきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現を目指しています。

問 44 あなたは男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、行政はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。 n = 1,363 (はいいくつでも)

- 69.9 子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する
- 67.9 子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- 62.6 保育及び介護の施設やサービスを充実する
- 44.4 労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
- 15.6 国や地方公共団体の審議委員会や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 15.7 女性の起業・創業が進むよう支援する
- 18.3 企業等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
- 16.7 従来女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する
- 10.9 男女共同参画に関する条例を制定する
- 16.1 女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を設置する
- 14.2 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- 12.5 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PR をする
- 12.2 施策を実施するにあたって企業や民間団体（NPO 等）との連携を推進する
- 1.5 その他（具体的に) 3.8 無回答

問 45 県では男女共同参画推進拠点として、「男女共同参画センター」を設置しています。あなたは、この男女共同参画センターにどのような事業を充実させるべきだと思いますか。 n = 1,363 (はいいくつでも)

- 35.8 男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供
- 30.4 女性相談窓口の充実
- 16.4 男性相談窓口の充実
- 22.5 DV被害者等の自立に向けた支援相談の充実
- 32.0 市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援
- 13.8 講演会・シンポジウム・フェスティバル等の企画・開催
- 13.3 女性リーダー育成講座等の実施
- 42.4 就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援
- 35.1 いつでも誰でも立ち寄れる交流の場
- 2.3 その他（具体的に) 7.4 無回答

(すべての方に)

このほかに、「男女共同参画社会の形成促進について」やここまでの質問(問44～問45)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことからをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,363 (は1つ)

44.1 男性	54.5 女性	1.4 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,363 (は1つ)

0.6 18～19 歳	7.6 20～29 歳	12.1 30～39 歳	15.7 40～49 歳
16.1 50～59 歳	9.5 60～64 歳	37.0 65 歳以上	1.3 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,363 (は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
0.6 農林漁業	0.8 農林漁業	7.3 管理職	32.3 主婦・主夫
1.8 商工サービス業	0.3 商工サービス業	19.0 専門技術・事務職	2.5 学生
3.7 自由業	0.8 自由業	11.1 販売・サービス職	9.2 その他
		7.2 労務職	3.4 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。 n = 1,363 (は1つ)

49.2 はい → F 5 へ	45.8 いいえ → F 4 - 1 へ	5.0 無回答
-----------------	----------------------	---------

(F 4 で「2」とお答えの方に)

F 4 - 1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。 n = 624 (は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.3 農林漁業	0.8 農林漁業	17.9 管理職	29.3 無職
3.2 商工サービス業	- 商工サービス業	16.8 専門技術・事務職	
5.1 自由業	0.8 自由業	11.1 販売・サービス職	3.8 無回答
		9.8 労務職	

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n = 1,363 (は1つ)

20.5 未婚	64.4 既婚(配偶者有)	10.6 既婚(配偶者離死別)	4.5 無回答
---------	---------------	-----------------	---------

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

n = 1,363 (は1つ)

15.0 1人	39.8 2人	13.4 3人	4.5 無回答
1.1 4人	0.7 5人以上	25.6 子どもはいない	→ F 7へ

→ (F 6 で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

F 6 - 1 一緒にお住まいのあなたのお子さんで次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。 n = 953 (はいいくつでも)

5.7 0～2歳の子ども	7.2 3歳以上の未就学の子ども
15.8 小学校・中学校在学中の子ども	7.6 高校在学中の子ども
1.8 短大・高専・各種学校・専修学校に在学中の子ども	
7.3 大学・大学院在学中の子ども	27.5 学校を終えた未婚の子ども
11.2 結婚した子ども	26.8 同居している子どもはいない
	9.0 無回答

F 7 あなたと一緒に住まいのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。

n = 1,363 (は1つ)

11.0 単身	27.1 夫婦のみ
47.5 二世帯世帯 (親と子)	7.3 三世帯世帯 (親と子と孫)
1.9 その他 (具体的に)	5.1 無回答

F 8 一緒にお住まいのご家族には 65 歳以上の方がいらっしゃいますか。 あなたご自身も含めてお答えください。 n = 1,363 (は1つ)

55.4 いる	42.4 いない	2.2 無回答
---------	----------	---------

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n = 1,363 (は1つ)

63.5 持家 (一戸建)	16.4 分譲マンション
1.8 民間の借家 (一戸建)	10.1 賃貸のアパート・マンション
5.4 公社・UR都市機構・県市町村営住宅	0.4 社宅などの給与住宅
0.2 住み込み・寮・寄宿舍	0.7 その他 (具体的に)
	1.5 無回答

F 10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。

n = 1,363 (は1つ)

0.9 1年未満	1.4 1年～3年未満	2.1 3年～5年未満
4.3 5年～10年未満	5.3 10年～15年未満	5.6 15年～20年未満
16.0 20年～30年未満	62.9 30年以上	0.1 わからない
		1.5 無回答

F 11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,363 (は1つ)

14.5 千葉市	5.2 柏 市	2.1 印西市	- 山武郡九十九里町
0.7 銚子市	0.5 勝浦市	1.1 白井市	0.4 山武郡芝山町
7.9 市川市	4.8 市原市	1.2 富里市	0.7 山武郡横芝光町
8.4 船橋市	2.8 流山市	0.4 南房総市	0.5 長生郡一宮町
1.2 館山市	2.8 八千代市	0.4 匝瑳市	- 長生郡睦沢町
2.0 木更津市	2.2 我孫子市	1.5 香取市	- 長生郡長生村
8.3 松戸市	0.7 鴨川市	0.5 山武市	0.4 長生郡白子町
2.1 野田市	2.3 鎌ヶ谷市	0.4 いすみ市	- 長生郡長柄町
1.8 茂原市	1.8 君津市	1.1 大網白里市	- 長生郡長南町
2.3 成田市	0.4 富津市	- 印旛郡酒々井町	0.6 夷隅郡大多喜町
2.6 佐倉市	2.6 浦安市	0.6 印旛郡栄町	- 夷隅郡御宿町
1.0 東金市	1.5 四街道市	0.3 香取郡神崎町	- 安房郡鋸南町
0.9 旭 市	1.1 袖ヶ浦市	- 香取郡多古町	
2.9 習志野市	0.6 八街市	- 香取郡東庄町	2.1 無回答

このほかにも、県への意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

12月7日（水）までにポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 28 年度

(第 53 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 29 年 5 月発行

(平成 28 年 11 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9
